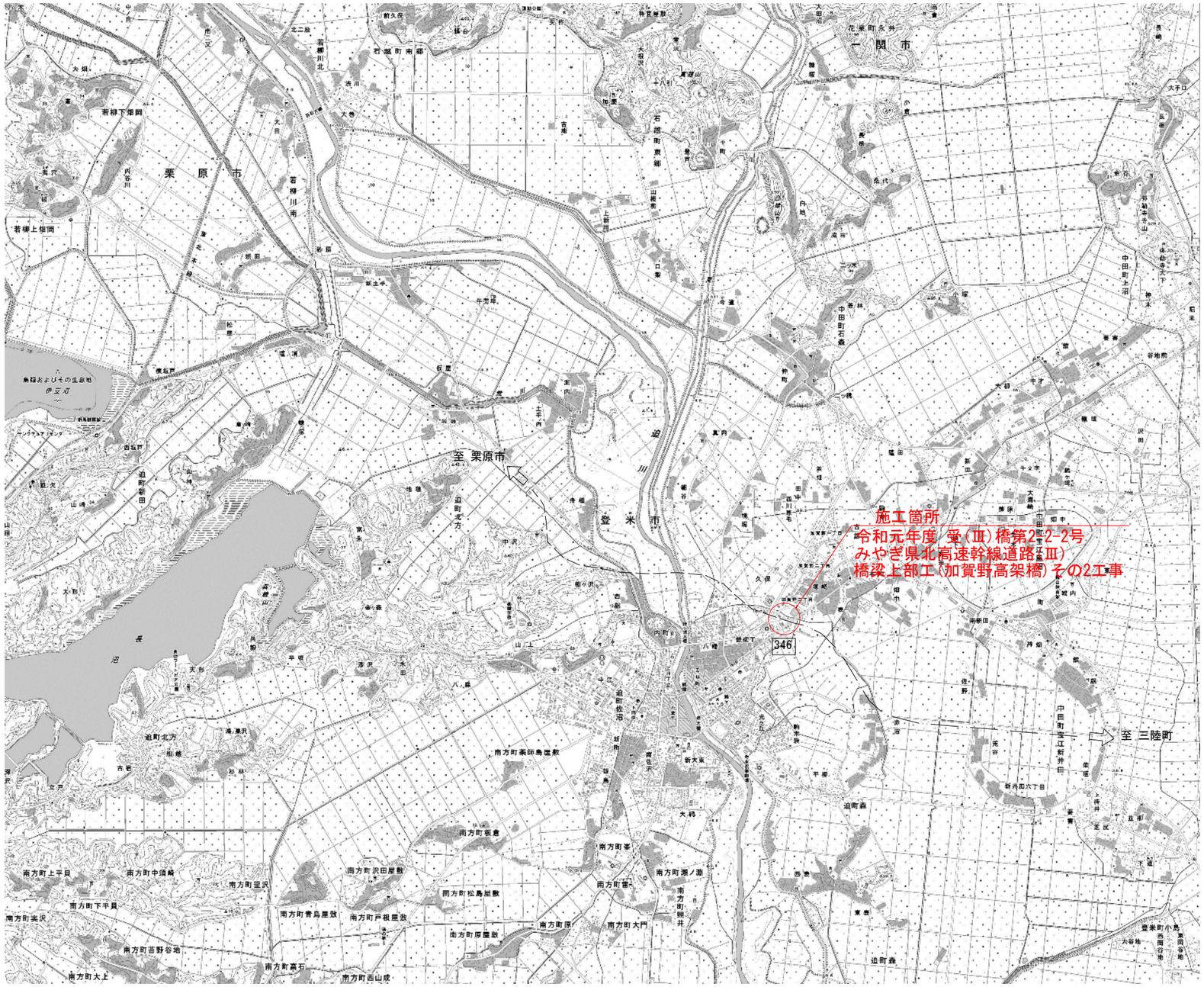
令和元年度受(Ⅲ)橋第2-2-2号　みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工（加賀野高架橋）その２工事

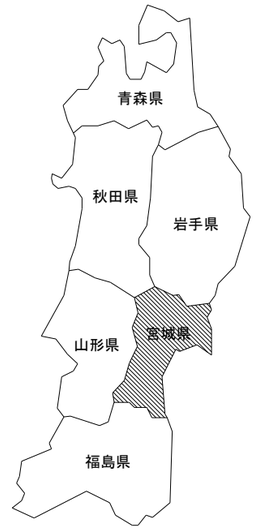
図　面　目　録　【上部工】Ｐ２－Ａ２

実　施

図　面　名	図　番	図　面　名	図　番
位　　置　　図	1	Ｐ２～Ａ２ 検査路系統図	107
佐沼工区2号橋全体一般図	2	Ｐ２～Ａ２ 上部工検査路　（ その1 ～ その6 ）【参考図】	108 ～ 113
Ｐ２～Ａ２ 線形図　（ その1 ～ その2 ）	3 ～ 4	Ｐ２～Ａ２ 下部工検査路　（ その1 ～ その8 ）【参考図】	114 ～ 121
Ｐ２～Ａ２ 数量総括表　（ その1 ～ その3 ）	5 ～ 7	Ｐ２～Ａ２ 塗装塗り分け図	122
Ｐ２～Ａ２ 支承配置図	8	架　設　計　画　図　【参考図】	123
Ｐ２～Ａ２ 上部工構造一般図	9		
Ｐ２～Ａ２ 応力図　（ その1 ～ その2 ）	10 ～ 11		
Ｐ２～Ａ２ 主桁共通詳細図　（ その1 ～ その3 ）	12 ～ 14		
Ｐ２～Ａ２ 主桁Ｇ１ Ｇ２　（ その1 ～ その19 ）	15 ～ 33		
Ｐ２～Ａ２ キャンバー図	34		
Ｐ２～Ａ２ 端支点上横桁	35		
Ｐ２～Ａ２ 中間支点上横桁	36		
Ｐ２～Ａ２ 中間横桁	37		
Ｐ２～Ａ２ 主桁スタッド配置図　（ その1 ～ その3 ）	38 ～ 40		
Ｐ２～Ａ２ ＰＣ床版割付図	41		
Ｐ２～Ａ２ ＰＣ床版構造図　（ その1 ～ その10 ）	42 ～ 51		
Ｐ２～Ａ２ ＰＣ床版配筋図　（ その1 ～ その38 ）	52 ～ 89		
Ｐ２～Ａ２ ＰＣ床版接合部配筋図　（ その1 ～ その6 ）	90 ～ 95		
Ｐ２～Ａ２ 壁高欄配筋図　（ その1 ～ その2 ）【参考図】	96 ～ 97		
Ｐ２～Ａ２ 支承詳細図　（ その1 ～ その4 ）【参考図】	98 ～ 101		
Ｐ２～Ａ２ 伸縮装置　（ その1 ～ その2 ）【参考図】	102 ～ 103		
Ｐ２～Ａ２ 鋼製排水溝　（ その1 ～ その3 ）【参考図】	104 ～ 106		

位　置　図 S=1:25,000





設計箇所　：　宮城県登米市迫町佐沼　地内外
橋　　名　：　佐沼工区2号橋
路線名　：　（主）築館登米線

実施

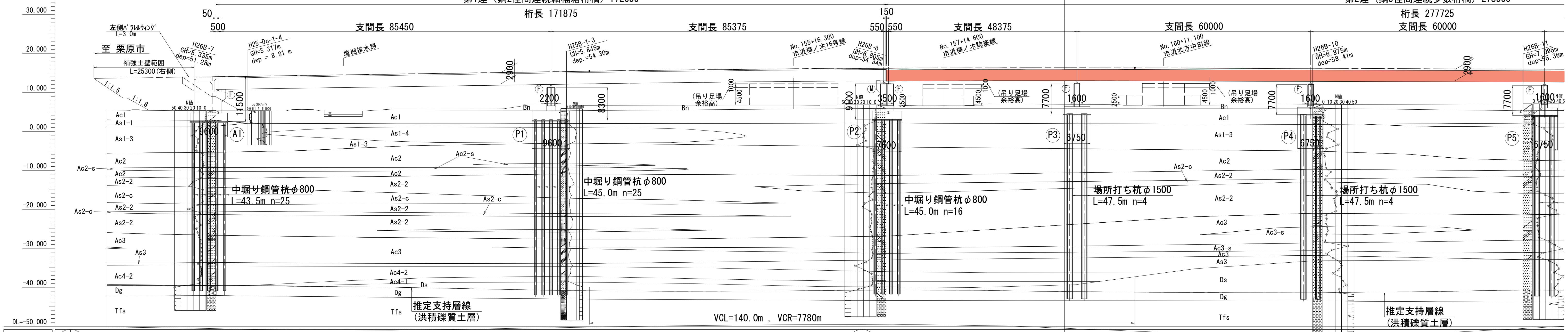
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	位置図		
縮尺	1:25,000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	1 / 123

佐沼工区２号橋 全体一般図

令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号　みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部

施工延長 L=278.0m W=6.5m(7.5m)

側 面 図 S=1:500



勾配: No.136+10.000 10.465 / i=1.500% L=403.850m / 16.523 / I=0.300% L=446.588m

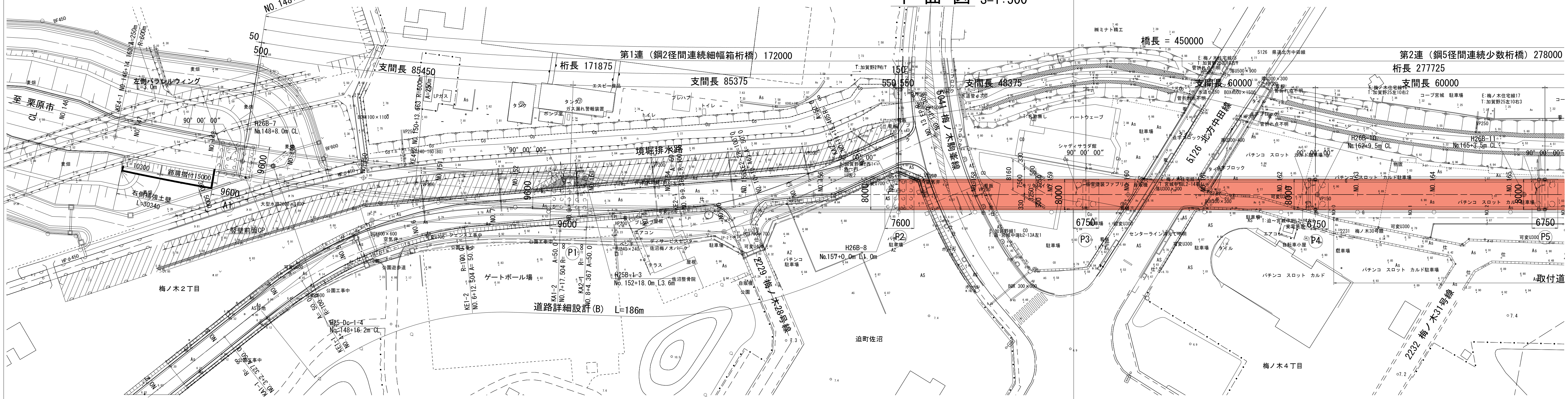
測点	計画高	地盤高	追加距離	単距離
KE4-1 +14.163	13.527	5.595	2934.163	
NO.147	13.615	5.545	2940.000	5.837
NO.148	13.915	5.295	2960.000	20.000
(A1) +8.000	14.035	5.295	2968.000	8.000
NO.149	14.215	5.295	2980.000	12.000
NO.150	14.515	3.805	3000.000	20.000
KE4-2 +13.663	14.720	5.725	3013.663	13.663
NO.151	14.815	5.745	3020.000	6.337
NO.152	15.115	5.755	3040.000	20.000
(P1) +14.000	15.325	6.775	3054.000	14.000
NO.153	15.415	6.665	3060.000	6.000
NO.154	15.698	6.715	3080.000	20.000
NO.155	15.931	6.725	3100.000	20.000
KA4-2 +17.830	16.095	6.735	3117.830	17.830
NO.156	16.112	6.70	3120.000	2.170
+13.850	16.208		3133.850	13.850
(P2) NO.157	16.242	6.83	3140.000	6.150
NO.158	16.321	6.57	3160.000	20.000
NO.159	16.348	6.93	3180.000	20.000
(P3) +9.000	16.343	6.89	3189.000	9.000
NO.160	16.324	6.84	3200.000	11.000
NO.161	16.265	6.75	3220.000	20.000
NO.162	16.205	6.78	3240.000	20.000
(P4) +9.000	16.178	6.79	3249.000	9.000
NO.163	16.145	6.90	3260.000	11.000
NO.164	16.085	6.90	3280.000	20.000
NO.165	16.025	7.01	3300.000	20.000
(P5) +9.000	15.998	7.11	3309.000	9.000

※NO.156～NO.170の地盤高は、本業務の測量平面図の単点を転記したものである。

曲線: A=250.000m L=104.167m / R=600.000m L=79.500m / A=250.000m L=104.167m / R=∞ L=322.608m

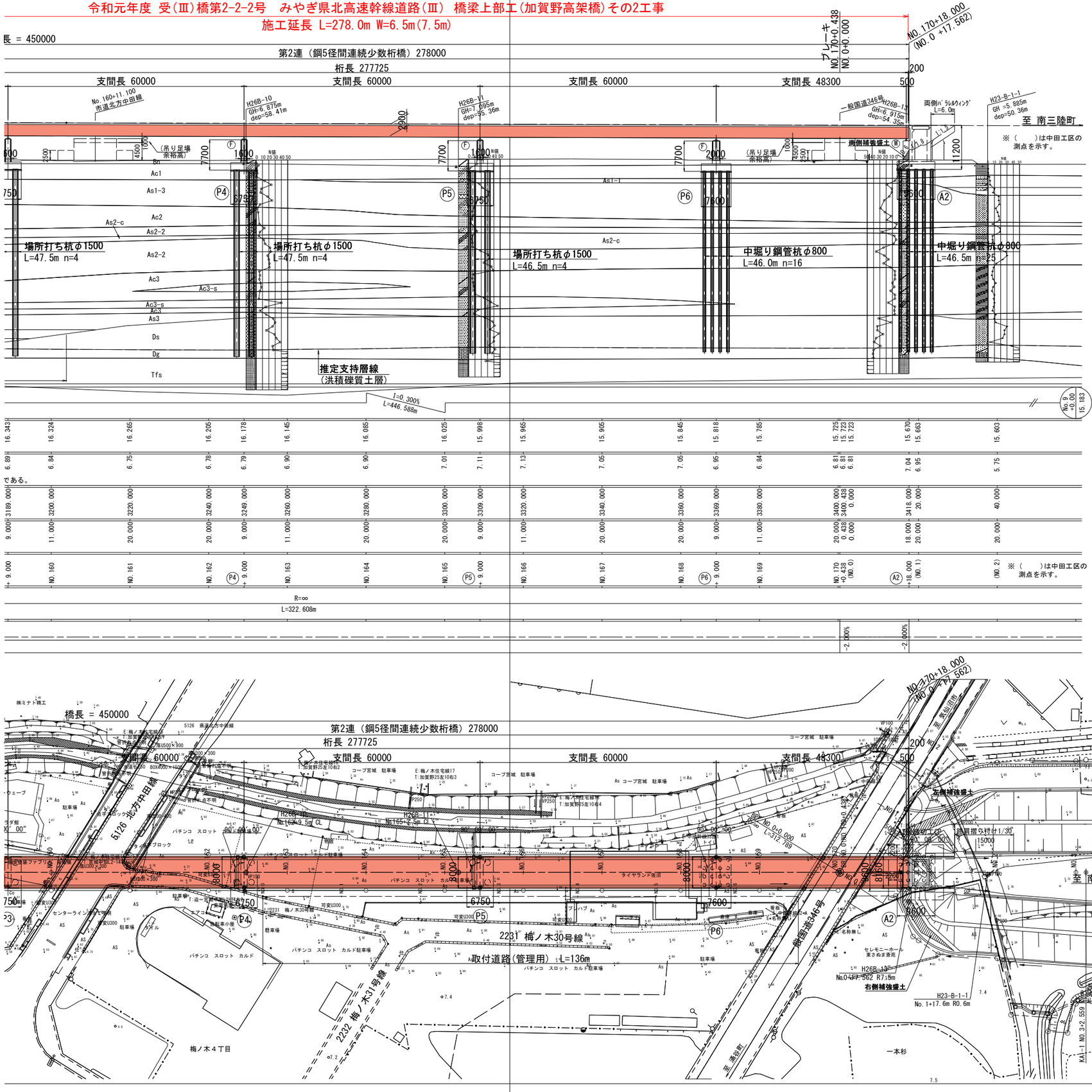
片勾配摺付図: ±3.000% / ±3.000% / ±2.000% / -2.000% / 40.000m

平 面 図 S=1:500



令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号　みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)　橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事

施工延長 L=278.0m W=6.5m(7.5m)



である。

地層凡例

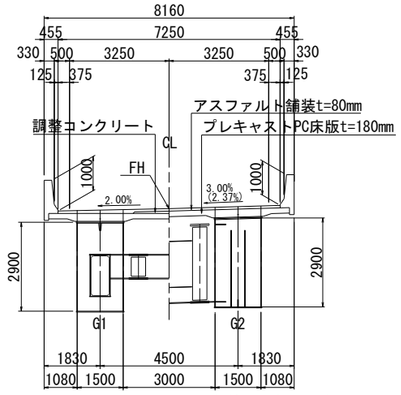
地質年代		地層名	記号		土質・岩質
第四紀	完新世	盛土・表土	Bn		シルト・粘土（砕石）
		第1粘性土層	Ac1		シルト、砂質シルト
		第1砂質土層-1	As1	As1-1	シルト質細粒砂、シルト質砂
		第1砂質土層-2		As1-2	シルト混り細粒砂
		第1砂質土層-3		As1-3	細～粗粒砂、シルト混り細粒砂
		第1砂質土層-4		As1-4	細～粗粒砂、礫混り細～粗粒砂
		第1狭在粘性土層		As1-c	シルト、砂混り～砂質シルト
		第2粘性土層	Ac2	Ac2	シルト、砂混り～砂質シルト
		第2狭在砂質土層		Ac2-s	シルト質細粒砂～砂
		第2砂質土層-1	As2	As2-1	シルト混り～シルト質細粒砂
		第2砂質土層-2		As2-2	細～中粒砂、シルト質細粒砂
		第2狭在粘性土層		As2-c	シルト、砂混り～砂質シルト
		第3粘性土層	Ac3	Ac3	シルト、砂混り～砂質シルト
		第3狭在砂質土層		Ac3-s	細～中粒砂、シルト混り細粒砂
		第3砂質土層	As3		シルト混り細粒砂
		第4粘性土層-1	Ac4	Ac4-1	シルト、シルト・細粒砂互層
		第4粘性土層-2		Ac4-2	砂混りシルト、火山灰質粘土
	盛土	洪積砂質土層	Ds		細～粗粒砂、シルト混り細粒砂
	盛土	洪積礫質土層	Dg		砂礫、粘土混り砂礫
第四紀	盛土	凝灰質砂岩	Tfs		凝灰質砂岩、砂岩、泥岩、シルト岩

※ この図面の高さは地震時の沈下を考慮した高さです。
平面図の地形図のコンタおよび単点は沈下を考慮していないため数値に差異があります。
沈下量　⊿H＝0.435m

上部工断面図　S=1:100

第1連：鋼2径間連続細幅箱桁橋

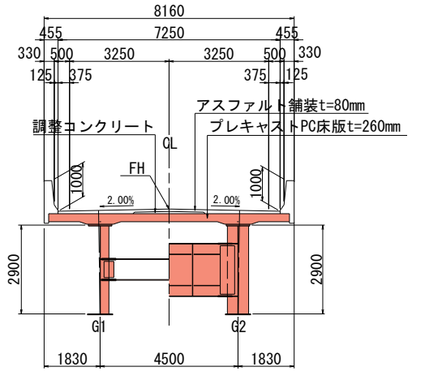
中間部　中間支点部



※（ ）内数値はP1部を示す。

第2連：鋼5径間連続少数桁橋

中間部　中間支点部



凡例

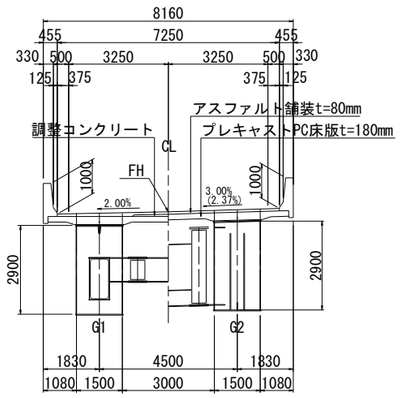
名	記号		土質・岩質
表土	Bn		シルト・粘土（砕石）
土層	Ac1		シルト、砂質シルト
土層-1	As1	As1-1	シルト質細粒砂、シルト質砂
土層-2		As1-2	シルト混り細粒砂
土層-3		As1-3	細～粗粒砂、シルト混り細粒砂
土層-4		As1-4	細～粗粒砂、礫混り細～粗粒砂
性土層		As1-c	シルト、砂混り～砂質シルト
土層	Ac2	Ac2	シルト、砂混り～砂質シルト
質土層		Ac2-s	シルト質細粒砂～砂
土層-1	As2	As2-1	シルト混り～シルト質細粒砂
土層-2		As2-2	細～中粒砂、シルト質細粒砂
性土層		As2-c	シルト、砂混り～砂質シルト
土層	Ac3	Ac3	シルト、砂混り～砂質シルト
質土層		Ac3-s	細～中粒砂、シルト混り細粒砂
土層	As3		シルト混り細粒砂
土層-1	Ac4	Ac4-1	シルト、シルト・細粒砂互層
土層-2		Ac4-2	砂混りシルト、火山灰質粘土
土層	Ds		細～粗粒砂、シルト混り細粒砂
土層	Dg		砂礫、粘土混り砂礫
砂岩	Tfs		凝灰質砂岩、砂岩、泥岩、シルト岩

図面の高さは地震時の沈下を考慮した
です。
図の地形図のコンタおよび単点は沈下を
っていないため数値に差異があります。
量　⊿H=0.435m

上部工断面図 S=1:100

第1連：鋼2径間連続細幅箱桁橋

中間部　中間支点部



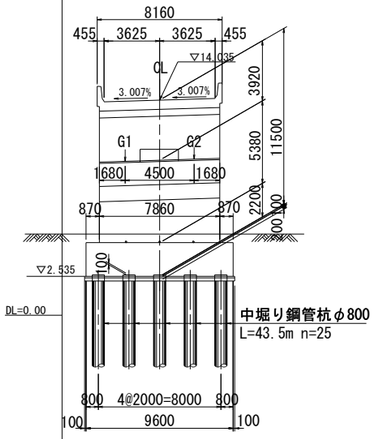
※（）内数値はP1部を示す。

第2連：鋼5径間連続少数桁橋

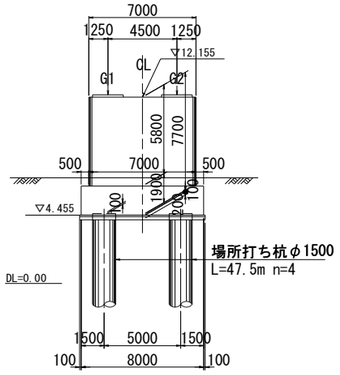
中間部　中間支点部

下部工正面図 S=1:200

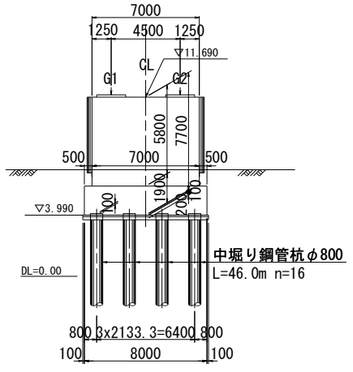
A1橋台



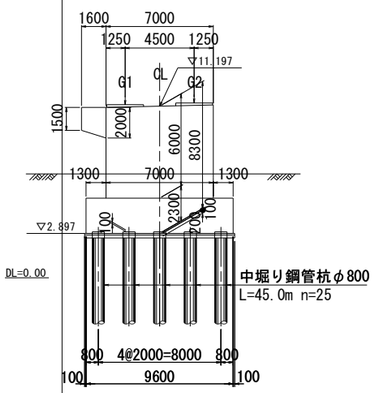
P3橋脚



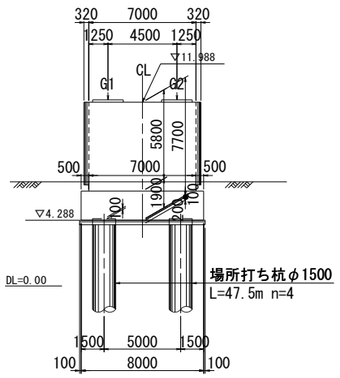
P6橋脚



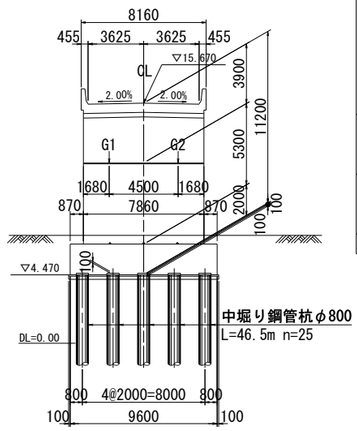
P1橋脚



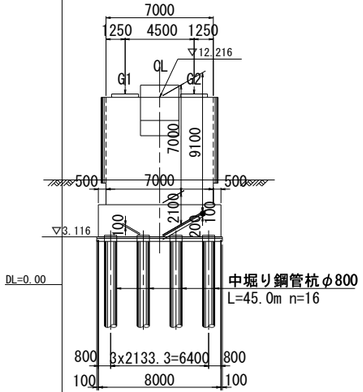
P4橋脚



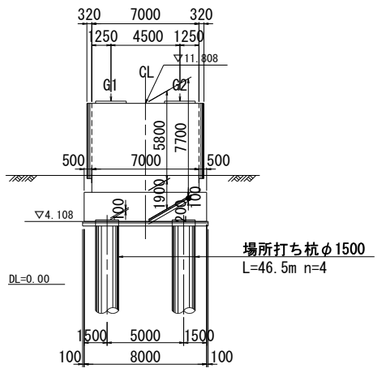
A2橋台



P2橋脚



P5橋脚

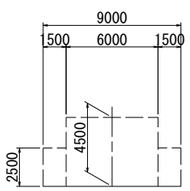


設計条件

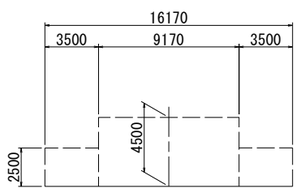
基本条件	路線名		（主）築館登米線（みやぎ県北高速幹線道路Ⅲ期　佐沼工区）
	道路規格		第3種第2級
	設計速度		V=60km/h
	計画交通量		6,200 台/日
	大型車交通量		480 台/日・方向（大型車混入率12.9%）
	橋の重要度		B種の橋
	塩害対策区分		対策区分無し
	橋長		L=450.000m
	桁長		第1連：L=172.000m 、 第2連：L=278.000m
	支間長		第1連：L=85.450m＋85.375m 、 第2連：L=48.375m＋3@60.000m＋48.300m
	幅員	有効幅員	W=0.50m＋3.25m＋3.25m＋0.50m=7.50m
	構成	総幅員	W=0.455m＋7.25m＋0.455m=8.160m
	斜角		A1橋台,P1橋脚～P6橋脚,A2橋台 ： 90° 00′ 00″
	線形条件	平面線形	R=600m～A=250m～R=∞
		縦断勾配	I=1.500%（／） VCL=140m,VCR=7780m I=0.300%（＼）
		横断勾配	I=3.00%（片勾配）～ I=2.00%（拝み勾配）
	設計荷重		B活荷重
	雪荷重		なし
	舗装構成	車道	アスファルト舗装 t=80mm
	防護柵		フロリダ式剛性防護柵（SB種）
	添架物		情報通信管 φ50-3条（防護柵埋設）
	耐震設計条件	耐震性能	レベル1：耐震性能1、レベル2：耐震性能2
		地域別補正係数	A2地域（Cz=1.0, CⅠz=1.0, CⅡz=1.0）
		地盤種別	Ⅲ種地盤
		設計震度(L1)	kh=0.30
	交差条件		一般国道346号、市道 梅ノ木16号線、市道 梅ノ木駒峯線、市道 北方中田線、境堀排水路
上部工	形式		鋼2径間連続細幅箱桁橋＋鋼5径間連続少数桁橋
	床版		プレキャストPC床版 t=180mm（第1連:鋼2径間連続細幅箱桁橋）、t=260mm（第2連:鋼5径間連続少数桁橋）
	使用材量	鋼材	SM400A,SM490YB,SM520C,S10T
		コンクリート	床版：σck=50N/mm2
		PC鋼材	床版：SWPR7BL
		鉄筋	SD345
	支承構造		A1：固定、A2：可動、P1,P3～P6：固定、P2：可動＋固定
	架設工法		トラッククレーンベント架設工法
下部工	形式		A1・A2橋台：箱式橋台、 P1橋脚～P6橋脚：壁式橋脚
	使用材料	コンクリート	σck=24N/mm2
		鉄筋	SD345 σsa=180N/mm2（一般）、σsa=160N/mm2（水中）、σsa=300N/mm2（地震時）
基礎工	形式		A1橋台,P1・P2・P6橋脚,A2橋台：中堀り鋼管杭φ800 P3橋脚～P5橋脚：場所打ち杭φ1500
	支持地盤		洪積礫質土層（Dg）
	使用材料	鋼材	SKK400,SKK490
適用示方書			道路橋示方書・同解説 平成24年3月(日本道路協会)

交差条件 S=1:200

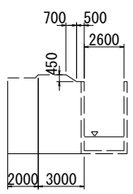
市道2217 梅ノ木16号線



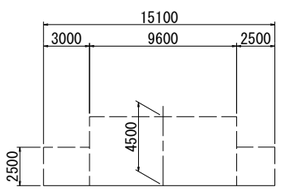
市道5126 北方中田線



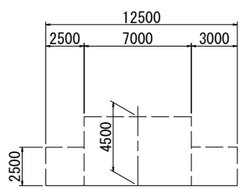
境堀排水路



市道5041 梅ノ木駒峯線



一般国道 346号

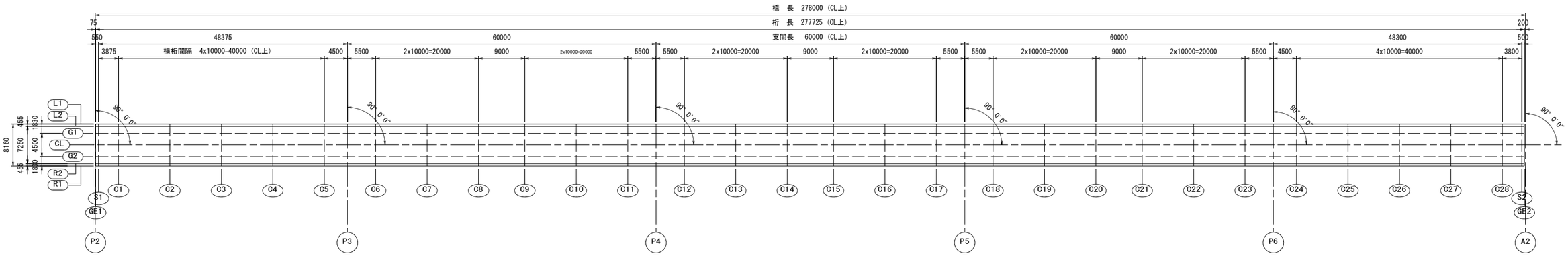


実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	佐沼工区２号橋全体一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	2 / 123

P2～A2 線形図（その1）

平 面 図 縮尺=1:400



小座標

		P2	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	P3	C6	C7	C8	C9	C10	C11	P4	C12	C13	C14	C15	C16	C17	P5
L1	X	0.0000	0.0750	0.6250	4.5000	14.5000	24.5000	34.5000	44.5000	49.0000	54.5000	64.5000	74.5000	83.5000	93.5000	103.5000	109.0000	114.5000	124.5000	134.5000	143.5000	153.5000	163.5000	169.0000
	Y	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800
	Z	16.1609	16.1613	16.1641	16.1830	16.2229	16.2499	16.2641	16.2654	16.2618	16.2538	16.2295	16.1995	16.1725	16.1425	16.1125	16.0960	16.0795	16.0495	16.0195	15.9925	15.9625	15.9325	15.9160
L2	X	0.0000	0.0750	0.6250	4.5000	14.5000	24.5000	34.5000	44.5000	49.0000	54.5000	64.5000	74.5000	83.5000	93.5000	103.5000	109.0000	114.5000	124.5000	134.5000	143.5000	153.5000	163.5000	169.0000
	Y	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250
	Z	16.1700	16.1704	16.1732	16.1921	16.2320	16.2590	16.2732	16.2745	16.2709	16.2629	16.2386	16.2086	16.1816	16.1516	16.1216	16.1051	16.0886	16.0586	16.0286	16.0016	15.9716	15.9416	15.9251
G1	X	0.0000	0.0750	0.6250	4.5000	14.5000	24.5000	34.5000	44.5000	49.0000	54.5000	64.5000	74.5000	83.5000	93.5000	103.5000	109.0000	114.5000	124.5000	134.5000	143.5000	153.5000	163.5000	169.0000
	Y	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500
	Z	16.1975	16.1979	16.2007	16.2196	16.2595	16.2865	16.3007	16.3020	16.2984	16.2904	16.2661	16.2361	16.2091	16.1791	16.1491	16.1326	16.1161	16.0861	16.0561	16.0291	15.9991	15.9691	15.9526
	H	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200
	WT	15.7100	15.7104	15.7132	15.7321	15.7720	15.7990	15.8132	15.8145	15.8109	15.8029	15.7786	15.7486	15.7216	15.6916	15.6616	15.6451	15.6286	15.5986	15.5686	15.5416	15.5116	15.4816	15.4651
CL	X	0.0000	0.0750	0.6250	4.5000	14.5000	24.5000	34.5000	44.5000	49.0000	54.5000	64.5000	74.5000	83.5000	93.5000	103.5000	109.0000	114.5000	124.5000	134.5000	143.5000	153.5000	163.5000	169.0000
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z	16.2425	16.2429	16.2457	16.2646	16.3045	16.3315	16.3457	16.3470	16.3434	16.3354	16.3111	16.2811	16.2541	16.2241	16.1941	16.1776	16.1611	16.1311	16.1011	16.0741	16.0441	16.0141	15.9976
G2	X	0.0000	0.0750	0.6250	4.5000	14.5000	24.5000	34.5000	44.5000	49.0000	54.5000	64.5000	74.5000	83.5000	93.5000	103.5000	109.0000	114.5000	124.5000	134.5000	143.5000	153.5000	163.5000	169.0000
	Y	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500
	Z	16.1975	16.1979	16.2007	16.2196	16.2595	16.2865	16.3007	16.3020	16.2984	16.2904	16.2661	16.2361	16.2091	16.1791	16.1491	16.1326	16.1161	16.0861	16.0561	16.0291	15.9991	15.9691	15.9526
	H	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200
	WT	15.7100	15.7104	15.7132	15.7321	15.7720	15.7990	15.8132	15.8145	15.8109	15.8029	15.7786	15.7486	15.7216	15.6916	15.6616	15.6451	15.6286	15.5986	15.5686	15.5416	15.5116	15.4816	15.4651
R2	X	0.0000	0.0750	0.6250	4.5000	14.5000	24.5000	34.5000	44.5000	49.0000	54.5000	64.5000	74.5000	83.5000	93.5000	103.5000	109.0000	114.5000	124.5000	134.5000	143.5000	153.5000	163.5000	169.0000
	Y	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250
	Z	16.1700	16.1704	16.1732	16.1921	16.2320	16.2590	16.2732	16.2745	16.2709	16.2629	16.2386	16.2086	16.1816	16.1516	16.1216	16.1051	16.0886	16.0586	16.0286	16.0016	15.9716	15.9416	15.9251
R1	X	0.0000	0.0750	0.6250	4.5000	14.5000	24.5000	34.5000	44.5000	49.0000	54.5000	64.5000	74.5000	83.5000	93.5000	103.5000	109.0000	114.5000	124.5000	134.5000	143.5000	153.5000	163.5000	169.0000
	Y	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800
	Z	16.1609	16.1613	16.1641	16.1830	16.2229	16.2499	16.2641	16.2654	16.2618	16.2538	16.2295	16.1995	16.1725	16.1425	16.1125	16.0960	16.0795	16.0495	16.0195	15.9925	15.9625	15.9325	15.9160

		C18	C19	C20	C21	C22	C23	P6	C24	C25	C26	C27	C28	S2	GE2	A2
L1	X	174.5000	184.5000	194.5000	203.5000	213.5000	223.5000	229.0000	233.5000	243.5000	253.5000	263.5000	273.5000	277.3000	277.8000	278.0000
	Y	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800	4.0800
	Z	15.8995	15.8695	15.8395	15.8125	15.7825	15.7525	15.7360	15.7225	15.6925	15.6625	15.6325	15.6025	15.5911	15.5896	15.5890
L2	X	174.5000	184.5000	194.5000	203.5000	213.5000	223.5000	229.0000	233.5000	243.5000	253.5000	263.5000	273.5000	277.3000	277.8000	278.0000
	Y	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250	3.6250
	Z	15.9086	15.8786	15.8486	15.8216	15.7916	15.7616	15.7451	15.7316	15.7016	15.6716	15.6416	15.6116	15.6002	15.5987	15.5981
G1	X	174.5000	184.5000	194.5000	203.5000	213.5000	223.5000	229.0000	233.5000	243.5000	253.5000	263.5000	273.5000	277.3000	277.8000	278.0000
	Y	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500	2.2500
	Z	15.9361	15.9061	15.8761	15.8491	15.8191	15.7891	15.7726	15.7591	15.7291	15.6991	15.6691	15.6391	15.6277	15.6262	15.6256
	H	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200
	WT	15.4486	15.4186	15.3886	15.3616	15.3316	15.3016	15.2851	15.2716	15.2416	15.2116	15.1816	15.1516	15.1402	15.1387	15.1381
CL	X	174.5000	184.5000	194.5000	203.5000	213.5000	223.5000	229.0000	233.5000	243.5000	253.5000	263.5000	273.5000	277.3000	277.8000	278.0000
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z	15.9811	15.9511	15.9211	15.8941	15.8641	15.8341	15.8176	15.8041	15.7741	15.7441	15.7141	15.6841	15.6727	15.6712	15.6706
G2	X	174.5000	184.5000	194.5000	203.5000	213.5000	223.5000	229.0000	233.5000	243.5000	253.5000	263.5000	273.5000	277.3000	277.8000	278.0000
	Y	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500	−2.2500
	Z	15.9361	15.9061	15.8761	15.8491	15.8191	15.7891	15.7726	15.7591	15.7291	15.6991	15.6691	15.6391	15.6277	15.6262	15.6256
	H	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200	0.1200
	WT	15.4486	15.4186	15.3886	15.3616	15.3316	15.3016	15.2851	15.2716	15.2416	15.2116	15.1816	15.1516	15.1402	15.1387	15.1381
R2	X	174.5000	184.5000	194.5000	203.5000	213.5000	223.5000	229.0000	233.5000	243.5000	253.5000	263.5000	273.5000	277.3000	277.8000	278.0000
	Y	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250	−3.6250
	Z	15.9086	15.8786	15.8486	15.8216	15.7916	15.7616	15.7451	15.7316	15.7016	15.6716	15.6416	15.6116	15.6002	15.5987	15.5981
R1	X	174.5000	184.5000	194.5000	203.5000	213.5000	223.5000	229.0000	233.5000	243.5000	253.5000	263.5000	273.5000	277.3000	277.8000	278.0000
	Y	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800	−4.0800
	Z	15.8995	15.8695	15.8395	15.8125	15.7825	15.7525	15.7360	15.7225	15.6925	15.6625	15.6325	15.6025	15.5911	15.5896	15.5890

注）
1 座標値は小座標系を示す
2 記号の説明
X, Y ：平面座標
Z ：路面標高
H ：ハンチ高 + モルタル厚
WT ：上フランジ天端高

標準断面図及びライン名称 縮尺=1:60

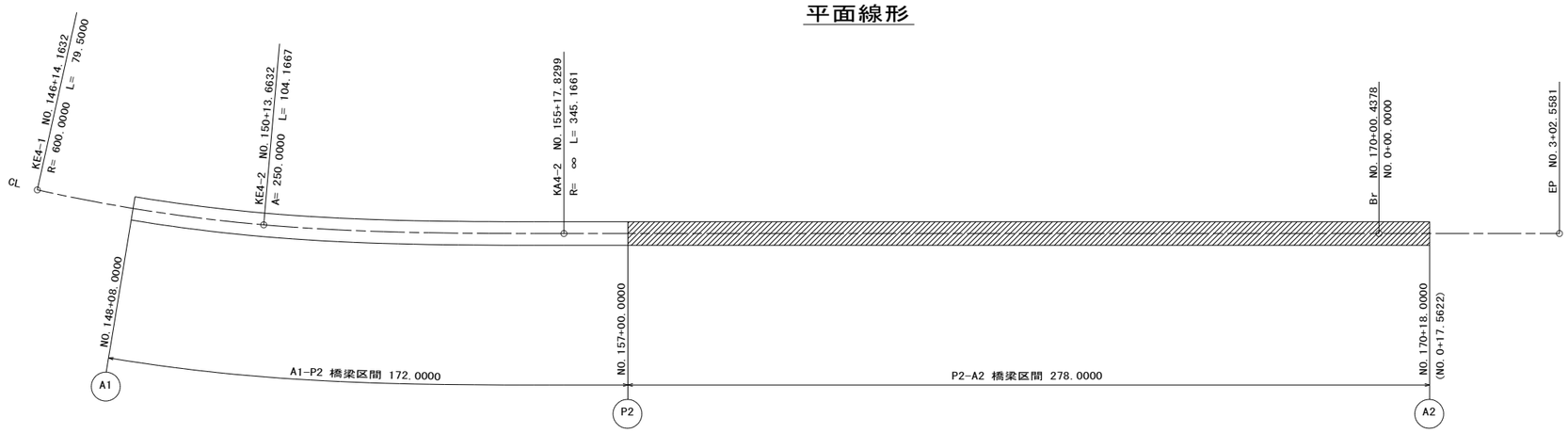
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 線形図(その1)		
縮尺	1:400	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	3 / 123

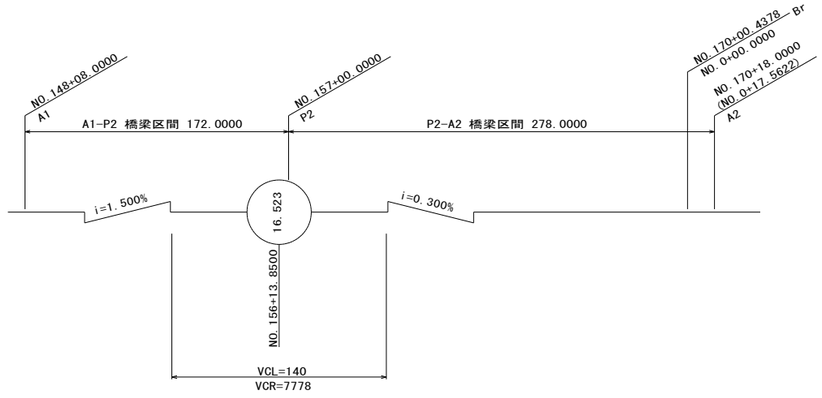
P2～A2 線形図（その2）

線形概要図

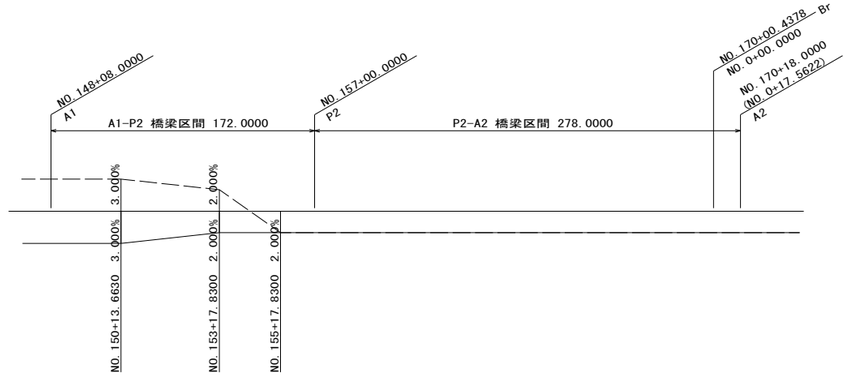
平面線形



縦断線形



横断線形



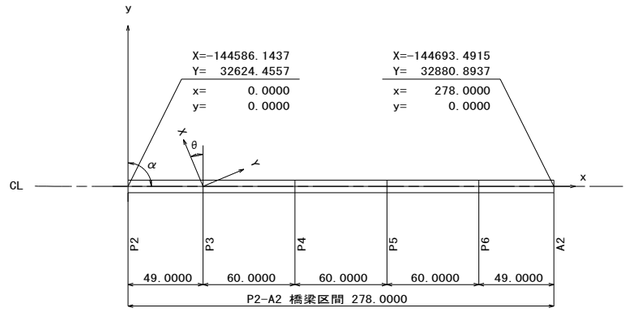
コントロール点の座標 方向角（CL）

変 化 点	測 点	X	Y	要 素	要 素 長
KE4-1	NO. 146+14. 16318	−144493. 12151	32441. 40655	R= 600. 00000	L= 79. 50000
KE4-2	NO. 150+13. 66318	−144534. 61105	32509. 15334	A= 250. 00000	L= 104. 16667
KA4-2	NO. 155+17. 82985	−144577. 58282	32604. 00510	R= ∞	L= 345. 16606
EP	NO. 3+02. 55806	−144710. 86636	32922. 39967		

ブレーキ NO. 170+00. 43785 → 0+00. 00000

橋台 橋脚配置及び小座標の設定

CLとP2の交点を原点とし，CLとA2の交点へ向かう方向をx軸とする数学座標系とする



橋台 橋脚の配置

橋 脚	測 点	X	Y	方位角（θ）	交 角（α）
P2	NO. 157+00. 0000	−144586. 1437	32624. 4557	22° 42′ 53″	90° 00′ 00″
P3	NO. 159+09. 0000	−144605. 0647	32669. 6552	22° 42′ 53″	90° 00′ 00″
P4	NO. 162+09. 0000	−144628. 2333	32725. 0015	22° 42′ 53″	90° 00′ 00″
P5	NO. 165+09. 0000	−144651. 4019	32780. 3479	22° 42′ 53″	90° 00′ 00″
P6	NO. 168+09. 0000	−144674. 5705	32835. 6942	22° 42′ 53″	90° 00′ 00″
A2	NO. 170+18. 0000 (NO. 0+17. 5622)	−144693. 4915	32880. 8937	22° 42′ 53″	90° 00′ 00″

実 施

工事番号	令和元年度 受（Ⅲ）橋第2-2-2号		
路 線 名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ） 橋梁上部工（加賀野高架橋）その2工事		
図 面 名	P2～A2 線形図（その2）		
縮 尺	−	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	4 / 123

P2～A2 数量総括表（その1）

鋼材質量総括表

（単位 ： kg,mm）

材質	形状	サイズ	主桁	横桁	ブラケット	排水装置	上部工検査路	総計
SM520C-H	PL	53	12432					12432
		52	10840					10840
		51	11096					11096
		50	9672					9672
		48	22992					22992
		小計	67032					67032
SM490YB	PL	37	9644					9644
		36	27300					27300
		35	20312					20312
		34	38636					38636
		33	9066					9066
		31	7496					7496
		28	8756					8756
		27	11744	1800				13544
		26	52040					52040
		25	8696					8696
		24		3992				3992
		23	1116					1116
		22	476					476
		21	3620					3620
		20	952					952
		19	1612	768				2380
		18	83844					83844
		17	3380					3380
		小計	288690	6560				295250
SM490YA	PL	16	3094					3094
		15	1696					1696
		14	111072	3948				115020
		13	424					424
		12	116					116
		11	7980					7980
		9	8432					8432
		小計	132814	3948				136762
SM490C	PL	65	3168					3168
		小計	3168					3168
SM490B	PL	40	202					202
		小計	202					202
SM400A	PL	28	3474					3474
		25	158					158
		24	9072					9072
		18	256	708				964
		16	1668					1668
		15	2584					2584
		14	7032					7032
		13		132				132
		12	7418					7418
		10	108	1266	180			1554
		9	1202		184		2268	3654
		6	8			34		42
		小計	32980	2106	364	34	2268	37752
	H	900 ＊ 300 ＊ 16 ＊ 28		25976				25976
		小計		25976				25976
	小計		32980	28082	364	34	2268	63728
SS400	PL	25	272					272
		24	520					520
		20		3360				3360
		19	232					232
		18		3696				3696
		17	344					344
		16	160					160
		15	180					180
		13			20			20
		12		5192				5192
		11	68					68
		10	180	76				256
		9	44	372	176			592
		8		160	48			208
		7	64					64
		6		84				84
		4.5	28	700				728
		2.3	484					484
		小計	2576	13640	244			16460
	FB	100 ＊ 6				790		790
		小計				790		790
	ANGLE	65 ＊ 65 ＊ 6				32		32
		小計				32		32
	BAR	DIA 16		168				168
		小計		168				168
	小計		2576	13808	244	822		17450
加工鋼質量計			527462	52398	608	856	2268	583592

鋼材質量総括表

（単位 ： kg,mm）

材質	形状	サイズ	主桁	横桁	ブラケット	排水装置	上部工検査路	総計
SS400	BN	M16 2W ＊ 50				30		30
		M16 2W ＊ 45				42		42
		M16 2W ＊ 40				34		34
		M16 ＊ 50		28				28
		小計		28		106		134
	BOLT	M22 ＊ 200	1240		4			1244
		M22 ＊ 100	86	40				126
		小計	1326	40	4			1370
	NUT	M22	210	8	4			222
		小計	210	8	4			222
	ANC	M16 ＊ 125				42		42
		小計				42		42
	UB	25 C				4		4
		小計				4		4
	STUD	DIA 22 ＊ 150	84	316				400
		DIA 22 ＊ 38	242		4			246
		DIA 22 ＊ 35	24	12				36
		小計	350	328	4			682
	小計		1886	404	12	152		2454
S10T	TC	M22 ＊ 135	276					276
		M22 ＊ 130	448					448
		M22 ＊ 125	552					552
		M22 ＊ 120	804					804
		M22 ＊ 115		1200				1200
		M22 ＊ 110	248					248
		M22 ＊ 105	900	1568				2468
		M22 ＊ 100	452					452
		M22 ＊ 95	1916	456				2372
		M22 ＊ 85		1344				1344
		M22 ＊ 80		176	52			228
		M22 ＊ 75	4176	68				4244
		M22 ＊ 70	2260		16			2276
		M22 ＊ 65			16			16
		小計	12032	4812	84			16928
部品質量計			13918	5216	96	152		19382
総計			541380	57614	704	1008	2268	602974

ボルト本数総括表

（単位 ： 本,mm）

材質	形状	サイズ	主桁	横桁	ブラケット	排水装置	上部工検査路	総計
SS400	BN	M16 2W ＊ 50				60		60
		M16 2W ＊ 45				168		168
		M16 2W ＊ 40				188		188
		M16 ＊ 50		224				224
	BOLT	M22 ＊ 200	1876		8			1884
		M22 ＊ 100	222	112				334
	NUT	M22	2098	112	8			2218
	ANC	M16 ＊ 125				168		168
	UB	25 C				4		4
	STUD	DIA 22 ＊ 150	168	616				784
		DIA 22 ＊ 38	1876		8			1884
		DIA 22 ＊ 35	222	112				334
	小計		6462	1176	24	588		8250
S10T	TC	M22 ＊ 135	384					384
		M22 ＊ 130	640					640
		M22 ＊ 125	800					800
		M22 ＊ 120	1200					1200
		M22 ＊ 115		1824				1824
		M22 ＊ 110	384					384
		M22 ＊ 105	1440	2464				3904
		M22 ＊ 100	736					736
		M22 ＊ 95	3200	768				3968
		M22 ＊ 85		2352				2352
		M22 ＊ 80		320	96			416
		M22 ＊ 75	7776	128				7904
		M22 ＊ 70	4320		32			4352
		M22 ＊ 65			32			32
	小計		20880	7856	160			28896
総計			27342	9032	184	588		37146

工数算定要素集計表

集計要素				単位	本体	付属物 排水装置	付属物 落橋防止	付属物 合計
本体及び本体付付属物	下記以外	大型材片	材片数	ケ	208	—	—	208
			材片重量 ＊1	kg	458928	—	—	458928
		小型材片	材片数	ケ	2688	—	—	2688
			材片重量 ＊2	kg	121540	856	—	122396
		部材数	＊5	ケ	92	—	—	92
	対傾構	加工鋼重	＊3	kg	—	—	—	—
		部材数	形鋼トラス構造 ＊6	ケ	—	—	—	—
			鋼板トラス構造 ＊7	ケ	—	—	—	—
	横構	加工鋼重	＊4	kg	—	—	—	—
		部材数	形鋼構造 ＊8	ケ	—	—	—	—
			鋼板構造 ＊9	ケ	—	—	—	—
	加工鋼重		＊1+＊2+＊3+＊4 計	kg	580468	856	—	581324
			内570材相当鋼加工鋼重	kg	—	—	—	—
	部材数		＊5+＊6+＊7+＊8+＊9	ケ	—	—	—	—
	板継溶接延長			m	—	—	—	—
	大型材T継手溶接長			m	2291.35	—	—	2291.35
構造要素			平均支間長	mm	55335			
			主桁間隔	mm	4500			
			主桁高	mm	2900			

材片総括表

（単位 ： 個,kg）

		主桁	横桁	ブラケット	排水装置	総計
材片数	大型材片	162	46			208
	小型材片	1590	1042	56		2688
	合計	1752	1088	56		2896
材片質量	大型材片	425386	33542			458928
	小型材片	102076	18856	608	856	122396
	合計	527462	52398	608	856	581324

亜鉛メッキ総括表

（単位 ： kg,mm）

材質	形状	サイズ	横桁	ブラケット	排水装置	総計
SS400	PL	6	84			84
		小計	84			84
	FB	100 ＊ 6			806	806
		小計			806	806
	ANGLE	65 ＊ 65 ＊ 6			32	32
		小計			32	32
	BAR	DIA 16	168			168
		小計	168			168
	BN	M16 2W ＊ 50			30	30
		M16 2W ＊ 45			42	42
		M16 2W ＊ 40			34	34
		M16 ＊ 50	28			28
		小計	28		106	134
	ANC	M16 ＊ 125			42	42
		小計			42	42
	UB	25 C			4	4
		小計			4	4
総計			280		990	1270

	合計
HDZ35	180
HDZ45	－
HDZ55	1090

溶接延長総括表

(m)

	実長	大型T
主桁	2223.592	2223.592
横桁	67.760	67.760
ブラケット	0.000	0.000
排水装置	0.000	0.000
上部工検査路	0.000	0.000
下部工検査路	0.000	0.000
総合計	2291.352	2291.352

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 数量総括表(その1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	5 / 123

P2～A2 数量総括表（その2）

塗装面積総括表

（単位 m2）

	C-5	F-11	F-11'	F-11	無機ジンク	コンクリート	
	工場外面	添接板	ボルト	合計	摩擦接合	無機ジンク	有機ジンク
主桁	4993.4	296.6	88.4	385.0	739.2	558.0	49.6
横桁	218.4	98.0	22.4	120.4	300.2	58.2	65.4
ブラケット	5.6	3.2	0.4	3.6	7.6	1.2	0.4
排水装置	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上部工検査路	64.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	5282.2	397.8	111.2	509.0	1047.0	617.4	115.4

橋面工及びその他数量総括表

項目			単位	数量	規格
舗装工	アスファルト舗装	t=80mm	m2	2013.506	
	調整コンクリート		m3	38.274	
防水工	防水層	シート系	m2	2098.552	
	床版排水パイプ		個	2	
	床版用導水パイプ	18φ	m	567.250	
	成形目地材延長		m	552.950	
	フレキシブルチューブ		m	3.800	20φ
	締め付けバンド		個	8	フレキシブルチューブ接続用
支承	P2		個	2	
	P3		個	2	
	P4		個	2	
	P5		個	2	
	P6		個	2	
	A2		個	2	
沓座	箱抜き部モルタル数量		m3	4.008	
伸縮装置	延長距離		m	7.350	
排水装置	鋼製排水溝	延長	m	551.350	
		敷モルタル	m3	3.796	
	VP200A	直管	m	44.106	
		曲管	個	12	
		加工管	個	2	
	VP25A	直管	m	0.640	
		加工管	個	2	
	伸縮管	E1	個	8	
		E2	個	2	
	ソケット		個	2	VP25A用
	流芯延長		m	84.969	
巻き立てコンクリート	コンクリート体積		m3	53.50	σck=24N/mm2
	無収縮モルタル体積		m3	0.20	
	型枠面積		m2	136.80	
	鉄筋質量		Kg	1436	
上部工検査路			kg	13311.3	アルミ製
下部工検査路	P3		kg	821.0	アルミ製
	P4		kg	933.9	
	P5		kg	855.1	
	P6		kg	881.8	
	A2		kg	778.5	
	合計		kg	4270.3	
落下物防止柵	防止柵延長		m	433.638	A1-P2区間を含む

床版工及び壁高欄工数量総括表

床版工

（その1）

名称	項目		仕様	単位	数量 1枚当り	数量 1橋当り	備考
床版工	床版設置面積			m^2		2182.9	
	プレキャスト床版		σck=50N/mm²				
	標準版	-1	W=1660	枚		65	w=9.083～9.130t/枚
		-2	W=1660 -添接切欠	〃		10	w=9.035～9.045t/枚
		-3	W=1615	〃		38	w=8.825～8.873t/枚
		-4	W=1615 -添接切欠	〃		14	w=8.713～8.808t/枚
		-5	W=1637.5	〃		6	w=9.003t/枚
		-6	W=1637.5 -添接切欠	〃		2	w=8.928t/枚
	調整版	-1	W=1660	〃		1	w=11.030t/枚
		-2	W=1360	〃		1	w=8.968t/枚
	端部	-1	W=1755	〃		1	w=9.825t/枚
		-2	W=1930	〃		1	w=11.668t/枚
	合 計			枚		139	
	プレキャスト床版コンクリート						
	標準版	-1	σck=50N/mm²	m^3	3.633～3.652	237.342	
		-2	〃	〃	3.614～3.618	36.152	
		-3	〃	〃	3.530～3.549	134.634	
		-4	〃	〃	3.485～3.523	49.042	
		-5	〃	〃	3.601	21.606	
		-6	〃	〃	3.571	7.142	
	調整版	-1	〃	〃	4.412	4.412	
		-2	〃	〃	3.587	3.587	
	端部	-1	〃	〃	3.930	3.930	
		-2	〃	〃	4.667	4.667	
	合 計			m^3		502.51	
	接合部コンクリート						早強、膨張材使用
	通常範囲 接合部	-1	σck=50N/mm²	m^3	0.878	42.144	N= 48ヶ所
		-2	〃	〃	0.980	52.920	N= 54ヶ所
		-3	〃	〃	0.958	0.958	N= 1ヶ所
		-4	〃	〃	1.038	2.076	N= 2ヶ所
	合 計			m^3		98.10	N=105ヶ所
	剥落対策範囲 接合部	-1	σck=50N/mm	m^3	0.878	26.340	N= 30ヶ所
		-2	〃	〃	0.980	1.960	N= 2ヶ所
		-3	〃	〃	0.958	0.958	N= 1ヶ所
	合 計			m^3		29.26	N= 33ヶ所

注）剥落対策範囲のコンクリートにはポリプロピレン短繊維を混合する事。

床版工

（その2）

名称	項目		仕様	単位	数量 1枚当り	数量 1橋当り	備考
床版工	スタッドジベル用孔部コンクリート						早強、膨張材使用
			σck=50N/mm²	m^3		5.02	
	プレキャスト床版型枠						
	標準版 -1	側 枠		m^2	4.877		
		妻 枠		〃	0.837		
		底 枠		〃	13.107		
		合 計		〃	18.821	1223.365	N=65枚
	標準版 -2	側 枠		〃	4.827		
		妻 枠		〃	0.837		
		底 枠		〃	13.259～13.270		
		合 計		〃	18.923～18.934	189.307	N=10枚
	標準版 -3	側 枠		〃	4.877		
		妻 枠		〃	0.814		
		底 枠		〃	12.752		
		合 計		〃	18.443	700.834	N=38枚
	標準版 -4	側 枠		〃	4.827		
		妻 枠		〃	0.814		
		底 枠		〃	12.880～12.935		
		合 計		〃	18.521～18.576	259.668	N=14枚
	標準版 -5	側 枠		〃	4.877		
		妻 枠		〃	0.826		
		底 枠		〃	12.930		
		合 計		〃	18.633	111.798	N=6枚
	標準版 -6	側 枠		〃	4.827		
		妻 枠		〃	0.826		
		底 枠		〃	13.068		
		合 計		〃	18.721	37.442	N=2枚
	調整版 -1	側 枠		〃	5.816		
		妻 枠		〃	1.136		
		底 枠		〃	13.048		
		合 計		〃	20.000	20.000	N=1枚
	調整版 -2	側 枠		〃	5.816		
		妻 枠		〃	0.926		
		底 枠		〃	10.690		
		合 計		〃	17.432	17.432	N=1枚

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 数量総括表(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	6 / 123

P2～A2 数量総括表（その3）

床版工　（その3）

名称	項目		仕様	単位	数量 1枚当り	数量 1橋当り	備考
床版工	端部版 -1	側 枠		m^2	5.869		
		妻 枠		〃	1.216		
		底 枠		〃	13.794		
		合 計		〃	20.879	20.879	N=1枚
	端部版 -2	側 枠		〃	5.799		
		妻 枠		〃	1.338		
		底 枠		〃	15.170		
		合 計		〃	22.307	22.307	N=1枚
	合 計			m^2		2603.0	
	接合部型枠						
	接合部 -1	妻 枠		m^2	0.203		
		底 枠		〃	2.161		
		合 計		〃	2.364	184.392	N= 78ヶ所
	接合部 -2	妻 枠		〃	0.226		
		底 枠		〃	2.447		
		合 計		〃	2.673	149.688	N= 56ヶ所
	接合部 -3	妻 枠		〃	0.233		
		底 枠		〃	2.155		
		合 計		〃	2.388	4.776	N= 2ヶ所
	接合部 -4	妻 枠		〃	0.264		
		底 枠		〃	2.149		
		合 計		〃	2.413	4.826	N= 2ヶ所
	合 計			m^2		343.7	
	ジベル孔型枠			m^2		123.4	
	鉄筋		SD345				
	普通鉄筋	プレキャスト床版	D13	t		24.077	
			D16～D22	〃		94.505	
		接合部	D13	〃		2.702	
			D16～D22	〃		13.992	
	塗装鉄筋	プレキャスト床版	D13	〃		3.566	
			D16～D22	〃		11.843	
		接合部	D13	〃		0.578	
			D16～D22	〃		1.749	

床版工　（その4）

名称	項目	仕様	単位	数量 1枚当り	数量 1橋当り	備考
床版工	鋼 管					
	普通鉄筋用	φ34.5x50	個		14698	
		φ29.0x40	〃		15382	
	塗装鉄筋用	φ34.5x50	〃		374	
		φ29.0x40	〃		4126	
	PC鋼材					
	PC鋼より線	1S15.2,SWPR7BL	kg		28488.5	プレテン鋼材
	〃	1S28.6,SWPR19L	〃		591.3	プレグラウトPC鋼材
	アンカープレート	165x165x32	枚		30	標準部
		220x125x36	〃		6	伸縮切欠部
	定着具	1S28.6用	組		36	
	緊張工	1S28.6 片引き	〃		18	
	モルタル	無収縮モルタル	m^3		12.39	
	型枠材	ハンチ部：20x30	m		1119.9	
	粗面仕上		m^2		674.5	
	高さ調整ボルト		組		556	
	仮固定装置		組		556	

壁高欄工

項目	仕様		単位	数量	備考
コンクリート	σck=24N/mm²				膨張材使用
	通常範囲		m^3	141.21	
	剥落対策範囲		m^3	66.00	
型 枠			m^2	1333.5	
鉄 筋	SD345	D16	kg	4157	
		D13	〃	16735	
		合計	〃	20892	
樹脂系発泡体	t=20mm		m^2	10.5	
シール材	シリコン系		リットル	92.6	

注）剥落対策範囲のコンクリートにはポリプロピレン短繊維を混合する事。

排水土工

項目	仕様	単位	数量	備考
硬質塩化ビニル管	VPφ200	m	8.6	
ベンチフリューム	BF2-B300-H200	m	74.4	
集水桝	SM-B600-H600	個	14.0	

立入防止柵

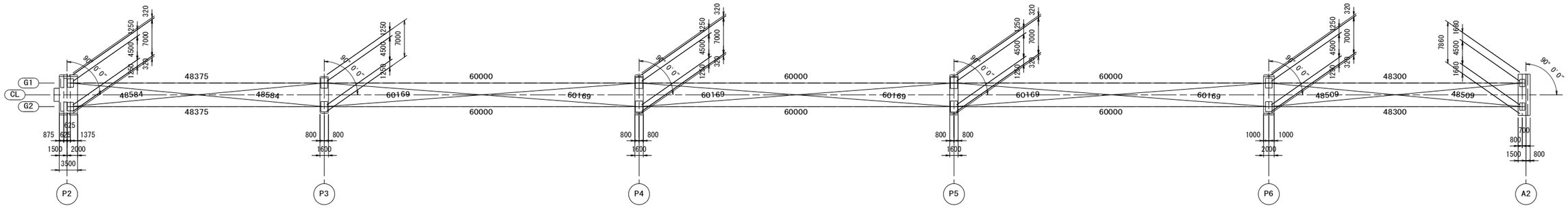
項目		仕様	単位	数量	備考
立入防止柵	設置延長	A型	m	550.7	
	門扉	GA3型	m	9.0	

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 数量総括表(その3)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	7 / 123

P2～A2 支承配置図

平 面 図 縮尺=1:400



支承平面座標

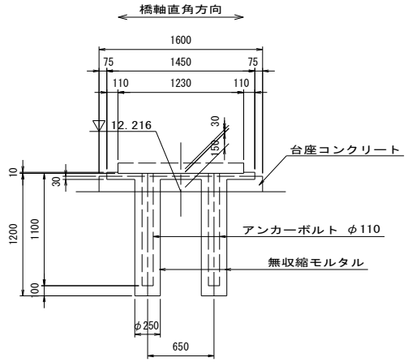
		P2 (S1)		P3		P4		P5		P6		A2 (S2)	
		G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2
大座標系	X	−144584. 3095	−144588. 4605	−144602. 9892	−144607. 1402	−144626. 1578	−144630. 3088	−144649. 3264	−144653. 4774	−144672. 4950	−144676. 6460	−144691. 1457	−144695. 2967
	Y	32625. 9010	32624. 1634	32670. 5240	32668. 7864	32725. 8704	32724. 1327	32781. 2167	32779. 4790	32836. 5630	32834. 8254	32881. 1168	32879. 3792
小座標系	x	0. 6250	0. 6250	49. 0000	49. 0000	109. 0000	109. 0000	169. 0000	169. 0000	229. 0000	229. 0000	277. 3000	277. 3000
	y	2. 2500	−2. 2500	2. 2500	−2. 2500	2. 2500	−2. 2500	2. 2500	−2. 2500	2. 2500	−2. 2500	2. 2500	−2. 2500

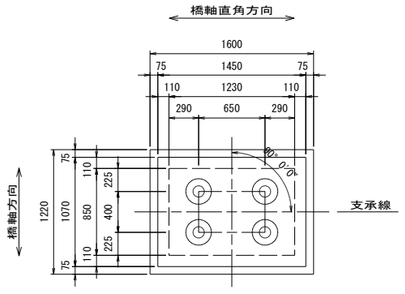
構造高表

		P2 (S1)		P3		P4		P5		P6		A2 (S2)	
		G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2
路面標高	Z0	16. 201	16. 201	16. 298	16. 298	16. 133	16. 133	15. 953	15. 953	15. 773	15. 773	15. 628	15. 628
舗装厚	T1 (mm)	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
調整コンクリート	T2 (mm)	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
床版厚	T3 (mm)	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260
ハンチ厚	T4 (mm)	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
モルタル厚	T5 (mm)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
桁高	H1 (mm)	2900	2900	2900	2900	2900	2900	2900	2900	2900	2900	2900	2900
下フランジ厚	T6 (mm)	26	26	52	52	53	53	53	53	52	52	26	26
ソールプレート厚	T7 (mm)	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	32	32
支承高	H2 (mm)	334	334	466	466	466	466	466	466	403	403	254	254
モルタル厚	T8 (mm)	30	30	30	30	31	31	31	31	33	33	48	48
台座高	T9 (mm)	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
合計	Σ (mm)	3985	3985	4143	4143	4145	4145	4145	4145	4083	4083	3898	3898
下部工天端標高	Z1	12. 216	12. 216	12. 155	12. 155	11. 988	11. 988	11. 808	11. 808	11. 690	11. 690	11. 730	11. 730

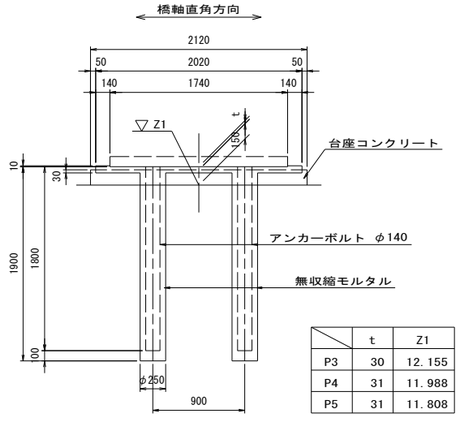
支承箱抜き詳細図 縮尺=1:30

P2橋脚

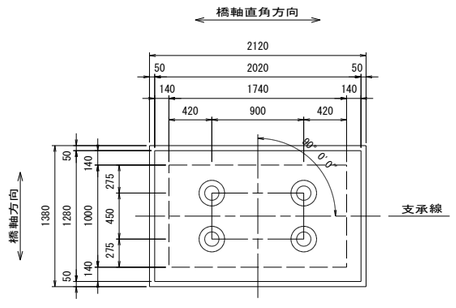




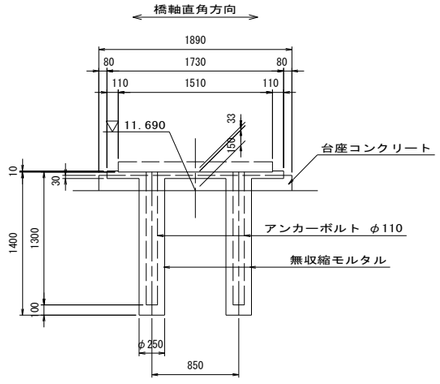
P3, P4, P5橋脚

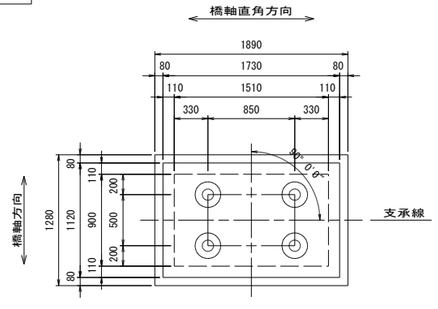


	t	Z1
P3	30	12. 155
P4	31	11. 988
P5	31	11. 808

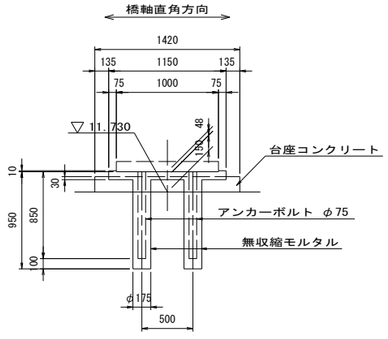


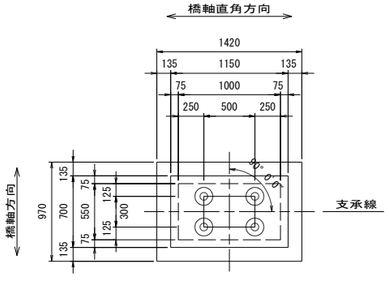
P6橋脚



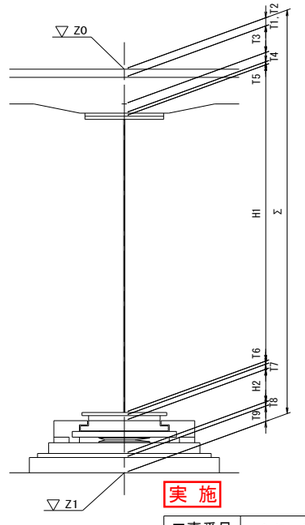


A2橋台





構造高図

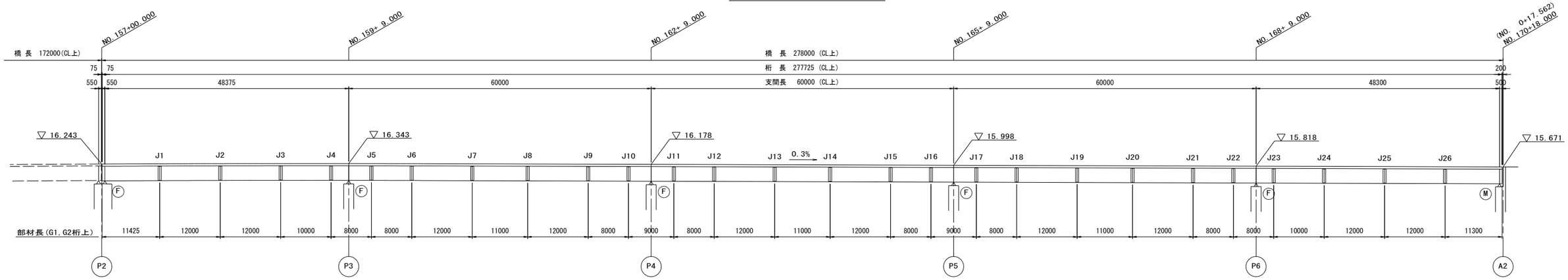


実 施

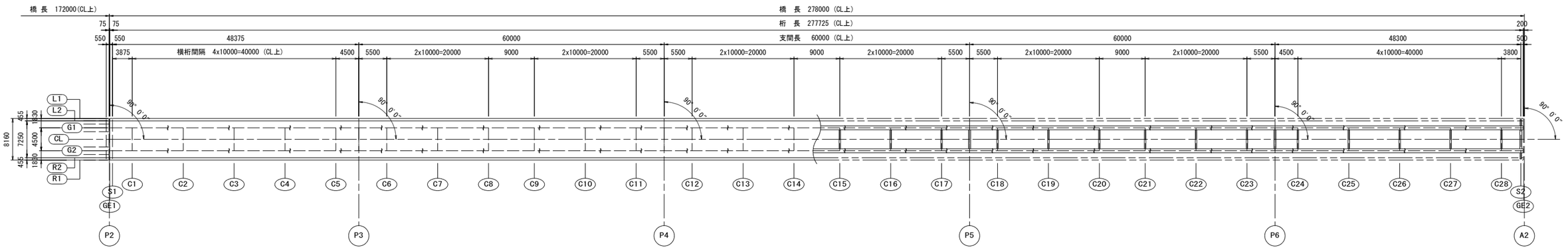
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 支承配置図		
縮尺	1:400	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	8 / 123

P2～A2 上部工構造一般図

側 面 図 縮尺=1:400

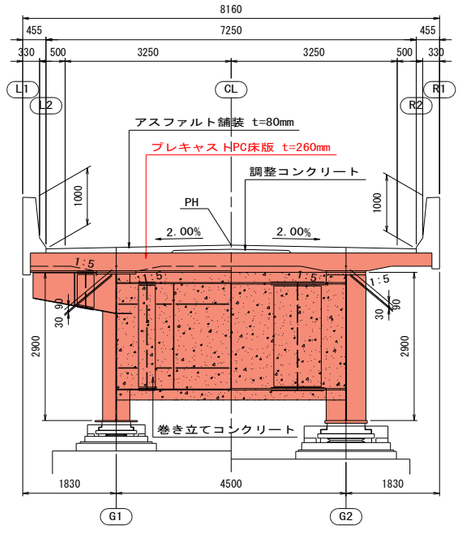


平 面 図 縮尺=1:400

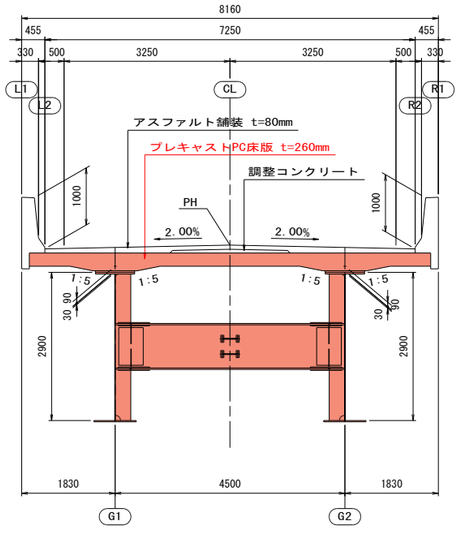


断 面 図 縮尺=1:60

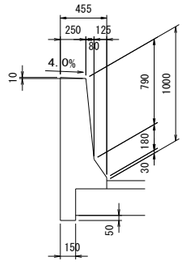
端支点部　　中間支点部



中間部



壁高欄詳細図 縮尺=1:30



設計条件

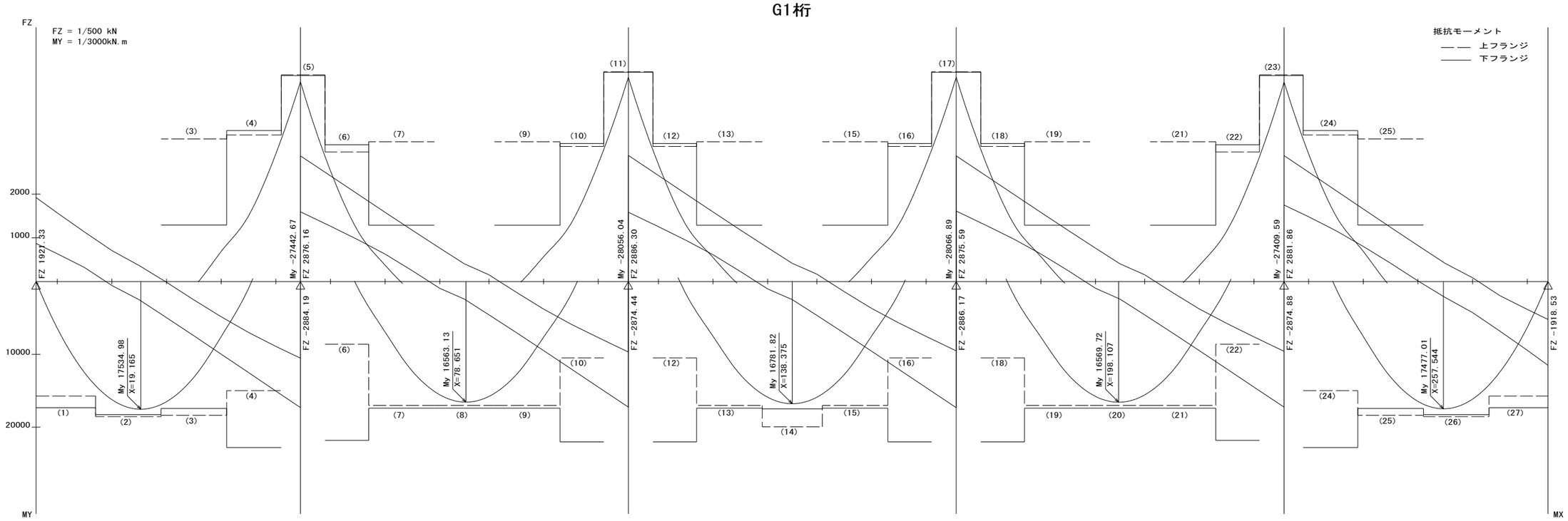
形　式	鋼5径間連続非合成少数鈑桁橋
道路規格	第3種 第2級
設計速度	V=60km/h
橋　長	L=278.000m
支 間 長	L=48.375m+3x60.000m+48.300m
幅　員	総幅員 W=8.160m ，有効幅員 W=7.500m
斜　角	90° 00' 00"
設計荷重	B活荷重
計画交通量	6200台／日
大型車交通量	480台／日 方向 （大型車混入率12.9%）
橋の重要度	B種の橋
平面線形	R=600m～A=250m～R=∞
縦断勾配	i=1.5% ～ i=0.3% VCL=140m, VCR=7780m
横断勾配	i=3.0%（片勾配）～ i=2.0%（拝み勾配）
床　版	プレキャストPC床版 t=260mm （σck=50N/mm2）
舗　装	アスファルト舗装 t=80mm
使用鋼材	SS400, SM400, SM490Y, SM520, S10T
適用示方書	道路橋示方書 同解説 1～5（平成24年 3月）

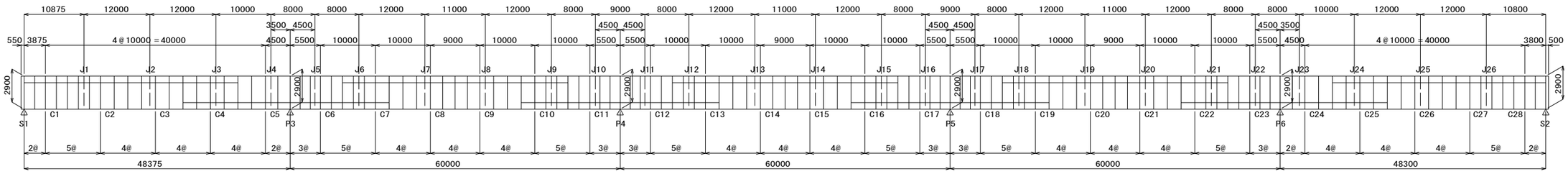
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 上部工構造一般図		
縮　尺	1:400	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	9 / 123

P2～A2 応力図（その1）

G1桁





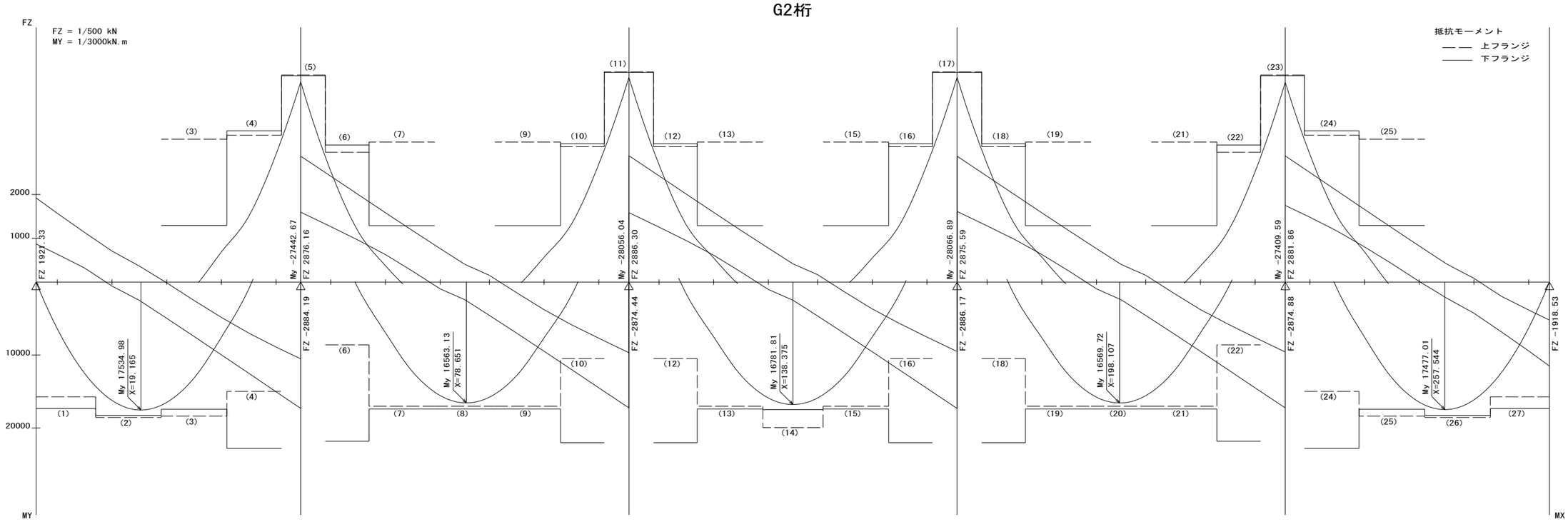
断面番号			1	2	3		4		5	6	7		8	9		10	11	12	13		14	15		16	17	18	19		20	21		22	23	24		25		26	27
主桁形状	上フランジ	板幅	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770
		板厚	33	35	35	35	31	31	50	25	34	34	34	34	34	27	51	27	34	34	36	34	34	27	51	27	34	34	34	34	34	25	50	31	31	35	35	35	33
		材質	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB
	ウェブ	板幅	2867	2865	2865	2865	2869	2869	2850	2875	2866	2866	2866	2866	2866	2873	2849	2873	2866	2866	2864	2866	2866	2873	2849	2873	2866	2866	2866	2866	2866	2875	2850	2869	2869	2865	2865	2865	2867
		板厚	14	14	14	14	18	18	18	18	14	14	14	14	14	18	18	18	14	14	14	14	14	18	18	18	14	14	14	14	14	18	18	18	18	14	14	14	14
		材質	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA
	下フランジ	板幅	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830
		板厚	26	28	26	26	37	37	52	36	26	26	26	26	26	36	53	36	26	26	26	26	26	36	53	36	26	26	26	26	26	36	52	37	37	26	26	28	26
		材質	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB
主桁応力度	上フランジ	σ	-159.3	-186.4	-181.2	-81.1	-66.2	204.0	203.1	202.7	52.2	-165.0	-181.1	-167.9	-83.5	205.1	204.4	204.5	-82.2	-168.9	-176.7	-168.9	-82.1	204.6	204.5	205.2	-83.5	-168.0	-181.2	-165.1	51.8	202.3	202.9	203.8	-66.2	-81.1	-180.7	-185.7	-158.3
		σa	175.3	197.2	197.2	197.2	156.3	210.0	210.0	210.0	210.0	186.1	186.1	186.1	186.1	210.0	210.0	210.0	186.1	186.1	210.0	186.1	186.1	210.0	210.0	210.0	186.1	186.1	186.1	186.1	210.0	210.0	210.0	210.0	156.3	197.2	197.2	197.2	175.3
		σa-σ	16.0	10.8	16.0	116.1	90.1	6.0	6.9	7.3	157.8	21.1	4.9	18.2	102.6	4.9	5.6	5.5	103.9	17.2	33.3	17.2	104.0	5.4	5.5	4.8	102.6	18.1	4.9	21.0	158.2	7.7	7.1	6.2	90.1	116.1	16.5	11.5	17.0
		σt						204.0	144.7	202.7	64.1					205.1	132.0	204.5	76.8					204.6	132.1	205.2					63.6	202.3	144.6	203.8						
		σta						210.0	210.0	210.0	210.0					210.0	210.0	210.0	210.0					210.0	210.0	210.0					210.0	210.0	210.0	210.0						
		σa-t						6.0	65.3	7.3	145.9					4.9	78.0	5.5	133.2					5.4	77.9	4.8					146.4	7.7	65.4	6.2						
	ウェブ	τ	47.9	24.0	20.6	43.5	33.8	50.2	56.2	48.3	45.7	39.5	21.1	21.0	45.6	48.3	56.3	48.6	45.9	21.3	21.4	21.3	45.9	48.6	56.3	48.3	45.6	21.1	21.1	39.4	45.7	48.3	56.2	50.1	33.8	43.5	20.5	24.1	47.8
		τa	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0
		τa-τ	72.1	96.0	99.4	76.5	86.2	69.8	63.8	71.7	74.3	80.5	98.9	99.0	74.4	71.7	63.7	71.4	74.1	98.7	98.6	98.7	74.1	71.4	63.7	71.7	74.4	98.9	98.9	80.6	74.3	71.7	63.8	69.9	86.2	76.5	99.5	95.9	72.2
	下フランジ	σ	173.2	201.4	203.4	-60.8	58.5	-161.6	-189.8	-165.4	-57.6	182.3	200.1	185.5	-70.6	-172.8	-191.0	-172.2	-69.1	186.6	201.5	186.6	-69.1	-172.3	-191.1	-172.8	-70.6	185.6	200.2	182.4	-57.2	-165.0	-189.5	-161.4	58.5	-60.9	202.8	200.8	172.1
		σa	210.0	210.0	210.0	93.4	210.0	170.7	195.6	180.8	93.4	210.0	210.0	210.0	93.4	180.8	195.6	180.8	93.4	210.0	210.0	210.0	93.4	180.8	195.6	180.8	93.4	210.0	210.0	210.0	93.4	180.8	195.6	170.7	210.0	93.4	210.0	210.0	210.0
		σa-σ	36.8	8.6	6.6	32.6	151.5	9.1	5.8	15.5	35.8	27.7	9.9	24.5	22.8	8.1	4.6	8.6	24.3	23.4	8.5	23.4	24.3	8.5	4.5	8.0	22.8	24.4	9.8	27.6	36.2	15.8	6.1	9.3	151.5	32.5	7.2	9.2	37.9
		σt	192.2	194.0	203.4		76.1					202.2	202.2	191.8						192.9	191.6	192.8						191.8	202.4	202.4					76.1			202.8	193.5	190.9
		σta	210.0	210.0	210.0		210.0					210.0	210.0	210.0						210.0	210.0	210.0						210.0	210.0	210.0					210.0			210.0	210.0	210.0
		σa-t	17.8	16.0	6.6		133.9					7.8	7.8	18.2						17.1	18.4	17.2						18.2	7.6	7.6					133.9			7.2	16.5	19.1
	合成応力度	ウェブ	0.70	0.90	0.93	0.93	1.08	1.08	1.09	1.07	0.76	0.76	0.89	0.78	0.78	1.08	1.11	1.08	0.79	0.79	0.90	0.79	1.08	1.11	1.08	0.79	0.79	0.89	0.76	0.76	1.06	1.09	1.08	1.08	0.93	0.93	0.89	0.69
決定要因	上フランジ		垂直応力	垂直応力	垂直応力		垂直応力		垂直応力	垂直応力	板厚差		垂直応力	垂直応力		垂直応力	垂直応力	垂直応力	垂直応力		板厚差	垂直応力		垂直応力	垂直応力	垂直応力	垂直応力		垂直応力	板厚差		垂直応力	垂直応力	垂直応力		垂直応力		垂直応力	垂直応力
	下フランジ		最低板厚	垂直応力	垂直応力		垂直応力		垂直応力	垂直応力	最低板厚		最低板厚	最低板厚		垂直応力	垂直応力	垂直応力	最低板厚		垂直応力	最低板厚		垂直応力	最低板厚		垂直応力		最低板厚	最低板厚		垂直応力	垂直応力	垂直応力		垂直応力		板厚差	最低板厚

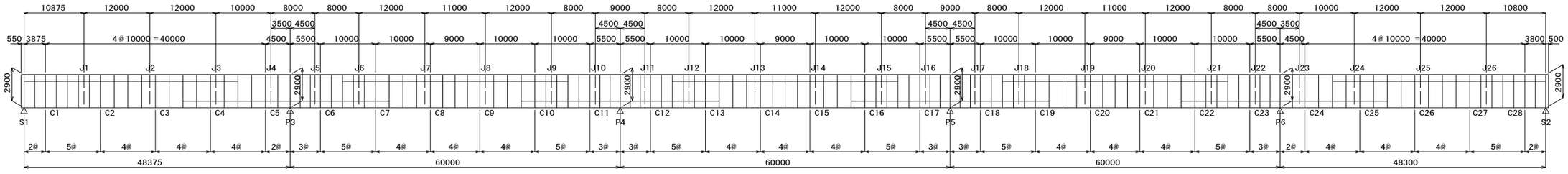
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 応力図(その1)		
縮尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	10 / 123

P2～A2 応力図（その2）

G2桁





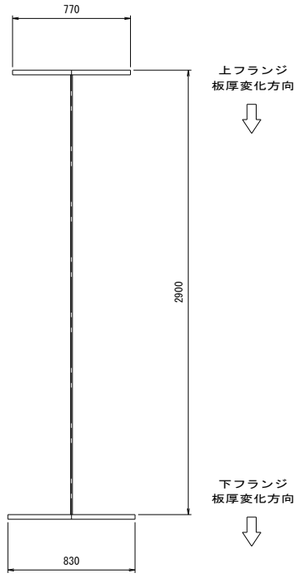
断面番号			1	2	3		4		5	6	7		8	9		10	11	12	13		14	15		16	17	18	19		20	21		22	23	24		25		26	27
主桁形状	上フランジ	板幅	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770	770
		板厚	33	35	35	35	31	31	50	25	34	34	34	34	34	27	51	27	34	34	36	34	34	27	51	27	34	34	34	34	34	25	50	31	31	35	35	35	33
		材質	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB
	ウェブ	板幅	2867	2865	2865	2865	2869	2869	2850	2875	2866	2866	2866	2866	2866	2873	2849	2873	2866	2866	2864	2866	2866	2873	2849	2873	2866	2866	2866	2866	2866	2875	2850	2869	2869	2865	2865	2865	2867
		板厚	14	14	14	14	18	18	18	18	14	14	14	14	14	18	18	18	14	14	14	14	14	18	18	18	14	14	14	14	14	18	18	18	18	14	14	14	14
		材質	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YA	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YA	SM490YA	SM490YA
	下フランジ	板幅	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830	830
		板厚	26	28	26	26	37	37	52	36	26	26	26	26	26	36	53	36	26	26	26	26	26	36	53	36	26	26	26	26	26	36	52	37	37	26	26	28	26
		材質	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM520C-H	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB	SM490YB
主桁応力度	上フランジ	σ	-159.3	-186.4	-181.2	-81.1	-66.2	204.0	203.1	202.7	52.2	-165.0	-181.1	-167.9	-83.5	205.1	204.4	204.5	-82.2	-168.9	-176.7	-168.9	-82.1	204.6	204.5	205.2	-83.5	-168.0	-181.2	-165.1	51.8	202.3	202.9	203.8	-66.2	-81.1	-180.7	-185.7	-158.3
		σa	175.3	197.2	197.2	197.2	156.3	210.0	210.0	210.0	210.0	186.1	186.1	186.1	186.1	210.0	210.0	210.0	186.1	186.1	210.0	186.1	186.1	210.0	210.0	210.0	186.1	186.1	186.1	186.1	210.0	210.0	210.0	210.0	156.3	197.2	197.2	197.2	175.3
		σa－σ	16.0	10.8	16.0	116.1	90.1	6.0	6.9	7.3	157.8	21.1	4.9	18.2	102.6	4.9	5.6	5.5	103.9	17.2	33.3	17.2	104.0	5.4	5.5	4.8	102.6	18.1	4.9	21.0	158.2	7.7	7.1	6.2	90.1	116.1	16.5	11.5	17.0
		σt						204.0	144.7	202.7	64.1					205.1	132.0	204.5						204.6	132.1	205.2					63.6	202.3	144.6	203.8						
		σta						210.0	210.0	210.0	210.0					210.0	210.0	210.0						210.0	210.0	210.0					210.0	210.0	210.0	210.0						
		σa－t						6.0	65.3	7.3	145.9					4.9	78.0	5.5						5.4	77.9	4.8					146.4	7.7	65.4	6.2						
	ウェブ	τ	47.9	24.0	20.6	43.5	33.8	50.2	56.2	48.3	45.7	39.5	21.1	21.0	45.6	48.3	56.3	48.6	45.9	21.3	21.4	21.3	45.9	48.6	56.3	48.3	45.6	21.1	21.1	39.4	45.7	48.3	56.2	50.1	33.8	43.5	20.5	24.1	47.8
		τa	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0
		τa－τ	72.1	96.0	99.4	76.5	86.2	69.8	63.8	71.7	74.3	80.5	98.9	99.0	74.4	71.7	63.7	71.4	74.1	98.7	98.6	98.7	74.1	71.4	63.7	71.7	74.4	98.9	98.9	80.6	74.3	71.7	63.8	69.9	86.2	76.5	99.5	95.9	72.2
	下フランジ	σ	173.2	201.4	203.4	-60.8	58.5	-161.6	-189.8	-165.4	-57.6	182.3	200.1	185.5	-70.6	-172.8	-191.0	-172.2	-69.1	186.6	201.5	186.6	-69.1	-172.3	-191.1	-172.8	-70.6	185.6	200.2	182.4	-57.2	-165.0	-189.5	-161.4	58.5	-60.9	202.8	200.8	172.1
		σa	210.0	210.0	210.0	93.4	210.0	170.7	195.6	180.8	93.4	210.0	210.0	210.0	93.4	180.8	195.6	180.8	93.4	210.0	210.0	210.0	93.4	180.8	195.6	180.8	93.4	210.0	210.0	210.0	93.4	180.8	195.6	170.7	210.0	93.4	210.0	210.0	210.0
		σa－σ	36.8	8.6	6.6	32.6	151.5	9.1	5.8	15.5	35.8	27.7	9.9	24.5	22.8	8.1	4.6	8.6	24.3	23.4	8.5	23.4	24.3	8.5	4.5	8.0	22.8	24.4	9.8	27.6	36.2	15.8	6.1	9.3	151.5	32.5	7.2	9.2	37.9
		σt	192.2	194.0	203.4		76.1					202.2	202.2	191.8						192.9	191.6	192.8						191.8	202.4	202.4					76.1			202.8	193.5	190.9
		σta	210.0	210.0	210.0		210.0					210.0	210.0	210.0						210.0	210.0	210.0						210.0	210.0	210.0					210.0			210.0	210.0	210.0
		σa－t	17.8	16.0	6.6		133.9					7.8	7.8	18.2						17.1	18.4	17.2						18.2	7.6	7.6					133.9			7.2	16.5	19.1
	合成応力度	ウェブ	0.70	0.90	0.93	0.93	1.08	1.08	1.09	1.07	0.76	0.76	0.89	0.78	0.78	1.08	1.11	1.08	0.79	0.79	0.90	0.79	1.08	1.11	1.08	0.79	0.79	0.89	0.76	0.76	1.06	1.09	1.08	1.08	0.93	0.93	0.89	0.69
決定要因	上フランジ		垂直応力	垂直応力	垂直応力		垂直応力		垂直応力	垂直応力	板厚差		垂直応力	垂直応力		垂直応力	垂直応力	垂直応力	垂直応力		板厚差	垂直応力		垂直応力	垂直応力	垂直応力	垂直応力		垂直応力	板厚差		垂直応力	垂直応力	垂直応力		垂直応力		垂直応力	垂直応力
	下フランジ		最低板厚	垂直応力	垂直応力		垂直応力		垂直応力	垂直応力	最低板厚		最低板厚	最低板厚		垂直応力	垂直応力	垂直応力	最低板厚		垂直応力	最低板厚		垂直応力	垂直応力	垂直応力	最低板厚		最低板厚	最低板厚		垂直応力	垂直応力	垂直応力		垂直応力		板厚差	最低板厚

実施

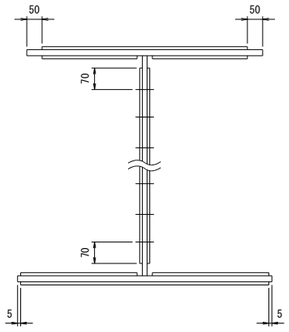
工事番号	令和元年度 受（Ⅲ）橋第2-2-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ） 橋梁上部工（加賀野高架橋）その2工事		
図面名	P2～A2 応力図（その2）		
縮尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	11 / 123

P2～A2 主桁共通詳細図（その1）

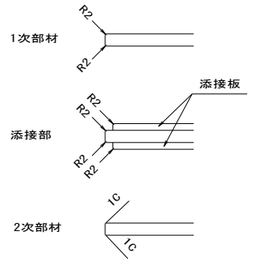
主桁板厚変化方向 縮尺=1:20



主桁添接板詳細 縮尺=1:10

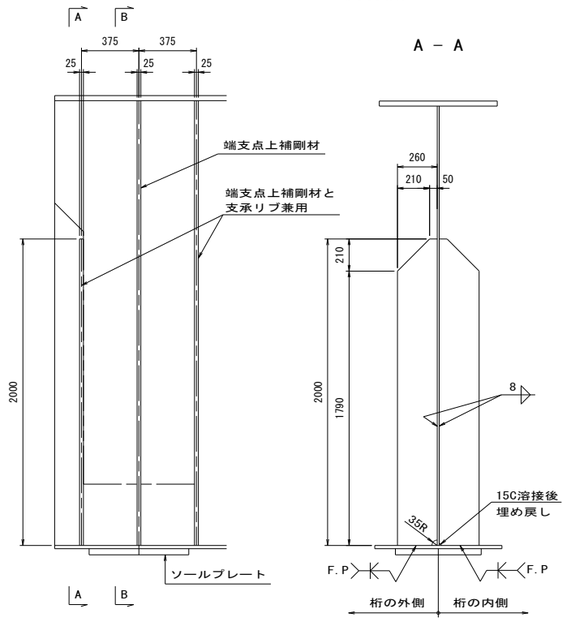


角部処理詳細

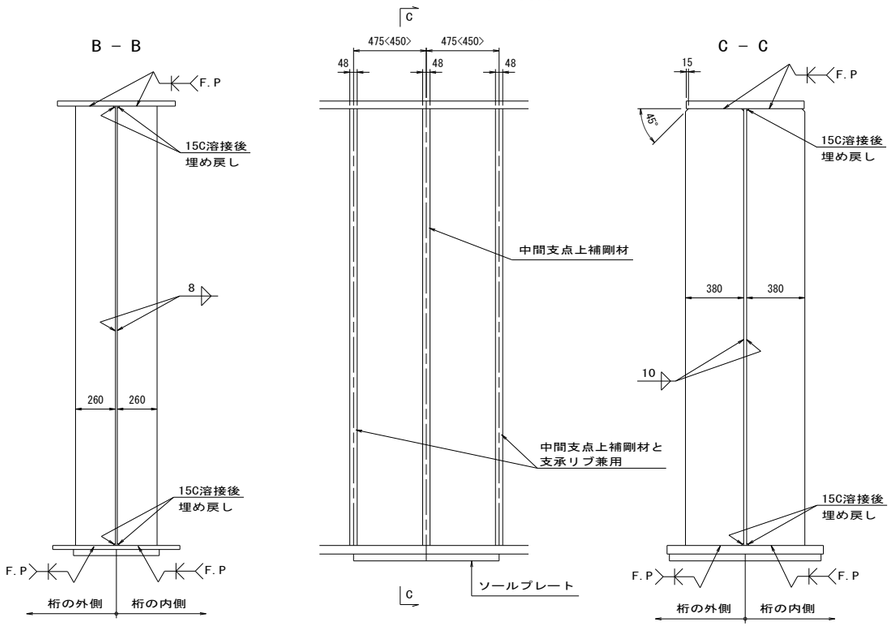


垂直補剛材詳細 縮尺=1:20

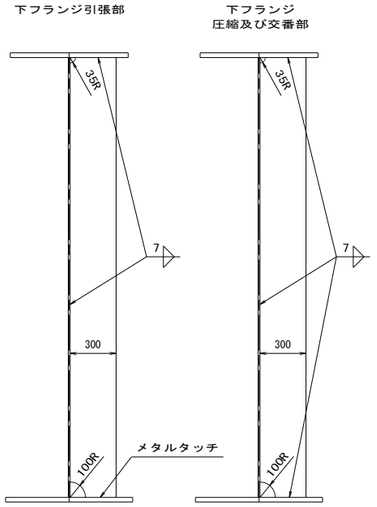
端支点部



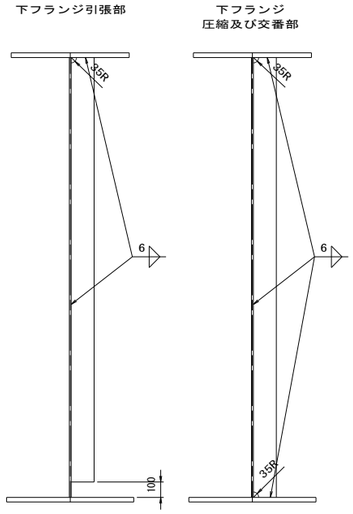
中間支点部 P3, P4, P5<P6>



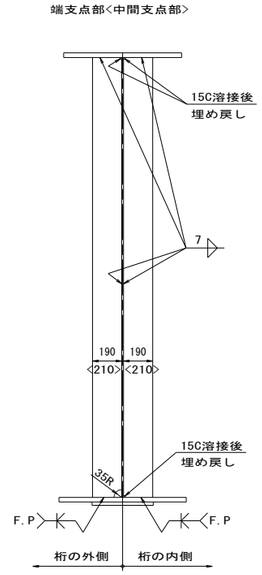
格点部



中間部

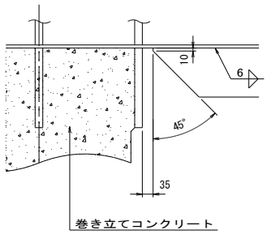


ジャッキアップ補剛材部

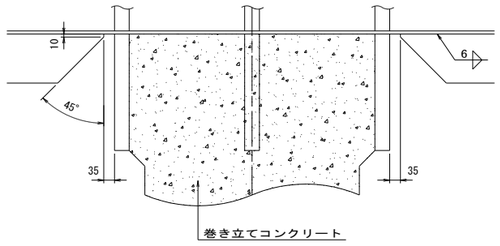


水平補剛材詳細図 縮尺=1:10

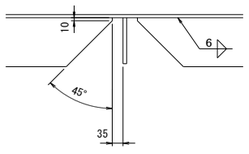
端支点部



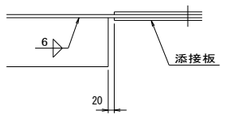
中間支点部



一般部



添接位置



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 特記なきスカーラップは全て35Rとする

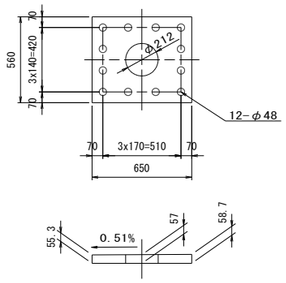
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁共通詳細図(その1)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	12 / 123

P2～A2 主桁共通詳細図（その2）

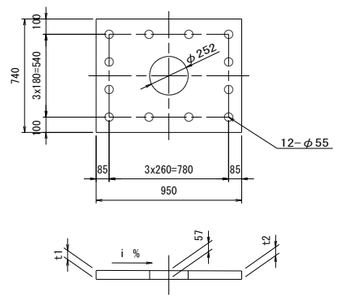
ソールプレート詳細 縮尺=1:20

P2（S1）



1-SOLE PL 560x65x650（SM490C）

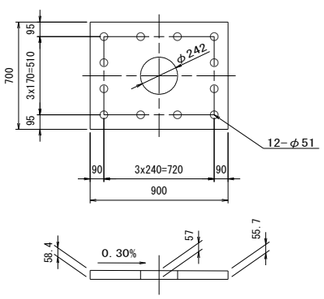
P3, P4, P5



1-SOLE PL 740x65x950（SM490C）

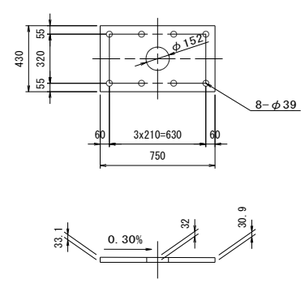
	t1	t2	i %
P3	57.4	56.6	0.08
P4, P5	58.4	55.6	0.30

P6



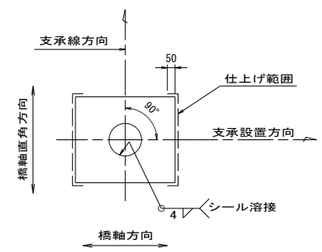
1-SOLE PL 700x65x900（SM490C）

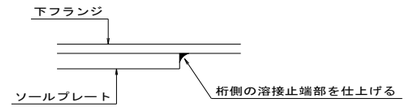
A2（S2）



1-SOLE PL 430x40x750（SM490B）

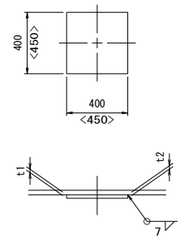
ソールプレート溶接仕上げ範囲





ジャッキアップベース詳細 縮尺=1:20

端支点部<中間支点部>



1-BASE PL 400x T x400
< 2-BASE PL 450x T x450 >

	t1	t2	T
P2（S1）	22.0	24.0	28
P3	22.6	22.0	25
P4	23.4	22.0	28
P5	23.4	22.0	28
P6	23.4	22.0	28
A2（S2）	23.2	22.0	28

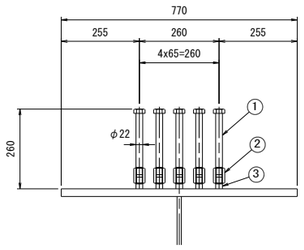
注）ジャッキアップベースプレートの底面には、
反力値をポンチ打ちすること。

R=0000KN ※ 反力値は主桁各支点部図面を参照のこと。

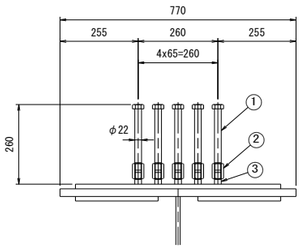
スタッド配置断面図 縮尺=1:10

端支点部，中間支点部

一般部



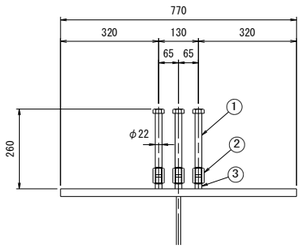
添接部



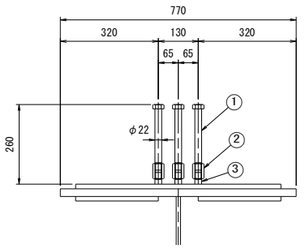
1組
① 六角ボルト 5-M22x200（SS400）
② 六角ナット 5-M22x50（SS400）
③ ねじ付きスタッド 5-M22x38（S=20）（SS400）

中間部

一般部

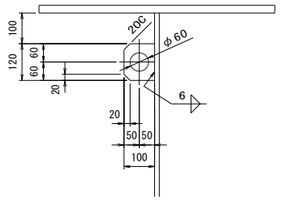


添接部



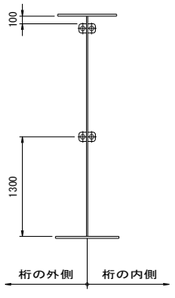
1組
① 六角ボルト 3-M22x200（SS400）
② 六角ナット 3-M22x50（SS400）
③ ねじ付きスタッド 3-M22x38（S=20）（SS400）

足場用吊り金具詳細図 縮尺=1:10



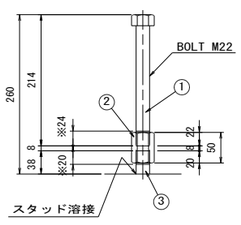
1-PL 100x9x120

吊り金具配置図

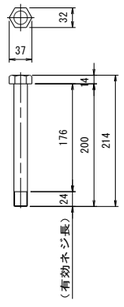


※ 取り付け間隔は1.8m以内とする。
※ 支点上の取付位置は、横桁との取合いを考慮し配置する。

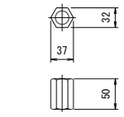
スタッド詳細図 縮尺=1:5



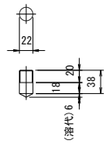
※印は、有効ネジ部の長さを示す



① 六角ボルト（ M22x200 ）



② カプラー（六角高ナット）
（ M22x50 ）



③ ねじ付きスタッド
（ M22x38 ）

注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする

実 施

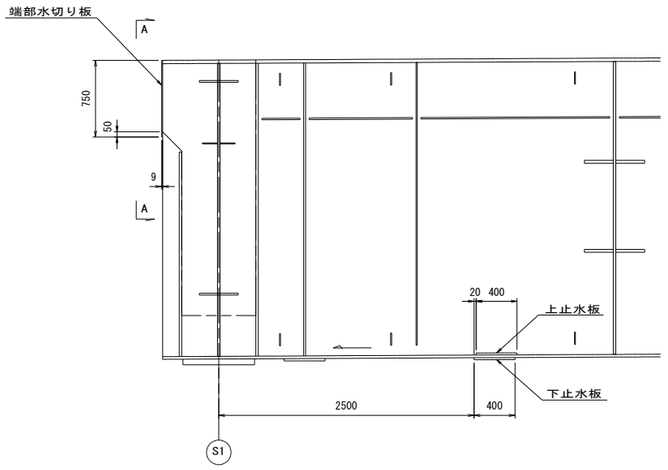
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁共通詳細図(その2)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	13 / 123

P2～A2 主桁共通詳細図(その3)

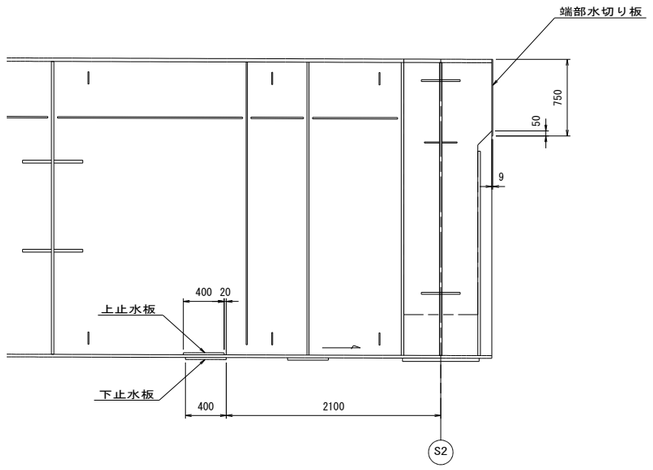
桁端部水切り板，止水板設置位置 縮尺=1:30

G1桁，G2桁共通

P2(S1)



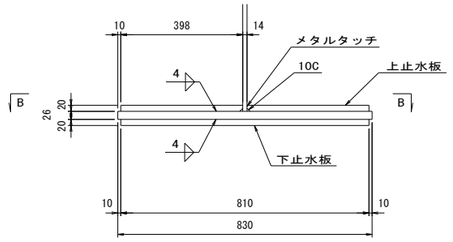
A2(S2)



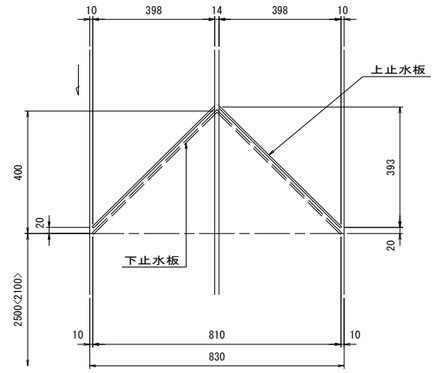
下フランジ止水板詳細 縮尺=1:10

G1桁，G2桁共通

P2<A2>



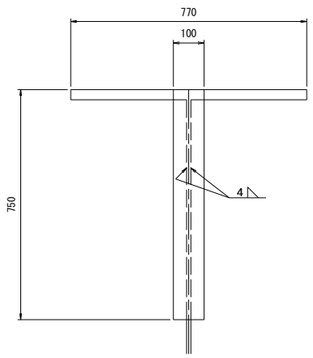
B － B



1-PL 20x6x1138
2-PL 20x6x 559

桁端部水切り板 縮尺=1:10

A － A



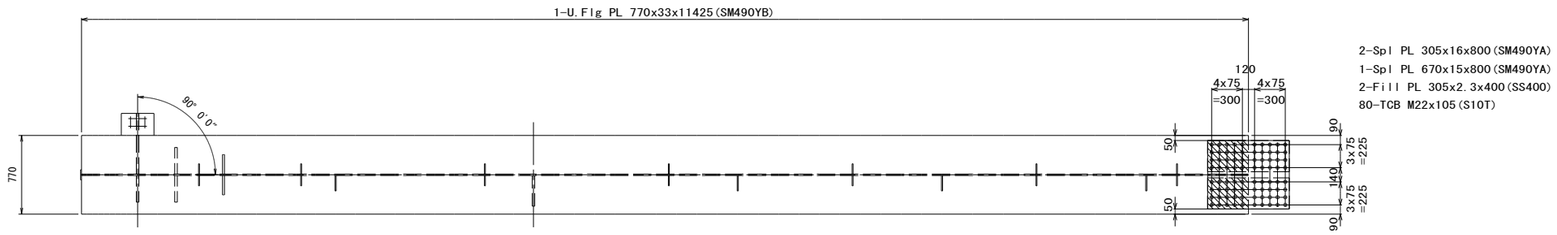
1-PL 100x9x750

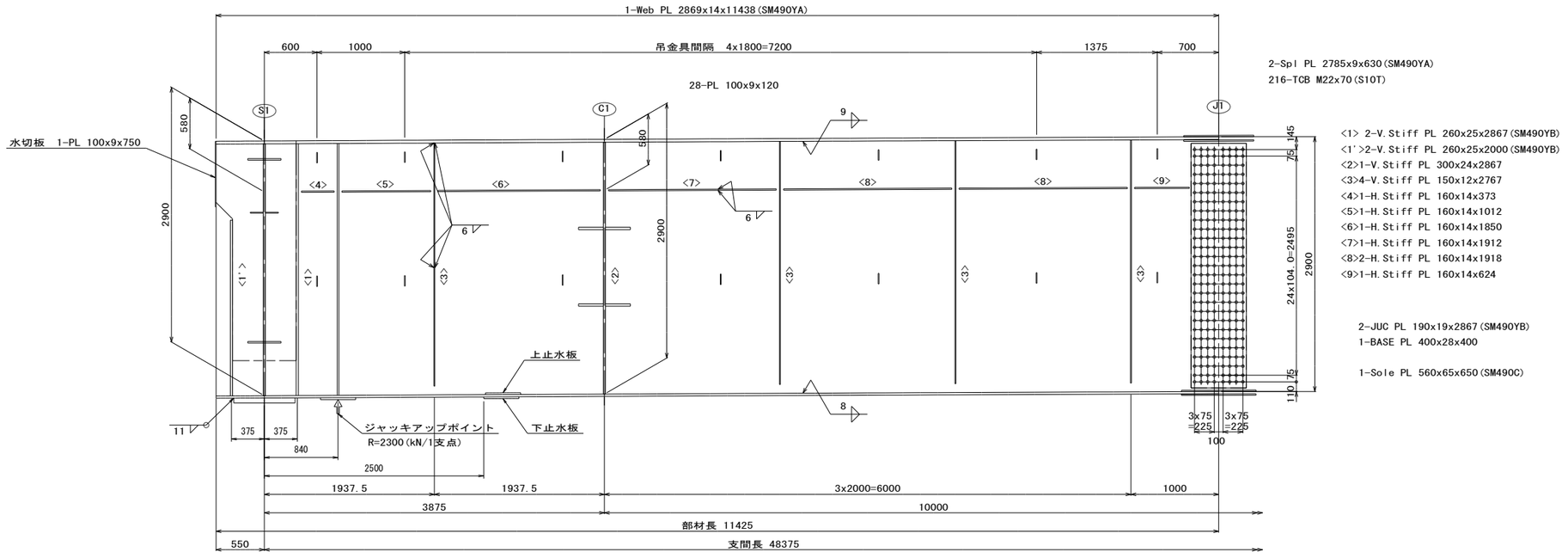
注)
1 特記なき材質は全てSM400Aとする

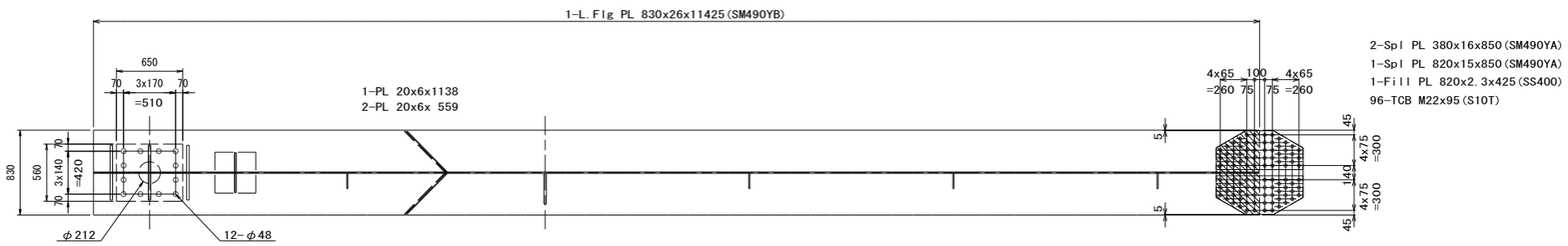
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁共通詳細図(その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	14 / 123

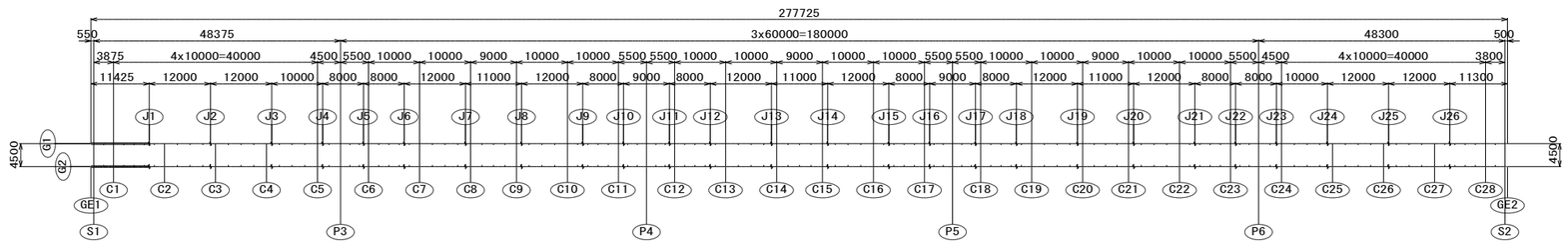
P2～A2 主桁G1 G2（その1） 縮尺=1:30







配 置 図



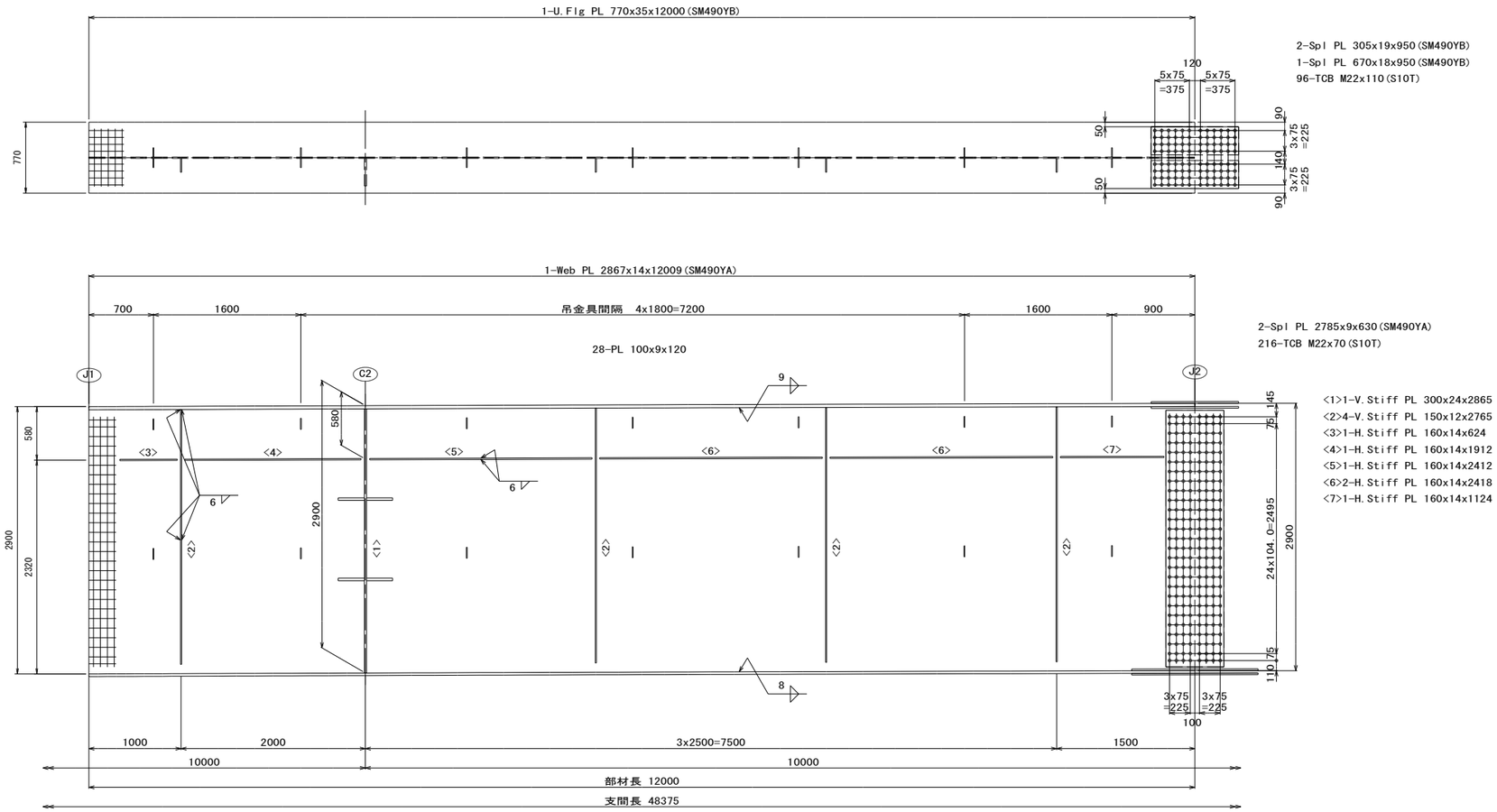
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと
5. 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
   また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること

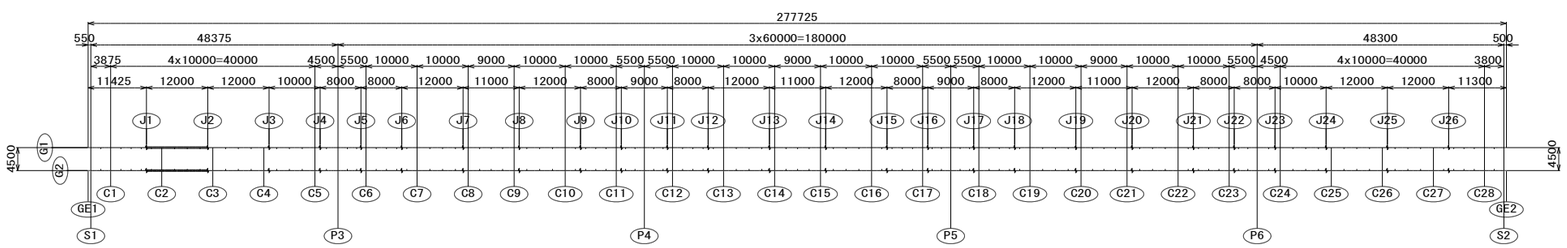
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	15 / 123

P2～A2 主桁G1 G2(その2)　縮尺=1:30



配 置 図



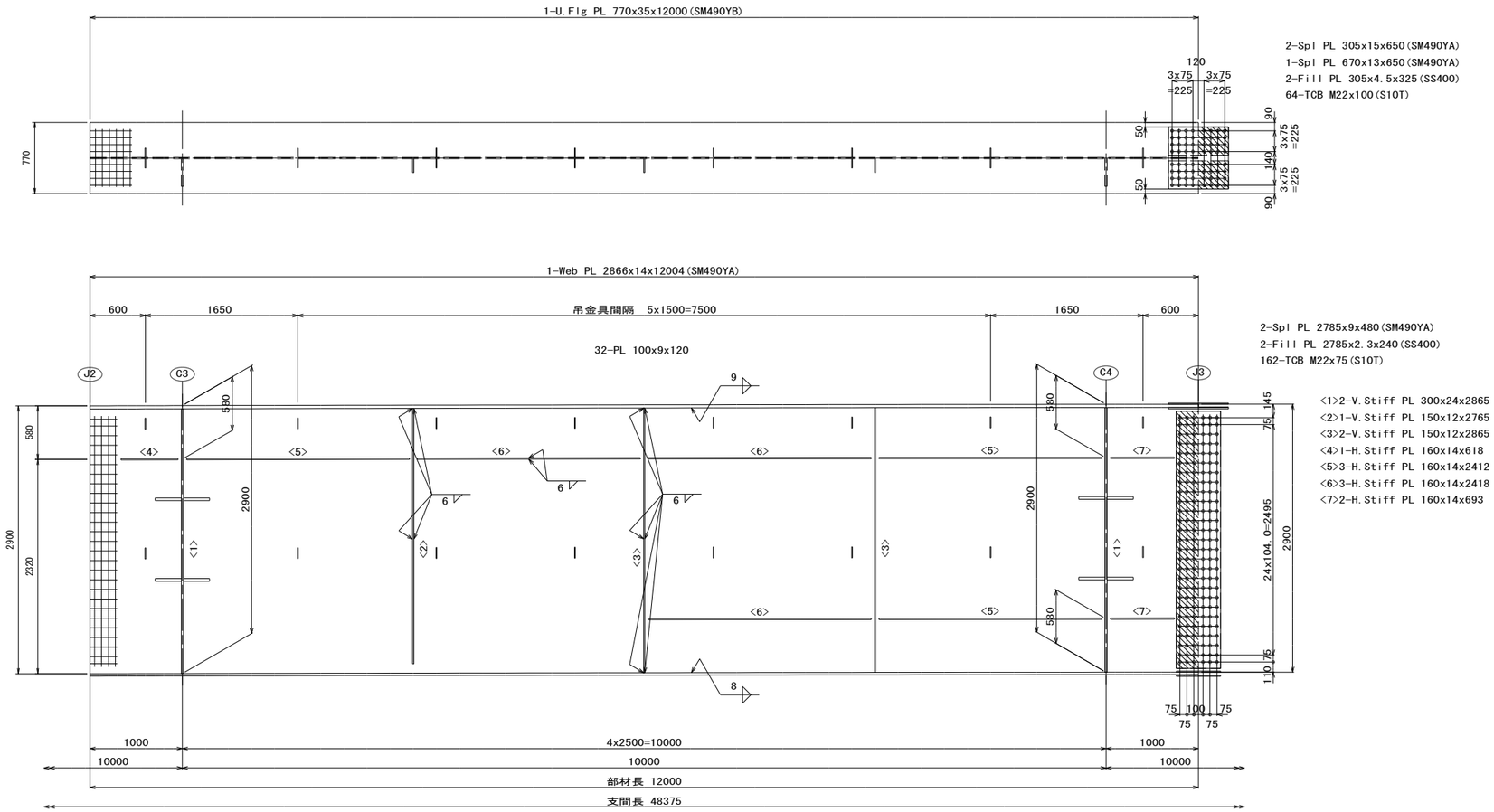
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

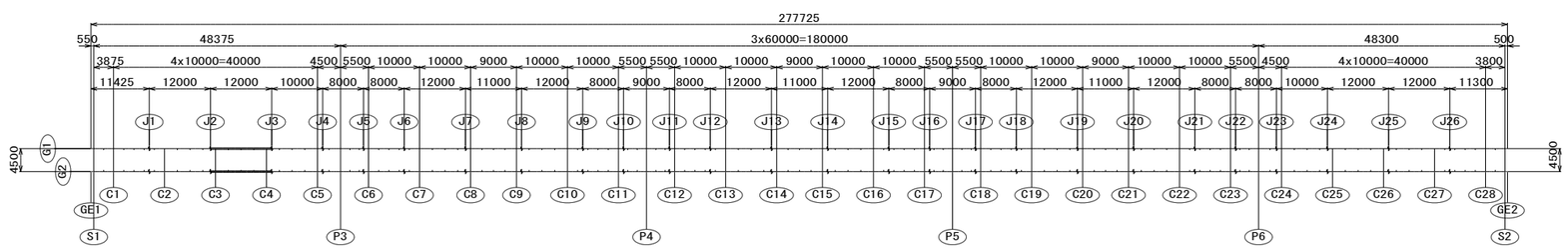
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	16 / 123

P2～A2 主桁G1 G2(その3)　縮尺=1:30



配 置 図



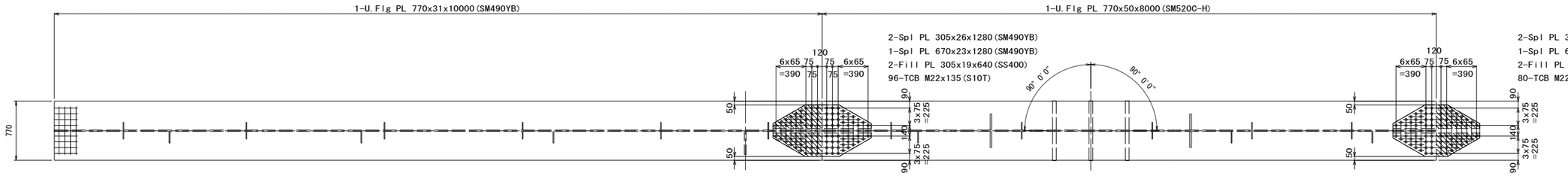
注記

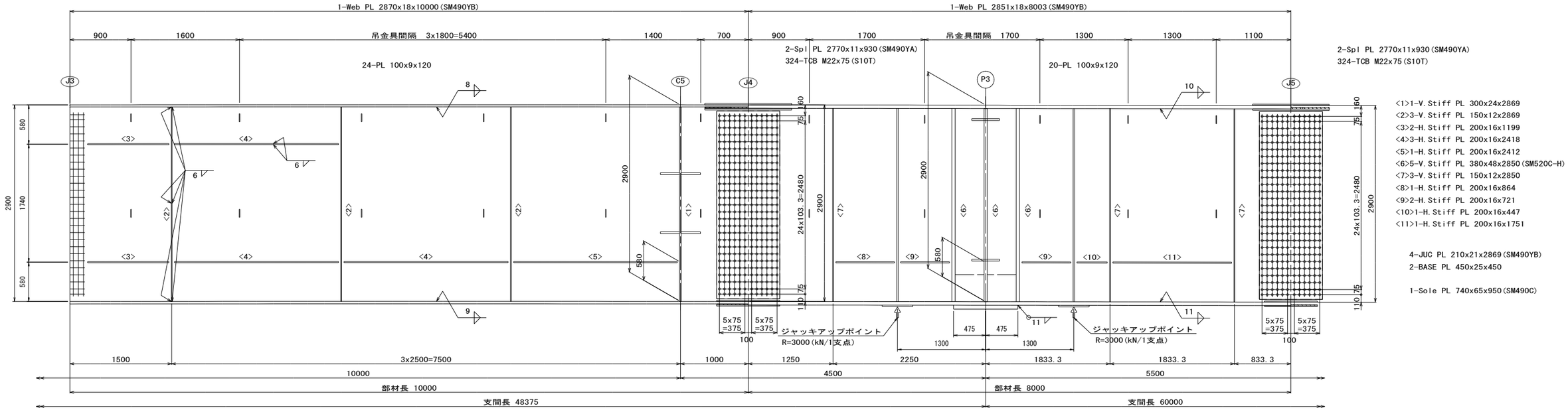
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

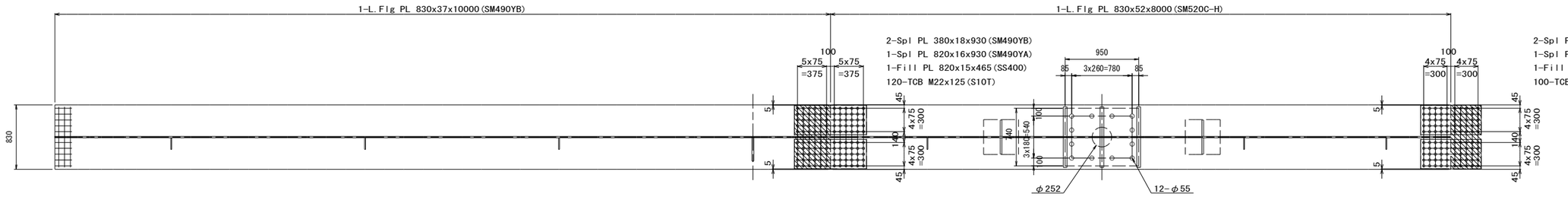
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	17 / 123

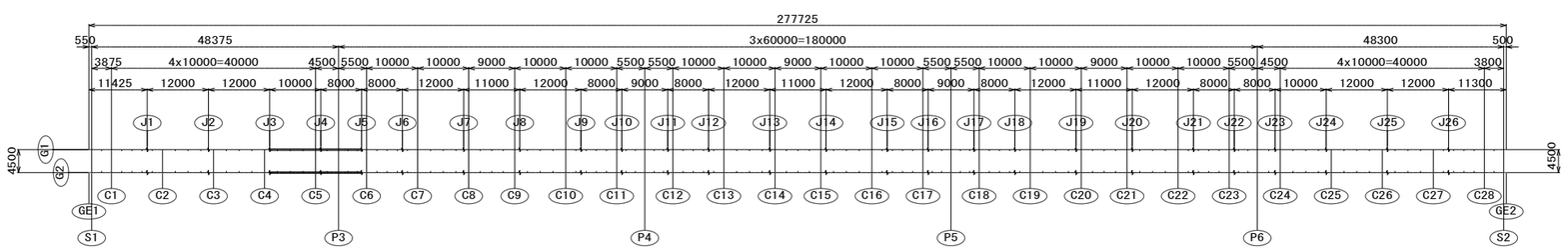
P2～A2 主桁G1 G2（その4） 縮尺=1:30







配 置 図



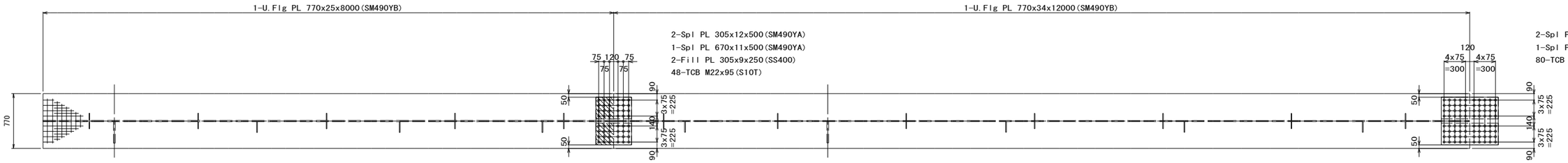
注記

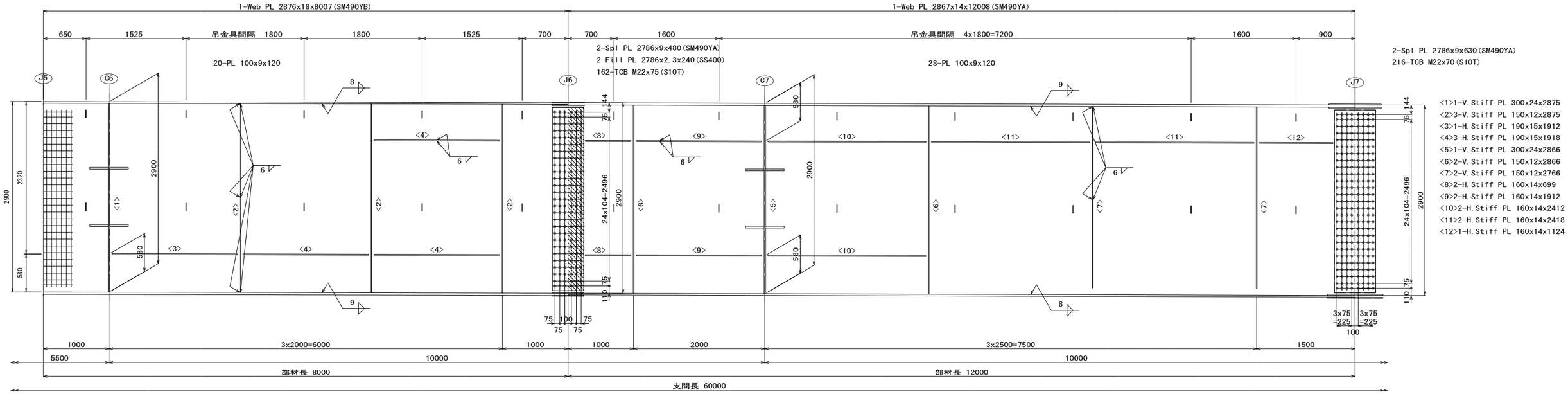
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 寸印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと
5. 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
   また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること

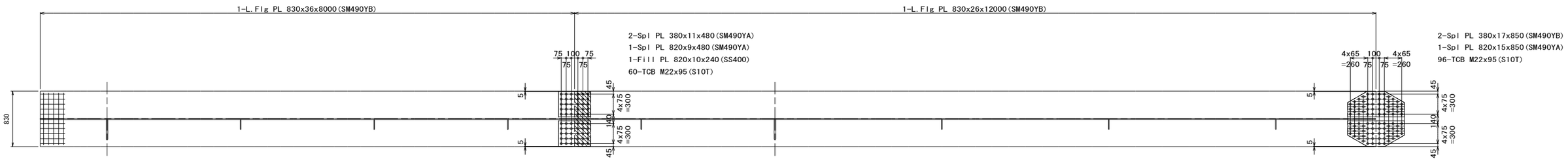
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その4)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	18 / 123

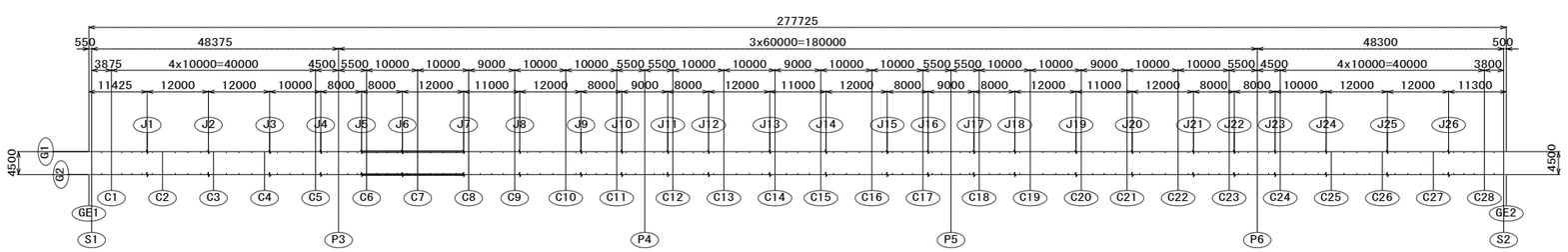
P2～A2 主桁G1 G2（その5） 縮尺=1:30







配 置 図



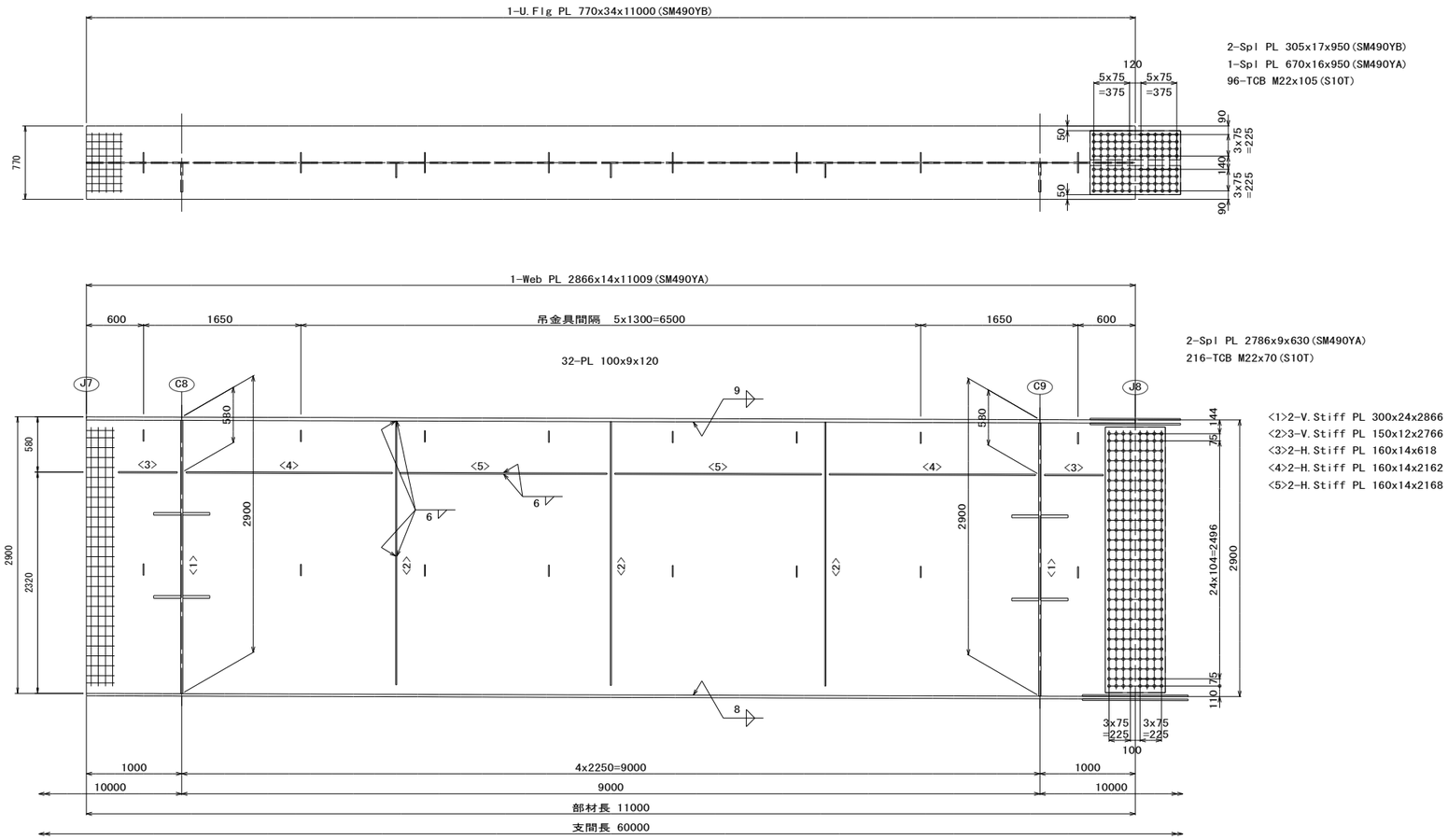
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

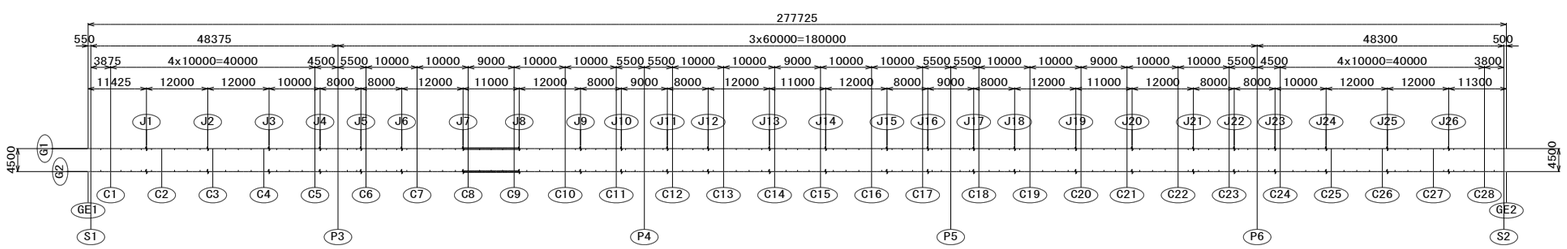
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その5)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	19 / 123

P2～A2 主桁G1 G2（その6） 縮尺=1:30



配 置 図



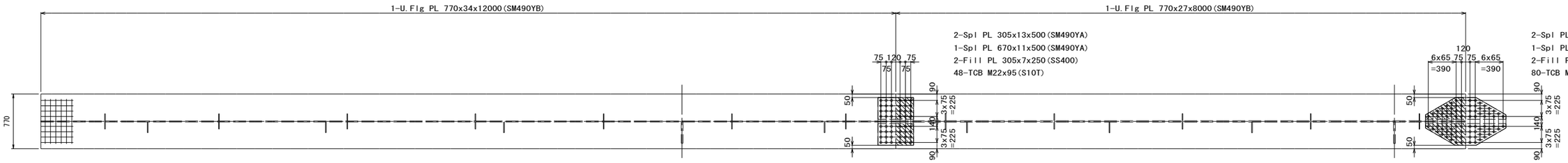
注記

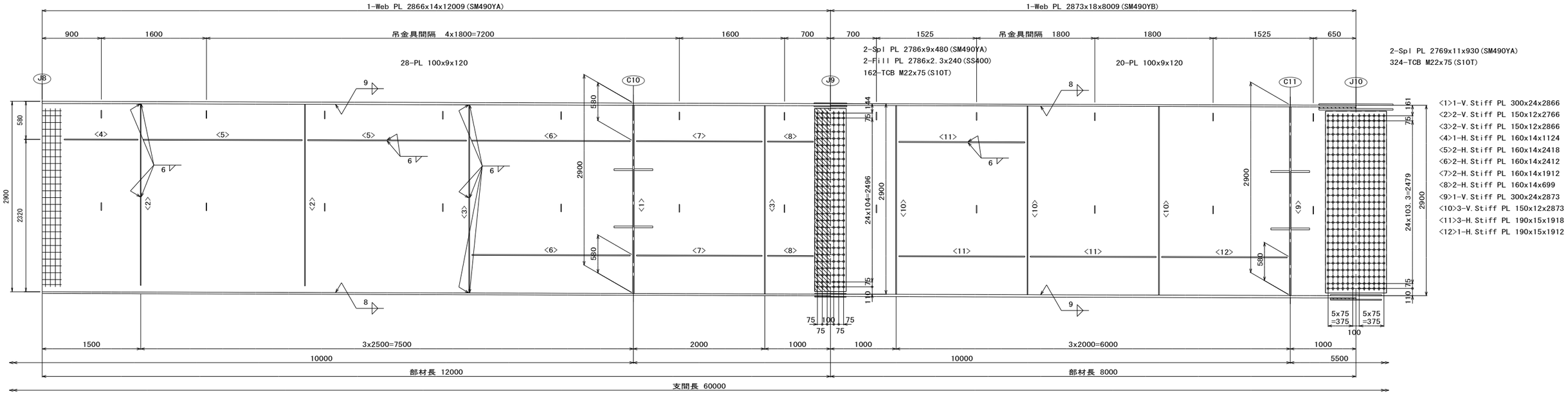
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

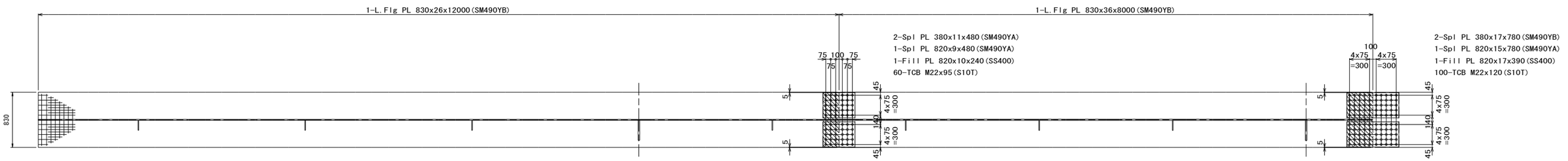
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その6)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	20 / 123

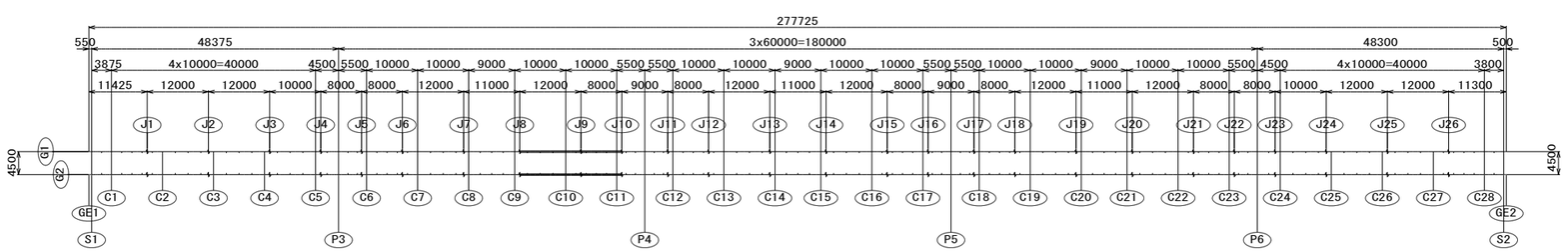
P2～A2 主桁G1 G2（その7） 縮尺=1:30







配 置 図



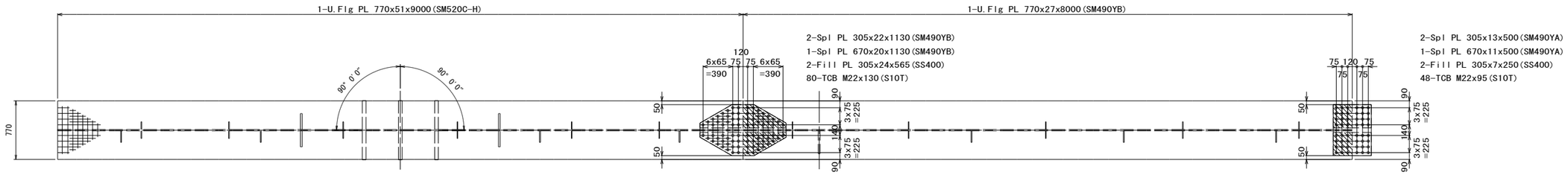
注記

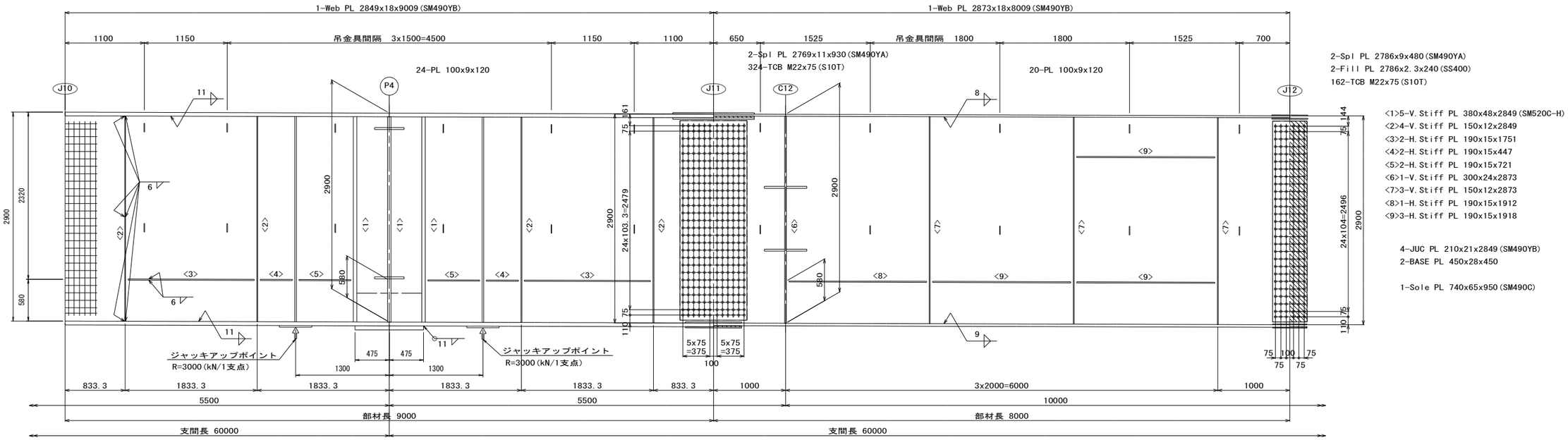
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

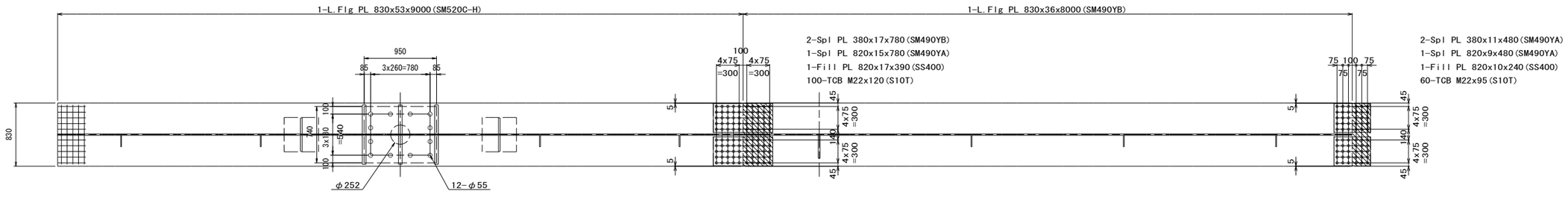
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その7)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	21 / 123

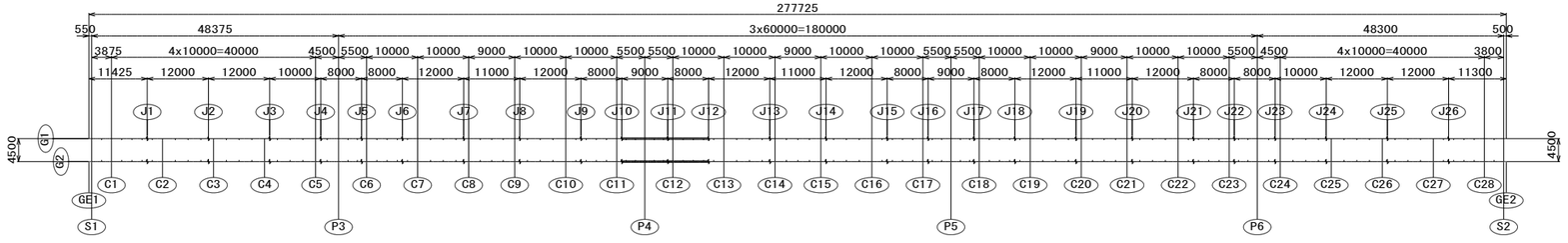
P2～A2 主桁G1 G2（その8） 縮尺=1:30







配 置 図



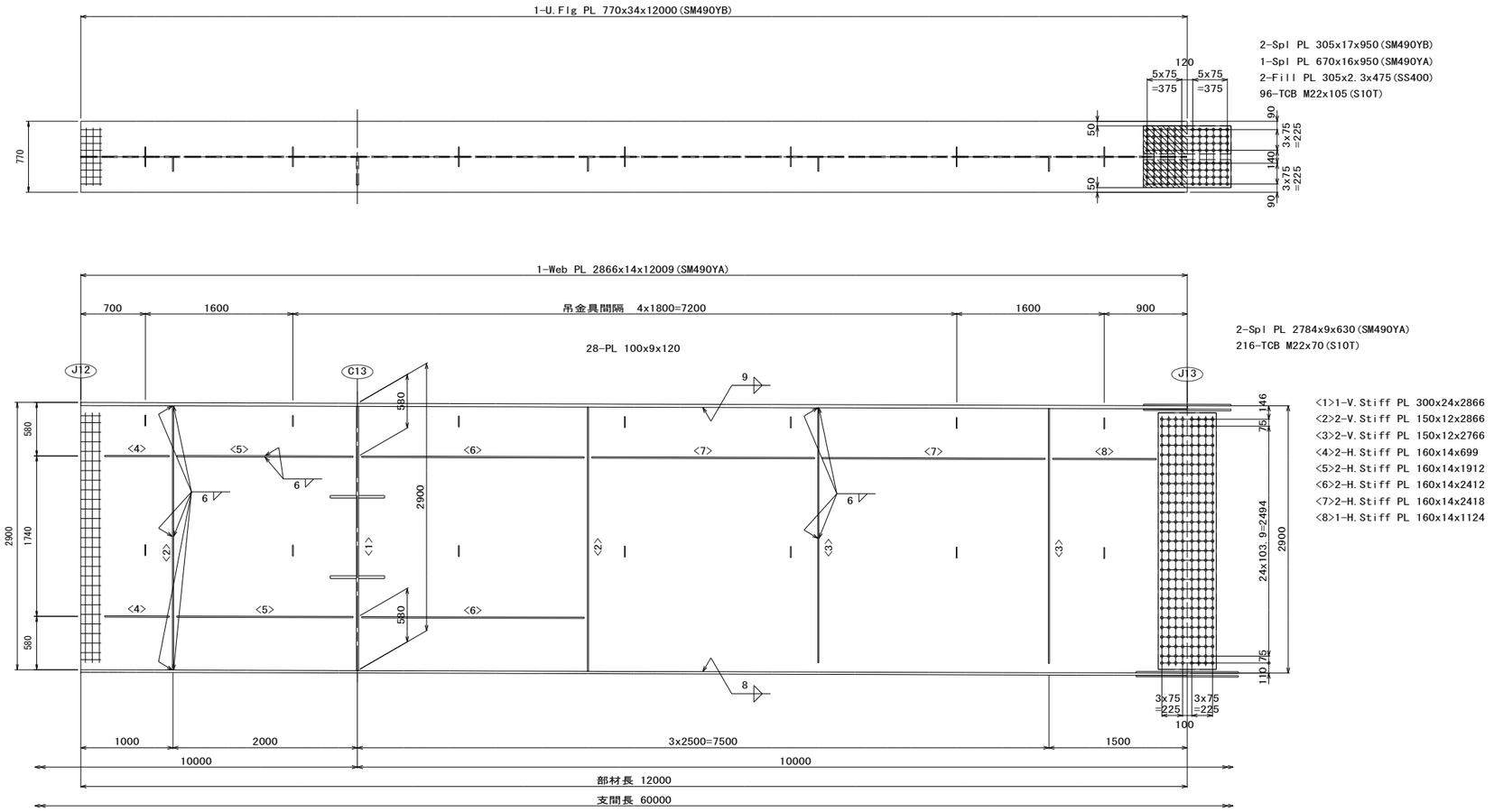
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 中印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと
5. 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
   また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること

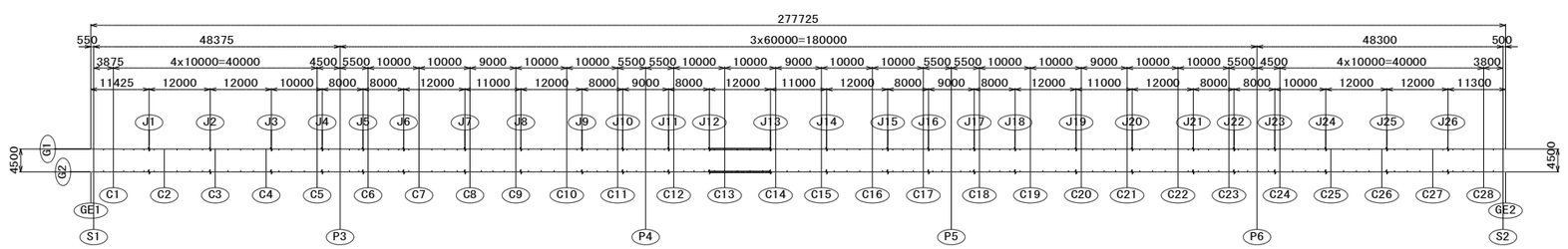
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その8)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	22 / 123

P2～A2 主桁G1 G2(その9)　縮尺=1:30



配 置 図



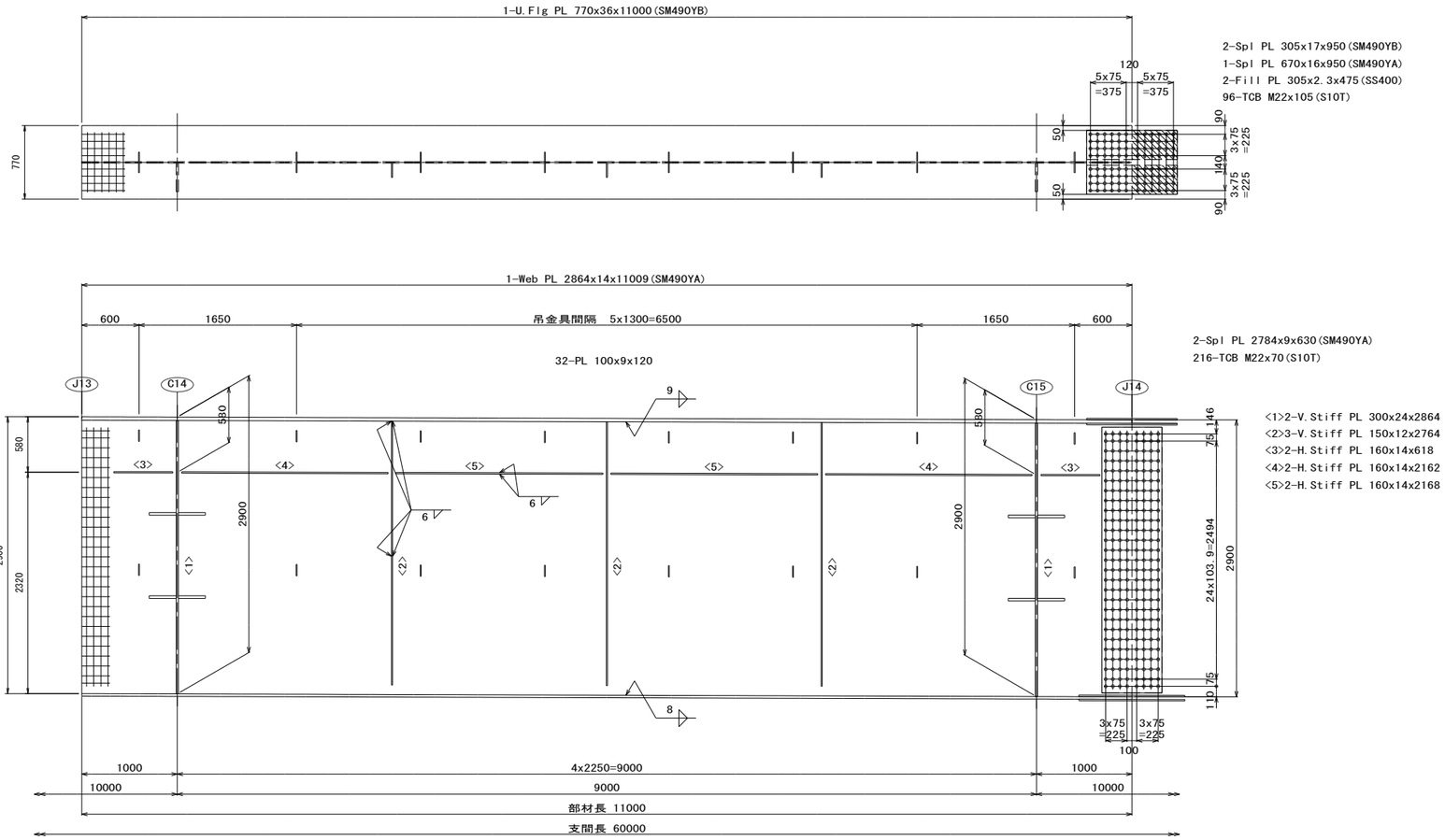
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

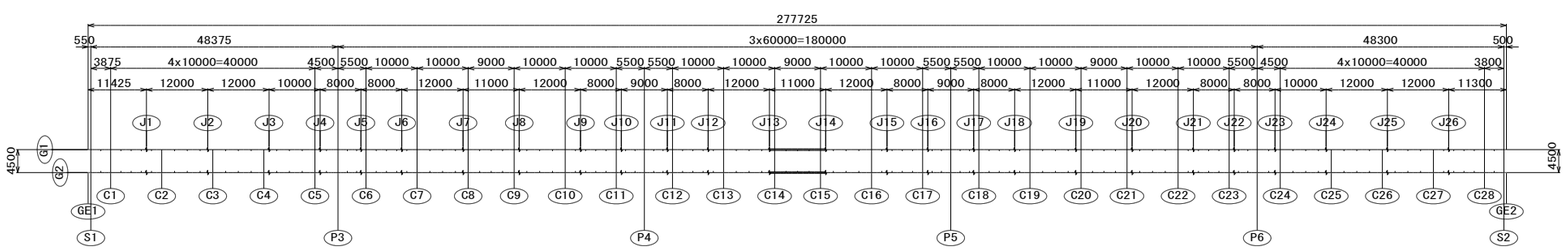
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その9)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	23 / 123

P2～A2 主桁G1 G2(その10)　縮尺=1:30



配 置 図



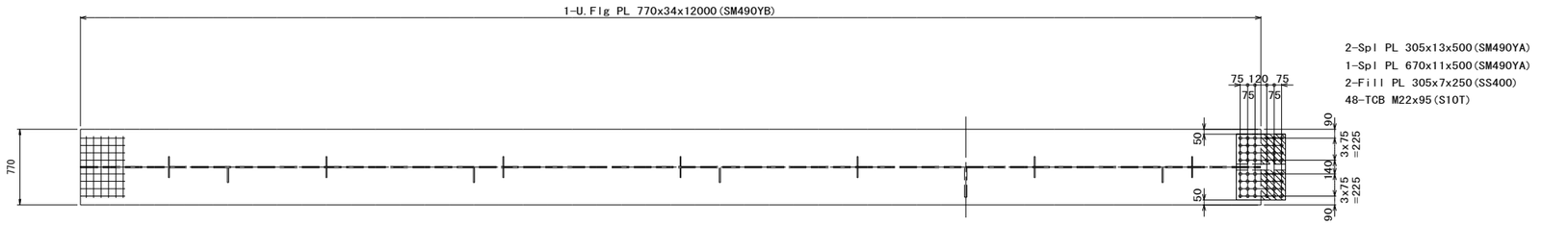
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

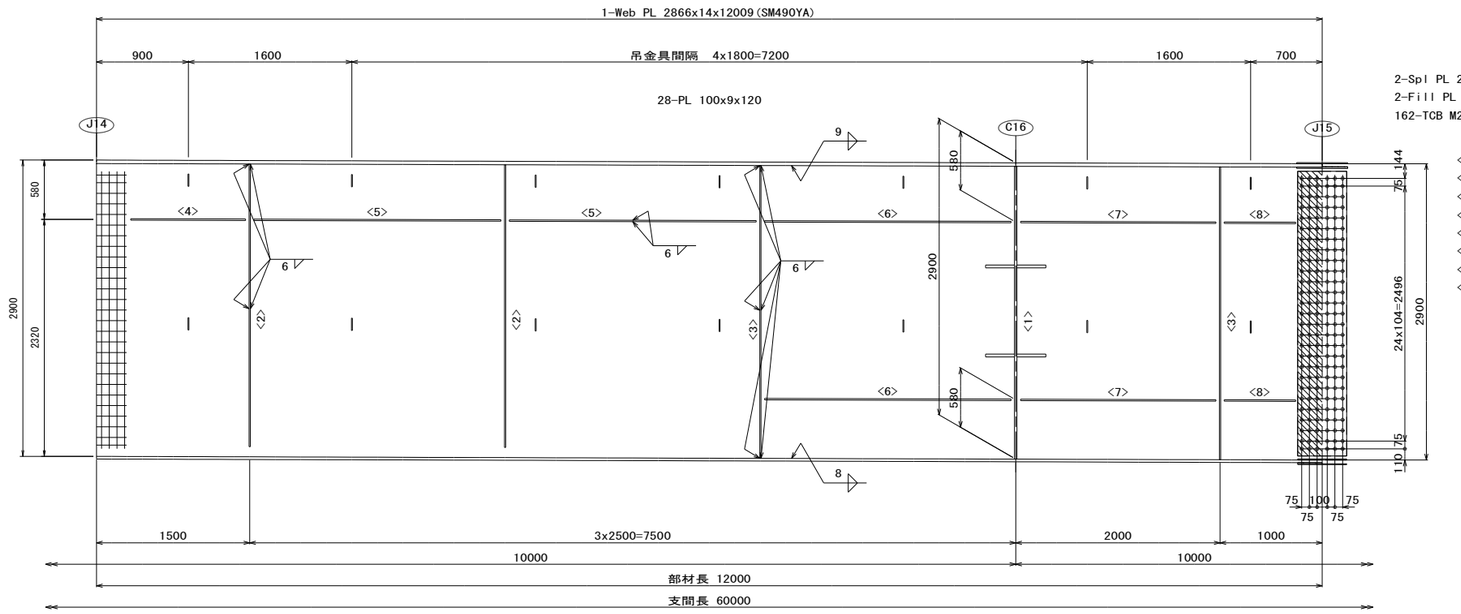
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その10)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	24 / 123

P2～A2 主桁G1 G2（その11） 縮尺=1:30

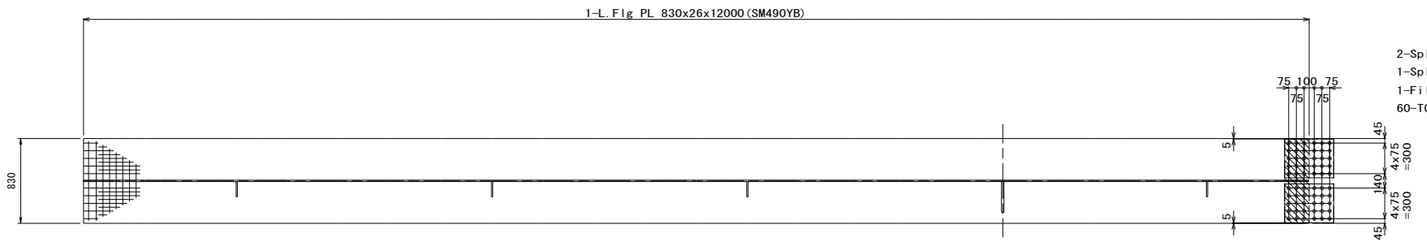


2-Spl PL 305x13x500(SM490YA)
1-Spl PL 670x11x500(SM490YA)
2-Fill PL 305x7x250(SS400)
48-TCB M22x95(S10T)



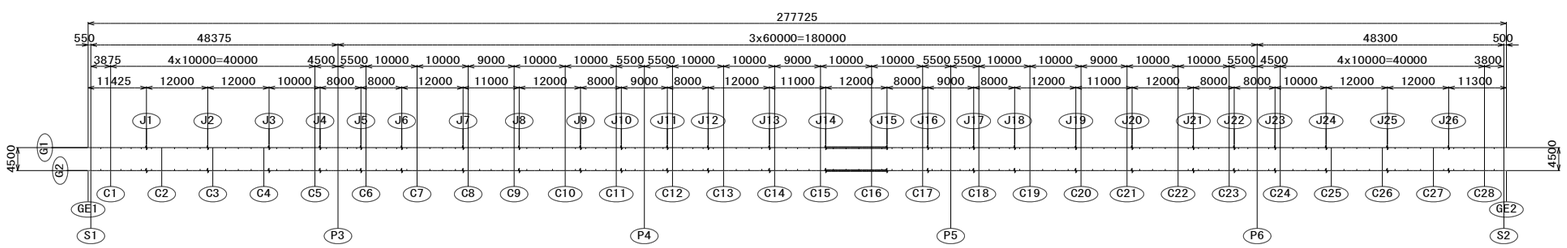
2-Spl PL 2786x9x480(SM490YA)
2-Fill PL 2786x2.3x240(SS400)
162-TCB M22x75(S10T)

<1>1-V.Stiff PL 300x24x2866
<2>2-V.Stiff PL 150x12x2766
<3>2-V.Stiff PL 150x12x2866
<4>1-H.Stiff PL 160x14x1124
<5>2-H.Stiff PL 160x14x2418
<6>2-H.Stiff PL 160x14x2412
<7>2-H.Stiff PL 160x14x1912
<8>2-H.Stiff PL 160x14x699



2-Spl PL 380x11x480(SM490YA)
1-Spl PL 820x9x480(SM490YA)
1-Fill PL 820x10x240(SS400)
60-TCB M22x95(S10T)

配 置 図



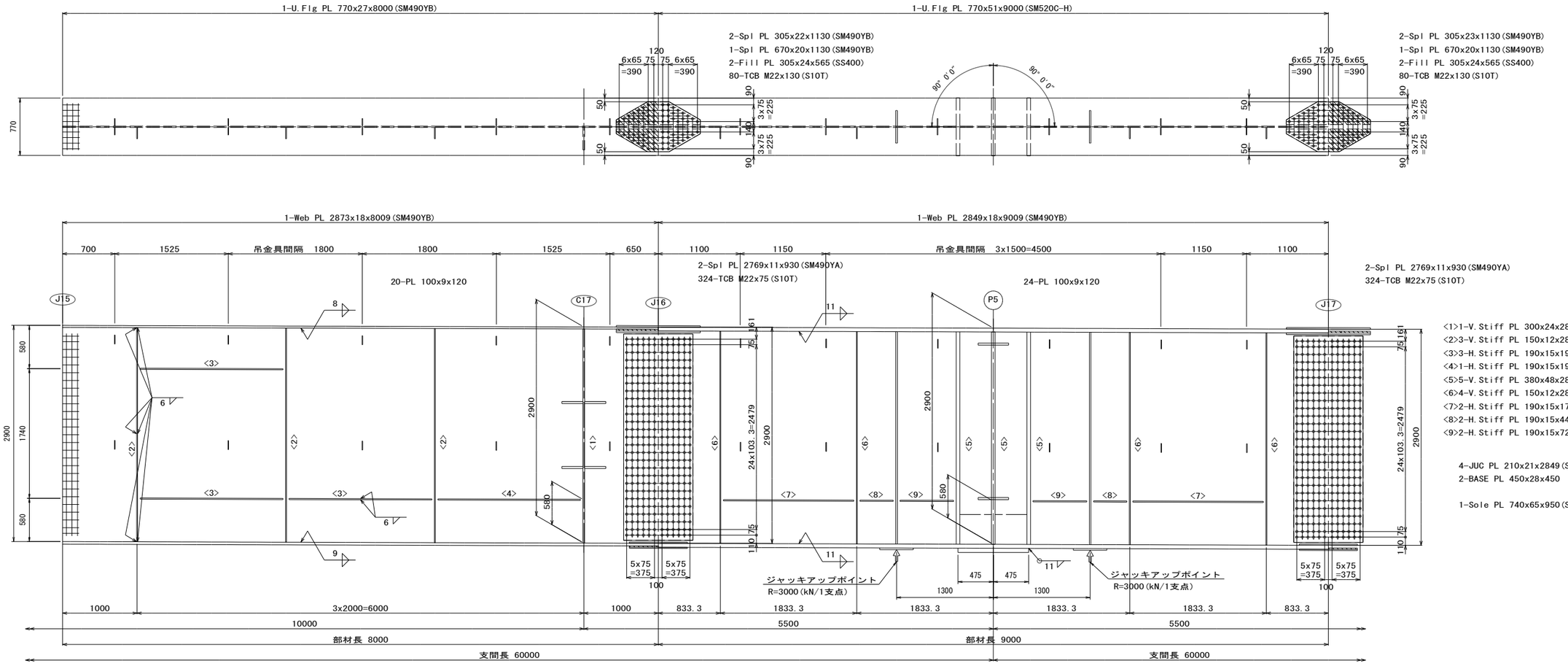
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

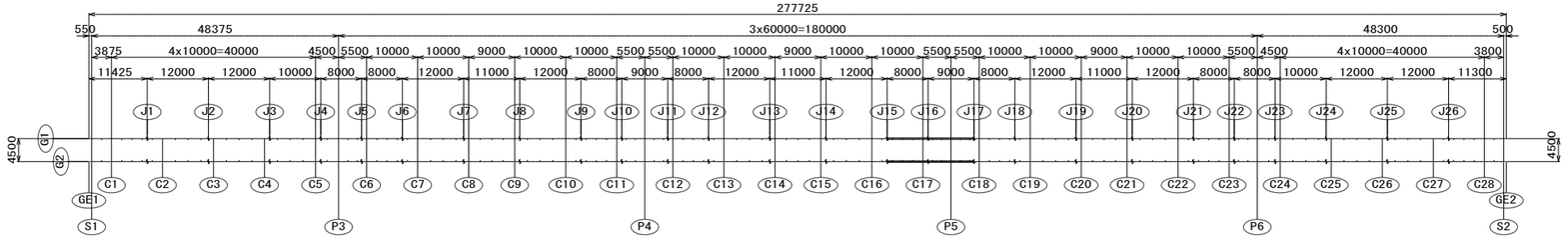
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その11)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	25 / 123

P2～A2 主桁G1 G2（その12） 縮尺=1:30



配 置 図



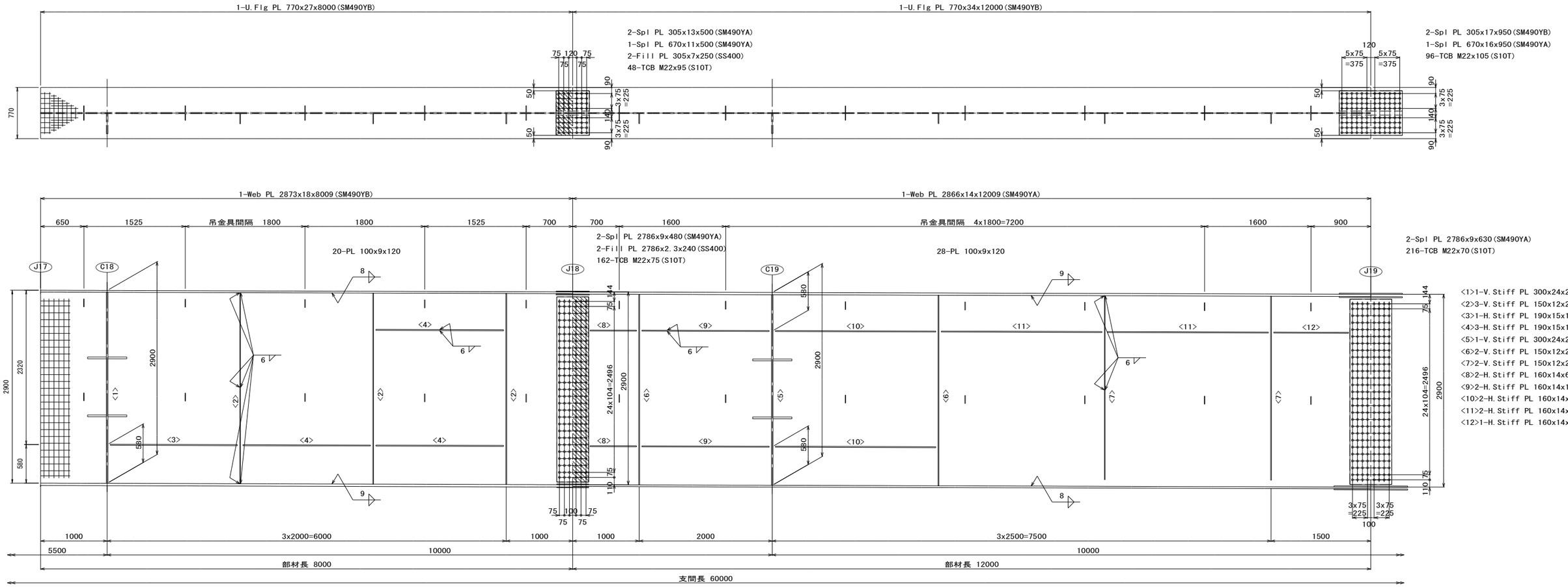
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 中印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと
5. 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
   また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること

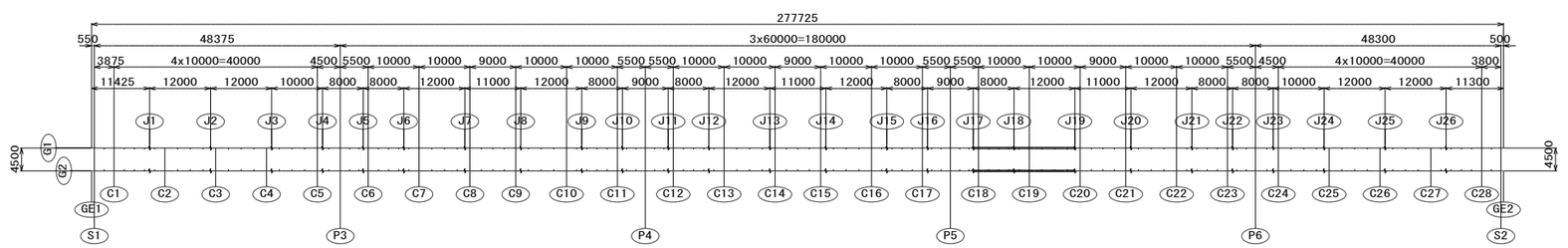
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その12)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	26 / 123

P2～A2 主桁G1 G2（その13） 縮尺=1:30



配 置 図



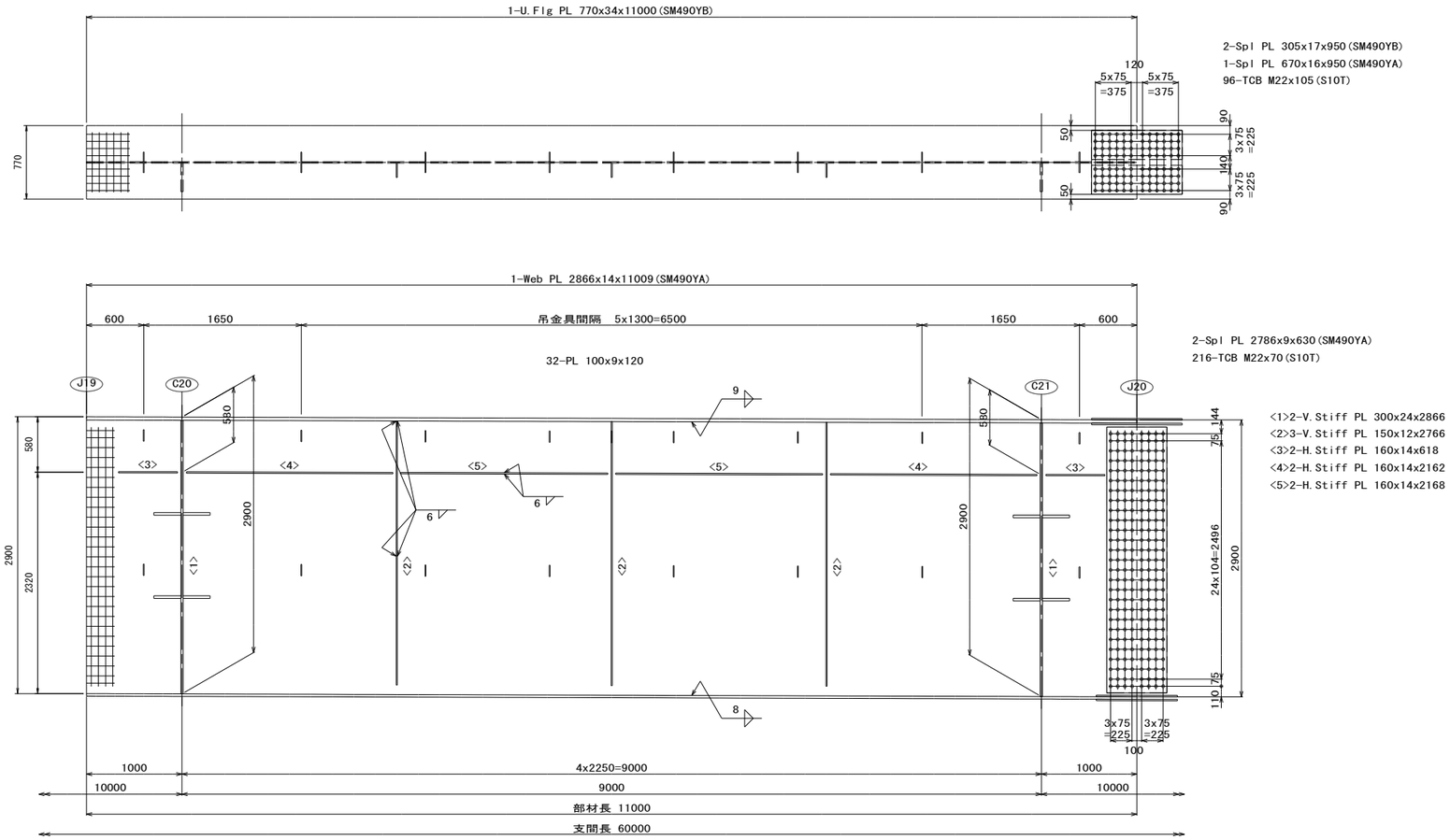
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 中印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

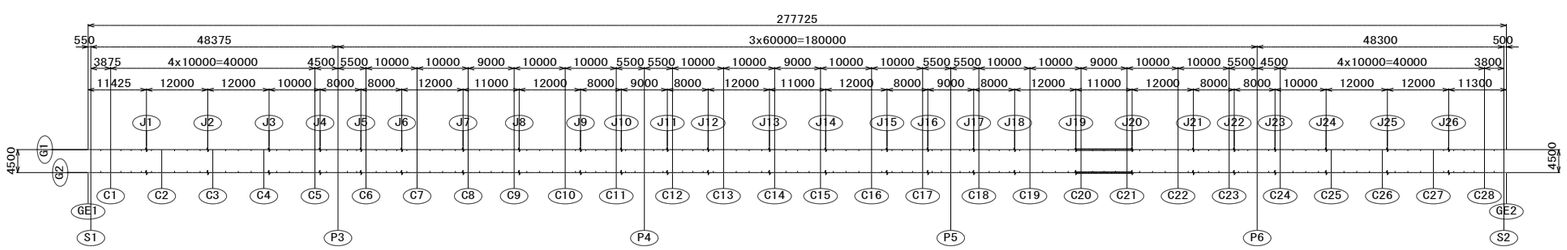
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その13)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	27 / 123

P2～A2 主桁G1 G2（その14） 縮尺=1:30



配 置 図



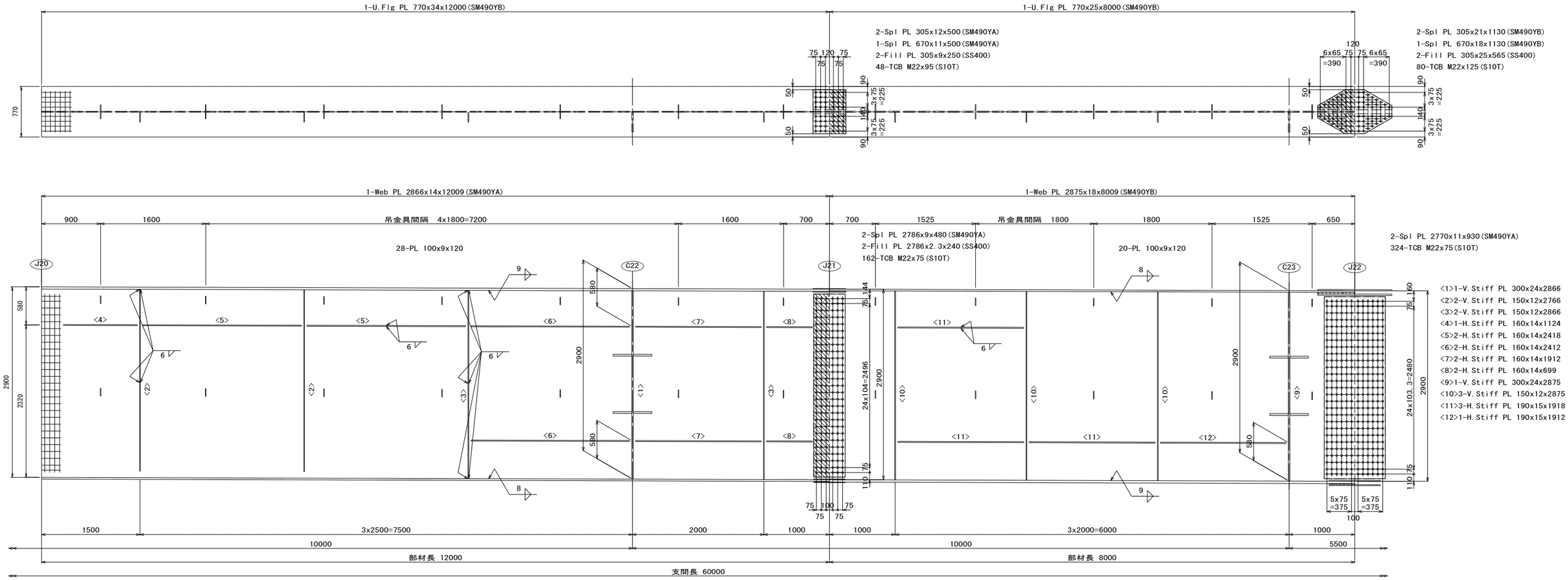
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

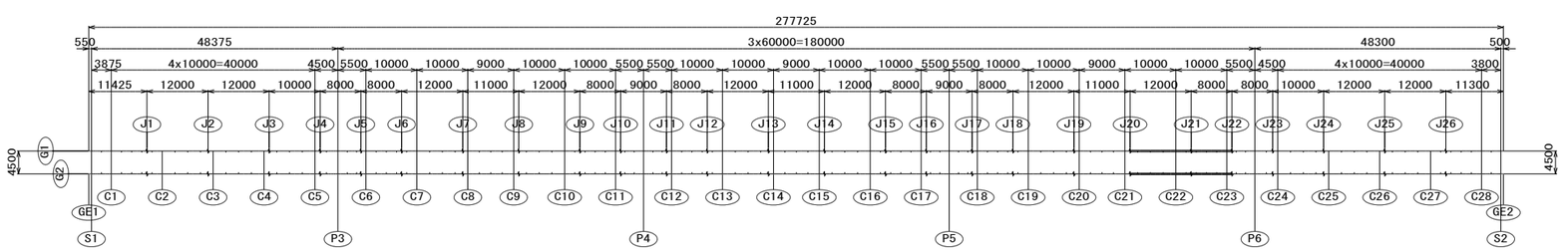
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その14)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	28 / 123

P2～A2 主桁G1 G2（その15） 縮尺=1:30



配 置 図



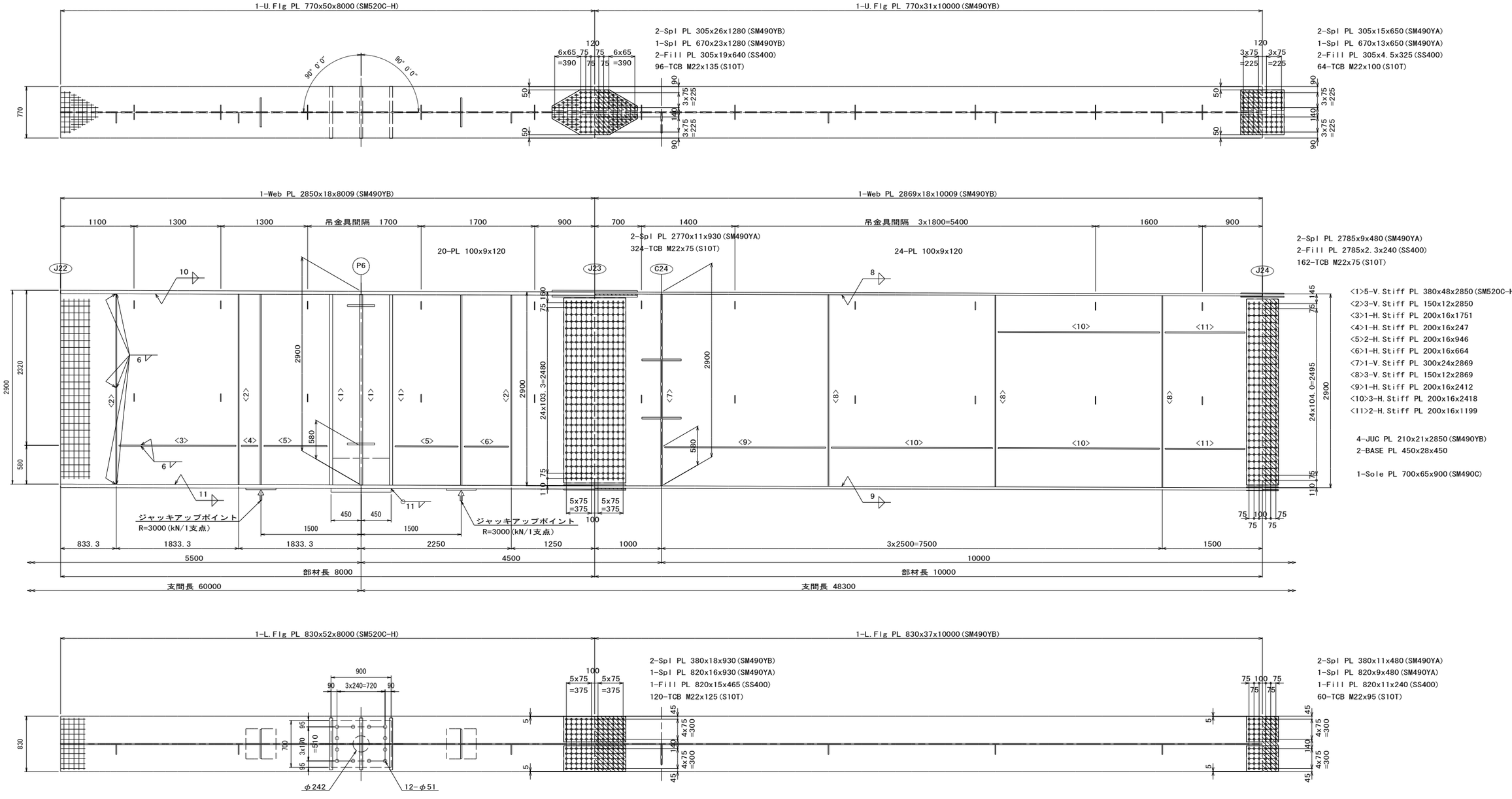
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 中印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その15)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	29 / 123

P2～A2 主桁G1 G2（その16） 縮尺=1:30

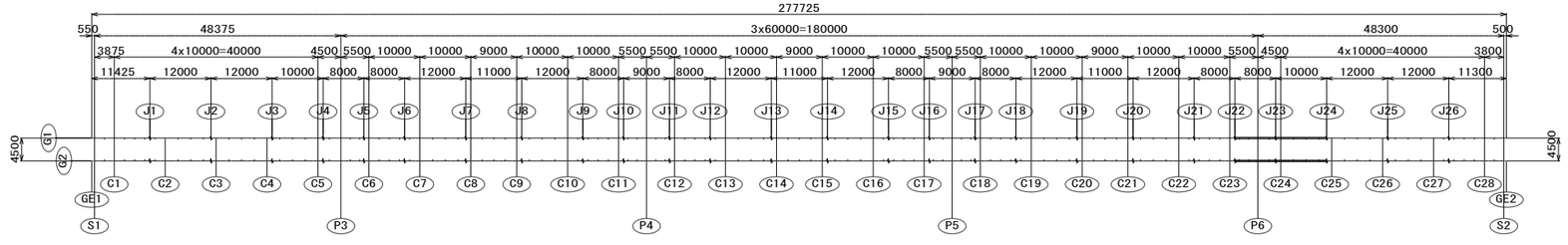


<1>5-V.Stiff PL 380x48x2850(SM520C-H)
<2>3-V.Stiff PL 150x12x2850
<3>1-H.Stiff PL 200x16x1751
<4>1-H.Stiff PL 200x16x247
<5>2-H.Stiff PL 200x16x946
<6>1-H.Stiff PL 200x16x664
<7>1-V.Stiff PL 300x24x2869
<8>3-V.Stiff PL 150x12x2869
<9>1-H.Stiff PL 200x16x2412
<10>3-H.Stiff PL 200x16x2418
<11>2-H.Stiff PL 200x16x1199

4-JUC PL 210x21x2850(SM490YB)
2-BASE PL 450x28x450

1-Sole PL 700x65x900(SM490C)

配 置 図

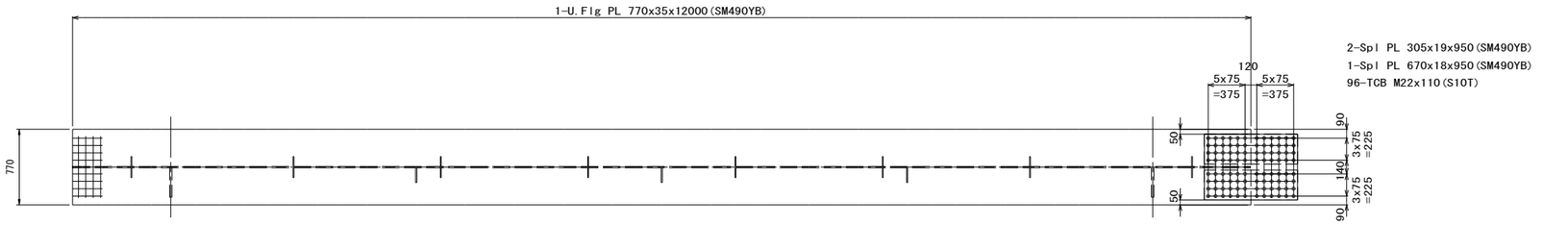


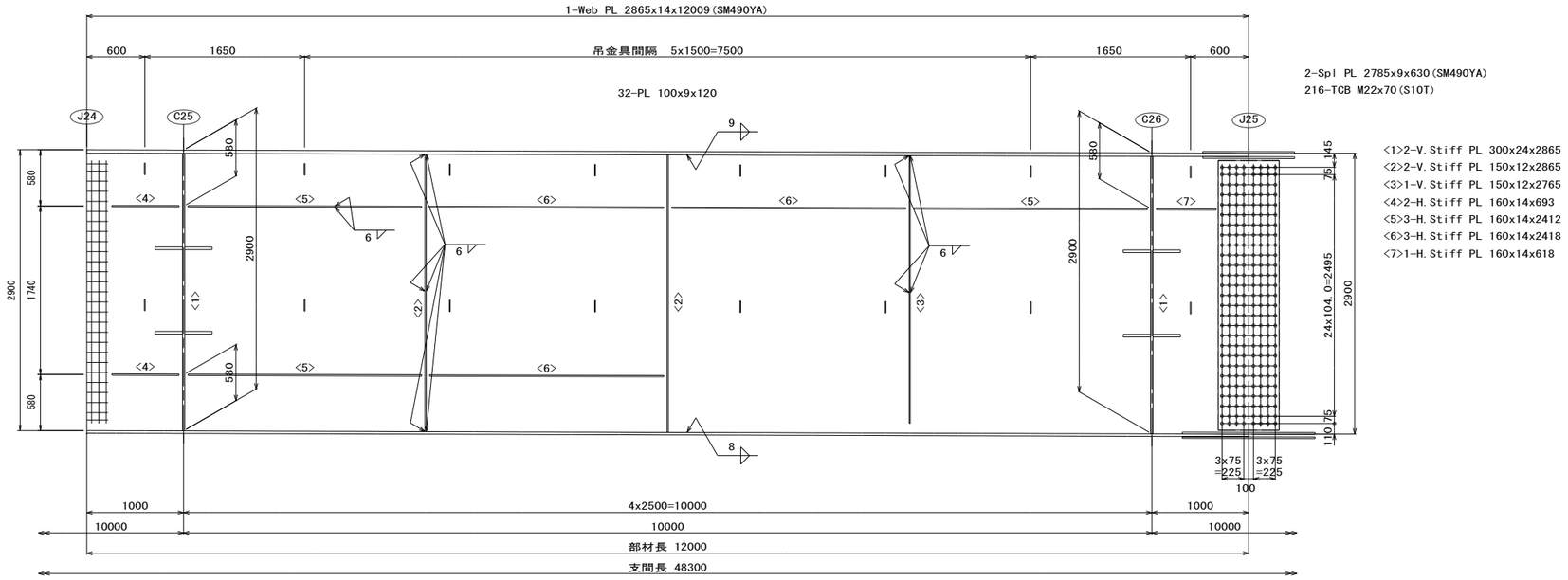
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 中印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと
5. 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること

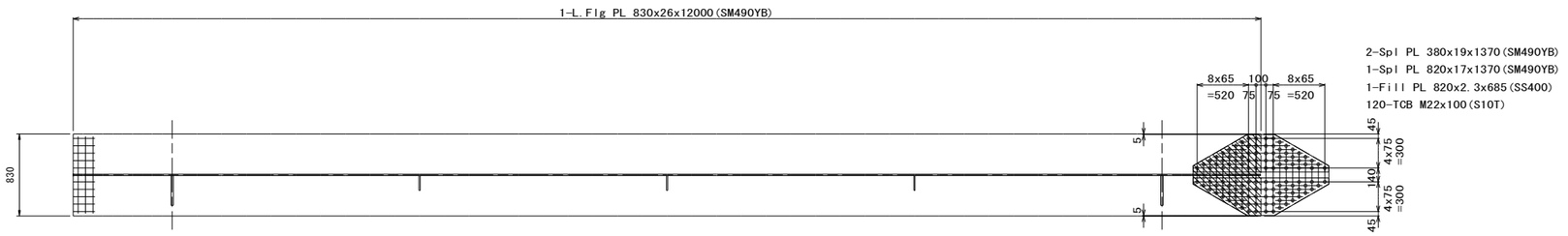
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その16)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	30 / 123

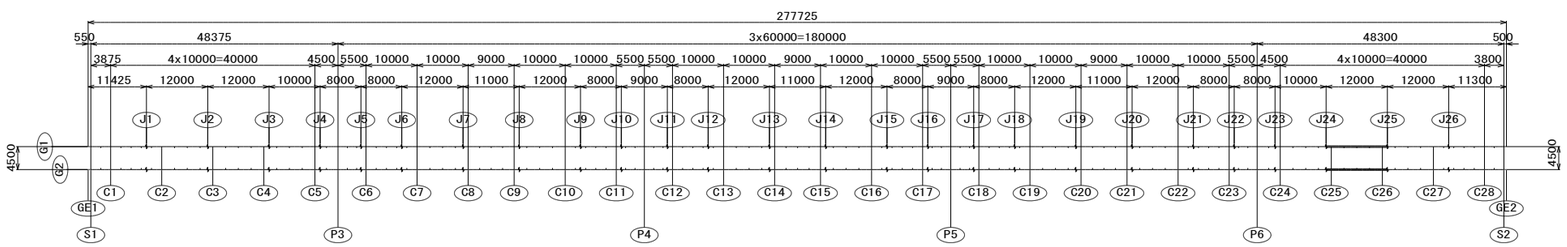
P2～A2 主桁G1 G2(その17)　縮尺=1:30







配 置 図



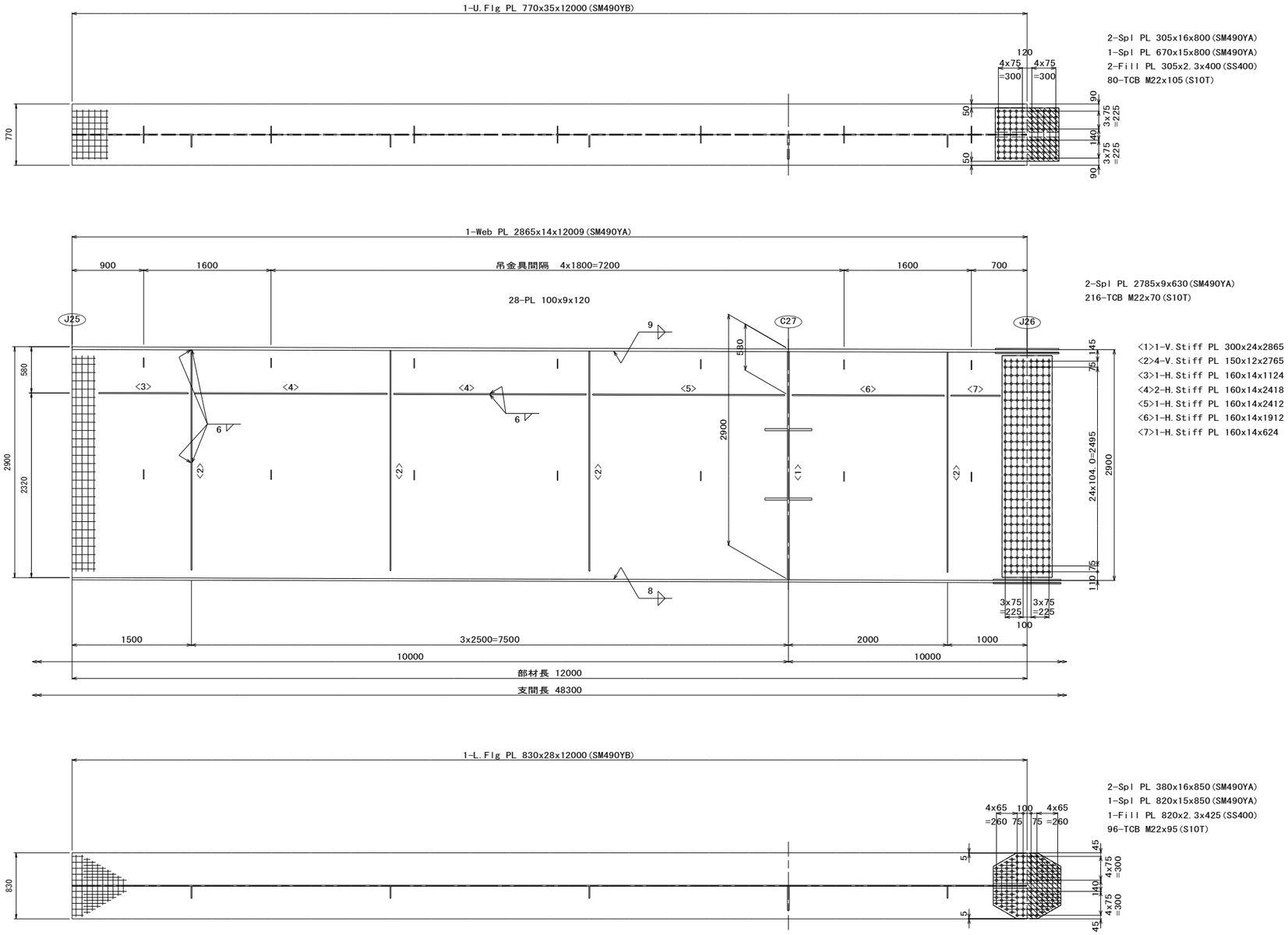
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

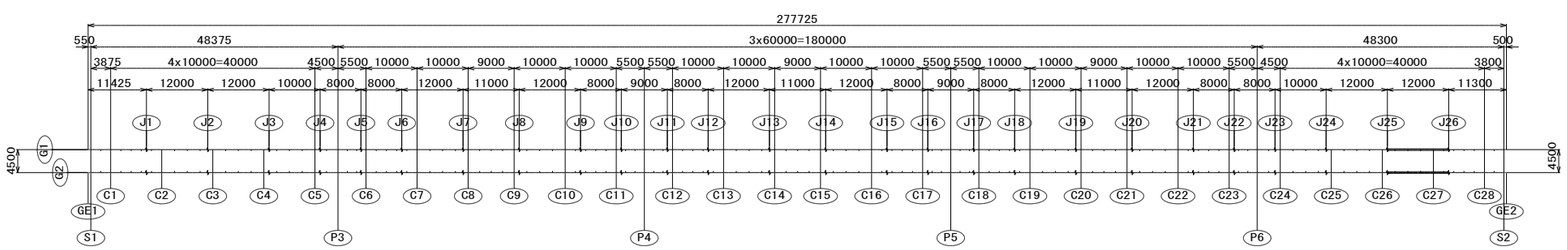
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その17)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	31 / 123

P2～A2 主桁G1 G2(その18)　縮尺=1:30



配 置 図



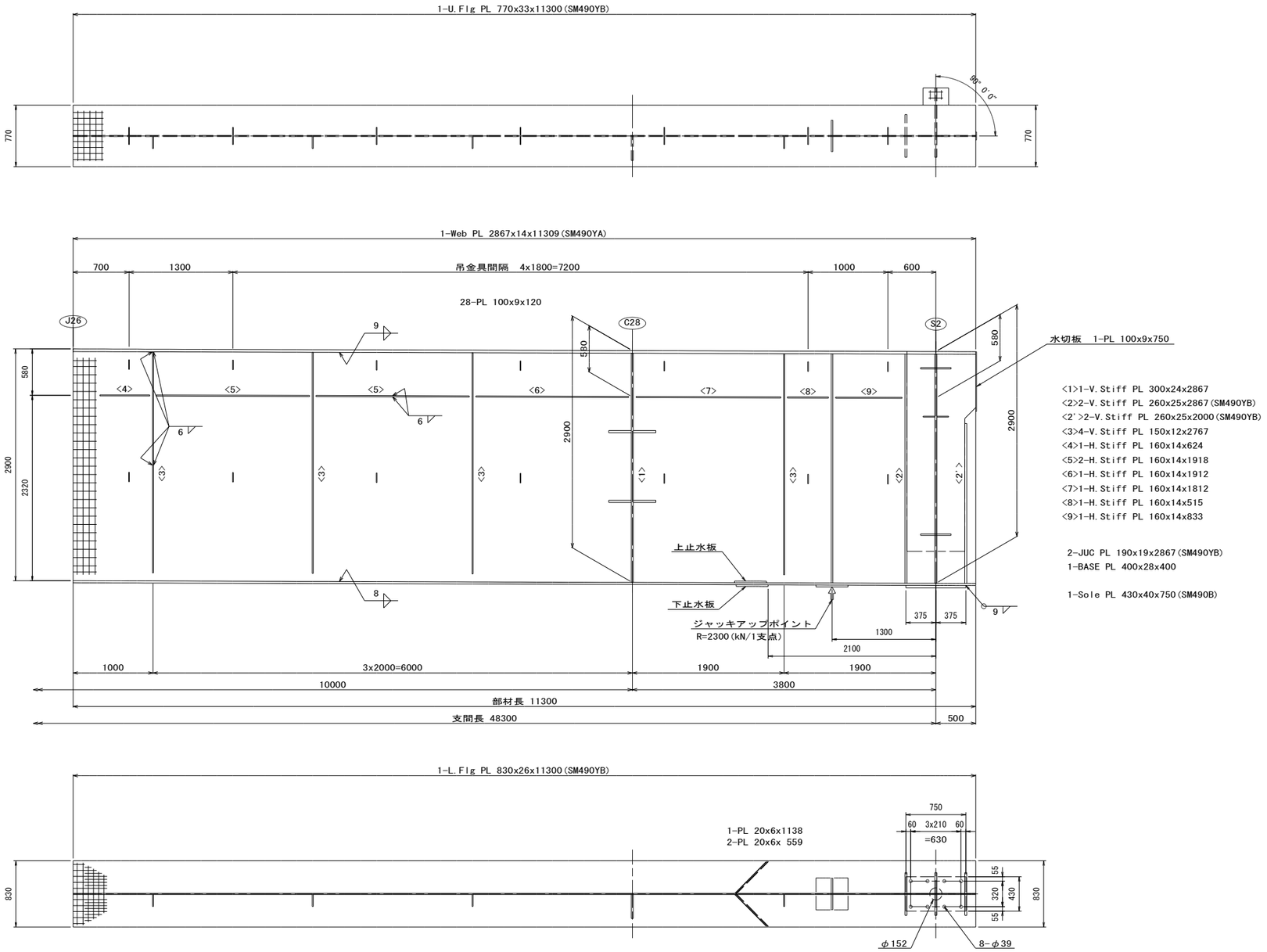
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと

実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その18)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	32 / 123

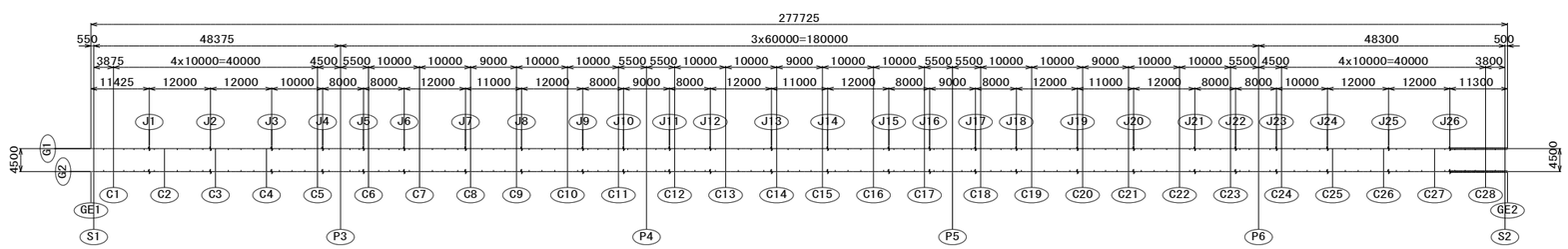
P2～A2 主桁G1 G2（その19） 縮尺=1:30



注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 中印は TCB M22(S10T)を示す
3. 各部詳細は主桁共通詳細図を参照のこと
4. スタッド配置は主桁スタッド配置図を参照のこと
5. 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
   また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること

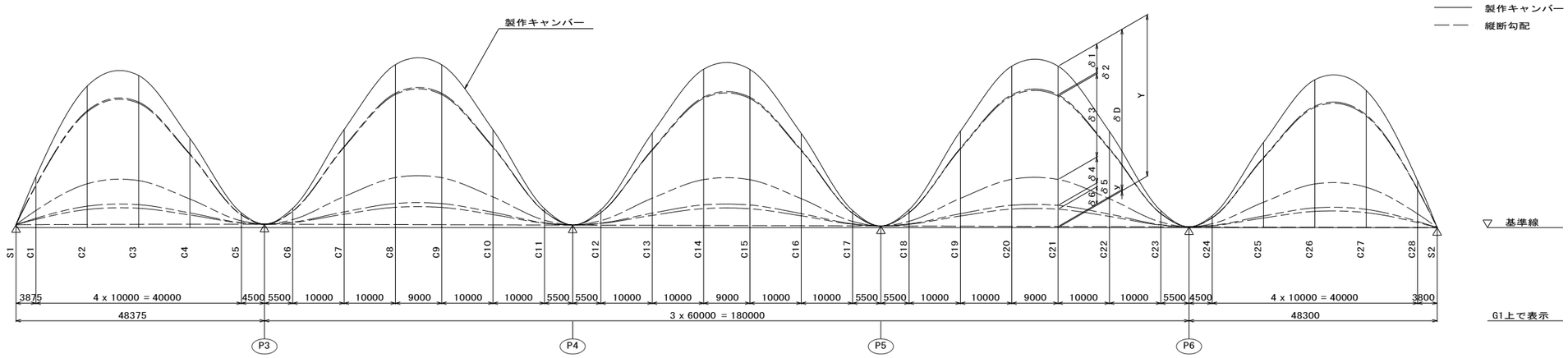
配 置 図



工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1 G2(その19)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	33 / 123

実施

P2～A2 主桁G1,G2キャンバー図



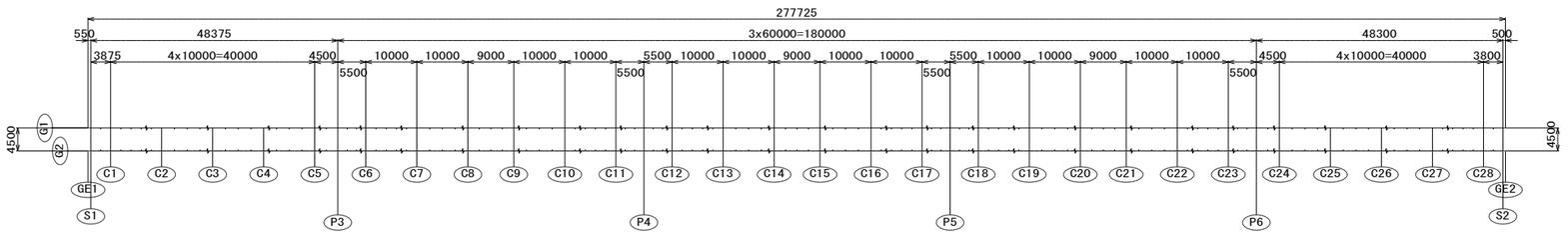
キャンバー表

		S1	C1	C2	C3	C4	C5	P3	C6	C7	C8	C9	C10	C11	P4	C12	C13	C14	C15	C16	C17	P5	C18	C19	C20	C21	C22	C23	P6	C24	C25	C26	C27	C28	S2
G1	δ1	0	3	10	11	6	1	0	1	7	11	11	7	1	0	1	7	11	11	7	1	0	1	7	11	11	7	1	0	1	6	10	10	3	0
	δ2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	δ3	0	10	29	31	18	2	0	3	20	33	33	20	3	0	3	19	32	32	19	3	0	3	20	33	33	20	3	0	2	18	30	28	10	0
	δ4	0	3	9	10	6	1	0	1	6	10	10	6	1	0	1	6	10	10	6	1	0	1	6	10	10	6	1	0	1	5	9	9	3	0
	δ5	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0
	δ6	0	2	6	6	4	0	0	1	4	7	7	4	1	0	1	4	7	7	4	1	0	1	4	7	7	4	1	0	0	4	6	6	2	0
	δD	0	19	55	59	34	5	0	6	38	64	64	38	7	0	6	37	62	62	37	6	0	7	38	64	64	38	6	0	4	34	59	54	19	0
	y	573	592	632	659	673	674	671	663	638	608	581	551	521	505	488	458	428	401	371	341	325	308	278	248	221	191	161	145	131	101	71	41	11	0
	Y	573	611	687	718	707	679	671	669	676	672	645	589	528	505	495	495	490	463	408	348	325	315	316	312	285	229	168	145	136	135	130	96	30	0
G2	δ1	0	3	10	11	6	1	0	1	7	11	11	7	1	0	1	7	11	11	7	1	0	1	7	11	11	7	1	0	1	6	10	10	3	0
	δ2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	δ3	0	10	29	31	18	2	0	3	20	33	33	20	3	0	3	19	32	32	19	3	0	3	20	33	33	20	3	0	2	18	30	28	10	0
	δ4	0	3	9	10	6	1	0	1	6	10	10	6	1	0	1	6	10	10	6	1	0	1	6	10	10	6	1	0	1	5	9	9	3	0
	δ5	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0
	δ6	0	2	6	6	4	0	0	1	4	7	7	4	1	0	1	4	7	7	4	1	0	1	4	7	7	4	1	0	0	4	6	6	2	0
	δD	0	19	55	59	34	5	0	6	38	64	64	38	7	0	6	37	62	62	37	6	0	7	38	64	64	38	6	0	4	34	59	54	19	0
	y	573	592	632	659	673	674	671	663	638	608	581	551	521	505	488	458	428	401	371	341	325	308	278	248	221	191	161	145	131	101	71	41	11	0
	Y	573	611	687	718	707	679	671	669	676	672	645	589	528	505	495	495	490	463	408	348	325	315	316	312	285	229	168	145	136	135	130	96	30	0

記号説明

- δ1 ： 鋼重
- δ2 ： 検査路
- δ3 ： 床版+調整コンクリート+ハンチ
- δ4 ： 壁高欄
- δ5 ： 遮音壁
- δ6 ： 舗装
- δD ： 死荷重合計
- y ： 縦断勾配
- Y ： 製作キャンバー

配 置 図



実 施

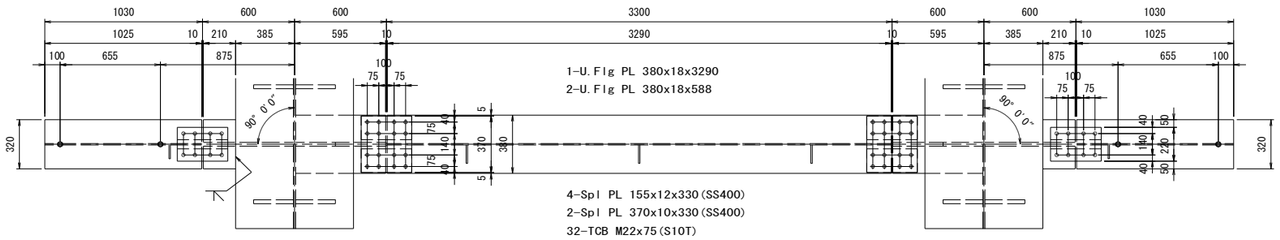
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁G1,G2キャンバー図		
縮尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	34 / 123

P2～A2 端支点上横桁 縮尺=1:20

ECB1

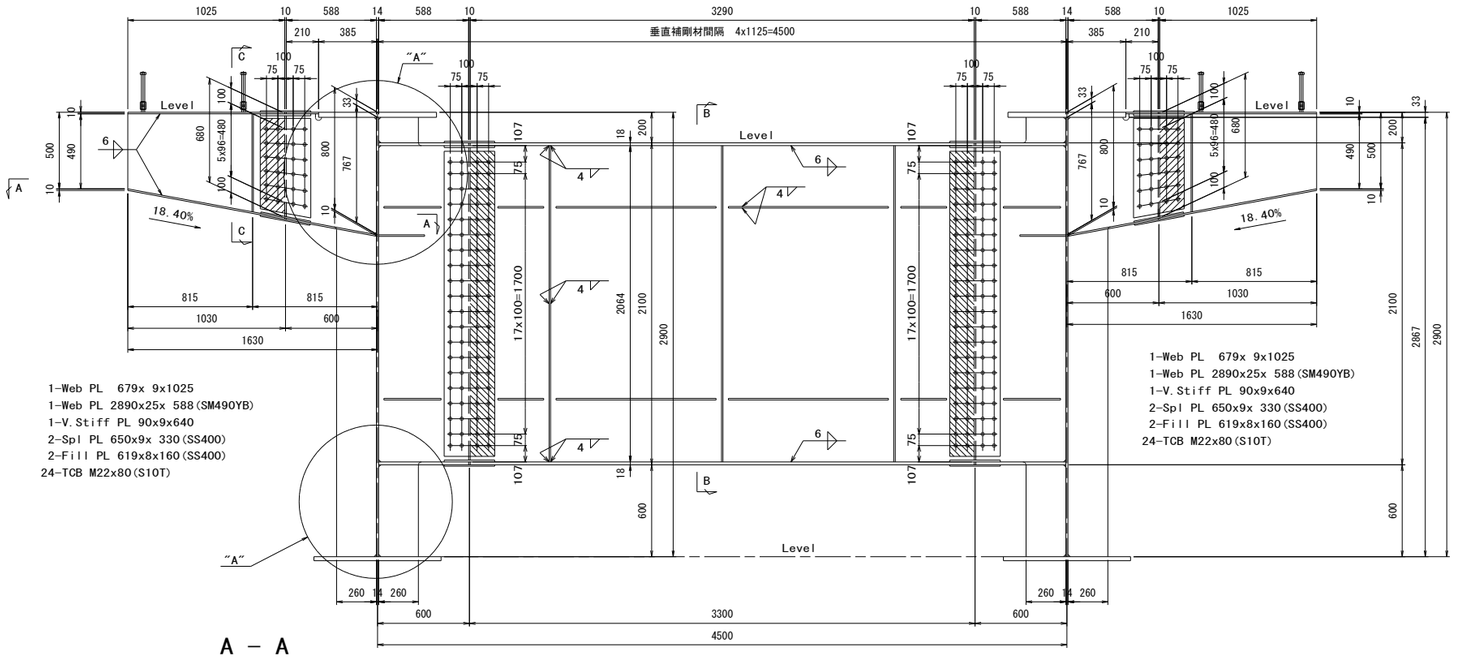
1-U.Flg PL 320x10x1025
1-U.Flg PL 320x10x 210
2-Spl PL 80x13x330(SS400)
1-Spl PL 220x 9x330(SS400)
8-TCB M22x70(S10T)

2-BOLT M22 x 200
2-NUT M22 x 50
2-STUD M22 x 38(S=20)



1-U.Flg PL 320x10x1025
1-U.Flg PL 320x10x 210
2-Spl PL 80x13x330(SS400)
1-Spl PL 220x 9x330(SS400)
8-TCB M22x70(S10T)

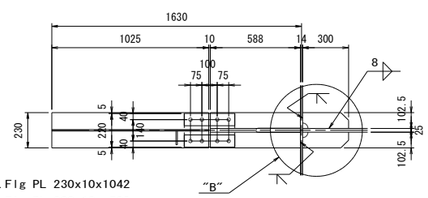
2-BOLT M22 x 200
2-NUT M22 x 50
2-STUD M22 x 38(S=20)



1-Web PL 679x 9x1025
1-Web PL 2890x25x 588(SM490YB)
1-V.Stiff PL 90x9x640
2-Spl PL 650x9x 330(SS400)
2-Fill PL 619x8x160(SS400)
24-TCB M22x80(S10T)

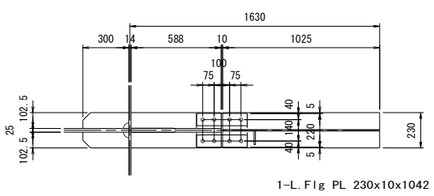
1-Web PL 679x 9x1025
1-Web PL 2890x25x 588(SM490YB)
1-V.Stiff PL 90x9x640
2-Spl PL 650x9x 330(SS400)
2-Fill PL 619x8x160(SS400)
24-TCB M22x80(S10T)

A － A



1-Web PL 2064x10x3290
2-Web PL 2867x25x588(SM490YB)
4-Spl PL 1990x9x330(SS400)
4-Fill PL 1990x8x160(SS400)
160-TCB M22x80(S10T)

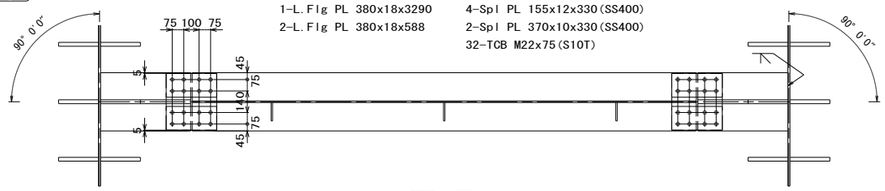
3-V.Stiff PL 120x10x2064
4-H.Stiff PL 100x10x373
4-H.Stiff PL 100x10x300
4-H.Stiff PL 100x10x1045



1-L.Flg PL 230x10x1042
1-L.Flg PL 230x10x 598
2-Spl PL 80x9x330(SS400)
1-Spl PL 220x9x330(SS400)
8-TCB M22x65(S10T)
2-PL 103x10x300

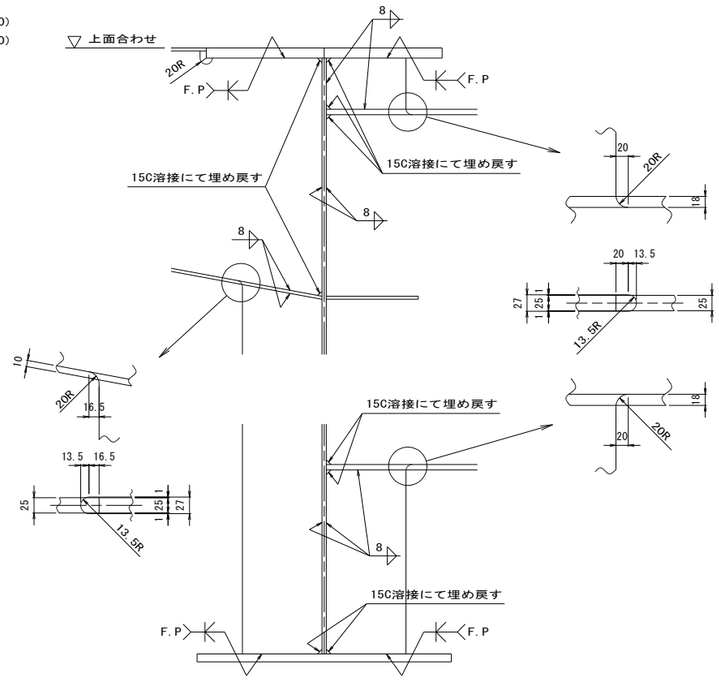
1-L.Flg PL 380x18x3290
2-L.Flg PL 380x18x588

4-Spl PL 155x12x330(SS400)
2-Spl PL 370x10x330(SS400)
32-TCB M22x75(S10T)

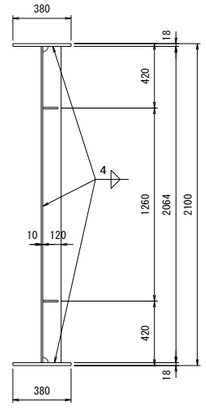


1-L.Flg PL 230x10x1042
1-L.Flg PL 230x10x 598
2-Spl PL 80x9x330(SS400)
1-Spl PL 220x9x330(SS400)
8-TCB M22x65(S10T)
2-PL 103x10x300

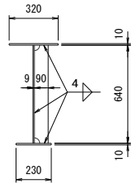
"A"部詳細 縮尺=1:10



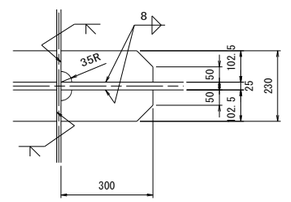
B － B



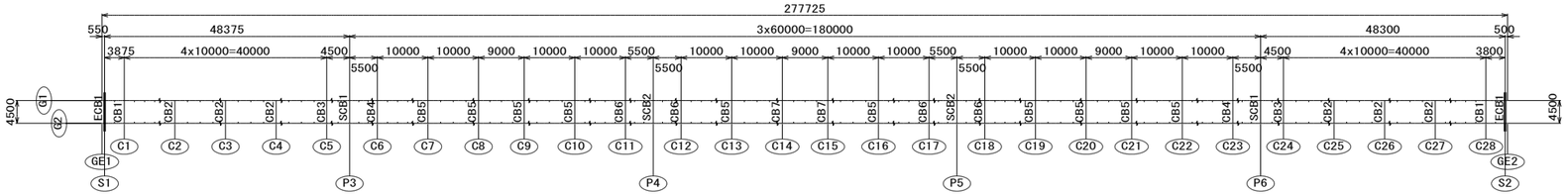
C － C



"B"部詳細 縮尺=1:10



配 置 図



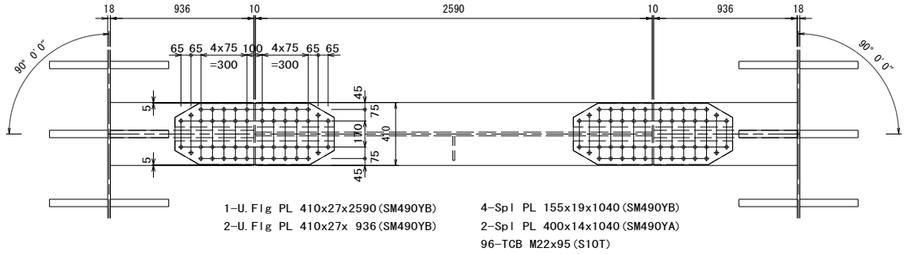
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする
3. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
4. スタッド詳細は主桁共通詳細図(その2)図を参照のこと
材料のSは有効ネジ長を示す

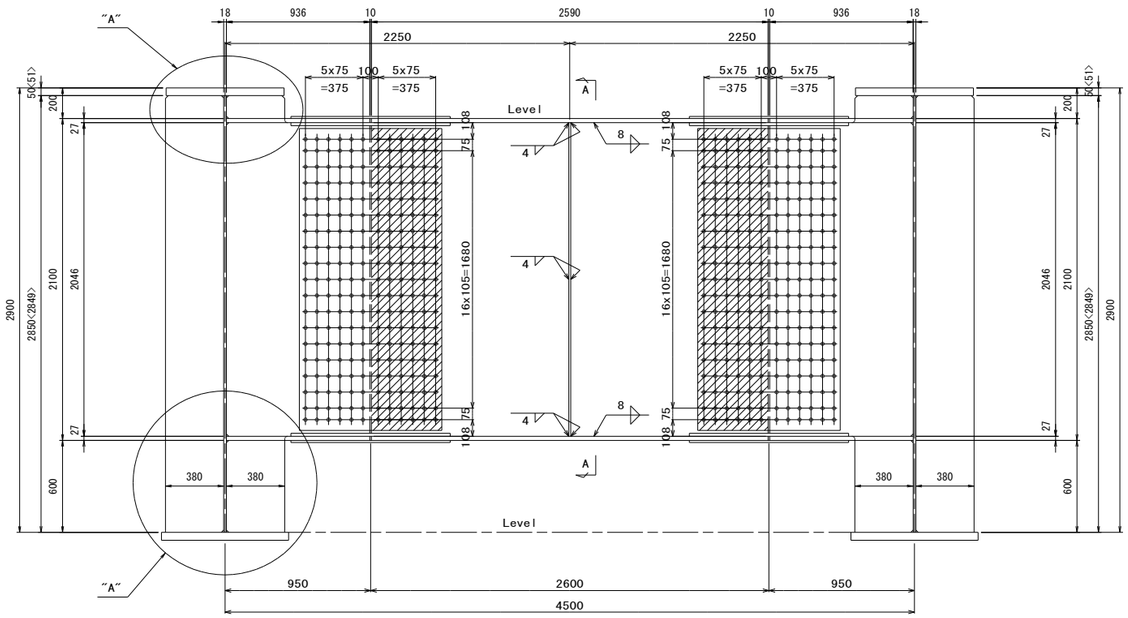
実 施

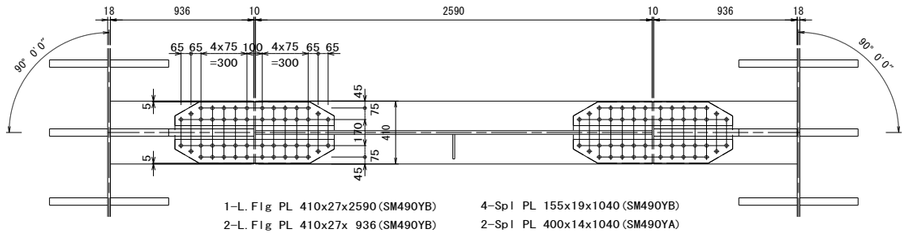
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 端支点上横桁		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	35 / 123

P2～A2 中間支点上横桁 縮尺=1:20

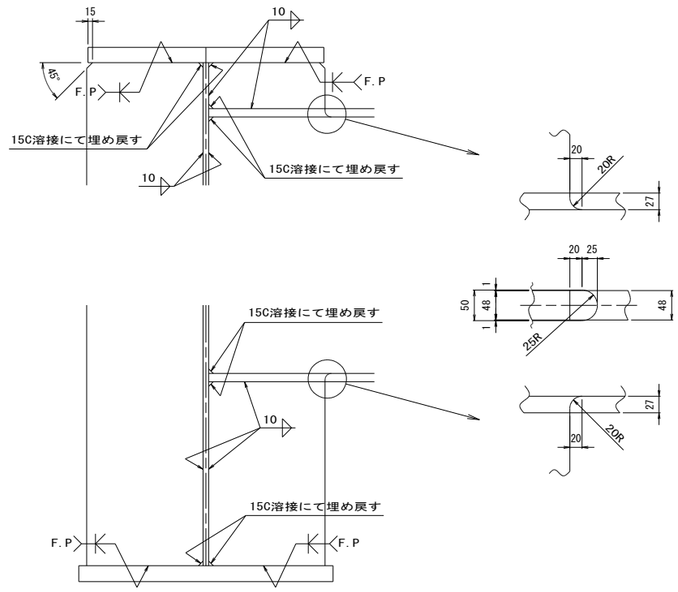
SCB1<SCB2>



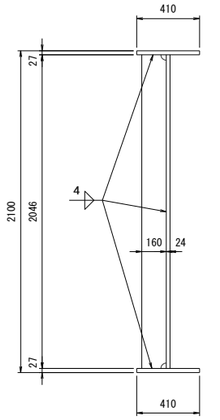




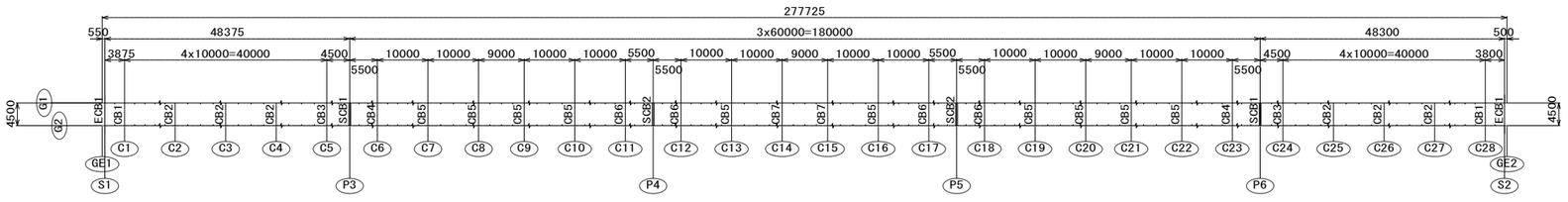
"A"部詳細 縮尺=1:10



A － A



配 置 図



注記

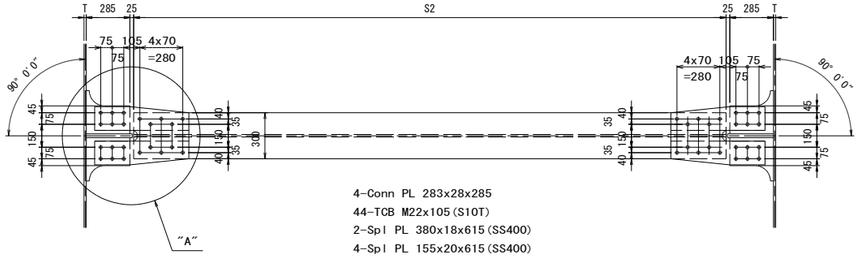
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする
3. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す

実 施

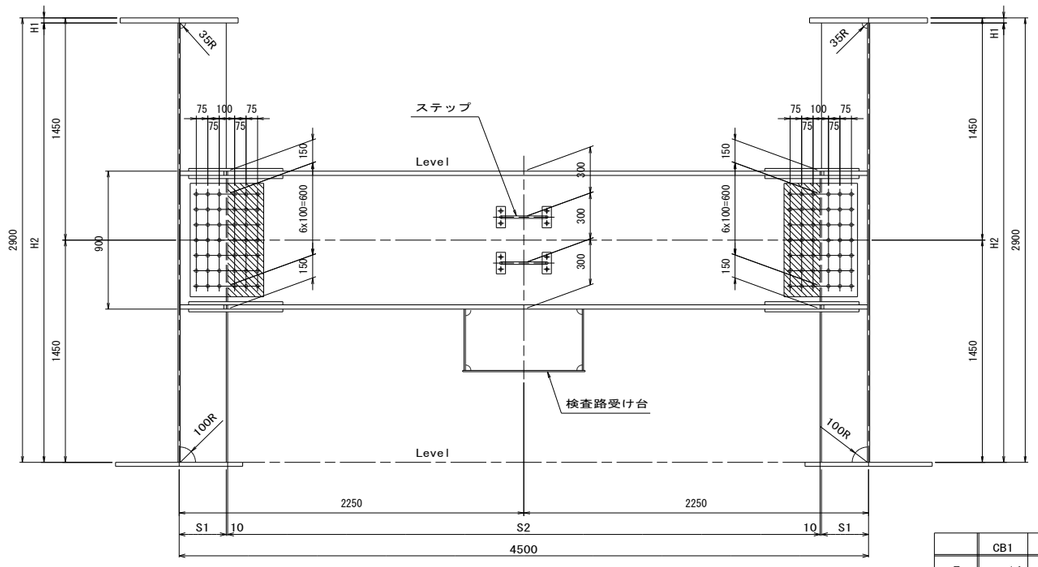
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 中間支点上横桁		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	36 / 123

P2～A2 中間横桁 縮尺=1:20

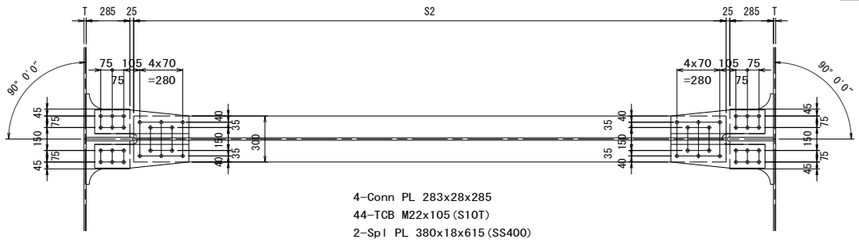
CB1～CB7



4-Conn PL 283x28x285
44-TCB M22x105(S10T)
2-Spl PL 380x18x615(SS400)
4-Spl PL 155x20x615(SS400)



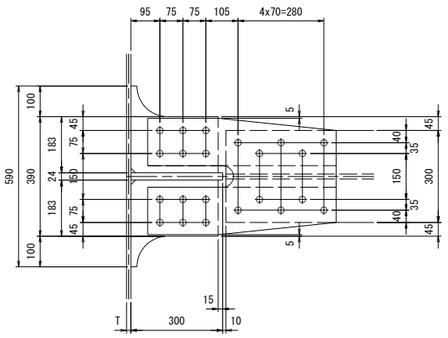
1-H 900x300x16x28x L1
4-Spl PL 740x12x480(SS400)
4-Fill PL 740x4.5x235(SS400)
84-TCB M22x85(S10T)



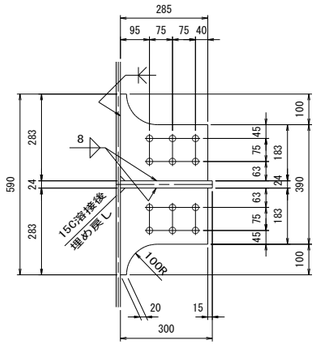
4-Conn PL 283x28x285
44-TCB M22x105(S10T)
2-Spl PL 380x18x615(SS400)
4-Spl PL 155x20x615(SS400)

	CB1	CB2	CB3	CB4	CB5	CB6	CB7
T	14	14	18	18	14	18	14
S1	307	307	309	309	307	309	307
S2	3866	3866	3862	3862	3866	3862	3866
H1	33	35	31	25	34	27	36
H2	2867	2865	2869	2875	2866	2873	2864
L1	3866	3866	3862	3862	3866	3862	3866

"A"部詳細 縮尺=1:10

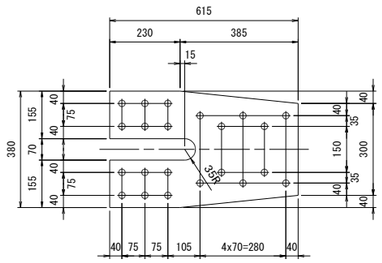


コネクションプレート 縮尺=1:10



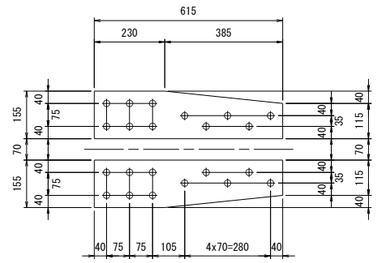
フランジ添接板 縮尺=1:10

（フランジ外側）



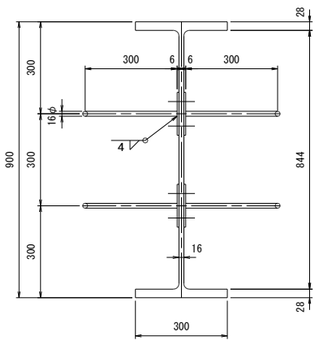
1-Spl PL 380x18x615(SS400)

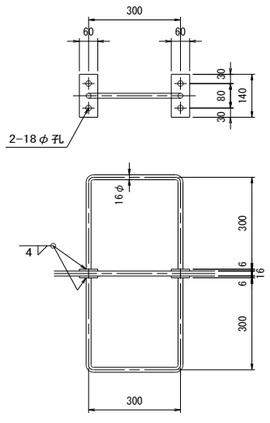
（フランジ内側）



2-Spl PL 155x20x615(SS400)

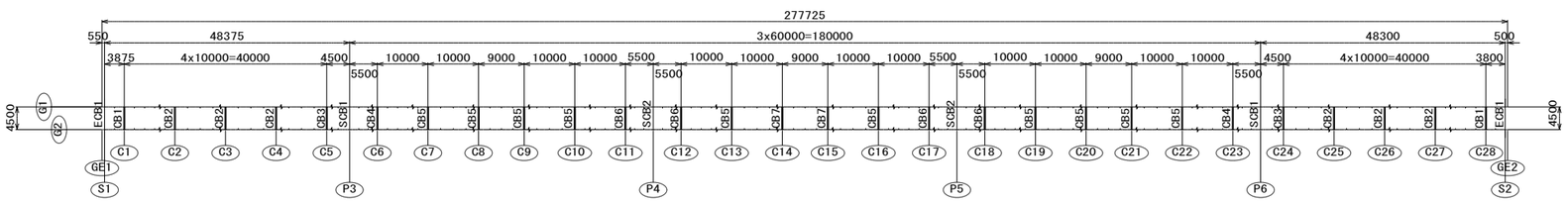
ステップ詳細 縮尺=1:10





※ 8-PL 60x6x140(SS400)
※ 4-RB 16φx900(SS400)
※ 8-BN M16x50(U-NUT, 2W)(SS400)

配 置 図



注記

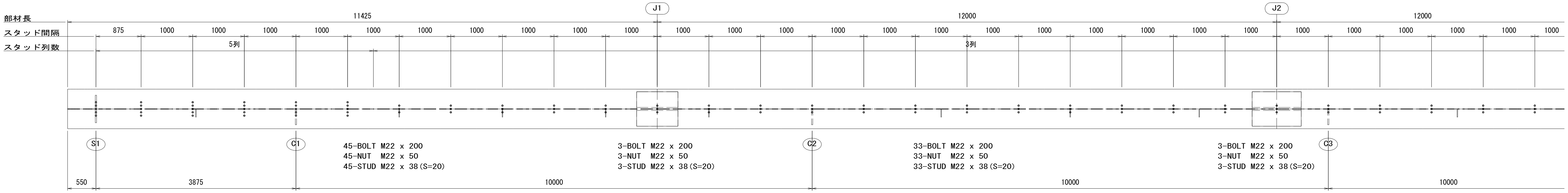
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする
3. ⊕印は TCB M22(S10T)を示す
4. ※印付きの部材は全て溶融亜鉛メッキとする
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする
   但し、ボルト・ナット類は HDZ35とする
5. 検査路受け台は上部工検査路(その6)図を
   参照のこと

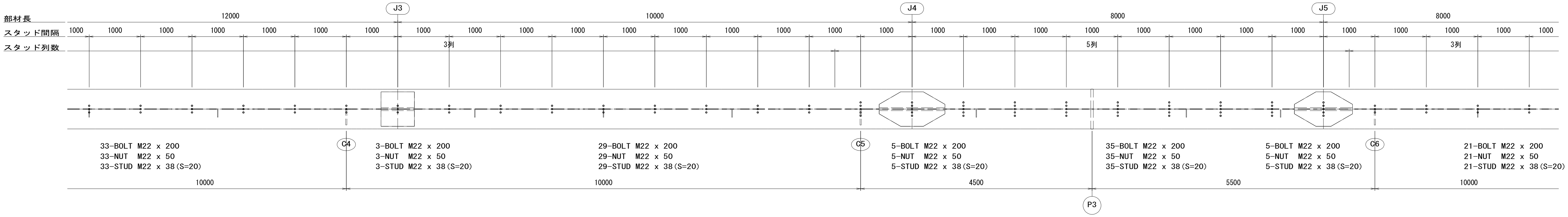
実 施

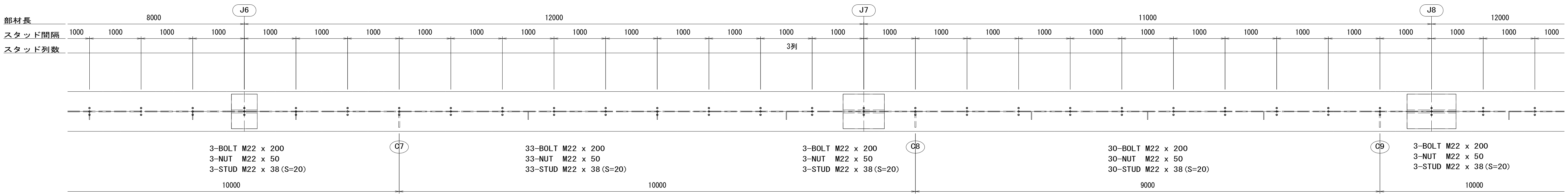
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 中間横桁		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	37 / 123

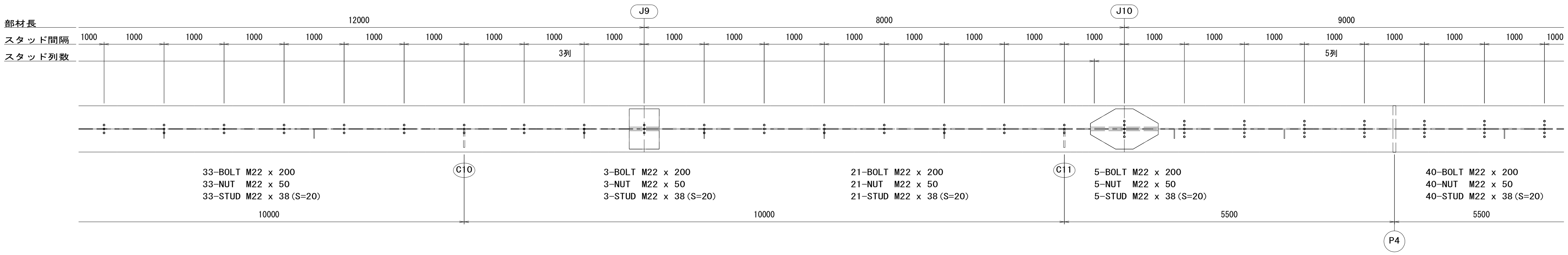
P2～A2 主桁スタッド配置図(その1) 縮尺=1:40

G1,G2桁(その1)









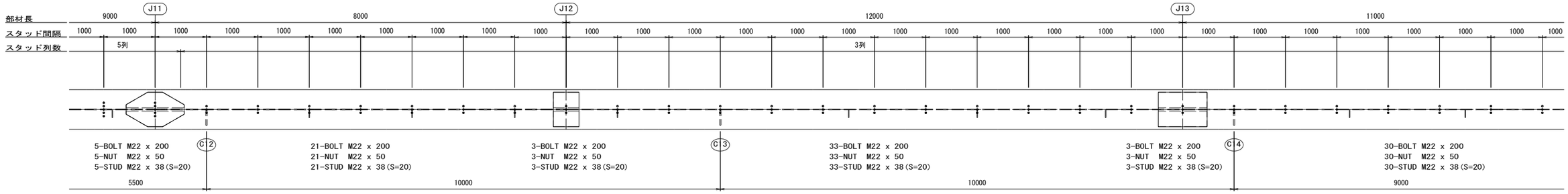
注)
1 特記なき材質は全てSS400とする
2 スタッド詳細は主桁共通詳細図(その2)図を参照のこと
3 Sは有効ネジ長を示す

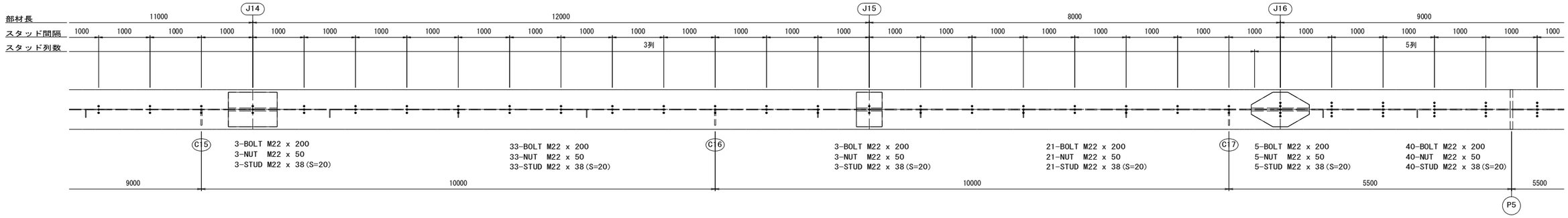
実 施

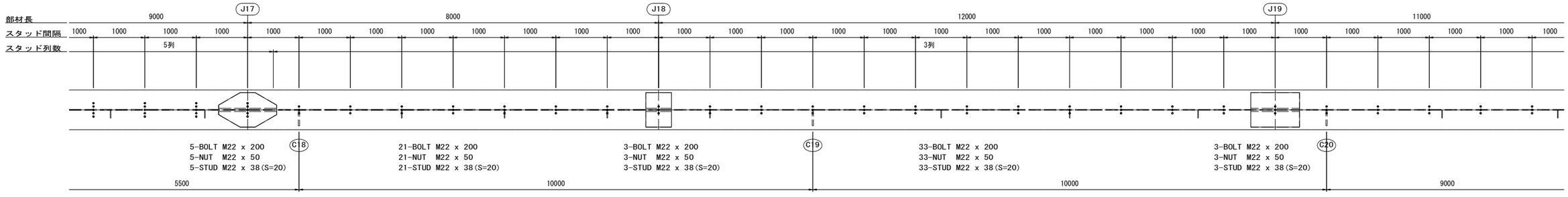
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁スタッド配置図(その1)		
縮尺	1:40	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	38 / 123

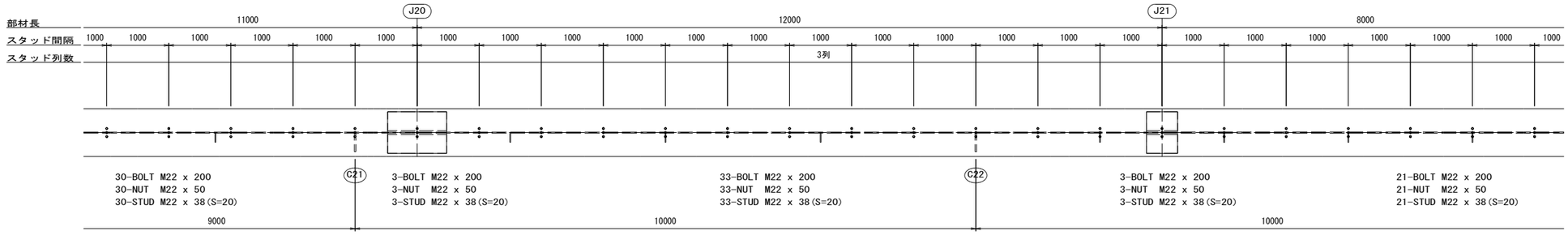
P2～A2 主桁スタッド配置図（その2） 縮尺=1:40

G1, G2桁（その2）









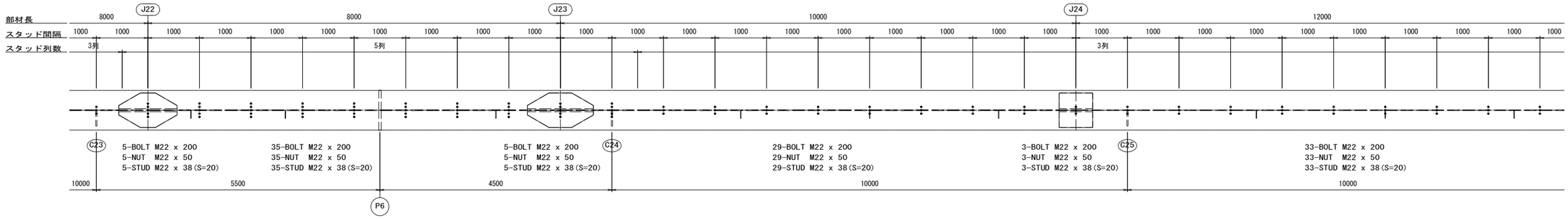
注）
1 特記なき材質は全てSS400とする
2 スタッド詳細は主桁共通詳細図（その2）図を参照のこと
3 Sは有効ネジ長を示す

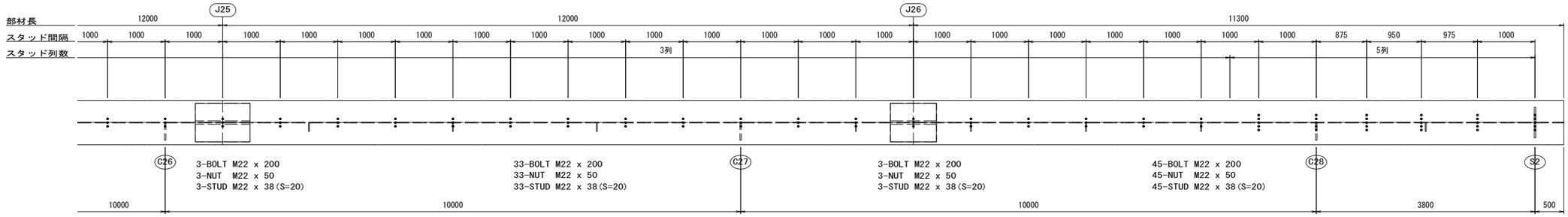
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁スタッド配置図(その2)		
縮尺	1:40	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	39 / 123

P2～A2 主桁スタッド配置図（その3） 縮尺=1:40

G1, G2桁（その3）

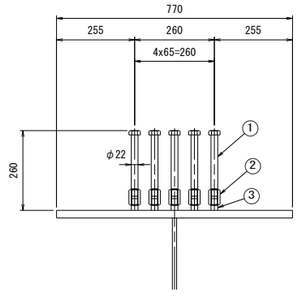




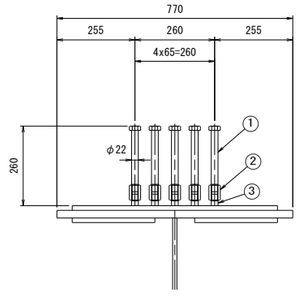
スタッド配置断面図 縮尺=1:10

端支点部, 中間支点部

一般部



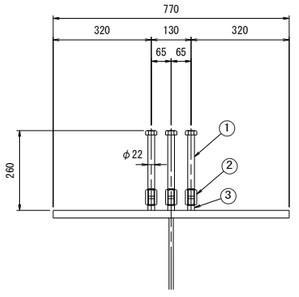
添接部



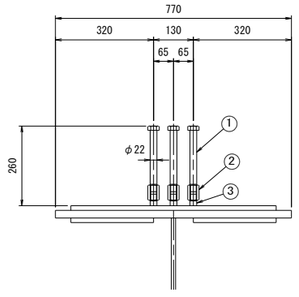
1組
① 六角ボルト 5-M22 x 200
② 六角ナット 5-M22 x 50
③ ねじ付きスタッド 5-M22 x 38(S=20)

中間部

一般部



添接部



1組
① 六角ボルト 3-M22 x 200(SS400)
② 六角ナット 3-M22 x 50(SS400)
③ ねじ付きスタッド 3-M22 x 38(S=20)(SS400)

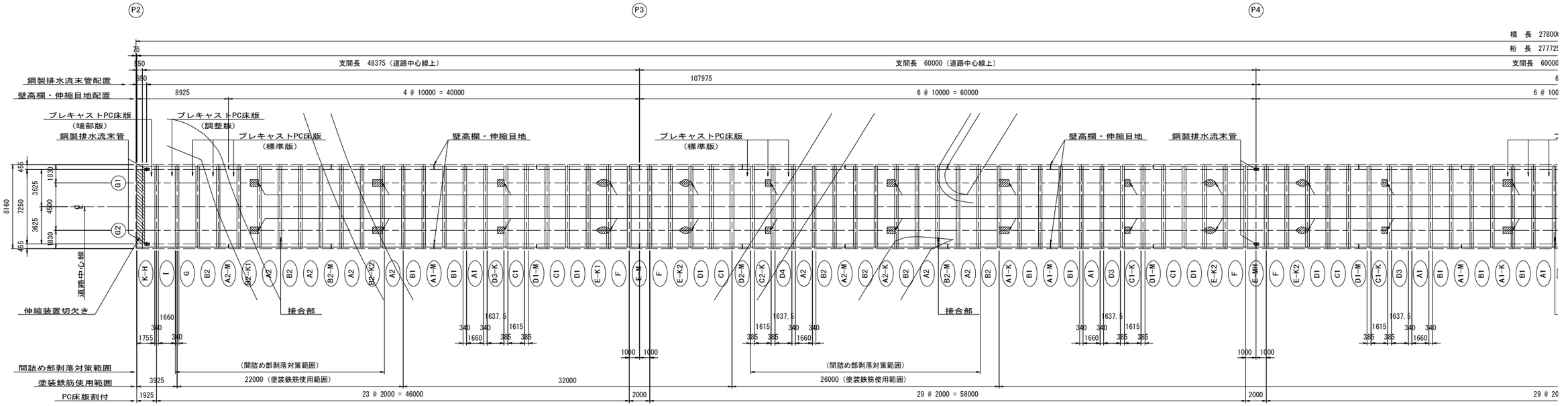
注）
1 特記なき材質は全てSS400とする
2 スタッド詳細は主桁共通詳細図（その2）図を参照のこと
3 Sは有効ネジ長を示す

実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 主桁スタッド配置図（その3）		
縮尺	1:40	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	40 / 123

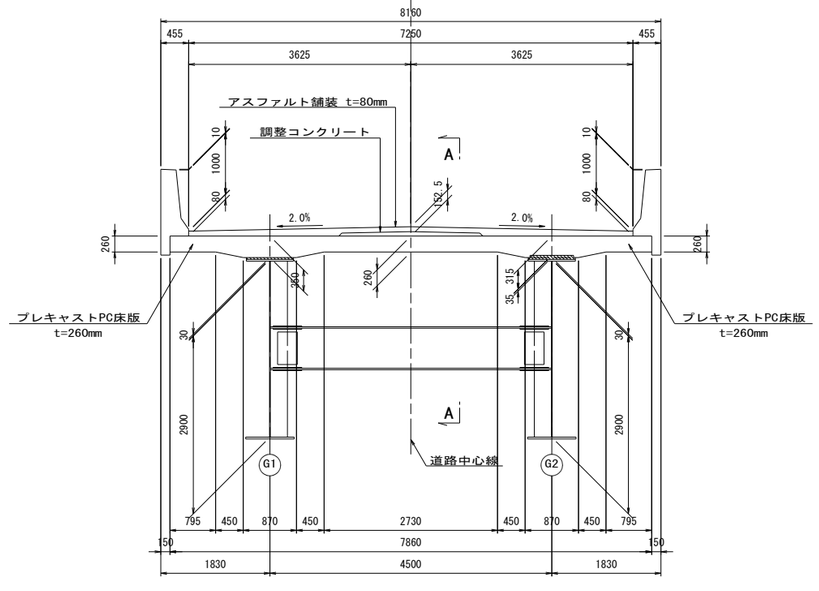
P2～A2 PC

平 i

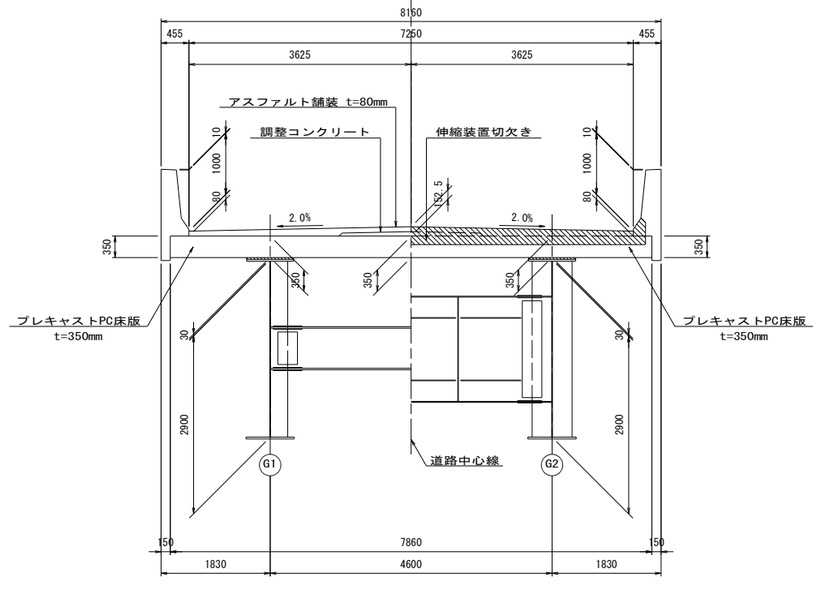


断 面 図 縮尺=1:50

標 準 部 ℄ 添接板用切欠き部

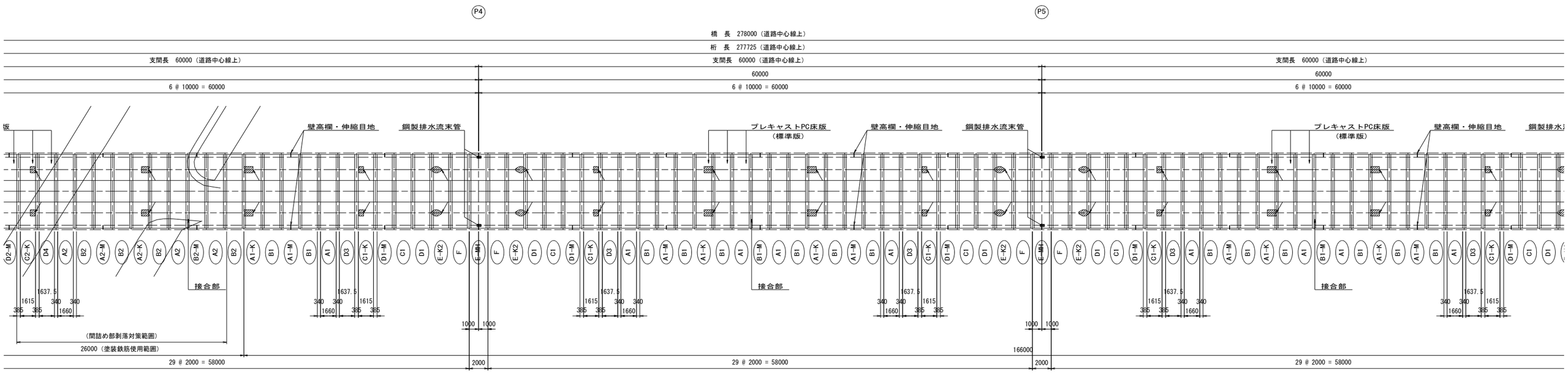


調 整 部 ℄ 端 部

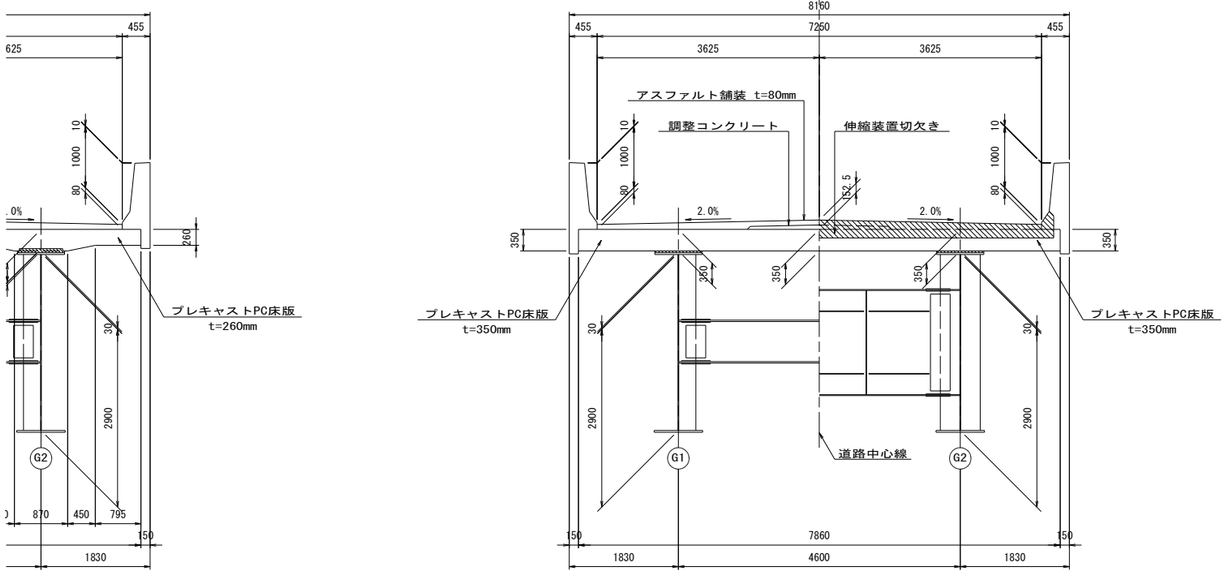


P2～A2 PC床版割付図

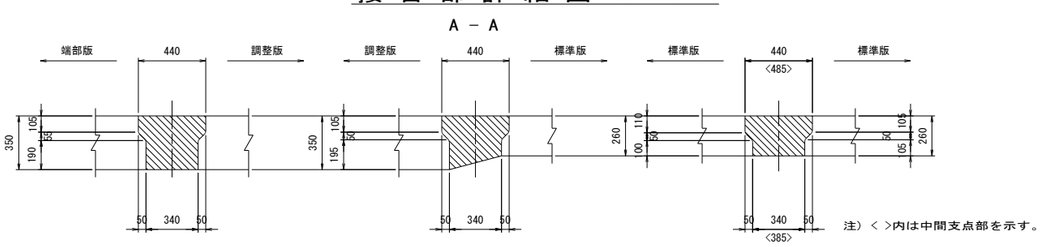
平　面　図　縮尺=1:200



断　面　図　縮尺=1:50



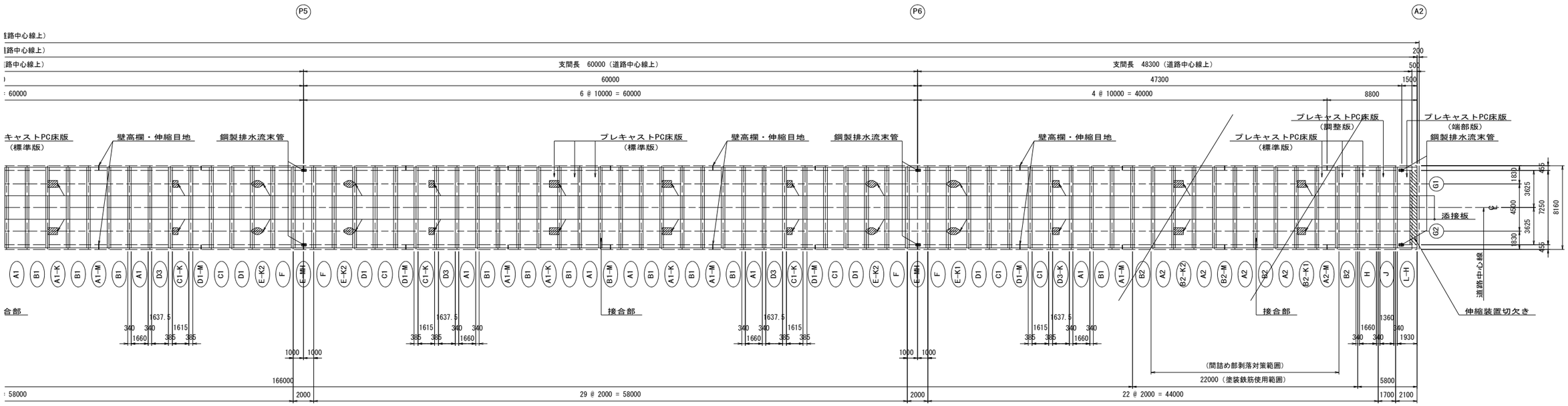
接　合　部　詳　細　図　S=1:20



注）＜ ＞内は中間支点部を示す。

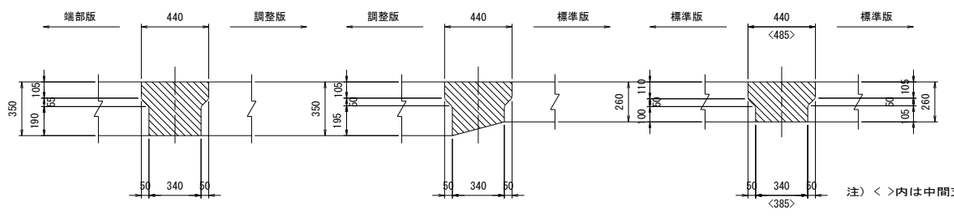
床版割付図

図　縮尺=1:200



接 合 部 詳 細 図　S=1:20

A － A



床版数量表

版タイプ	枚 数	版タイプ	枚 数
A1	11	E-M	1
A1-M	7	E-MH	3
A1-K	5	E-K1	2
A2	11	E-K2	6
A2-M	3	F	8
A2-K	1	G	1
B1	17	H	1
B1-M	2	I	1
B2	9	J	1
B2-M	3	K-H	1
B2-K1	2	L-H	1
B2-K2	2		
C1	10		
C1-K	5	合 計	139
C2-K	1		
D1	8		
D1-M	7		
D2-M	1		
D3	5		
D3-K	2		
D4	1		

凡　例

-M ： 壁高欄・伸縮目地配置版

-H ： 鋼製排水流末管設置版

-K ： 添接板用切欠き版

コンクリート、無収縮モルタルの種類

部材（部位）	種　　類
プレキャストPC床版	σck=50N/mm^2
接 合 部	σck=50N/mm^2（早強、膨張材使用） ※
スタッドジベル用孔充填部	σck=50N/mm^2（早強、膨張材使用）
床版と主桁の接合部	無収縮モルタル（プレミックス製品）

※ 間詰め部剥落対策範囲には、
ポリプロピレン短繊維をフレッシュコンクリートに混合する。

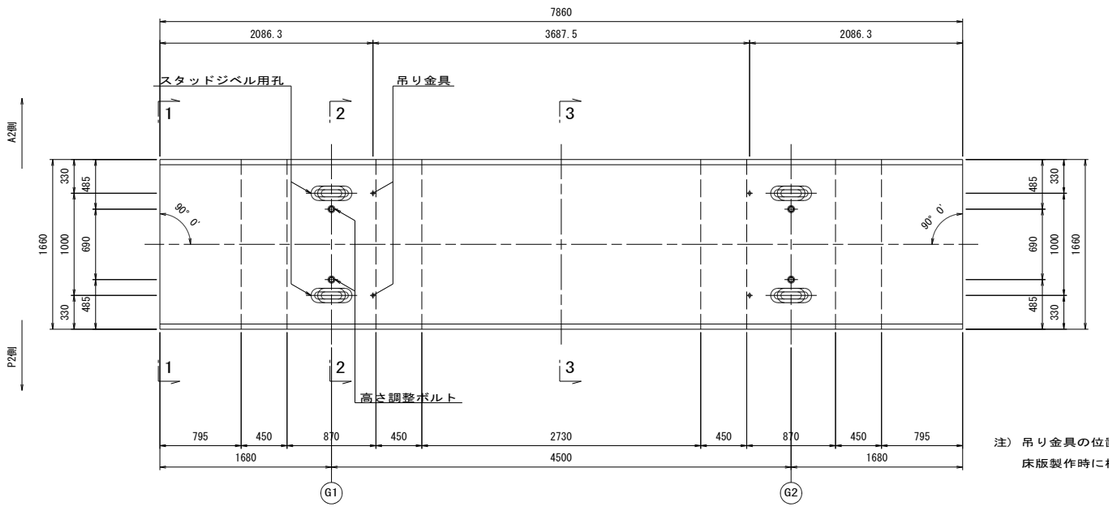
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路 線 名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図 面 名	P2～A2 PC床版割付図		
縮　　尺	1:200	位置	
設 計 者		設計年度	
宮　城　県		図番	41 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その1）　縮尺=1:30

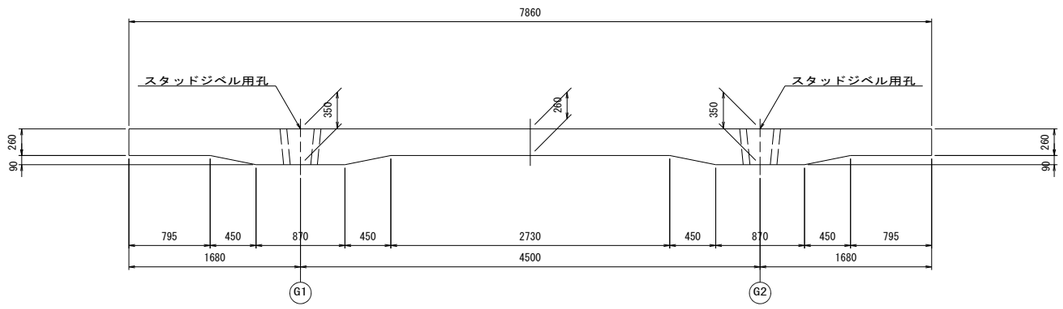
（A），（B），（G），（H）タイプ

平　面　図



注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

断　面　図

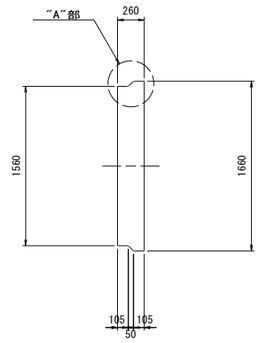


該当版タイプ

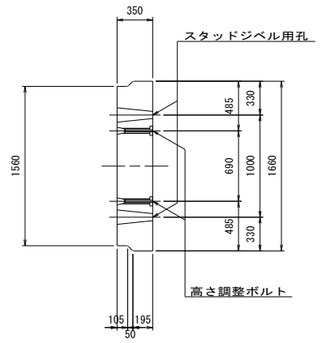
	ジベル用孔タイプ
A1, A1-M, A2, A2-M	タイプ1
B1, B1-M, B2, B2-M	タイプ1
G	タイプ2
H	タイプ2

側　面　図

1-1, 3-3

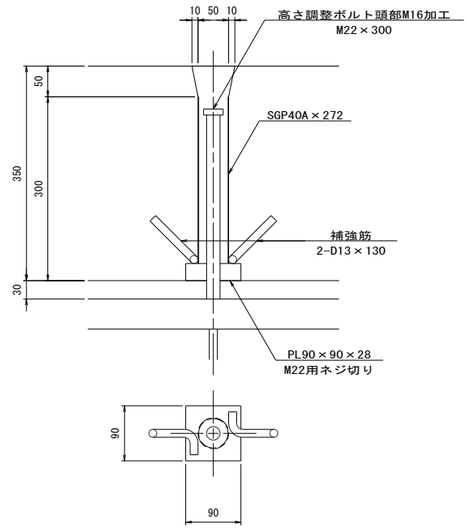


2-2

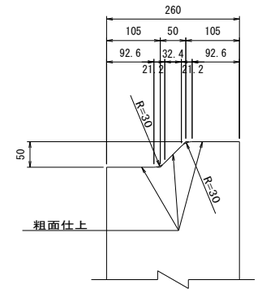


高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

（床版1枚当り4組使用）

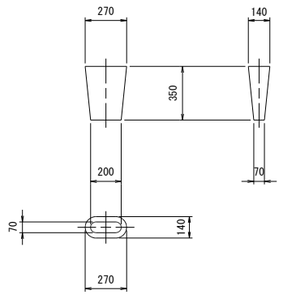


"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6

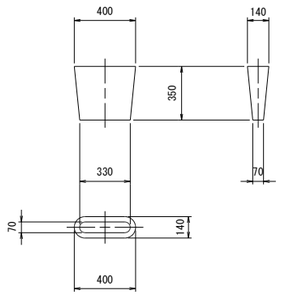


スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20

タイプ1



タイプ2



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

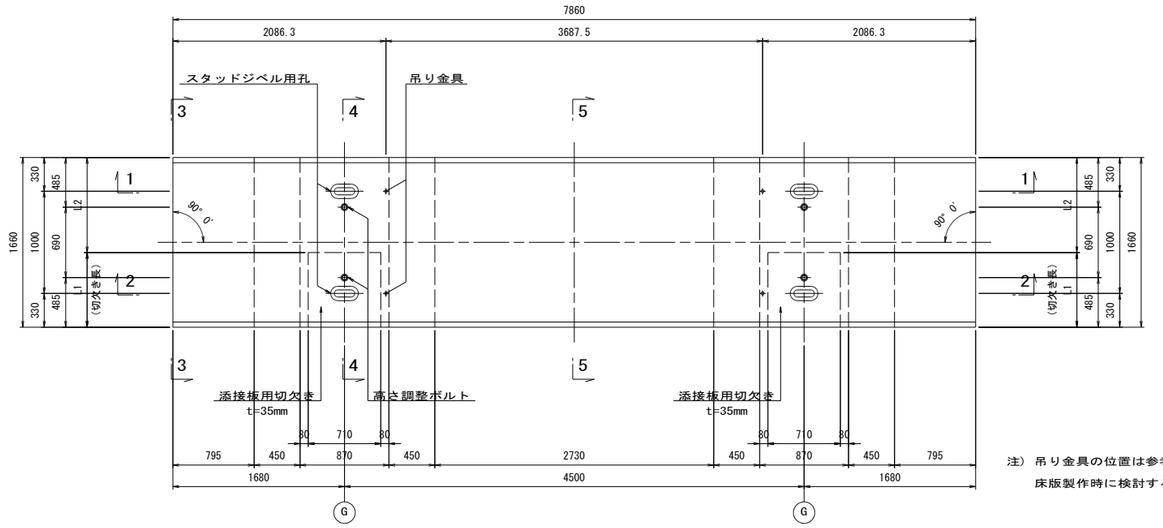
実　施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	42 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その2）　縮尺=1:30

A , B タイプ

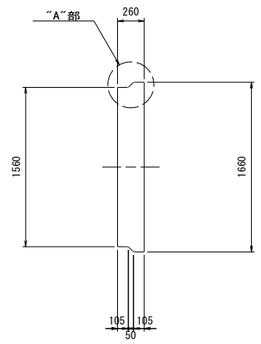
平　面　図



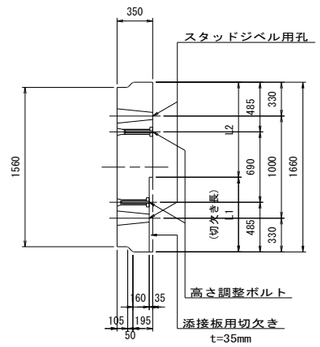
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

3-3, 5-5

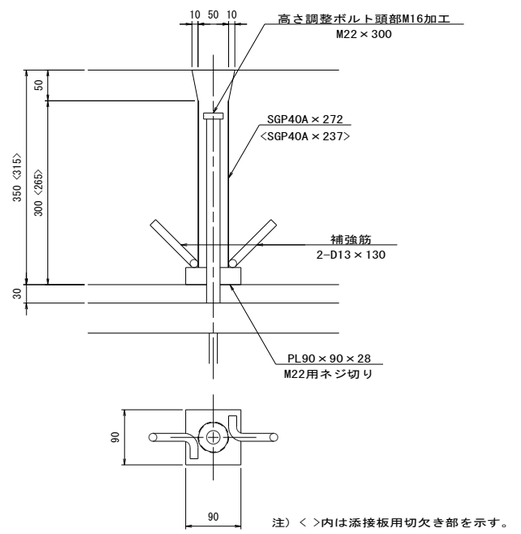


4-4



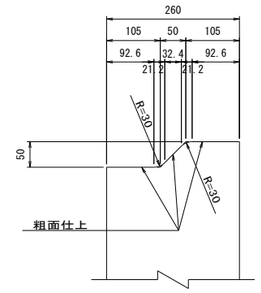
高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

（床版1枚当り4組使用）

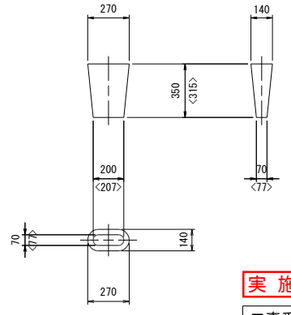


注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6



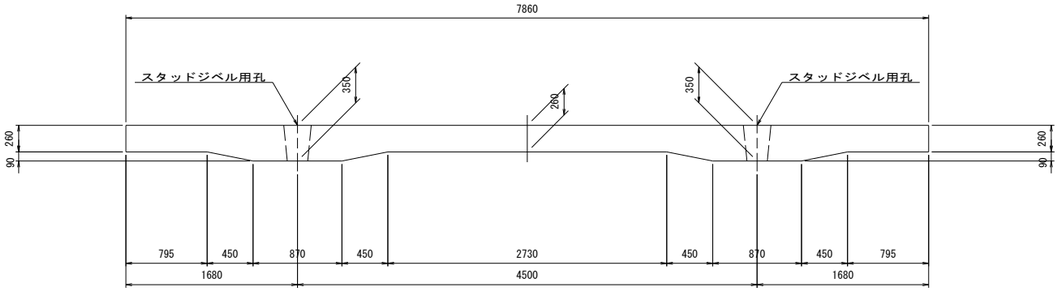
スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20



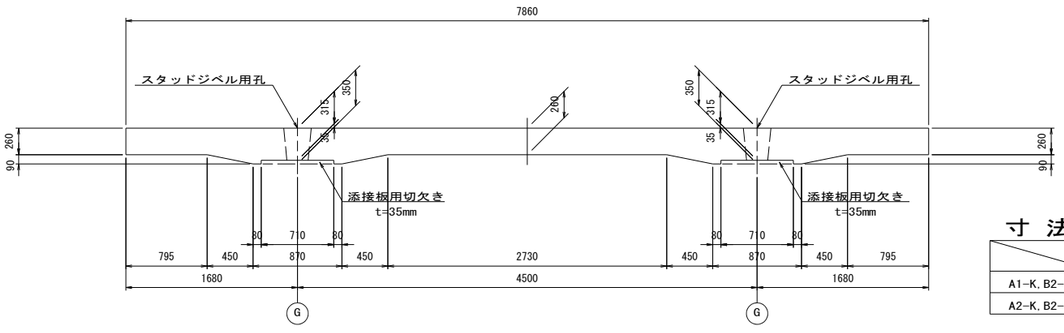
注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

断　面　図

1-1



2-2



寸　法　表

	L1	L2
A1-K, B2-K2	805	855
A2-K, B2-K1	730	930

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

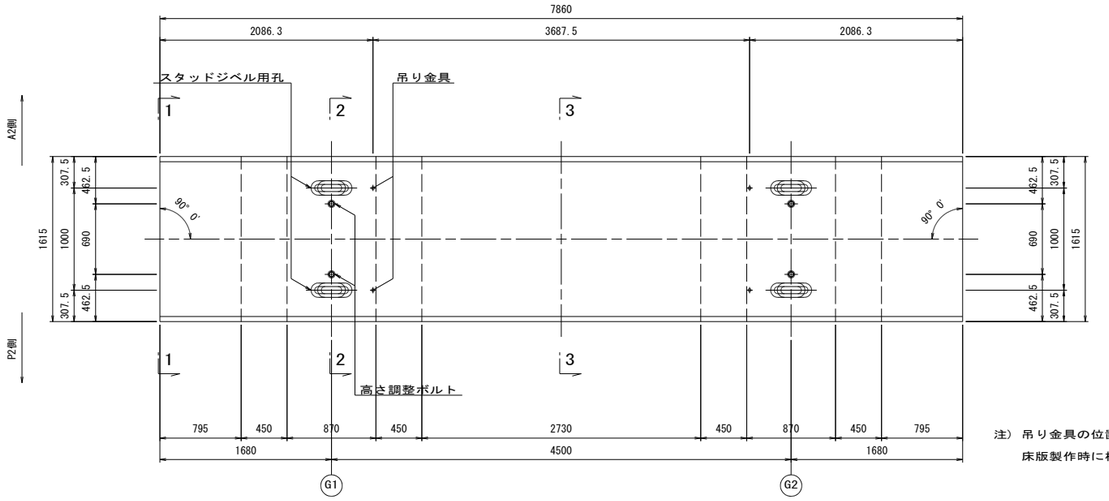
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	43 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その3）　縮尺=1:30

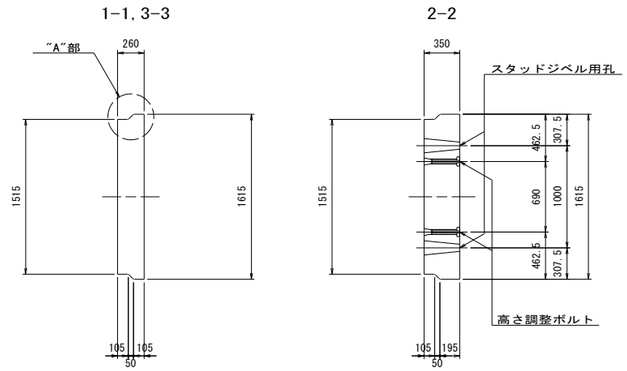
C ～ F タイプ

平　面　図

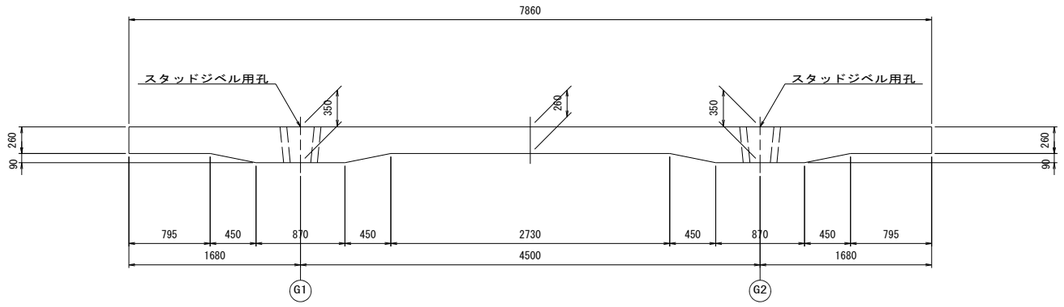


注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図



断　面　図

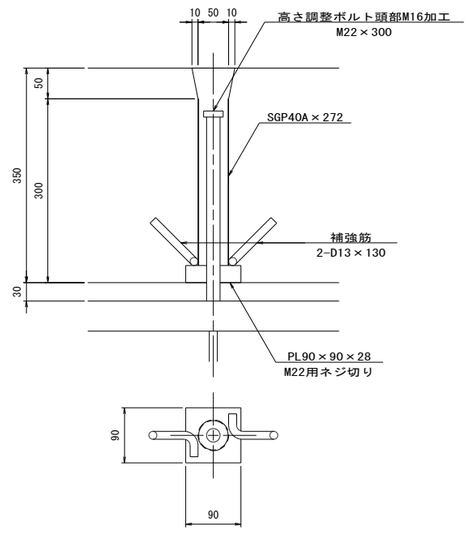


該当版タイプ

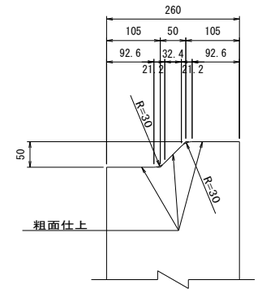
	ジベル用孔タイプ
C1	タイプ1
D1, D1-M, D2-M	タイプ1
E-M	タイプ2
F	タイプ2

高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

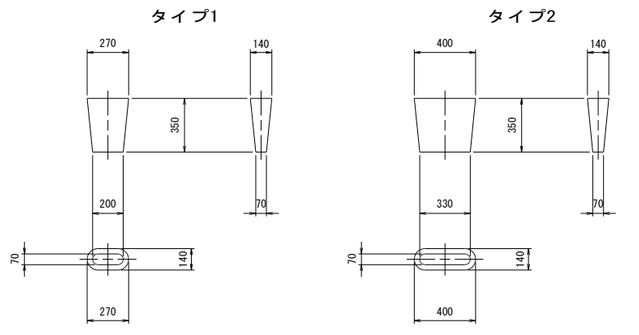
（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

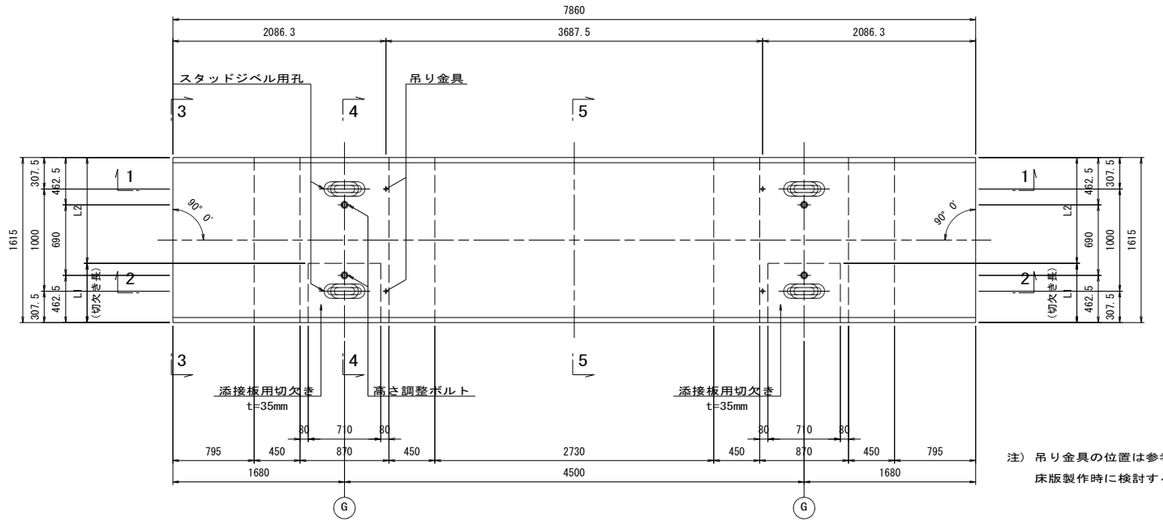
実　施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	44 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その4）　縮尺=1:30

C , E タイプ

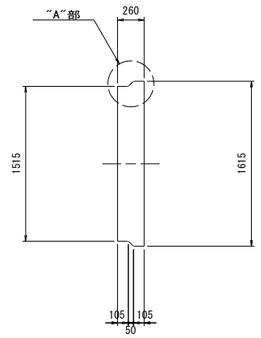
平　面　図



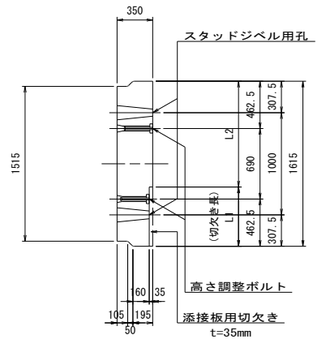
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

3-3, 5-5

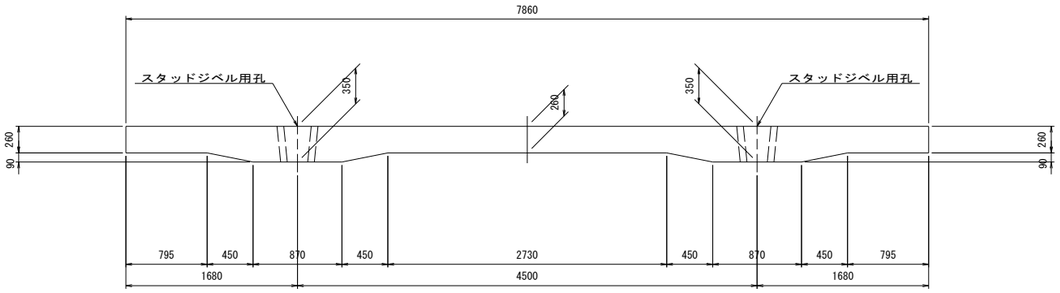


4-4

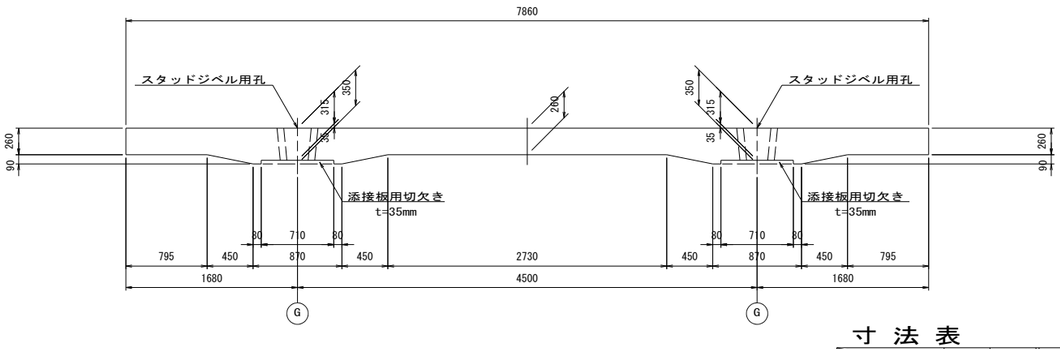


断　面　図

1-1



2-2

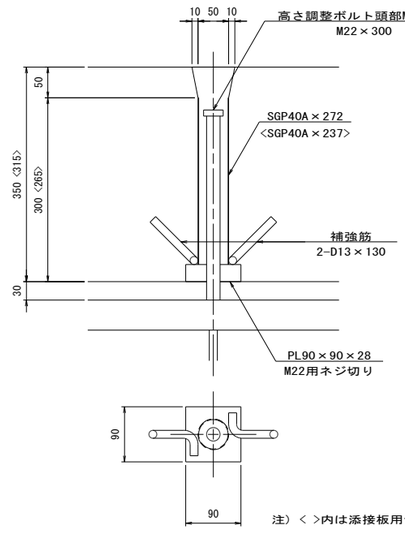


寸　法　表

	L1	L2	ジベル用孔タイプ
C1-K, C2-K	558	1057	タイプ1
E-K1	948	667	タイプ2
E-K2	873	742	タイプ2

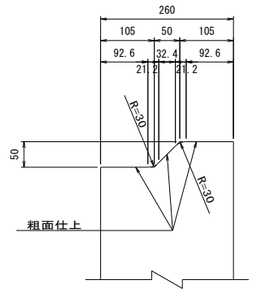
高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

（床版1枚当り4組使用）



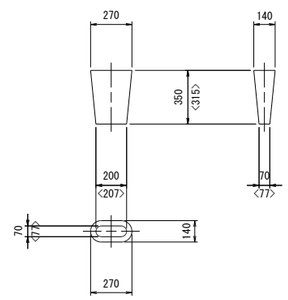
注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6

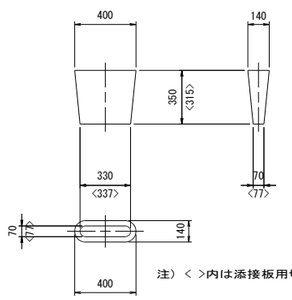


スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20

タイプ1



タイプ2



注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

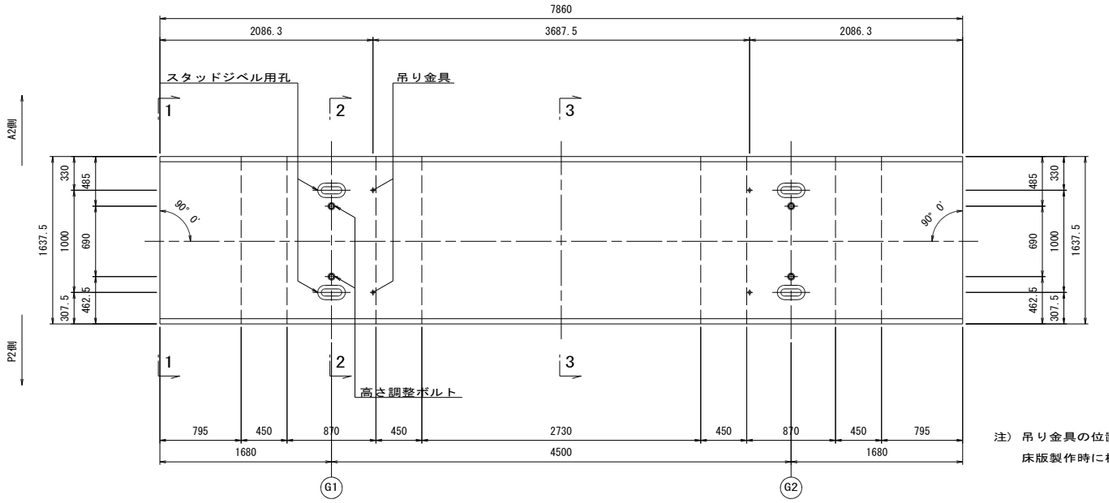
実　施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その4)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	45 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その5）　縮尺=1:30

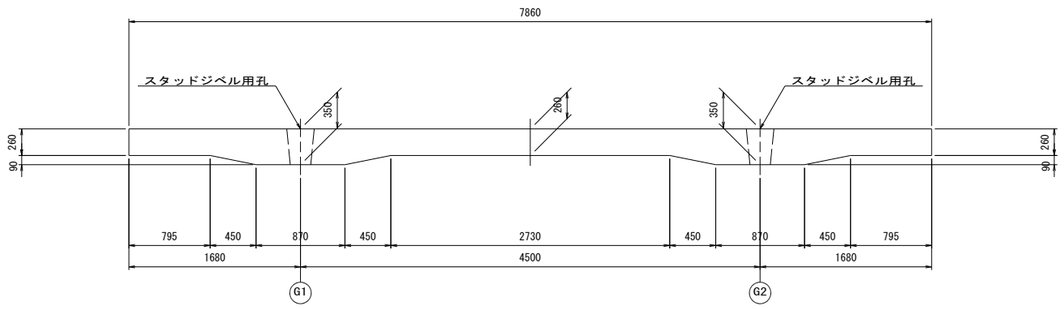
D3 , D4 タイプ

平　面　図

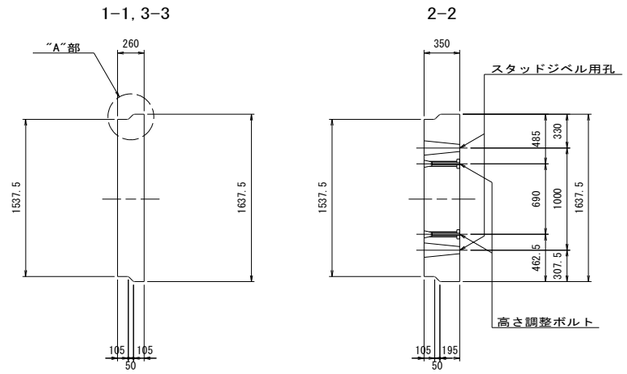


注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

断　面　図

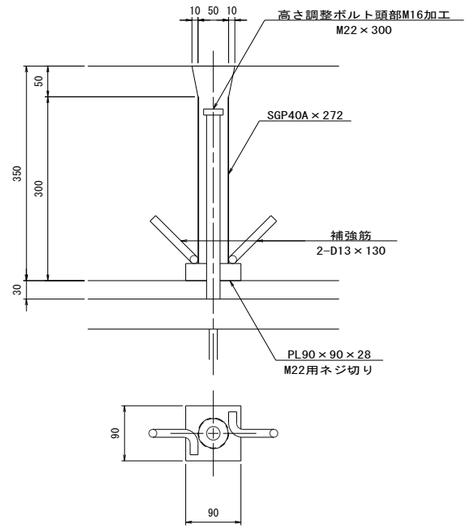


側　面　図

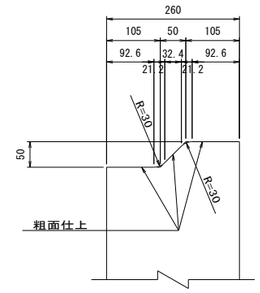


高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

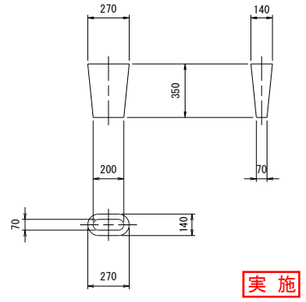
（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

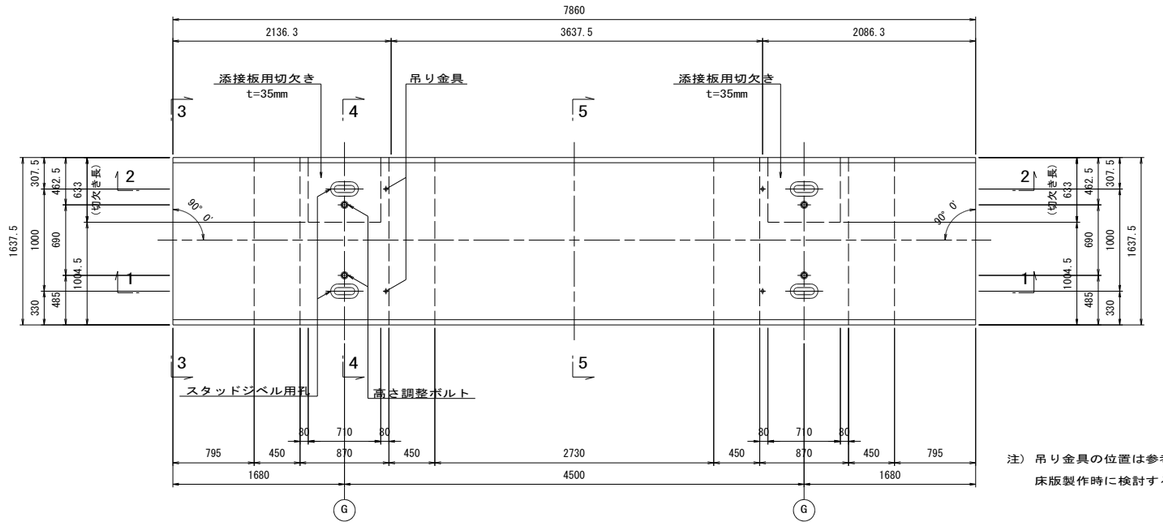
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その5)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	46 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その6）　縮尺=1:30

D3-K タイプ

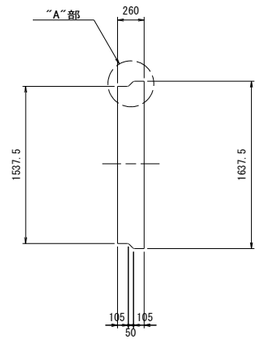
平　面　図



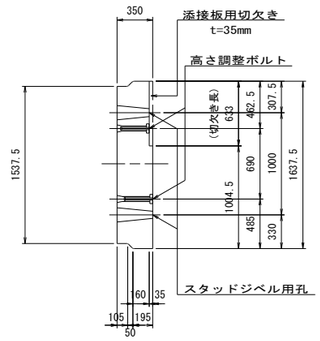
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

3-3, 5-5

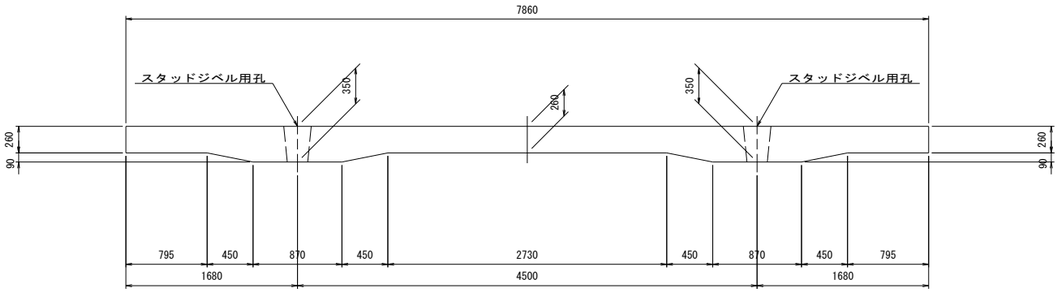


4-4

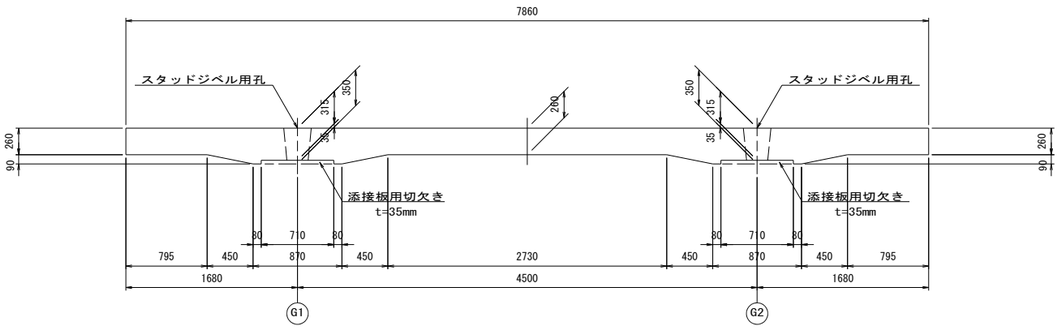


断　面　図

1-1

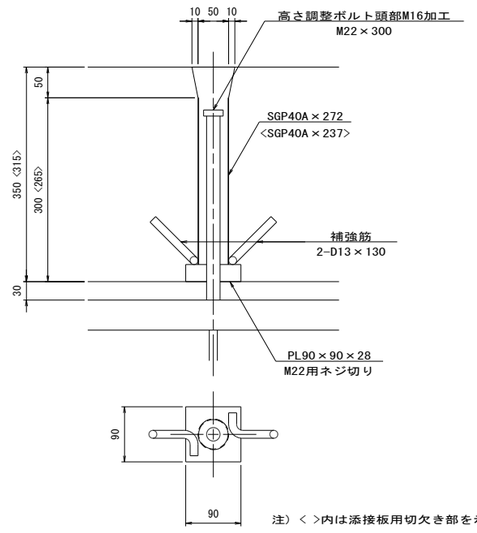


2-2



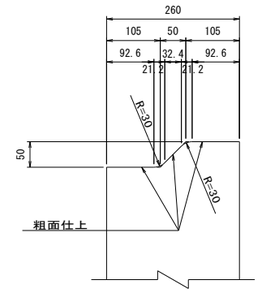
高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

（床版1枚当り4組使用）

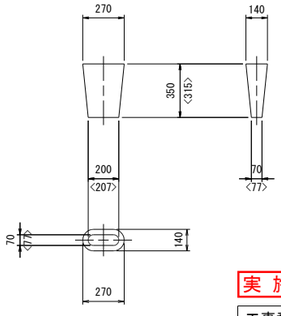


注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20



注）〈 〉内は添接板用切欠き部を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

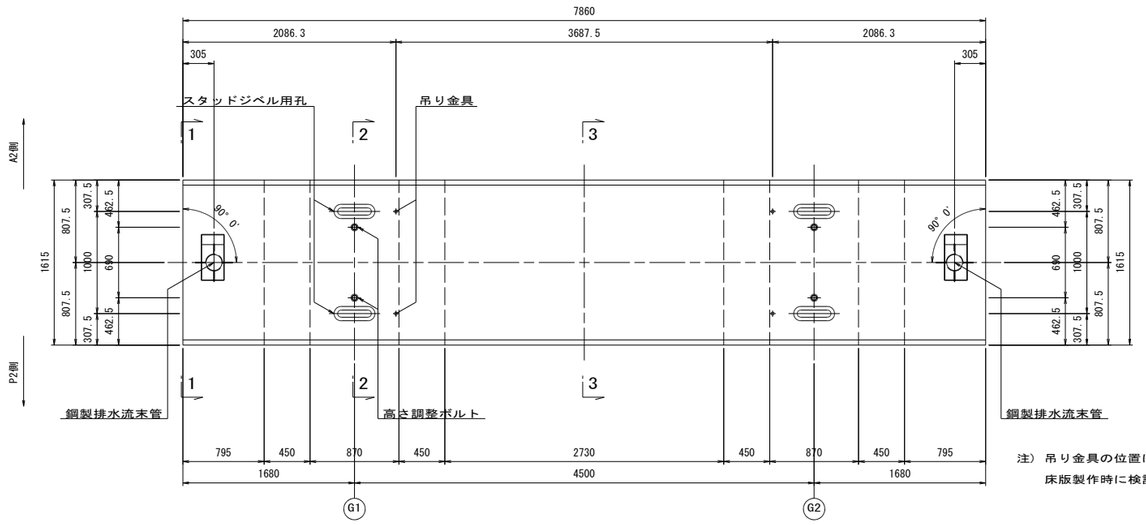
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その6)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	47 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その7）　縮尺=1:30

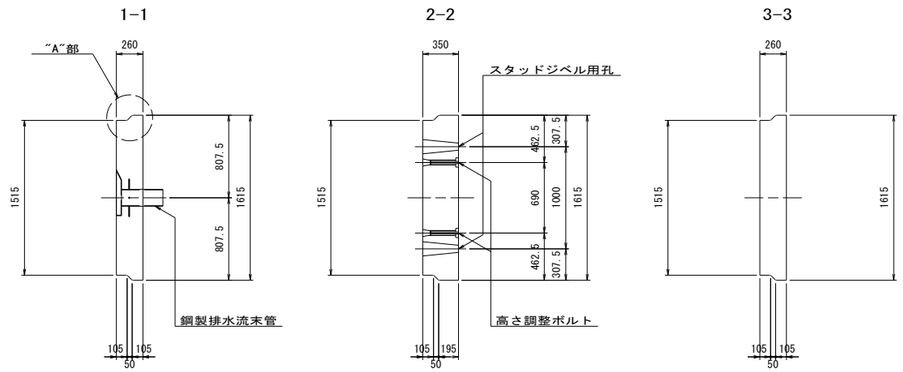
E-MH タイプ

平　面　図



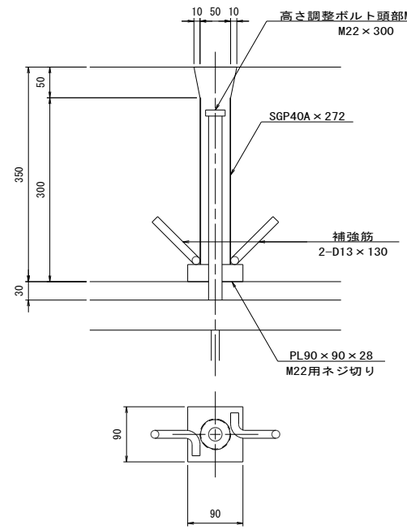
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

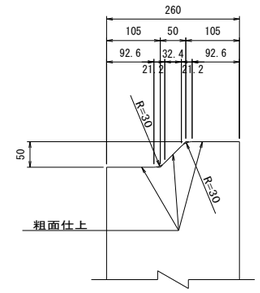


高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

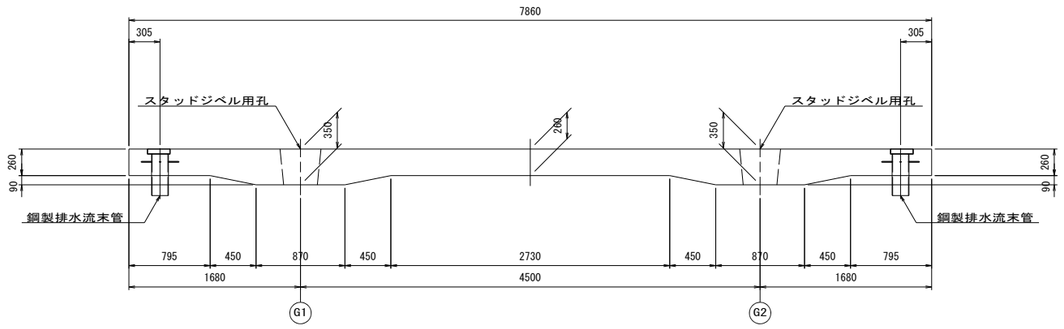
（床版1枚当り4組使用）



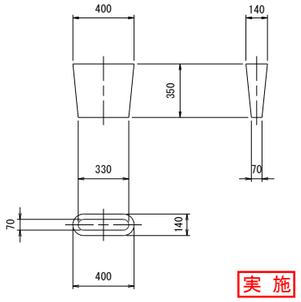
"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6



断　面　図



スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実施

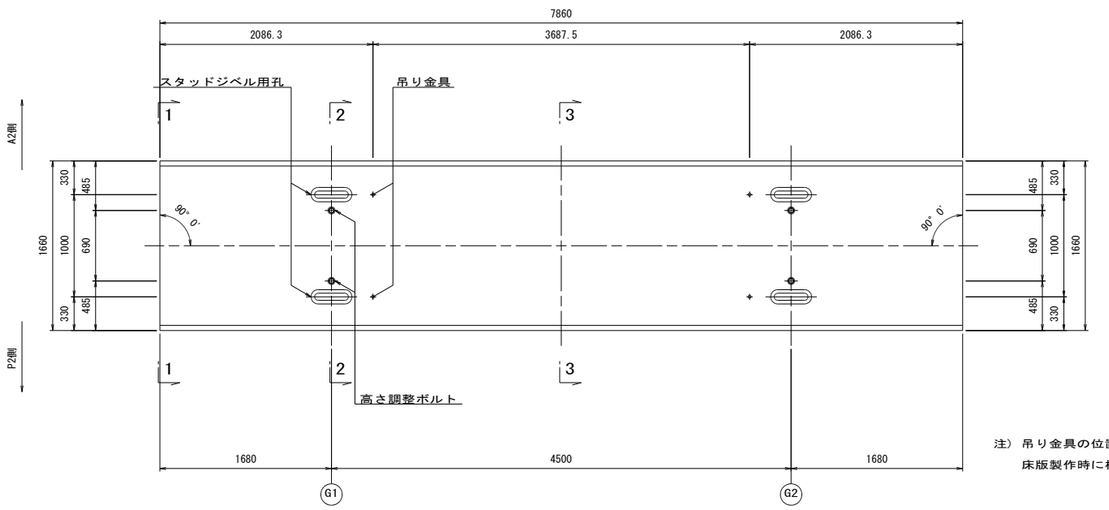
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その7)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	48 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その8）　縮尺=1:30

Ⅰ , Ⅱ タイプ

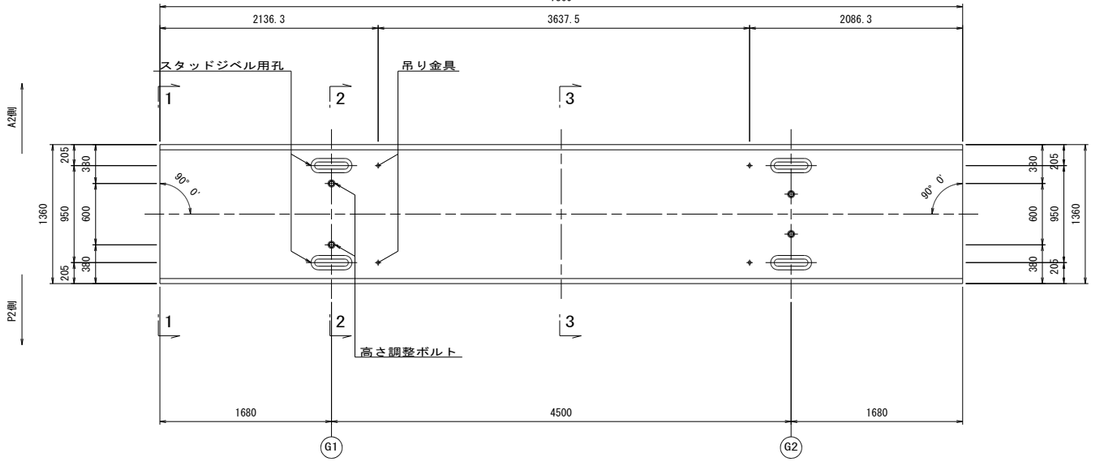
平　面　図

Iタイプ

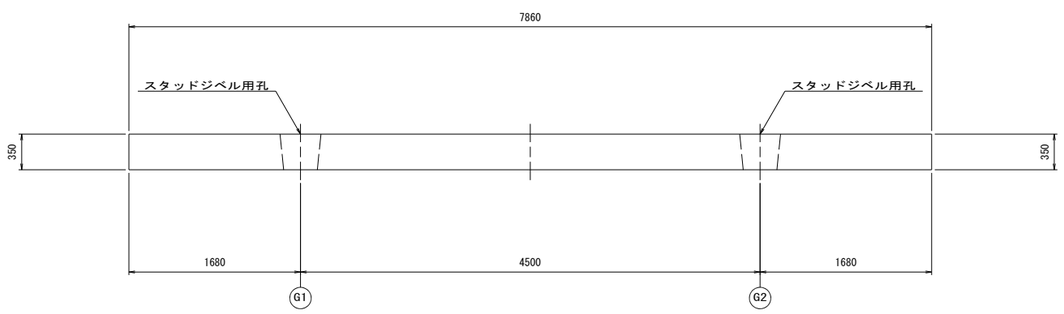


注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

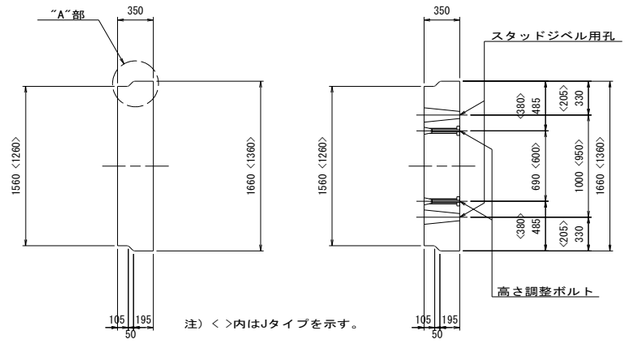
Jタイプ



断　面　図



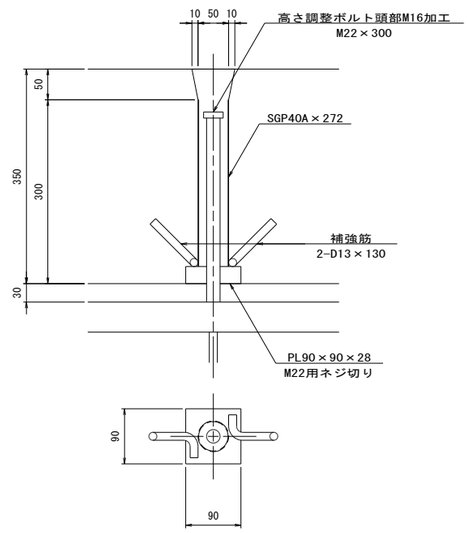
側　面　図



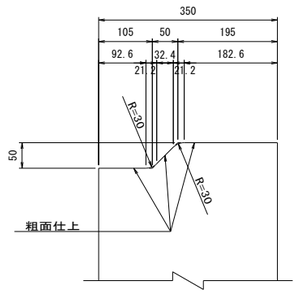
注）〈 〉内はJタイプを示す。

高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

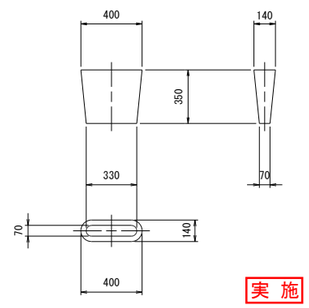
（床版1枚当り4組使用）



"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6



スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

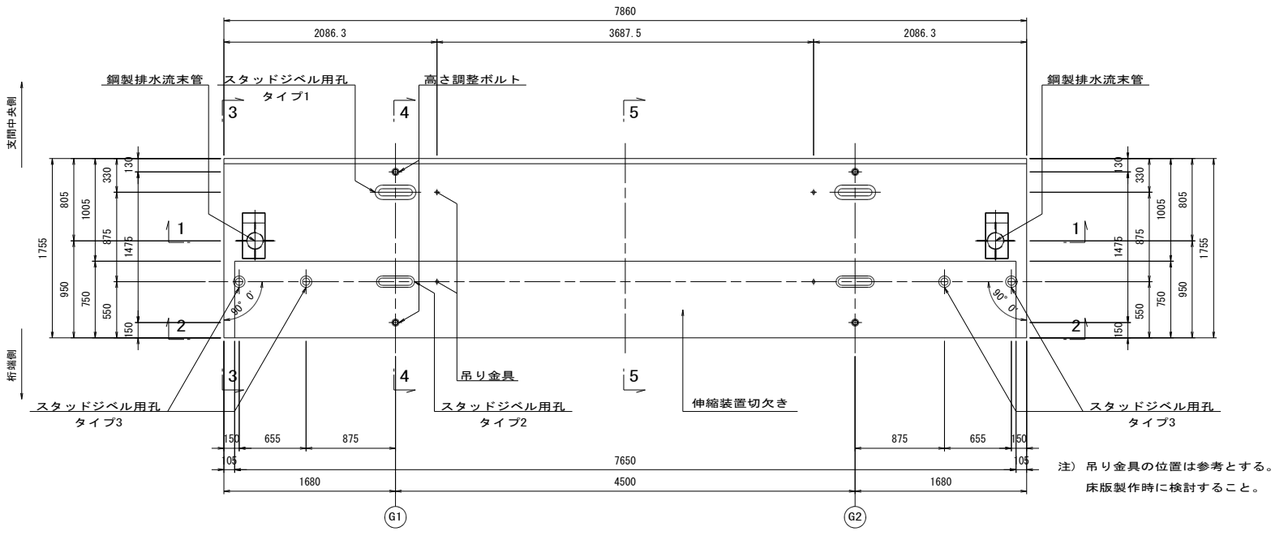
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その8)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	49 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その9）　縮尺=1:30

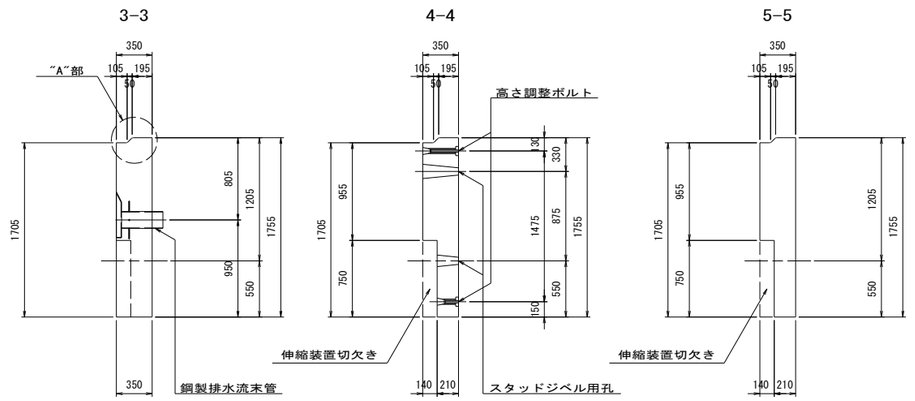
K-H タイプ

平　面　図



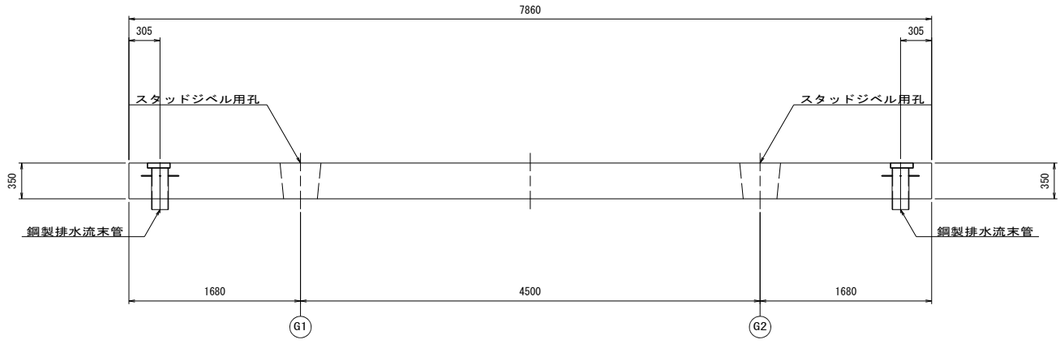
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図

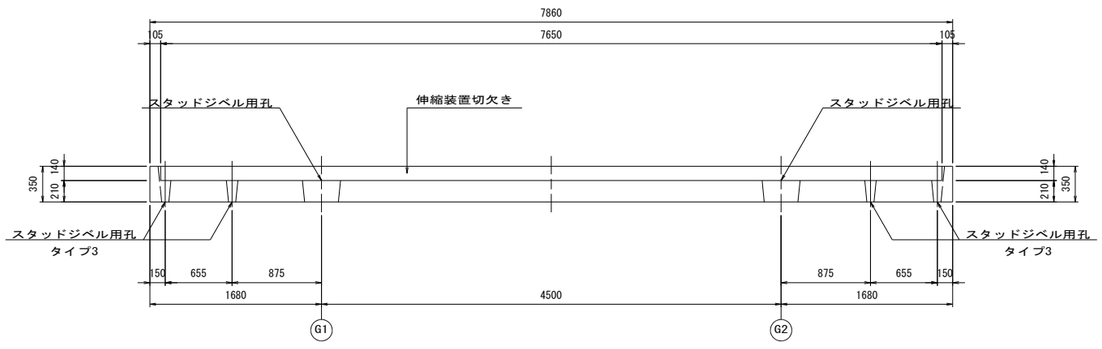


断　面　図

1-1



2-2



高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

（床版1枚当り4組使用）

注）〈 〉内は伸縮装置切欠き部を示す。

"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6

スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20

タイプ1

タイプ2

タイプ3

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

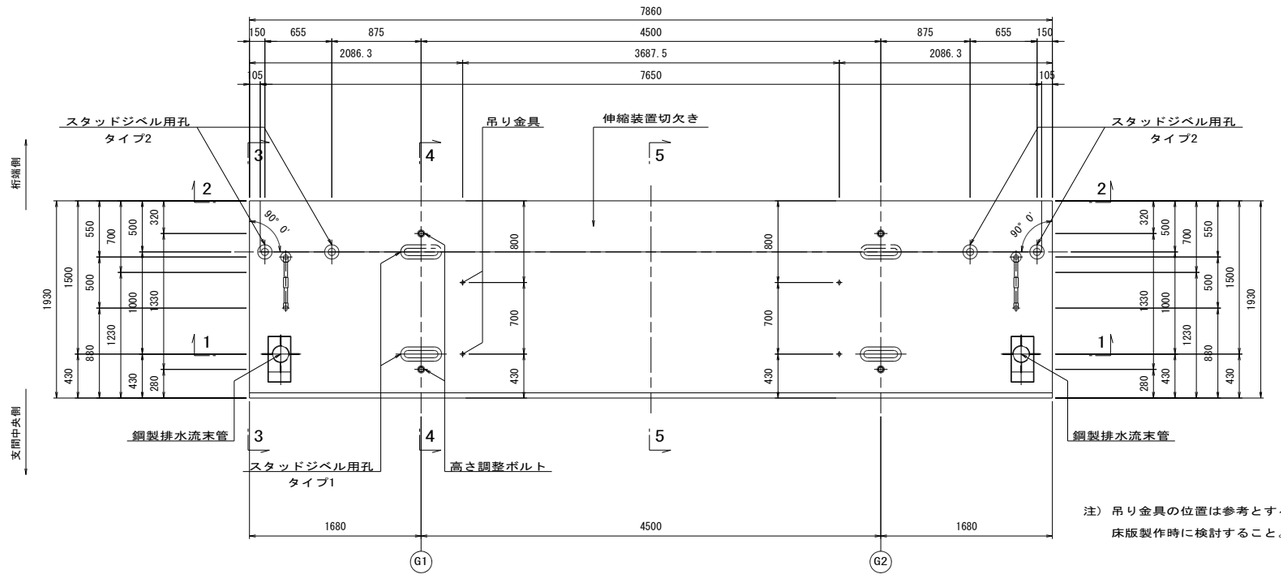
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その9)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	50 / 123

P2～A2 PC床版構造図（その10）　縮尺=1:30

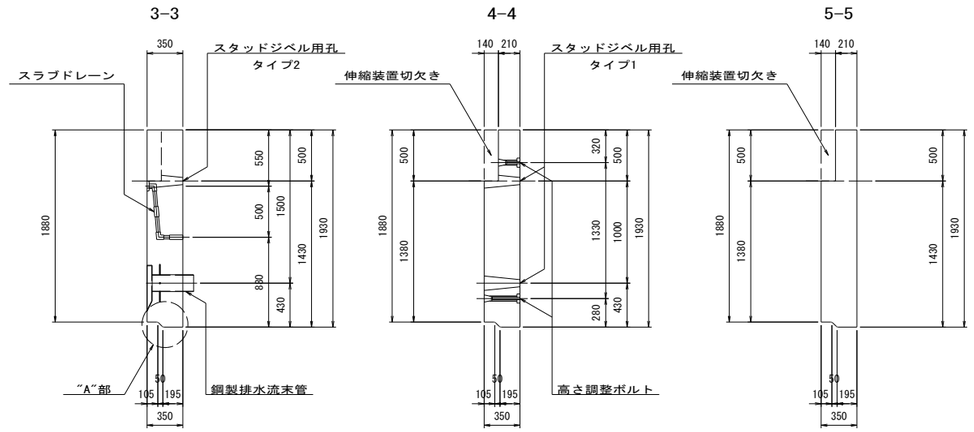
L-H タイプ

平　面　図



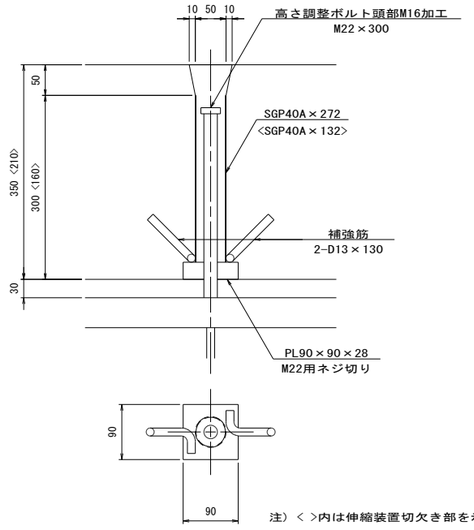
注）吊り金具の位置は参考とする。
床版製作時に検討すること。

側　面　図



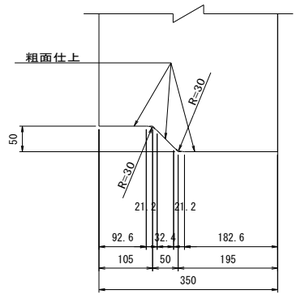
高さ調整ボルト詳細図　縮尺=1:5

（床版1枚当り4組使用）



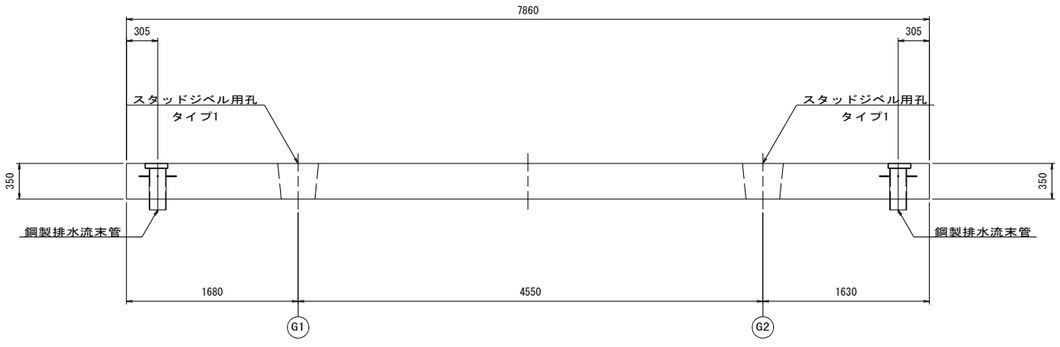
注）〈 〉内は伸縮装置切欠き部を示す。

"A" 部 詳 細 図　縮尺=1:6

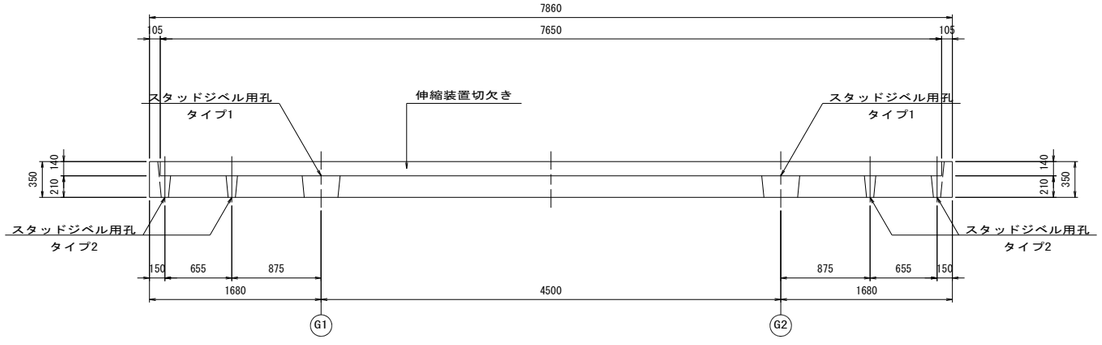


断　面　図

1-1

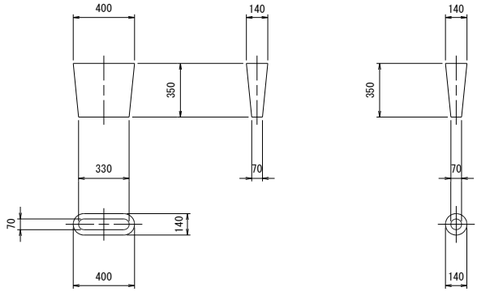


2-2



スタッドジベル用孔詳細図　縮尺=1:20

タイプ1　　タイプ2



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

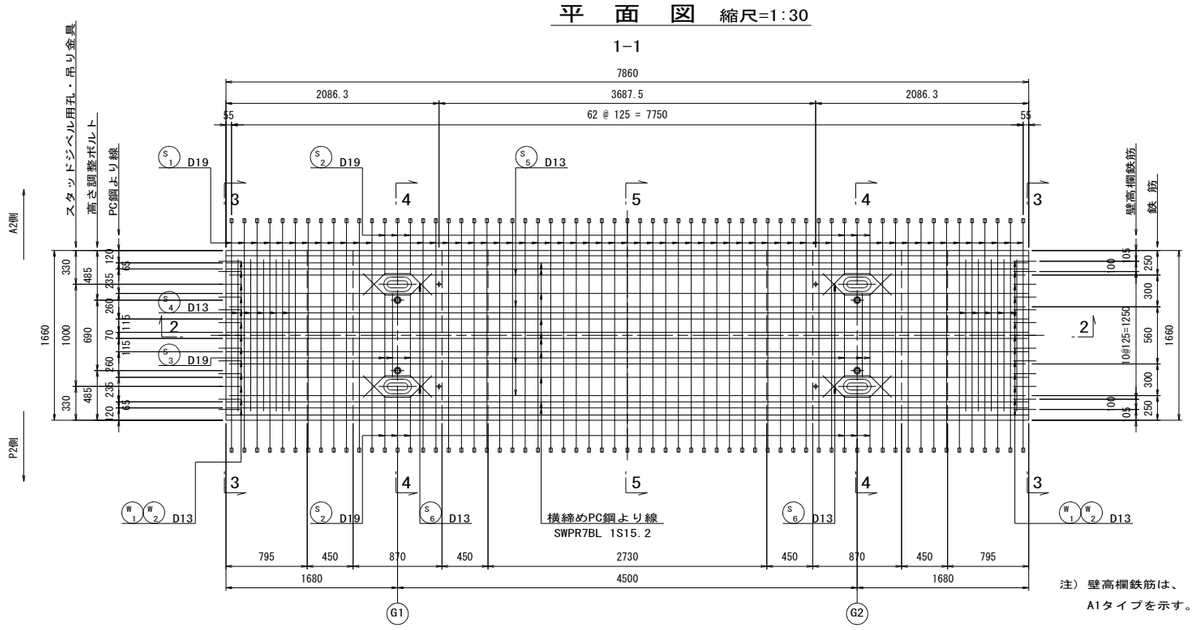
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版構造図(その10)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	51 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その1）

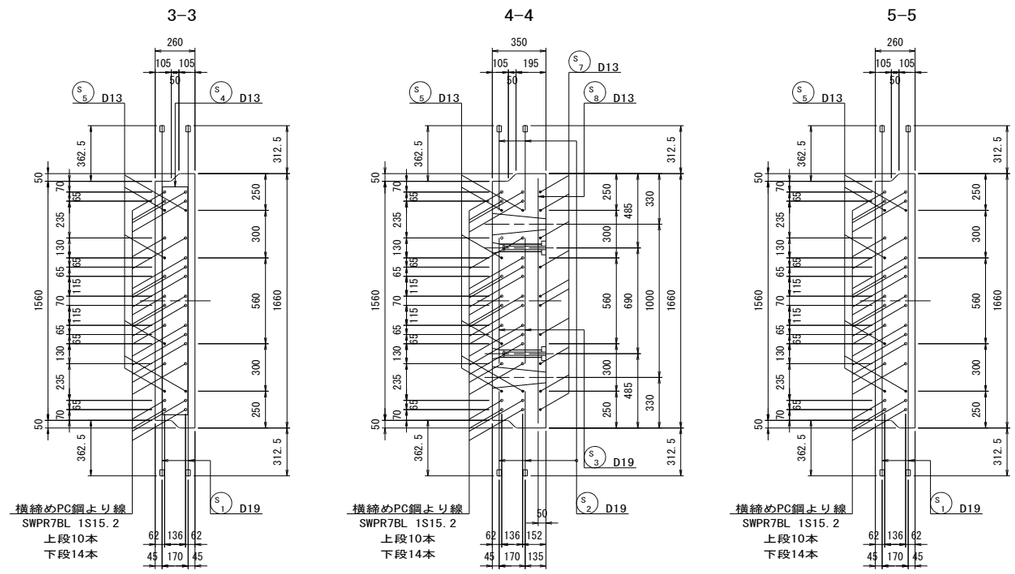
A1 ， A1-M タイプ

平　面　図　縮尺=1:30



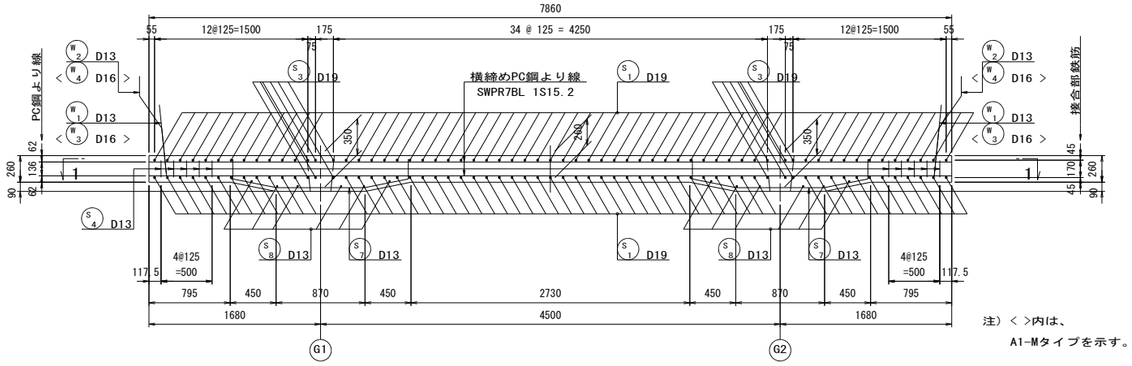
注）壁高欄鉄筋は、
A1タイプを示す。

側　面　図　縮尺=1:20

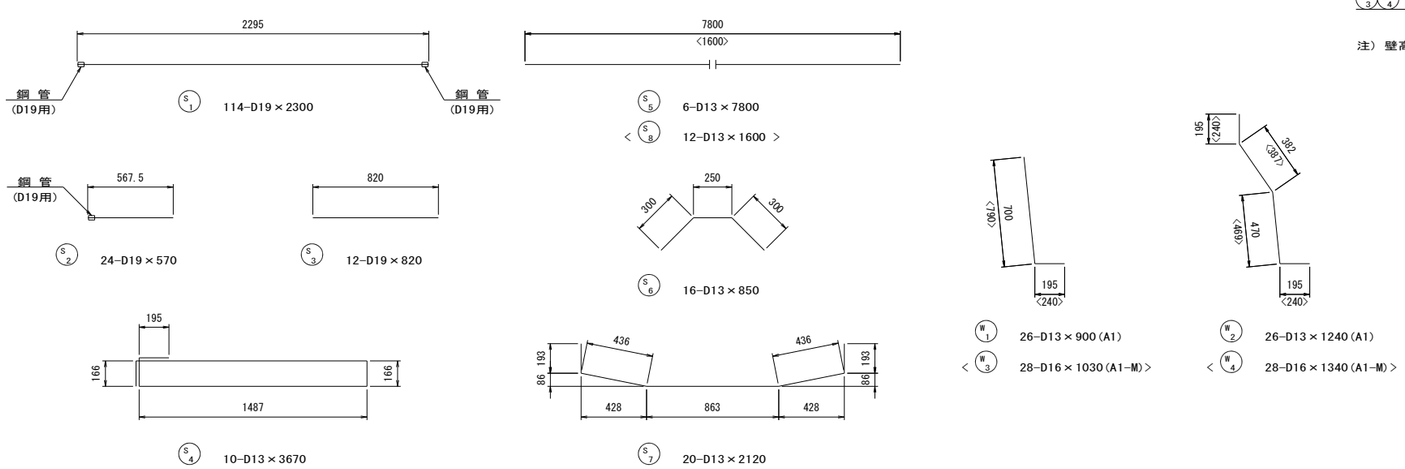


断　面　図　縮尺=1:30

2–2



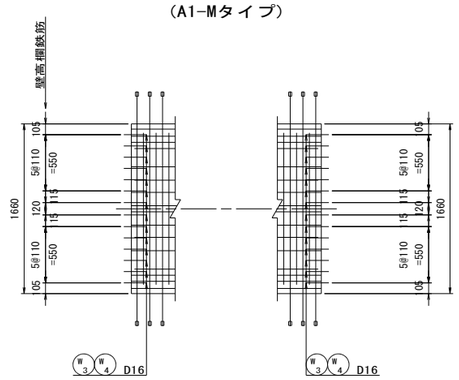
注）＜ ＞内は、
A1-Mタイプを示す。



平　面　図　縮尺=1:30

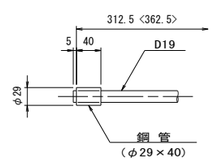
1–1

（A1–Mタイプ）



注）壁高欄鉄筋以外は、A1タイプと同様とする。

鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）＜ ＞内は上段側を示す。

鉄　筋　表

（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	2300	114	2.25	5.18	591	鋼管
2	〃	570	24	〃	1.28	31	鋼管
3	〃	820	12	〃	1.85	22	
4	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
5	〃	7800	6	〃	7.76	47	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
8	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 1	D13	900	26	0.995	0.90	23	A1
2	〃	1240	26	〃	1.23	32	A1
W 3	D16	1030	28	1.56	1.61	45	A1–M
4	〃	1340	28	〃	2.09	59	A1–M

普通鉄筋		A1	A1–M
SD345	D19	644 kg	644 kg
〃	D16	– kg	104 kg
〃	D13	214 kg	159 kg
〃	合計	858 kg	907 kg
鋼管（φ29×40）		252 個	252 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

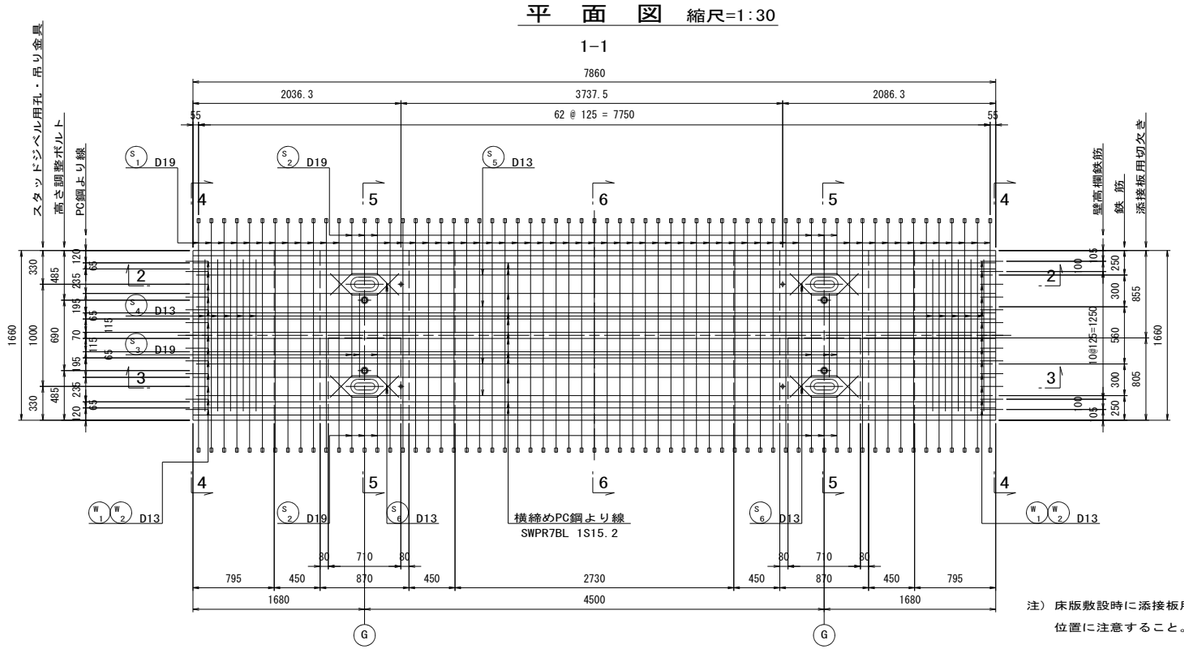
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	52 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その2）

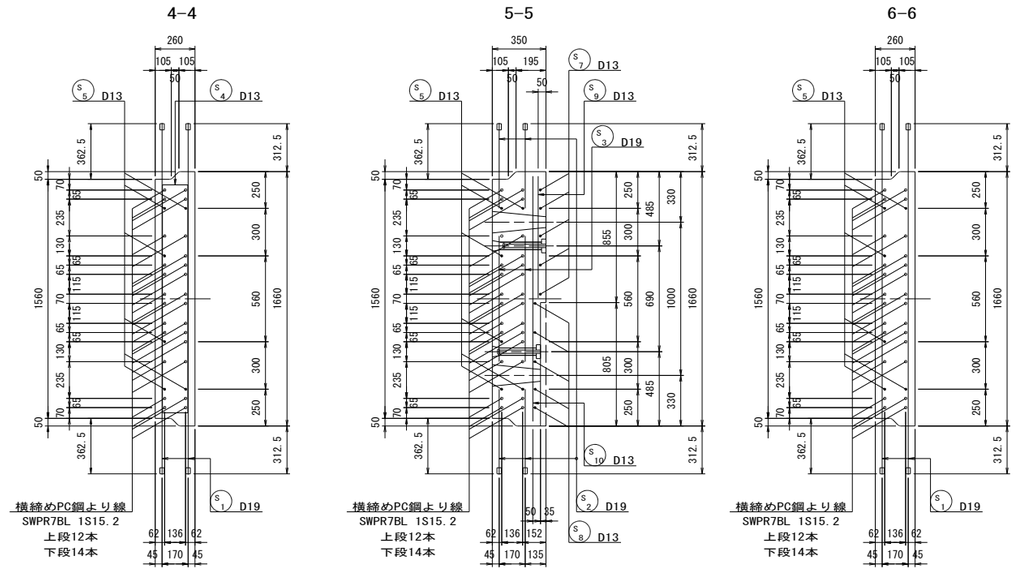
A1-K タイプ

平　面　図　縮尺=1:30



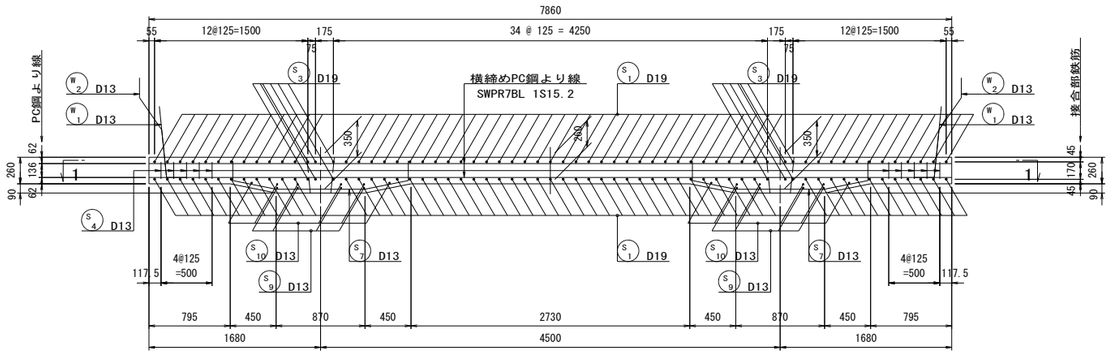
注）床版敷設時に添接板用切欠きの位置に注意すること。

側　面　図　縮尺=1:20

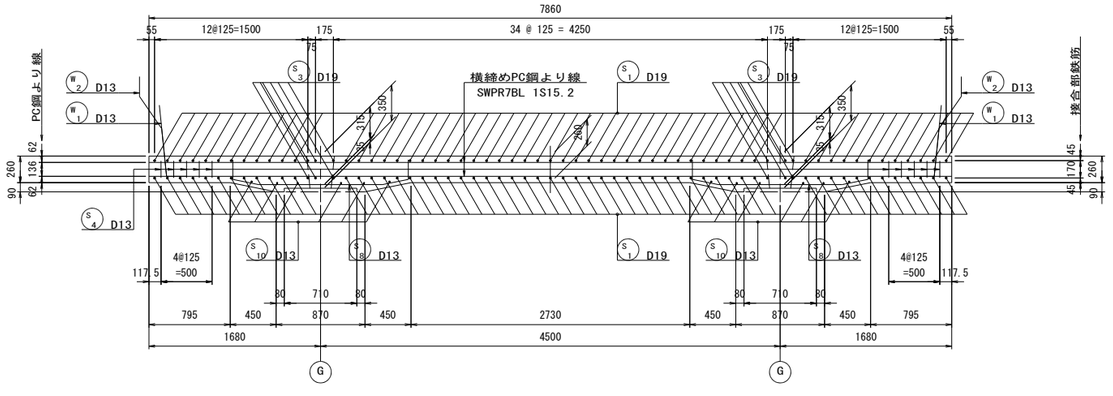


断　面　図　縮尺=1:30

2-2



3-3



注）床版の配置位置については"PC床版割付図"を参照すること。

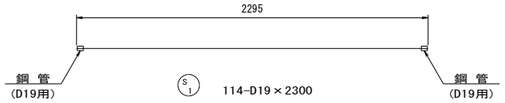
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	53 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その3）

A1-K タイプ

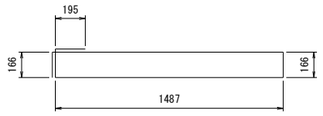
鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20



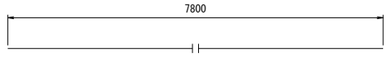
S1 114-D19×2300

S2 24-D19×570

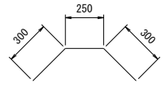
S3 12-D19×820



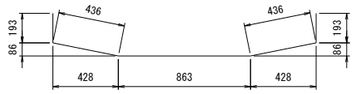
S4 10-D13×3670



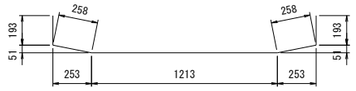
S5 6-D13×7800



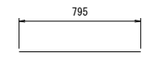
S6 16-D13×850



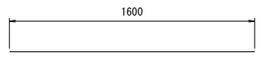
S7 10-D13×2120



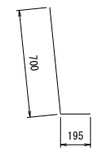
S8 10-D13×2120



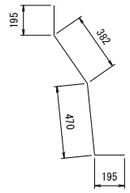
S9 8-D13×800



S10 12-D13×1600

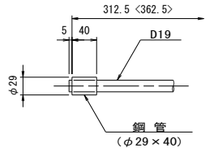


W1 26-D13×900



W2 26-D13×1240

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	114	2.25	5.18	591	鋼管
2	〃	570	24	〃	1.28	31	鋼管
3	〃	820	12	〃	1.85	22	
4	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
5	〃	7800	6	〃	7.76	47	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
7	〃	2120	10	〃	2.11	21	
8	〃	2120	10	〃	2.11	21	
9	〃	800	8	〃	0.80	6	
10	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 1	D13	900	26	0.995	0.90	23	
2	〃	1240	26	〃	1.23	32	
普通鉄筋							
				SD345	D19	644 kg	
				〃	D13	220 kg	
				〃	合計	864 kg	
鋼管（φ29×40）						252 個	

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

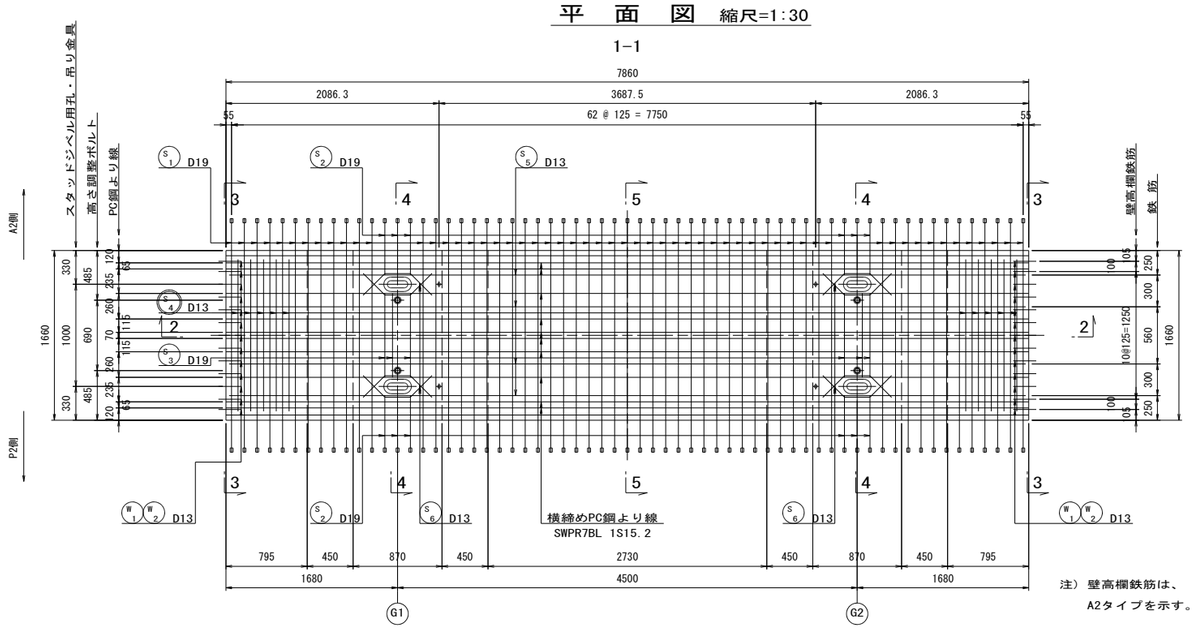
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その3)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	54 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その4）

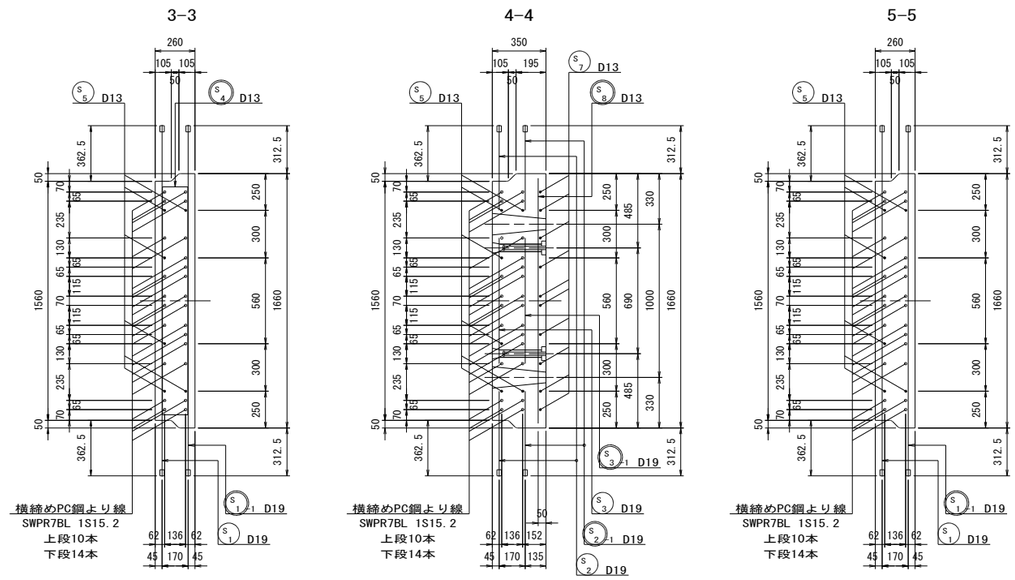
A2 ， A2-M タイプ

平　面　図　縮尺=1:30

1-1

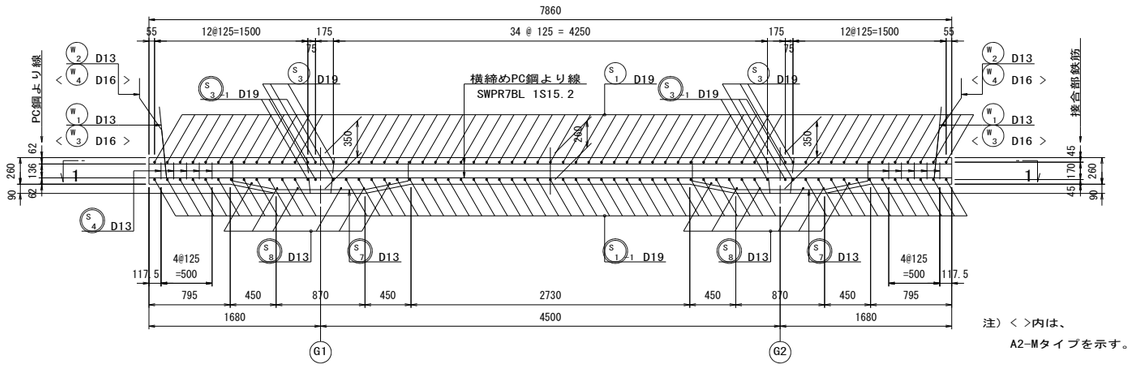


側　面　図　縮尺=1:20



断　面　図　縮尺=1:30

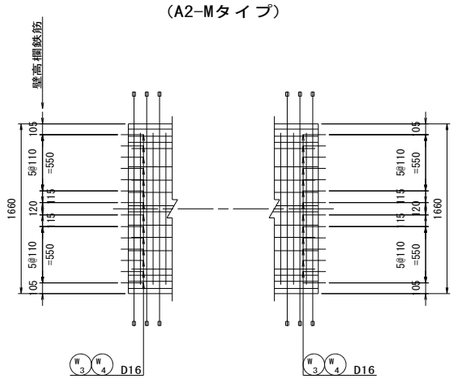
2-2



平　面　図　縮尺=1:30

1-1

（A2-Mタイプ）



注）壁高欄鉄筋以外は、A2タイプと同様とする。

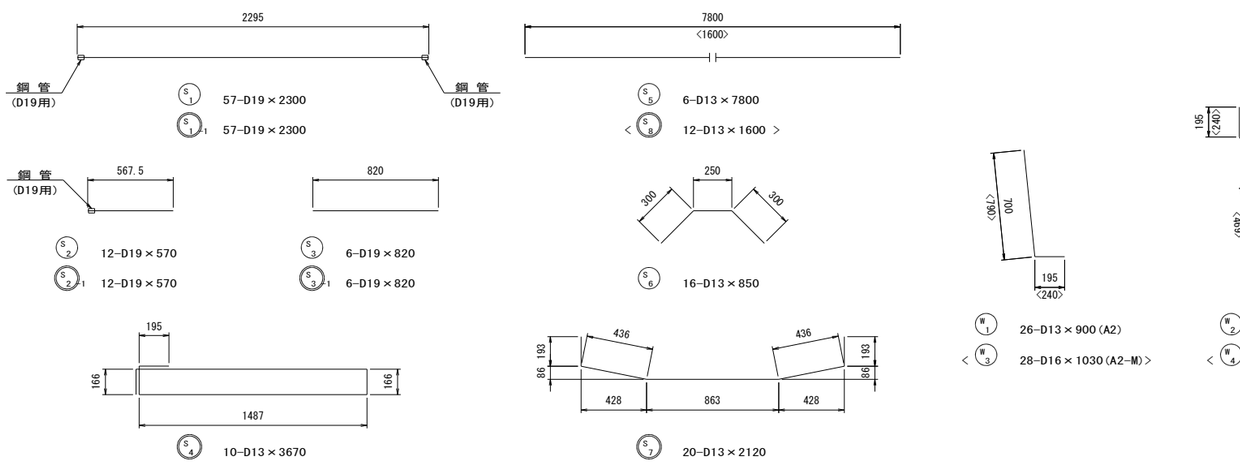
鉄　筋　表

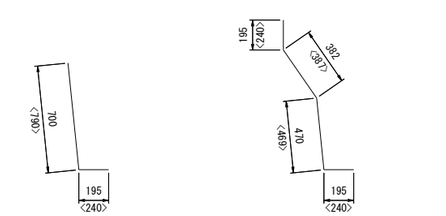
（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	2300	57	2.25	5.18	295	鋼管
* 1-1	〃	2300	57	〃	5.18	295	鋼管
2	〃	570	12	〃	1.28	15	鋼管
* 2-1	〃	570	12	〃	1.28	15	鋼管
3	〃	820	6	〃	1.85	11	
* 3-1	〃	820	6	〃	1.85	11	
* 4	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
5	〃	7800	6	〃	7.76	47	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
* 7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
* 8	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 1	D13	900	26	0.995	0.90	23	A2
2	〃	1240	26	〃	1.23	32	A2
W 3	D16	1030	28	1.56	1.61	45	A2-M
4	〃	1340	28	〃	2.09	59	A2-M

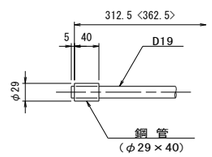
普通鉄筋		A2	A2-M
SD345	D19	321 kg	321 kg
〃	D16	- kg	104 kg
〃	D13	116 kg	61 kg
〃	合計	437 kg	486 kg
鋼管（φ29×40）		126 個	126 個

塗装鉄筋		A2・A2-M
SD345	D19	321 kg
〃	D13	98 kg
〃	合計	419 kg
鋼管（φ29×40）		126 個





鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

注）鉄筋の仕様について

○ ・・・普通鉄筋

◎ ・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。
*印は塗装鉄筋を示す。

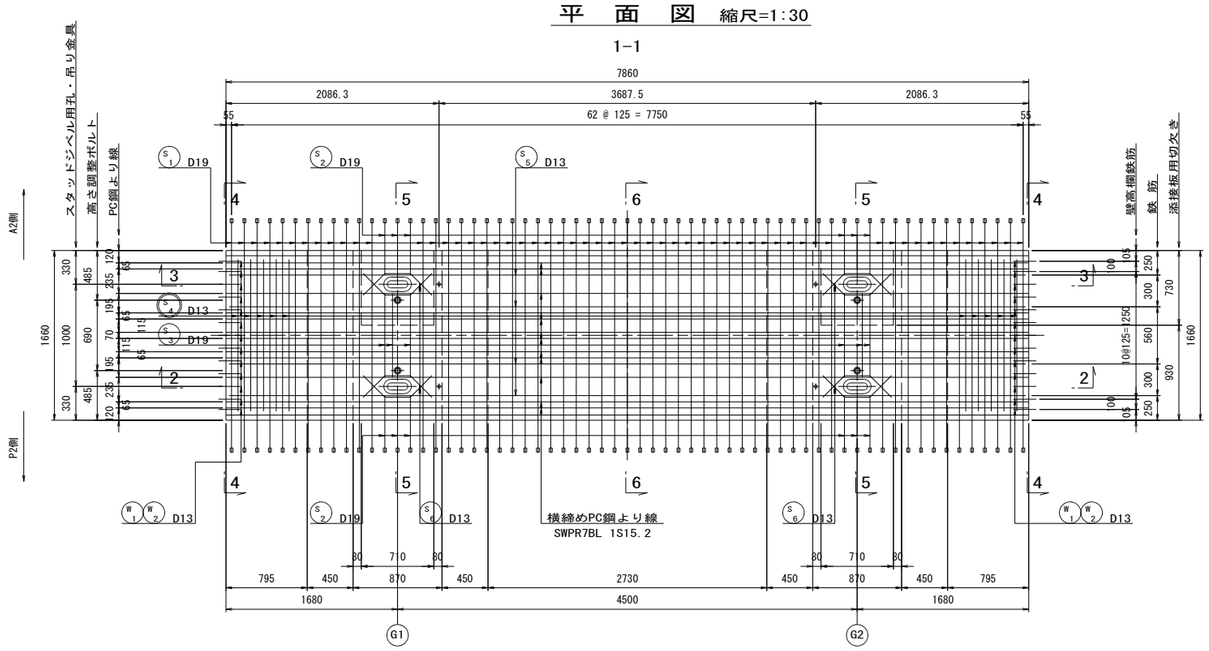
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号
路線名	(主)築館登米線
施工地名	登米市中田町石森 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その4)
縮尺	1:30
位置	
設計者	
設計年度	
宮城県	図番 55 / 123

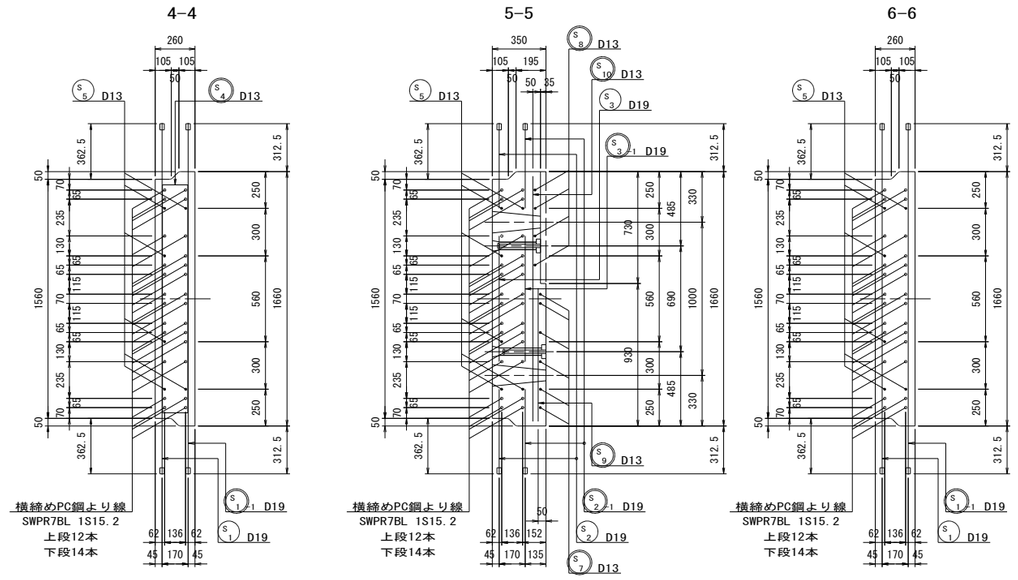
P2～A2 PC床版配筋図（その5）

A2-K タイプ

平　面　図　縮尺=1:30

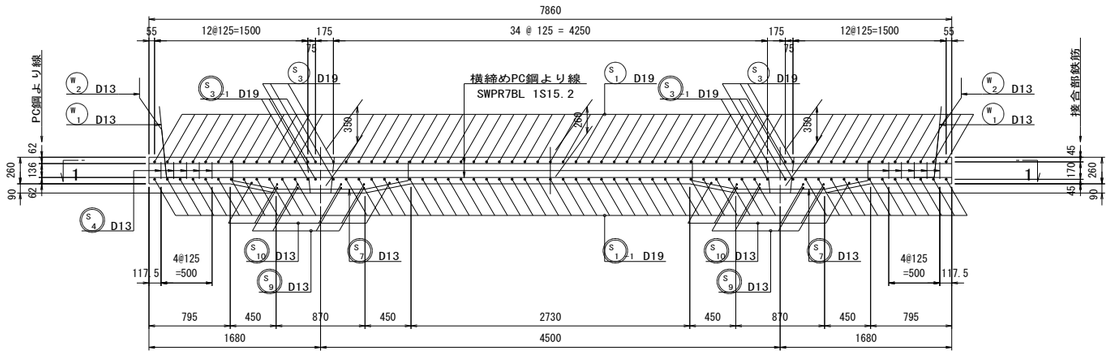


側　面　図　縮尺=1:20

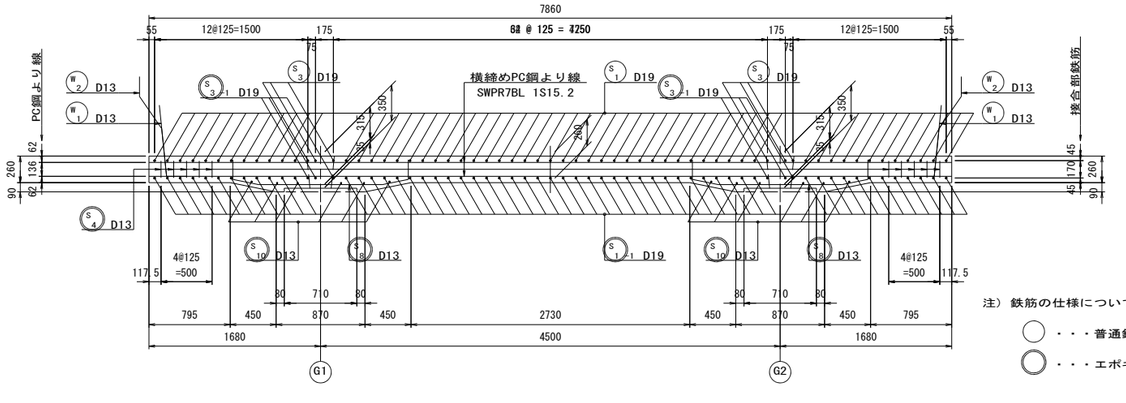


断　面　図　縮尺=1:30

2-2



3-3



注）鉄筋の仕様について

○・・・普通鉄筋

◎・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

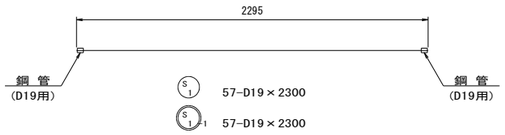
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その5)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	56 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その6）

A2-K タイプ

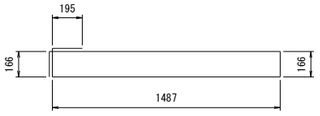
鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20



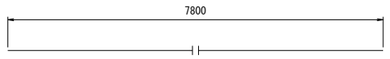
S1 57-D19×2300
S1-1 57-D19×2300

S2 12-D19×570
S2-1 12-D19×570

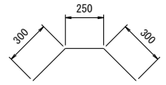
S3 6-D19×820
S3-1 6-D19×820



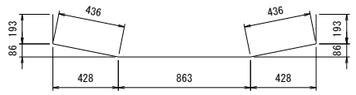
S4 10-D13×3670



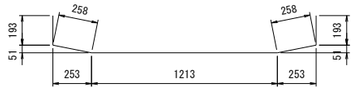
S5 6-D13×7800



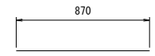
S6 16-D13×850



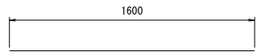
S7 12-D13×2120



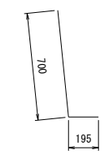
S8 8-D13×2120



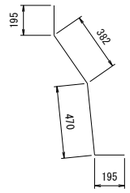
S9 8-D13×870



S10 12-D13×1600

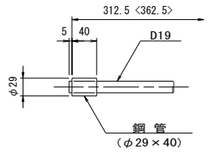


W1 26-D13×900



W2 26-D13×1240

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	57	2.25	5.18	295	鋼管
* 1-1	〃	2300	57	〃	5.18	295	鋼管
2	〃	570	12	〃	1.28	15	鋼管
* 2-1	〃	570	12	〃	1.28	15	鋼管
3	〃	820	6	〃	1.85	11	
* 3-1	〃	820	6	〃	1.85	11	
* 4	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
5	〃	7800	6	〃	7.76	47	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
* 7	〃	2120	12	〃	2.11	25	
* 8	〃	2120	8	〃	2.11	17	
* 9	〃	870	8	〃	0.87	7	
* 10	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 1	D13	900	26	0.995	0.90	23	
2	〃	1240	26	〃	1.23	32	

普通鉄筋			
	SD345	D19	321 kg
	〃	D13	116 kg
	〃	合計	437 kg
	鋼管（φ29×40）		126 個
塗装鉄筋			
	SD345	D19	321 kg
	〃	D13	105 kg
	〃	合計	426 kg
	鋼管（φ29×40）		126 個

注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。
*印は塗装鉄筋を示す。

実 施

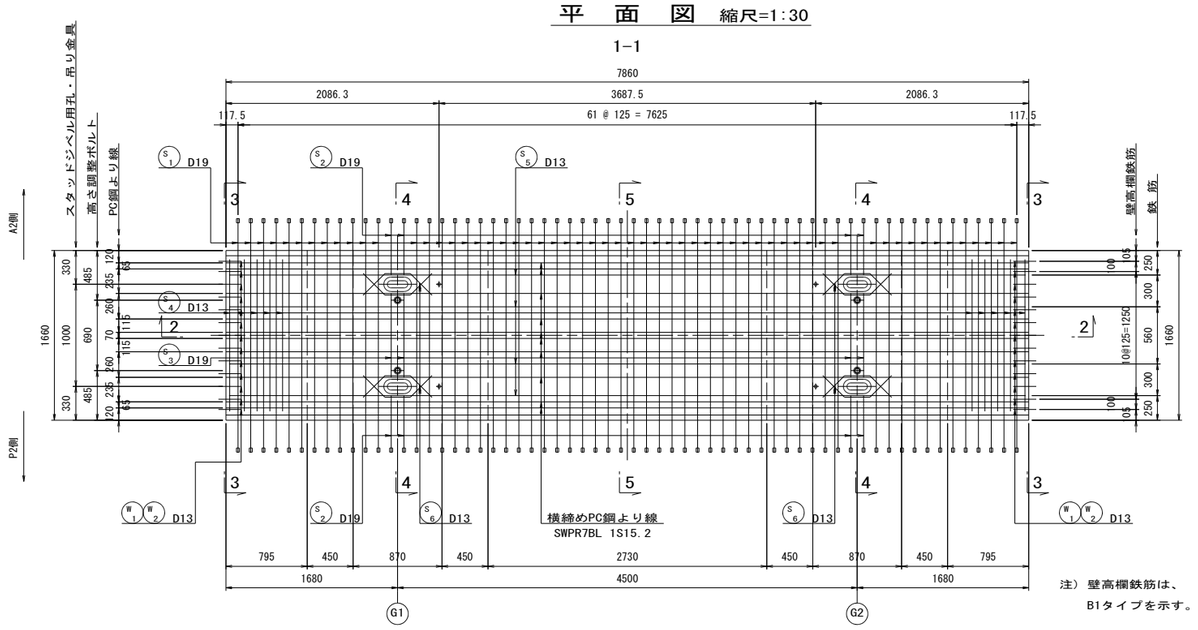
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路 線 名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図 面 名	P2～A2 PC床版配筋図(その6)		
縮 尺	1:20	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	57 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その7）

B1 ， B1-M タイプ

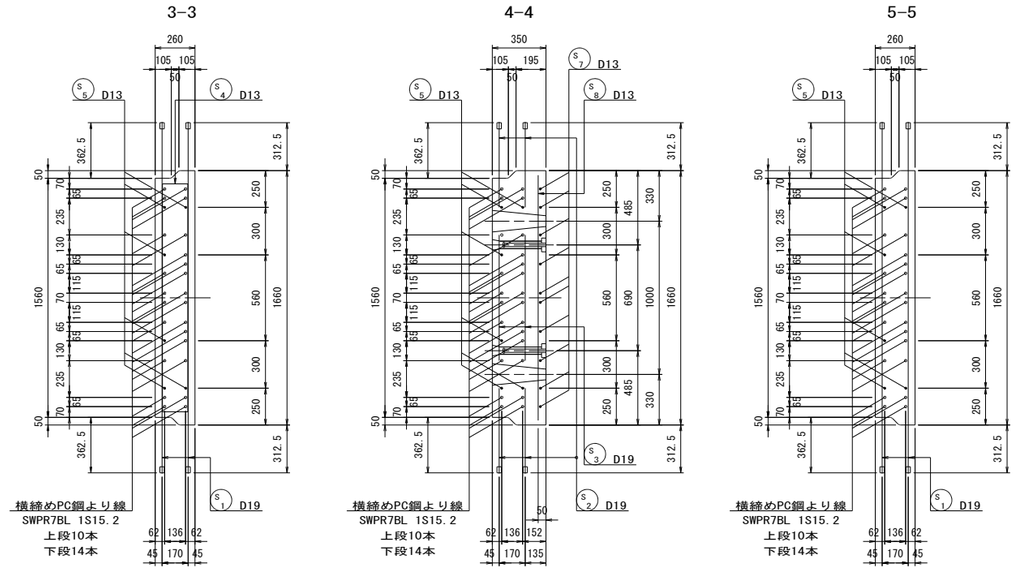
平　面　図　縮尺=1:30

1-1



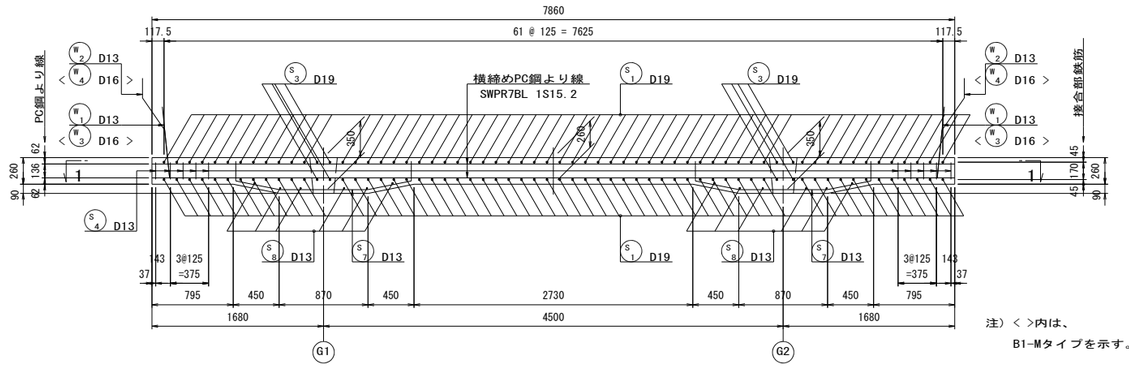
注）壁高欄鉄筋は、
B1タイプを示す。

側　面　図　縮尺=1:20

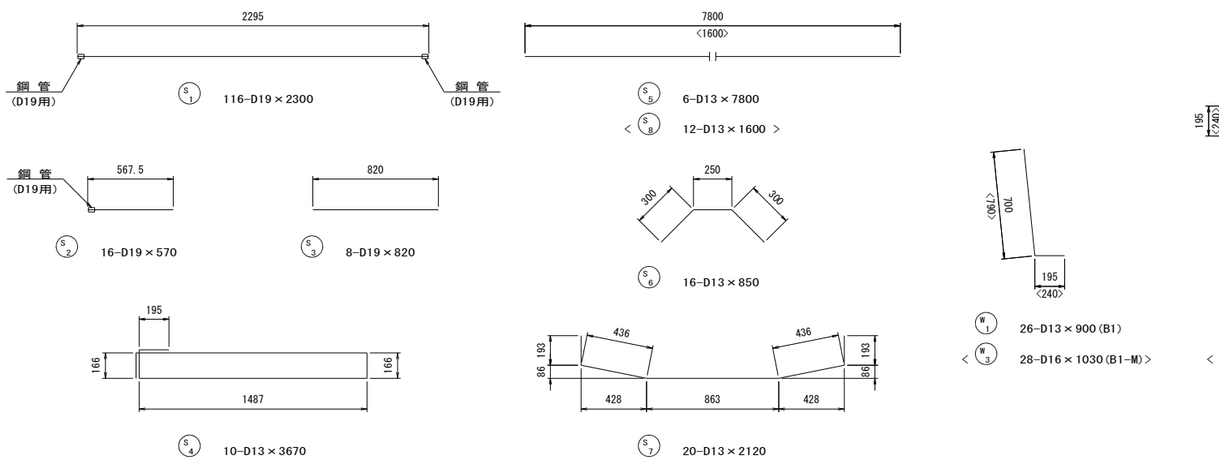


断　面　図　縮尺=1:30

2-2



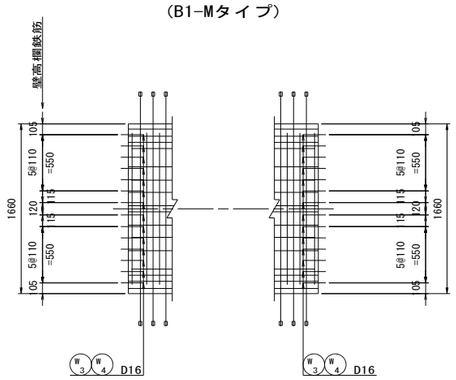
注）＜ ＞内は、
B1-Mタイプを示す。



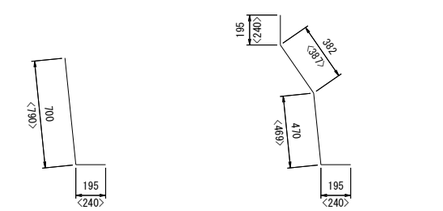
平　面　図　縮尺=1:30

1-1

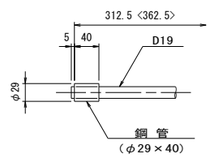
（B1-Mタイプ）



注）壁高欄鉄筋以外は、B1タイプと同様とする。



鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）＜ ＞内は上段側を示す。

鉄　筋　表

（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	2300	116	2.25	5.18	601	鋼管
2	〃	570	16	〃	1.28	20	鋼管
3	〃	820	8	〃	1.85	15	
4	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
5	〃	7800	6	〃	7.76	47	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
8	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 1	D13	900	26	0.995	0.90	23	B1
2	〃	1240	26	〃	1.23	32	B1
W 3	D16	1030	28	1.56	1.61	45	B1-M
4	〃	1340	28	〃	2.09	59	B1-M

普通鉄筋		B1	B1-M
SD345	D19	636 kg	636 kg
〃	D16	－ kg	104 kg
〃	D13	214 kg	159 kg
〃	合計	850 kg	899 kg
鋼管（φ29×40）		248 個	248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

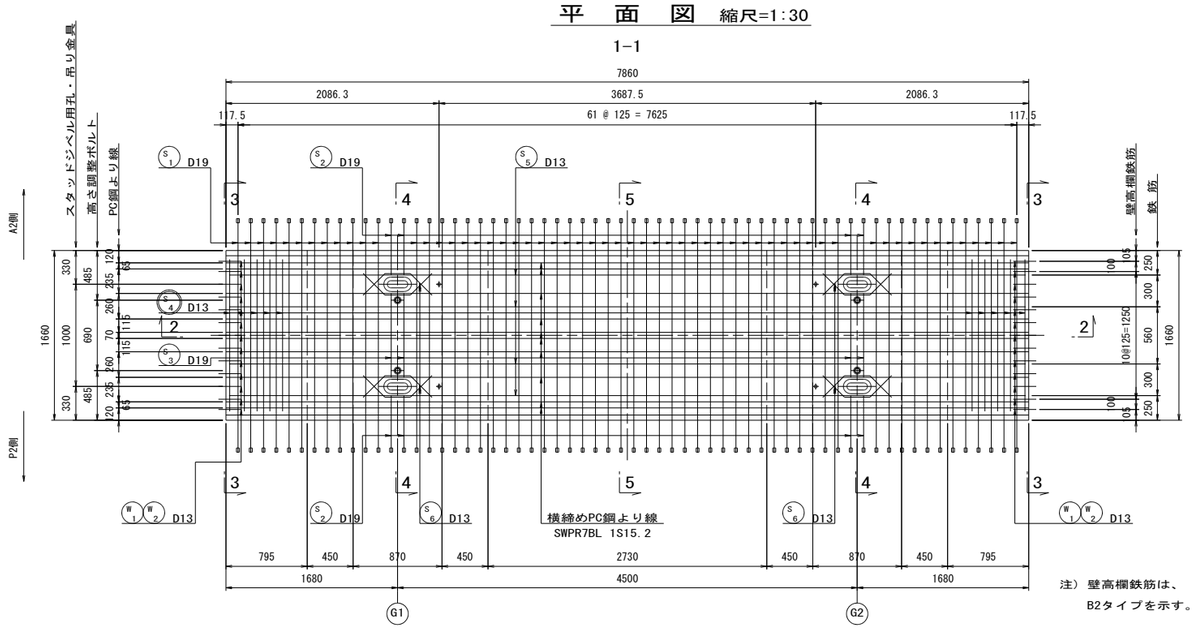
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その7)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	58 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その8）

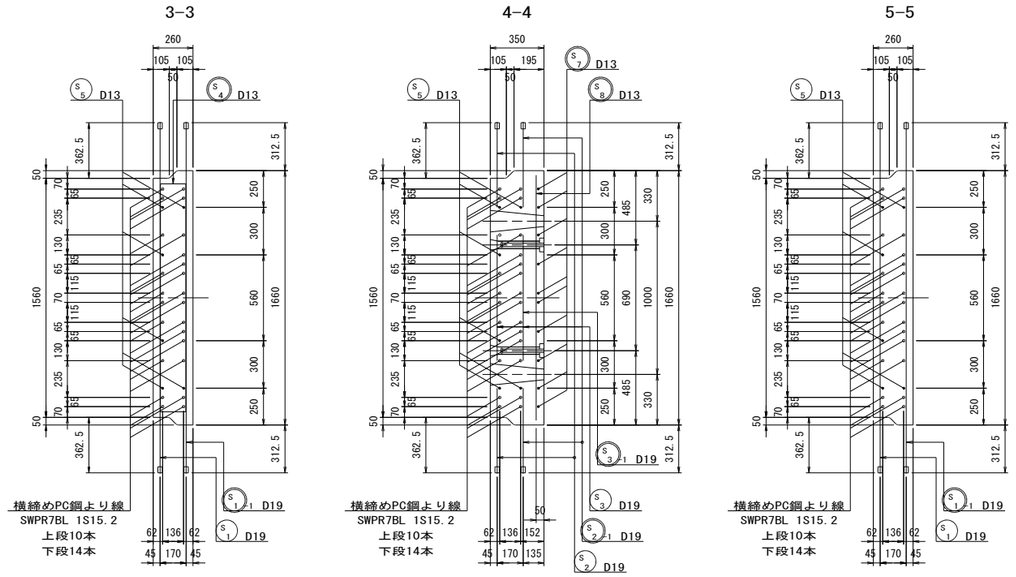
B2 ， B2-M タイプ

平　面　図　縮尺=1:30

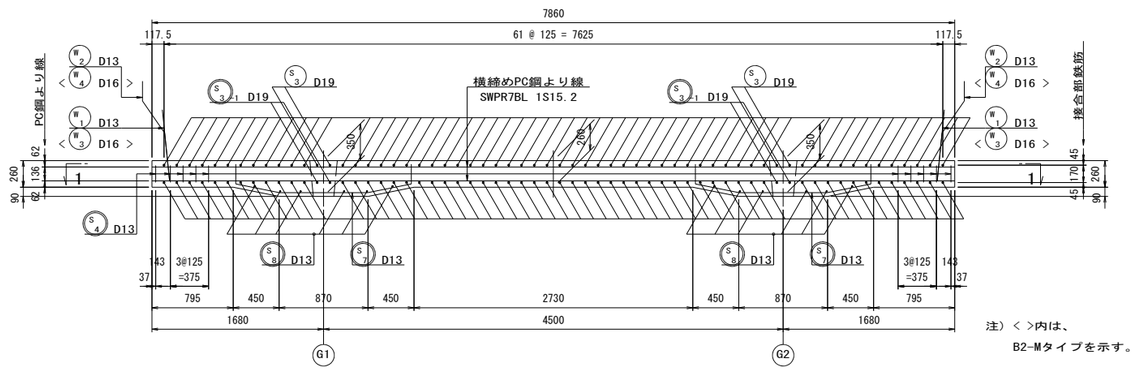


注）壁高欄鉄筋は、
B2タイプを示す。

側　面　図　縮尺=1:20



断　面　図　縮尺=1:30

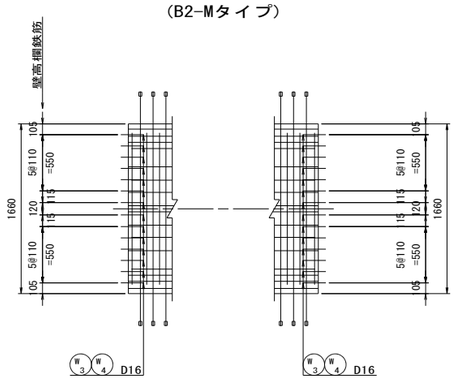


注）＜ ＞内は、
B2-Mタイプを示す。

平　面　図　縮尺=1:30

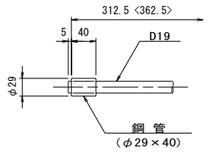
1-1

（B2-Mタイプ）



注）壁高欄鉄筋以外は、B2タイプと同様とする。

鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）＜ ＞内は上段側を示す。

注）鉄筋の仕様について

◯ ・・・普通鉄筋

◎ ・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

鉄　筋　表

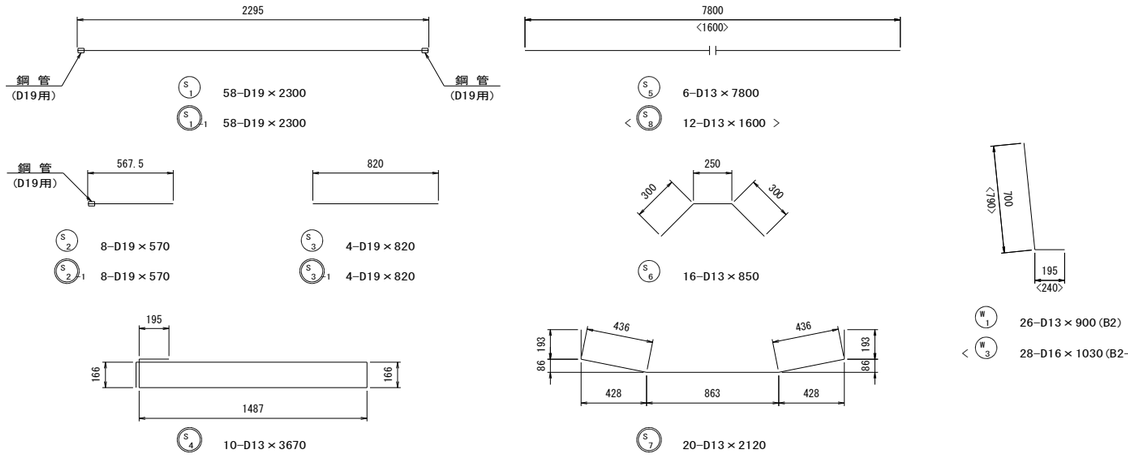
（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	2300	58	2.25	5.18	300	鋼管
* 1-1	〃	2300	58	〃	5.18	300	鋼管
2	〃	570	8	〃	1.28	10	鋼管
* 2-1	〃	570	8	〃	1.28	10	鋼管
3	〃	820	4	〃	1.85	7	
* 3-1	〃	820	4	〃	1.85	7	
* 4	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
5	〃	7800	6	〃	7.76	47	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
* 7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
* 8	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 1	D13	900	26	0.995	0.90	23	B2
2	〃	1240	26	〃	1.23	32	B2
W 3	D16	1030	28	1.56	1.61	45	B2-M
4	〃	1340	28	〃	2.09	59	B2-M

		B2	B2-M
普通鉄筋			
SD345	D19	317 kg	317 kg
〃	D16	－ kg	104 kg
〃	D13	116 kg	61 kg
〃	合計	433 kg	482 kg
鋼管（φ29×40）		124 個	124 個

		B2・B2-M
塗装鉄筋		
SD345	D19	317 kg
〃	D13	98 kg
〃	合計	415 kg
鋼管（φ29×40）		124 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。
＊印は塗装鉄筋を示す。

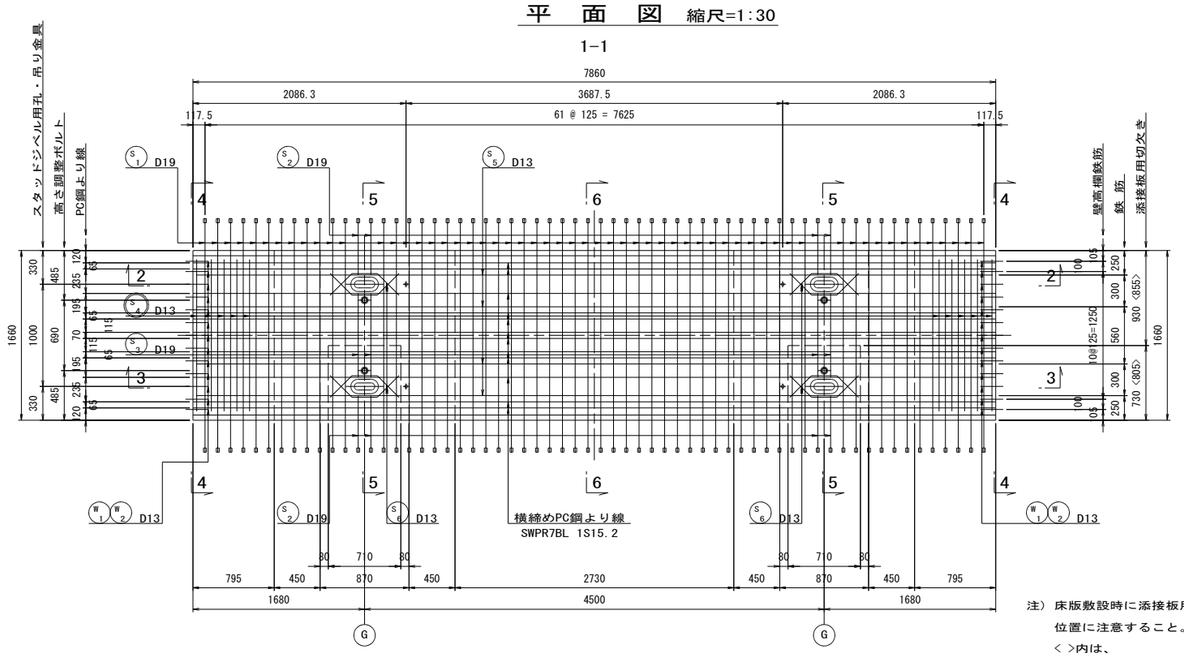


実施	
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号
路線名	(主)築館登米線
施工地名	登米市中田町石森 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その8)
縮尺	1:30
位置	
設計者	
設計年度	
宮城県	図番 59 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その9）

B2-K1 ， B2-K2 タイプ

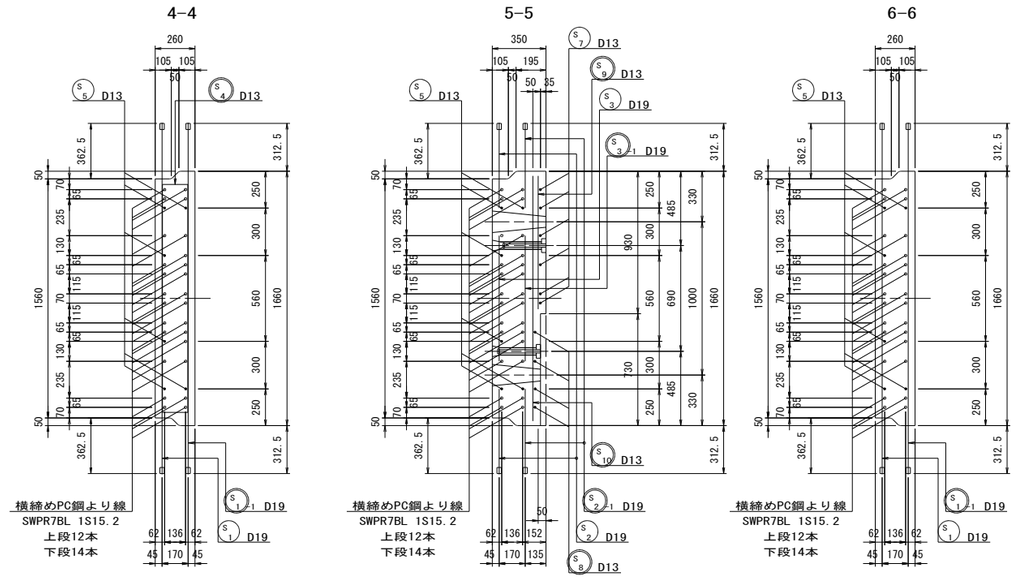
平　面　図　縮尺=1:30



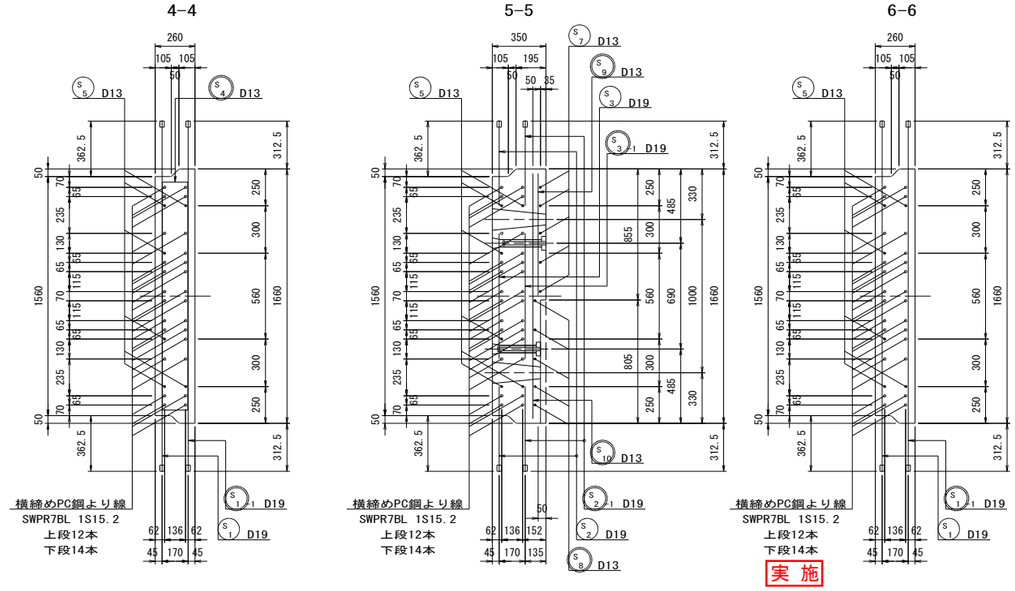
注）床版敷設時に添接板用切欠きの位置に注意すること。
< >内は、
B2-K2タイプを示す。

側　面　図　縮尺=1:20

B2-K1タイプ

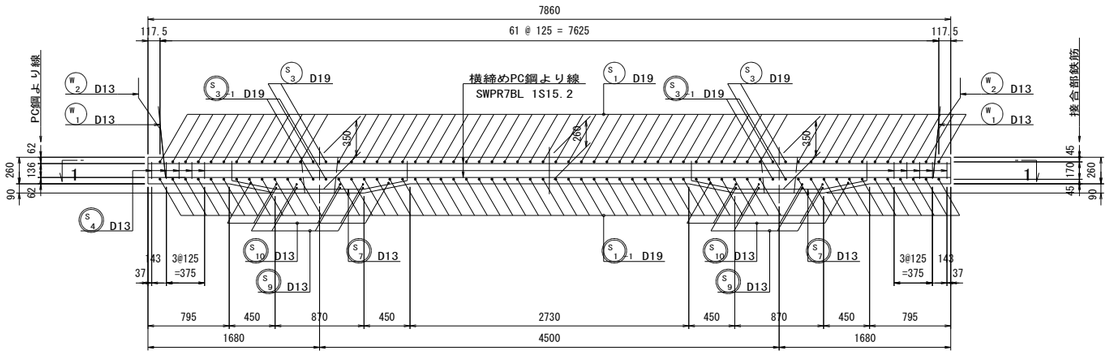


B2-K2タイプ

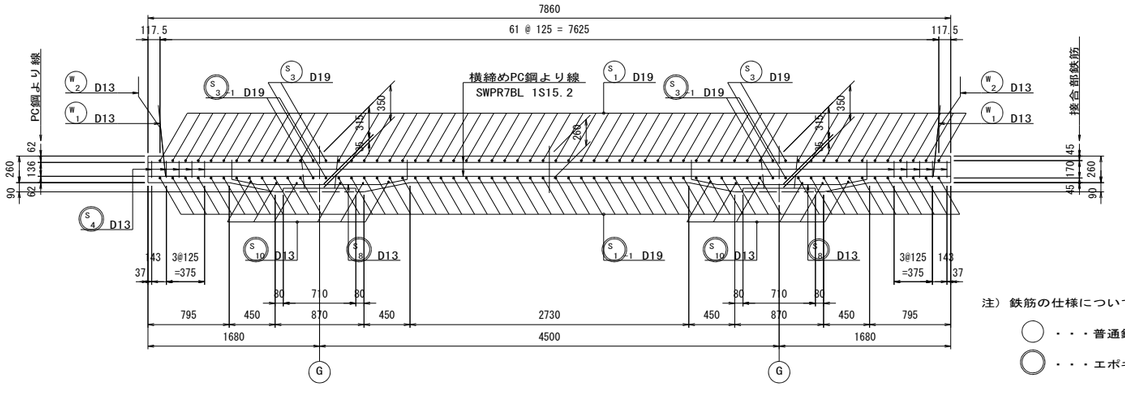


断　面　図　縮尺=1:30

2-2



3-3



注）鉄筋の仕様について

○ ・・・普通鉄筋

◎ ・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

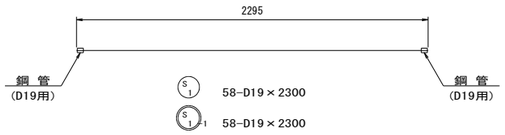
実施

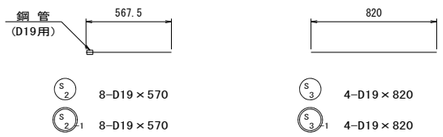
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その9)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	60 / 123

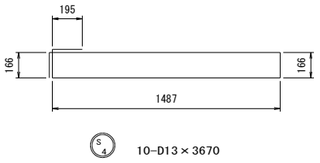
P2～A2 PC床版配筋図（その10）

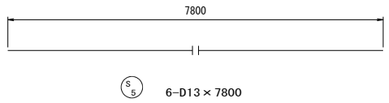
B2-K1 ， B2-K2 タイプ

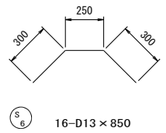
鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20

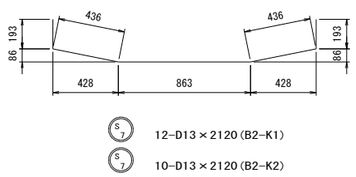


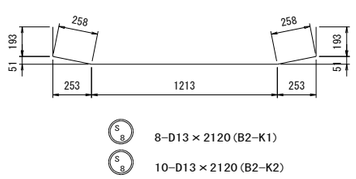


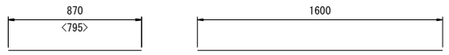


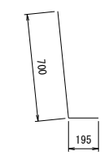


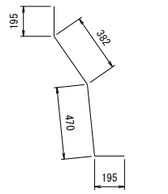




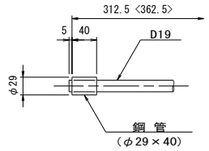








鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	58	2.25	5.18	300	鋼管
* 1-1	〃	2300	58	〃	5.18	300	鋼管
2	〃	570	8	〃	1.28	10	鋼管
* 2-1	〃	570	8	〃	1.28	10	鋼管
3	〃	820	4	〃	1.85	7	
* 3-1	〃	820	4	〃	1.85	7	
* 4	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
5	〃	7800	6	〃	7.76	47	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
* 7	〃	2120	12	〃	2.11	25	B2-K1
	〃	2120	10	〃	2.11	21	B2-K2
* 8	〃	2120	8	〃	2.11	17	B2-K1
	〃	2120	10	〃	2.11	21	B2-K2
* 9	〃	870	8	〃	0.87	7	B2-K1
	〃	800	8	〃	0.80	6	B2-K2
* 10	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 1	D13	900	26	0.995	0.90	23	
2	〃	1240	26	〃	1.23	32	

普通鉄筋		B2-K1	B2-K2
SD345	D19	317 kg	317 kg
〃	D13	116 kg	116 kg
〃	合計	433 kg	433 kg
鋼管（φ29×40）		124 個	124 個

塗装鉄筋		B2-K1	B2-K2
SD345	D19	317 kg	317 kg
〃	D13	105 kg	104 kg
〃	合計	422 kg	421 kg
鋼管（φ29×40）		124 個	124 個

注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。
*印は塗装鉄筋を示す。

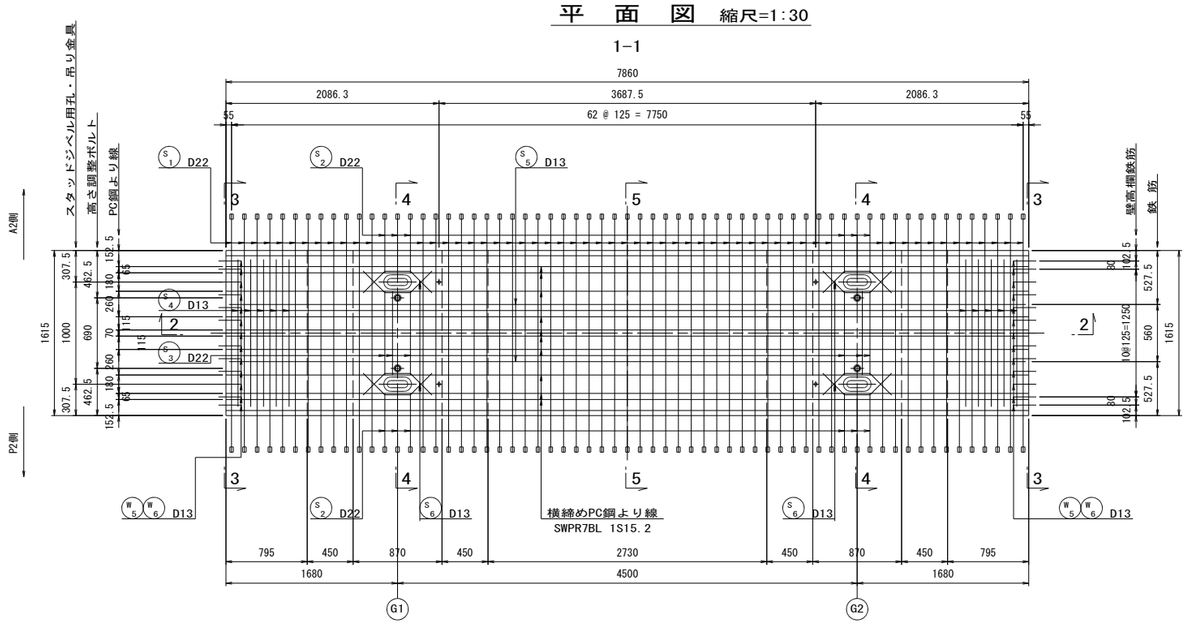
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その10)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	61 / 123

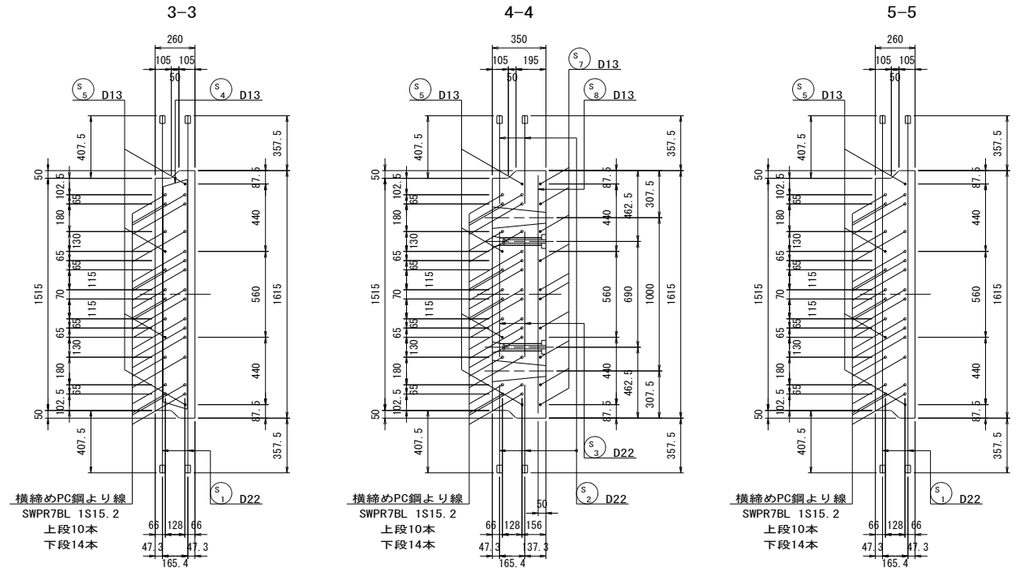
P2～A2 PC床版配筋図（その11）

C1 タイプ

平　面　図　縮尺=1:30

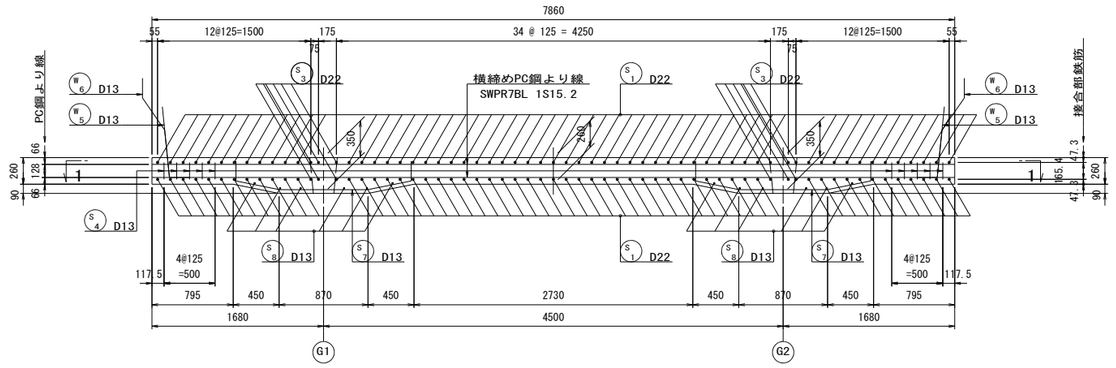


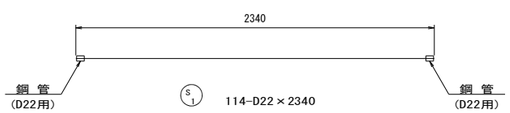
側　面　図　縮尺=1:20

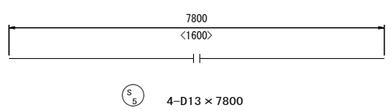


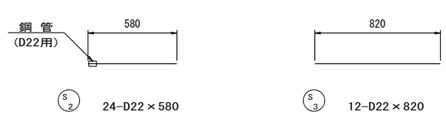
断　面　図　縮尺=1:30

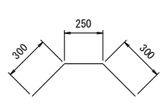
2-2

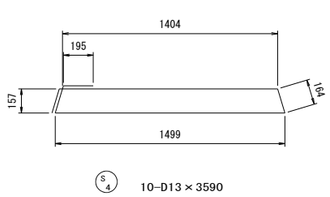


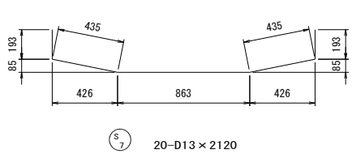


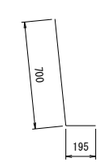


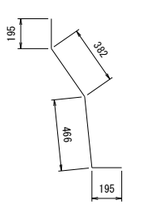




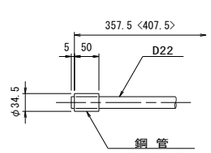








鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

鉄　筋　表

（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D22	2340	114	3.04	7.11	811	鋼管
2	〃	580	24	〃	1.76	42	鋼管
3	〃	820	12	〃	2.49	30	
4	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
5	〃	7800	4	〃	7.76	31	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
8	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 5	D13	900	26	0.995	0.90	23	
6	〃	1240	26	〃	1.23	32	

普通鉄筋			
SD345	D22	883	kg
〃	D13	197	kg
〃	合計	1080	kg
鋼管（φ34.5×50）		252	個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

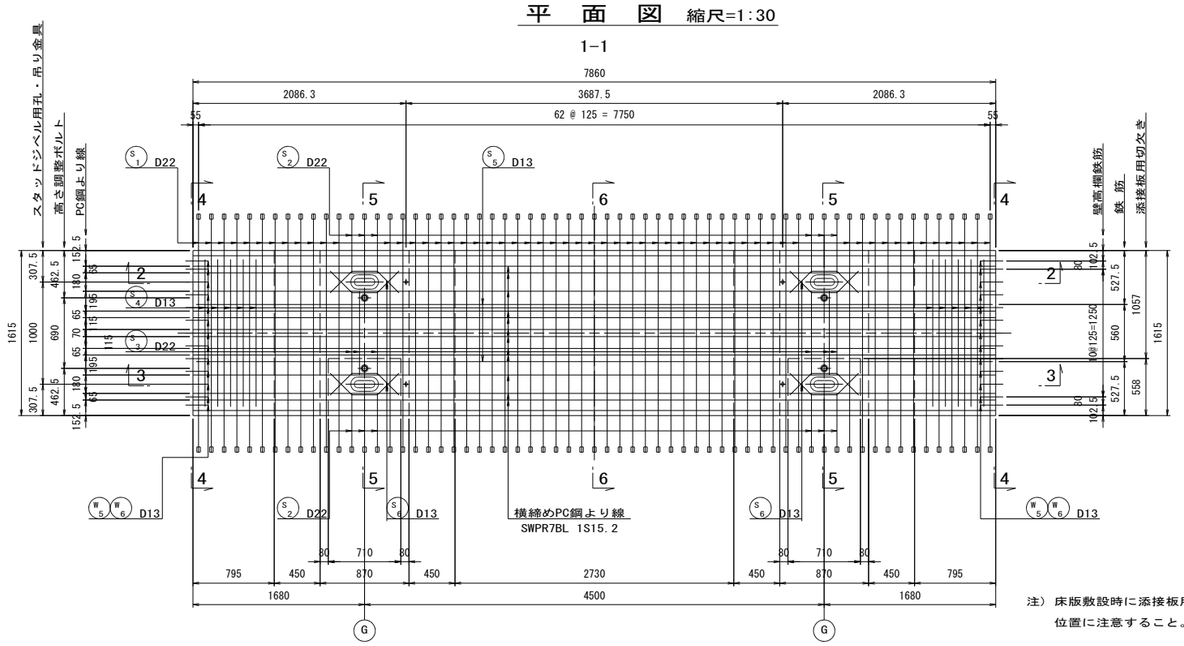
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その11)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	62 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その12）

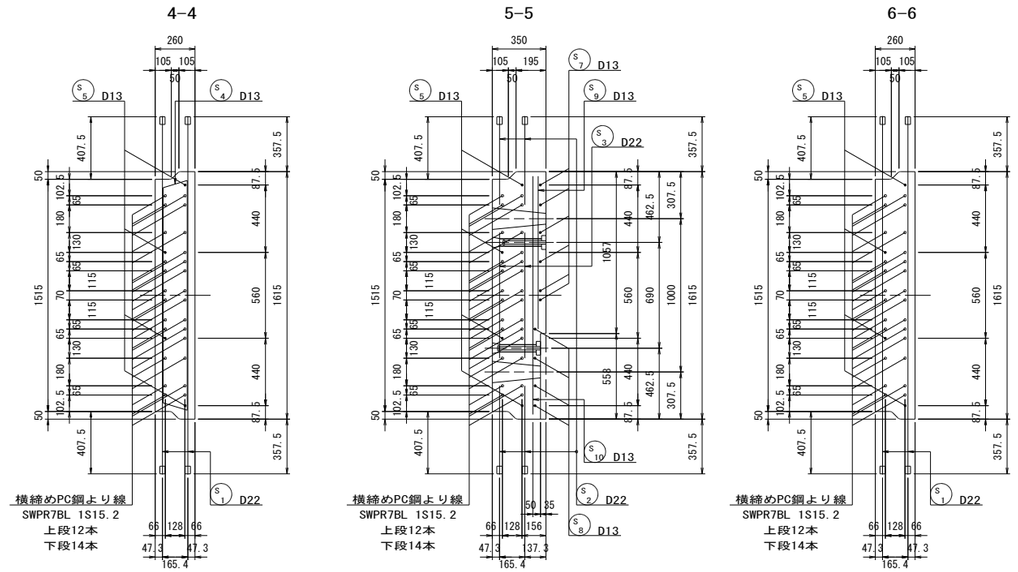
C1-K タイプ

平　面　図　縮尺=1:30

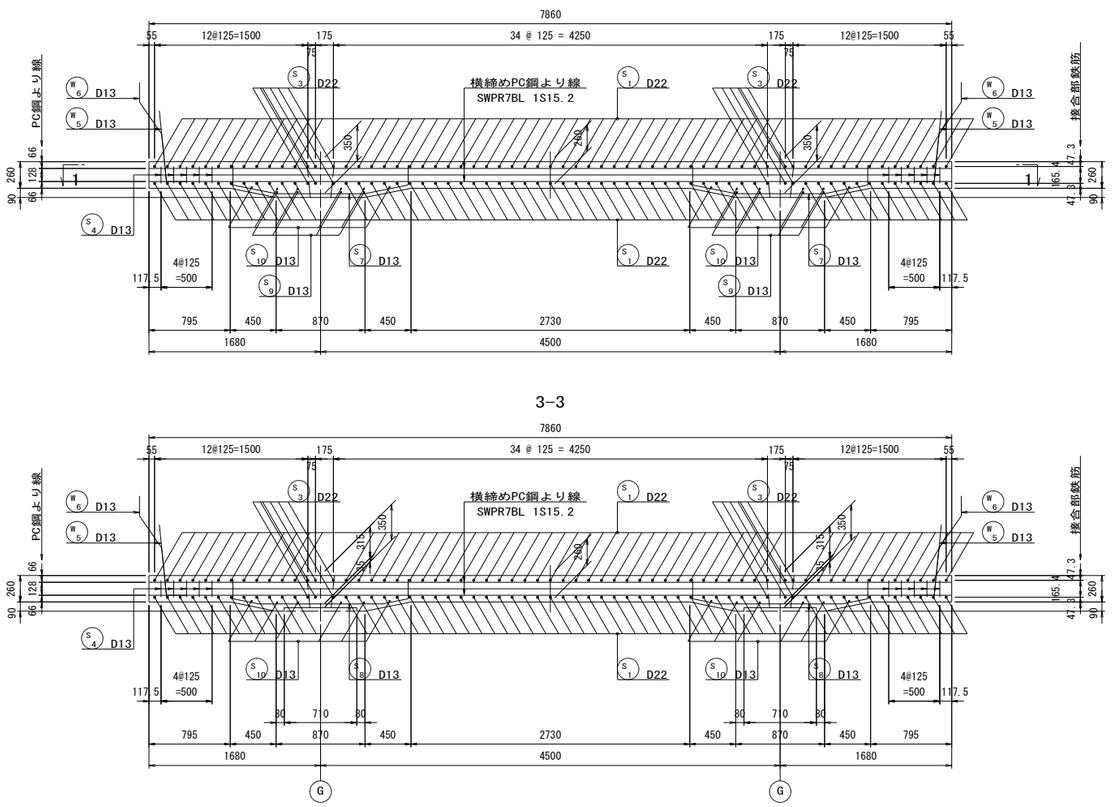


注）床版敷設時に添接板用切欠きの位置に注意すること。

側　面　図　縮尺=1:20



断　面　図　縮尺=1:30



注）床版の配置位置については"PC床版割付図"を参照すること。

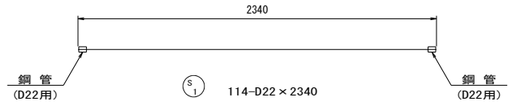
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その12)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	63 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その13）

C1-K タイプ

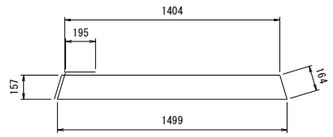
鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20



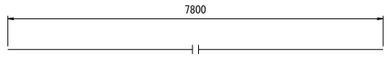
S1 114-D22×2340

S2 24-D22×580

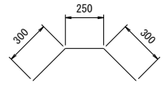
S3 12-D22×820



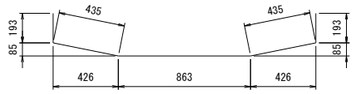
S4 10-D13×3590



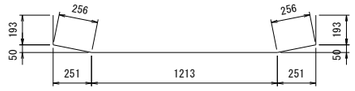
S5 4-D13×7800



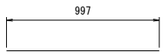
S6 16-D13×850



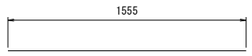
S7 12-D13×2120



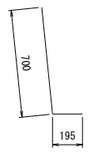
S8 8-D13×2110



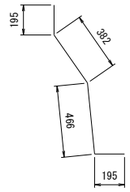
S9 8-D13×1000



S10 12-D13×1560

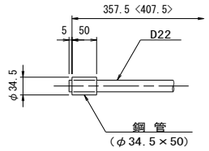


W5 26-D13×900



W6 26-D13×1240

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D22	2340	114	3.04	7.11	811	鋼管
2	〃	580	24	〃	1.76	42	鋼管
3	〃	820	12	〃	2.49	30	
4	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
5	〃	7800	4	〃	7.76	31	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
7	〃	2120	12	〃	2.11	25	
8	〃	2110	8	〃	2.10	17	
9	〃	1000	8	〃	1.00	8	
10	〃	1560	12	〃	1.55	19	
W 5	D13	900	26	0.995	0.90	23	
6	〃	1240	26	〃	1.23	32	

普通鉄筋			
SD345	D22	883	kg
〃	D13	205	kg
〃	合計	1088	kg
鋼管（φ34.5×50）		252	個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

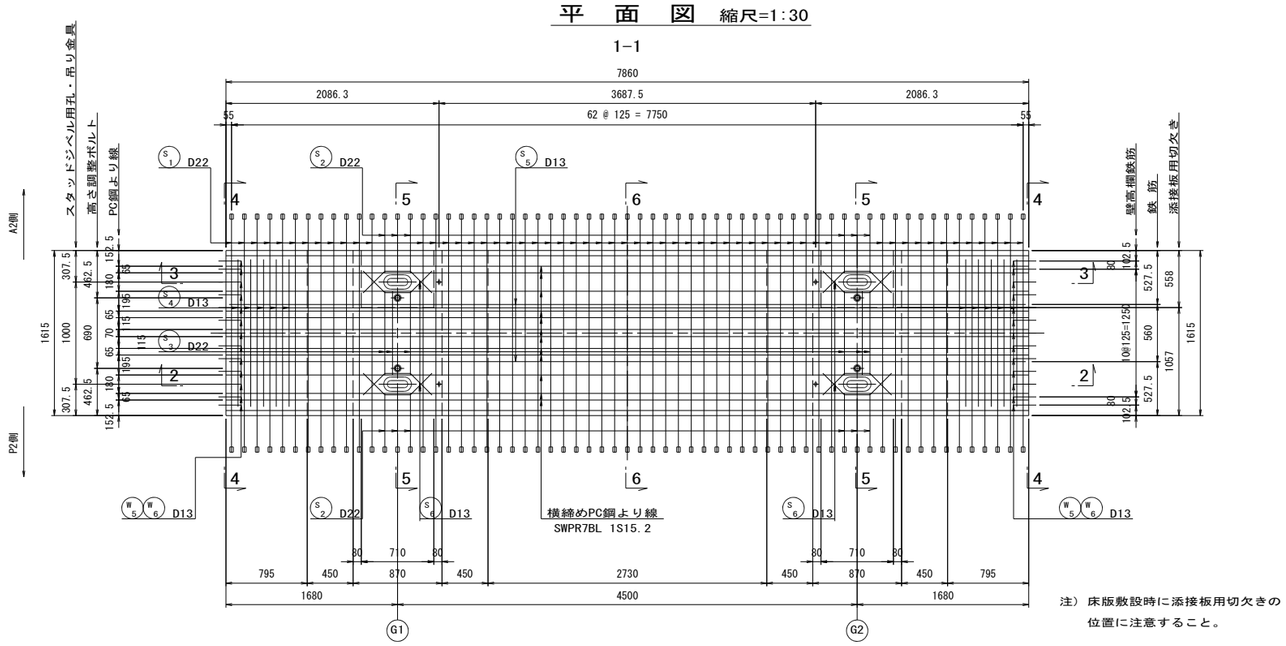
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その13)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	64 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その14）

C2-K タイプ

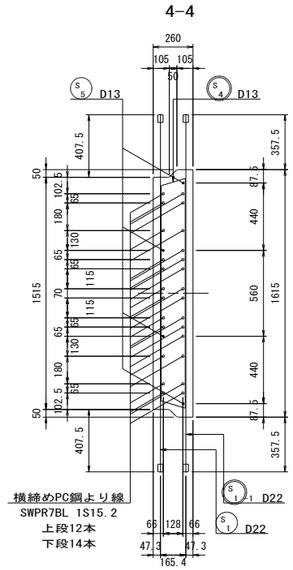
平　面　図　縮尺=1:30



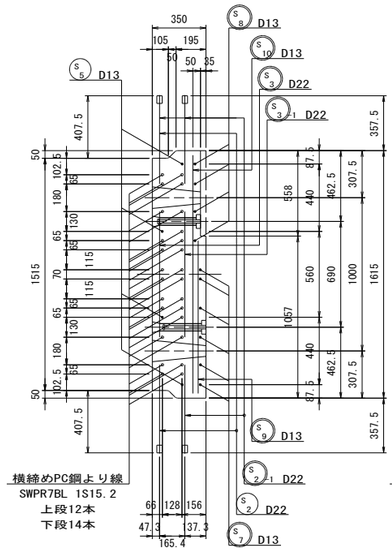
注）床版敷設時に添接板用切欠きの位置に注意すること。

側　面　図　縮尺=1:20

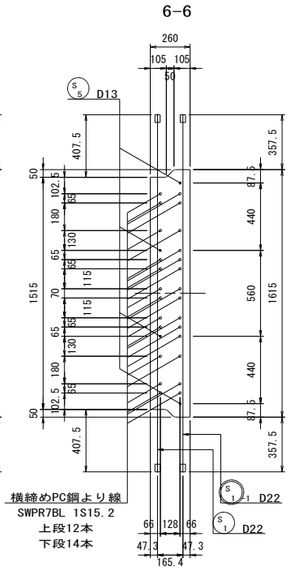
4-4



5-5

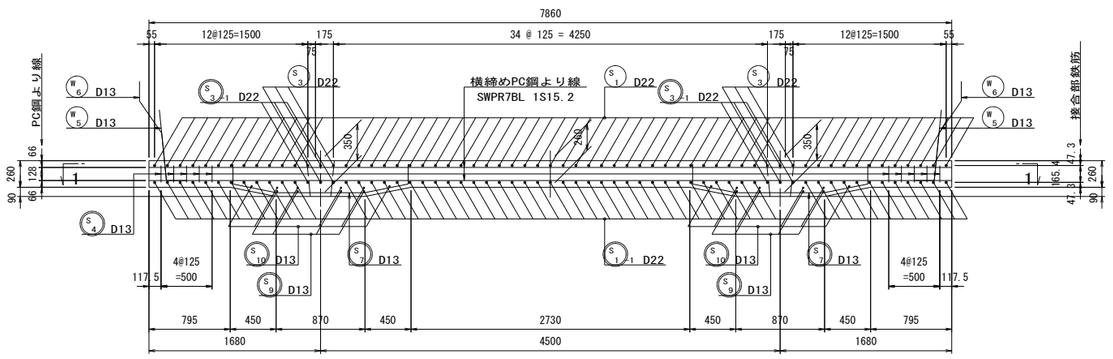


6-6

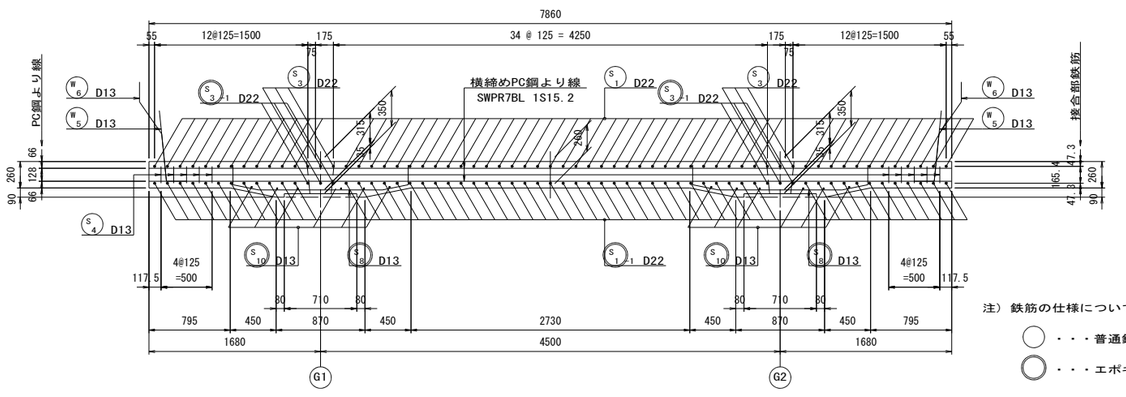


断　面　図　縮尺=1:30

2-2



3-3



注）鉄筋の仕様について

○ ・・・普通鉄筋

◎ ・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

注）床版の配置位置については"PC床版割付図"を参照すること。

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その14)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	65 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その15）

C2-K タイプ

鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20

S1 57-D22×2340

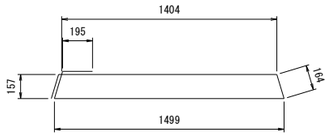
S1-1 57-D22×2340

S2 12-D22×580

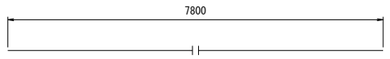
S2-1 12-D22×580

S3 6-D22×820

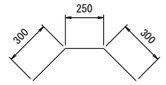
S3-1 6-D22×820



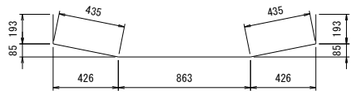
S4 10-D13×3590



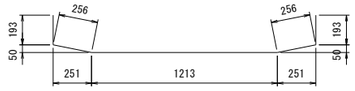
S5 4-D13×7800



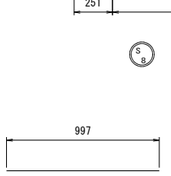
S6 16-D13×850



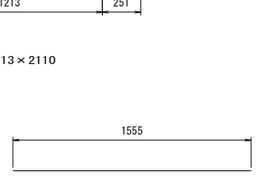
S7 12-D13×2120



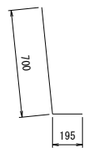
S8 8-D13×2110



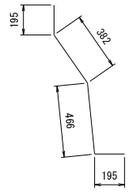
S9 8-D13×1000



S10 12-D13×1560

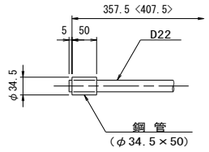


W5 26-D13×900



W6 26-D13×1240

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D22	2340	57	3.04	7.11	405	鋼管
* 1-1	〃	2340	57	〃	7.11	405	鋼管
2	〃	580	12	〃	1.76	21	鋼管
* 2-1	〃	580	12	〃	1.76	21	鋼管
3	〃	820	6	〃	2.49	15	
* 3-1	〃	820	6	〃	2.49	15	
* 4	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
5	〃	7800	4	〃	7.76	31	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
* 7	〃	2120	12	〃	2.11	25	
* 8	〃	2110	8	〃	2.10	17	
* 9	〃	1000	8	〃	1.00	8	
* 10	〃	1560	12	〃	1.55	19	
W 5	D13	900	26	0.995	0.90	23	
6	〃	1240	26	〃	1.23	32	

普通鉄筋			
	SD345	D22	441 kg
	〃	D13	100 kg
	〃	合計	541 kg
	鋼管（φ34.5×50）		126 個
塗装鉄筋			
	SD345	D22	441 kg
	〃	D13	105 kg
	〃	合計	546 kg
	鋼管（φ34.5×50）		126 個

注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。
*印は塗装鉄筋を示す。

実 施

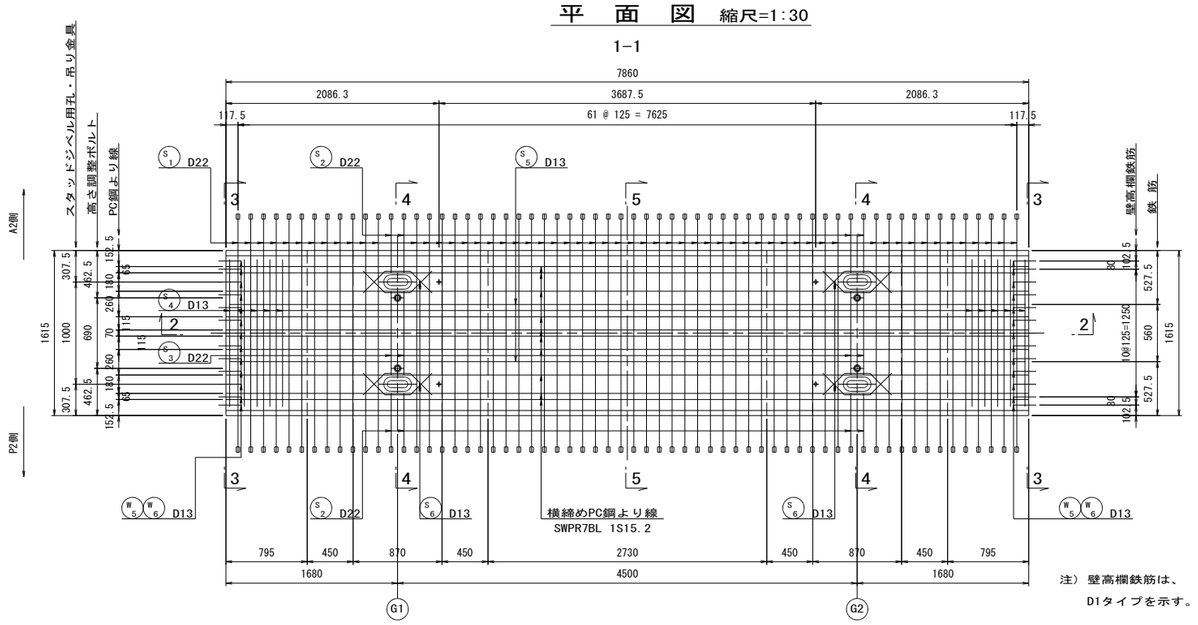
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その15)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	66 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その16）

D1 ， D1-M タイプ

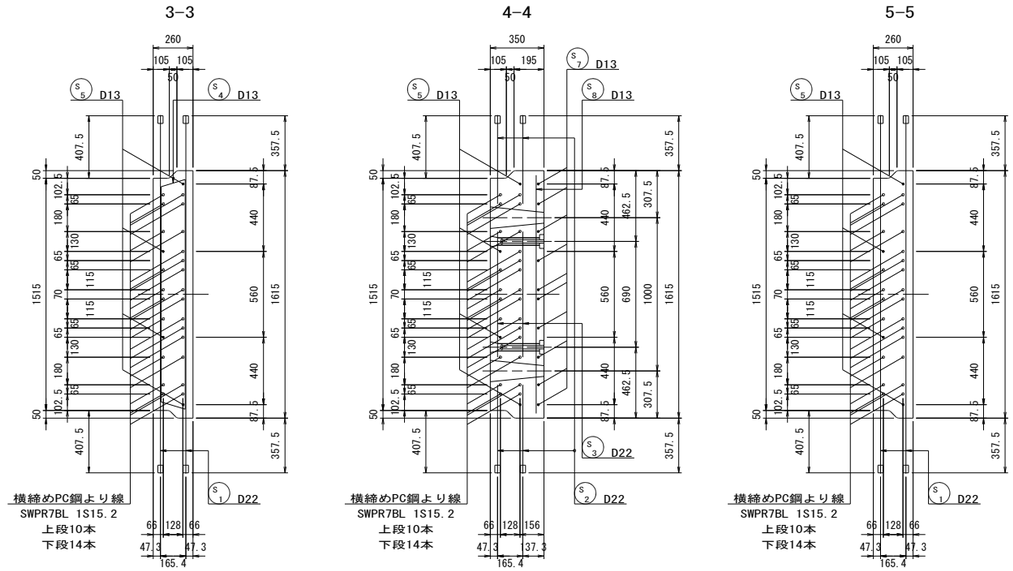
平　面　図　縮尺=1:30

1-1



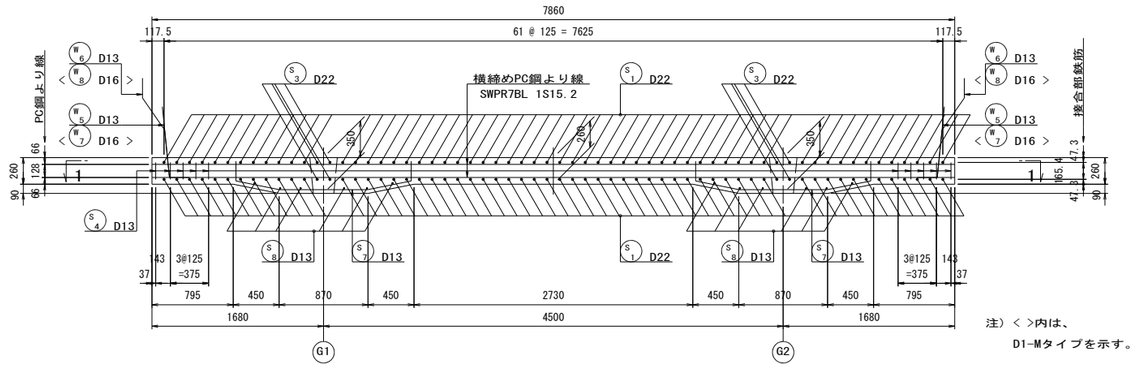
注）壁高欄鉄筋は、
D1タイプを示す。

側　面　図　縮尺=1:20



断　面　図　縮尺=1:30

2-2

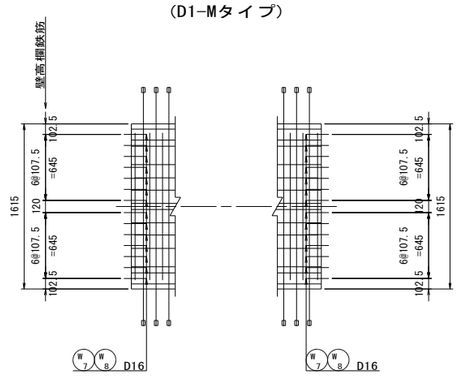


注）< >内は、
D1-Mタイプを示す。

平　面　図　縮尺=1:30

1-1

（D1-Mタイプ）



注）壁高欄鉄筋以外は、D1タイプと同様とする。

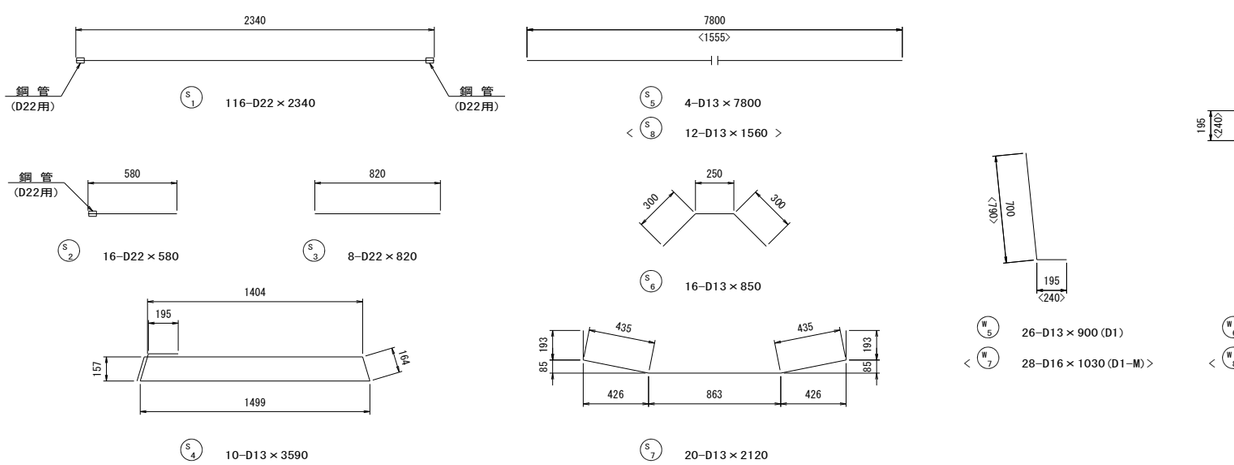
鉄　筋　表

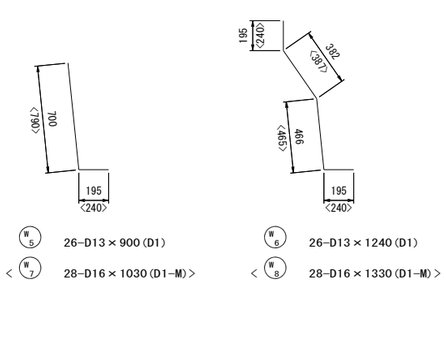
（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D22	2340	116	3.04	7.11	825	鋼管
2	〃	580	16	〃	1.76	28	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
5	〃	7800	4	〃	7.76	31	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
8	〃	1560	12	〃	1.55	19	
W 5	D13	900	26	0.995	0.90	23	D1
6	〃	1240	26	〃	1.23	32	D1
W 7	D16	1030	28	1.56	1.61	45	D1-M
8	〃	1330	28	〃	2.07	58	D1-M

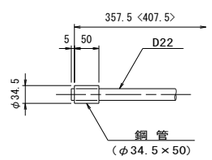
		D1	D1-M
普通鉄筋			
SD345	D22	873 kg	873 kg
〃	D16	- kg	103 kg
〃	D13	197 kg	142 kg
〃	合計	1070 kg	1118 kg
鋼管（φ34.5×50）		248 個	248 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。





鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

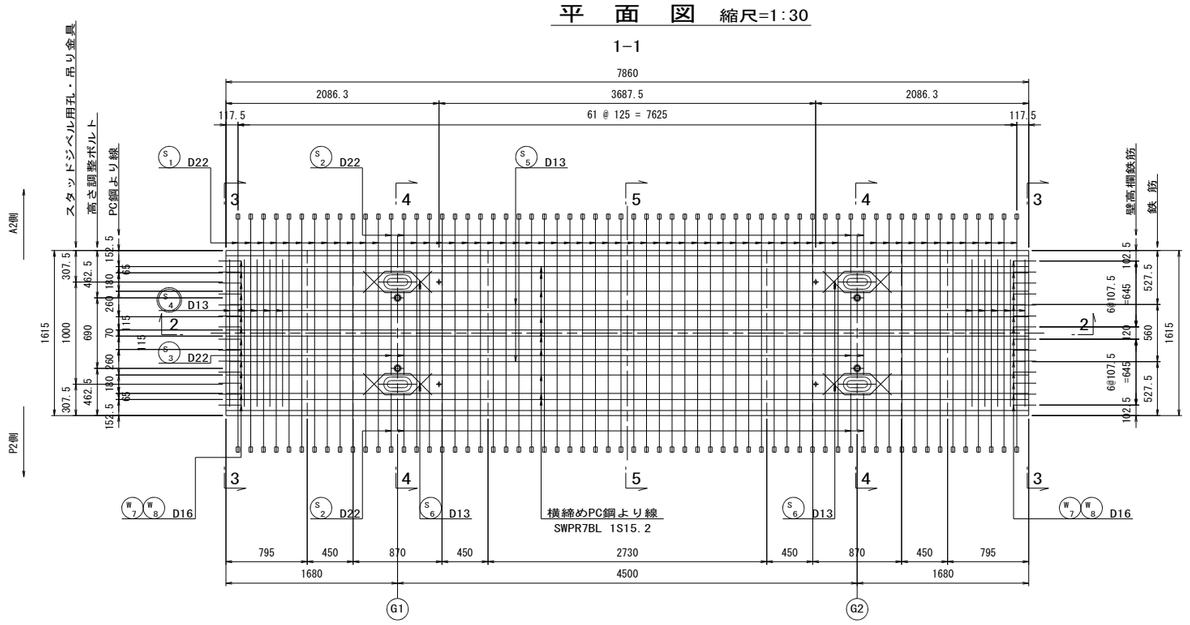
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その16)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	67 / 123

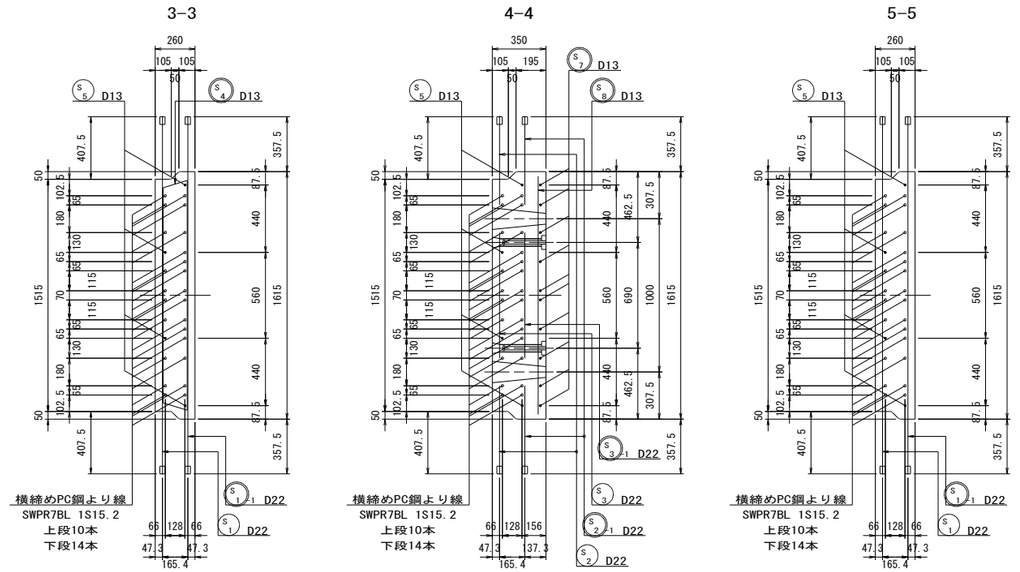
P2～A2 PC床版配筋図（その17）

D2-M タイプ

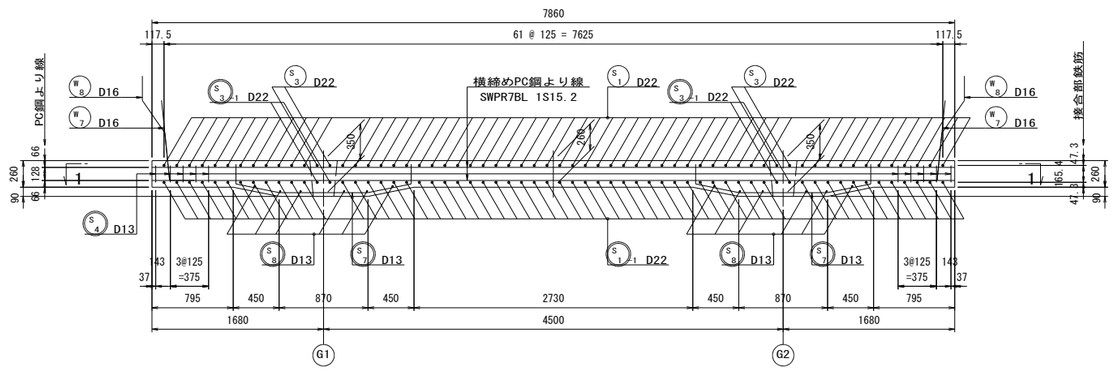
平　面　図　縮尺=1:30

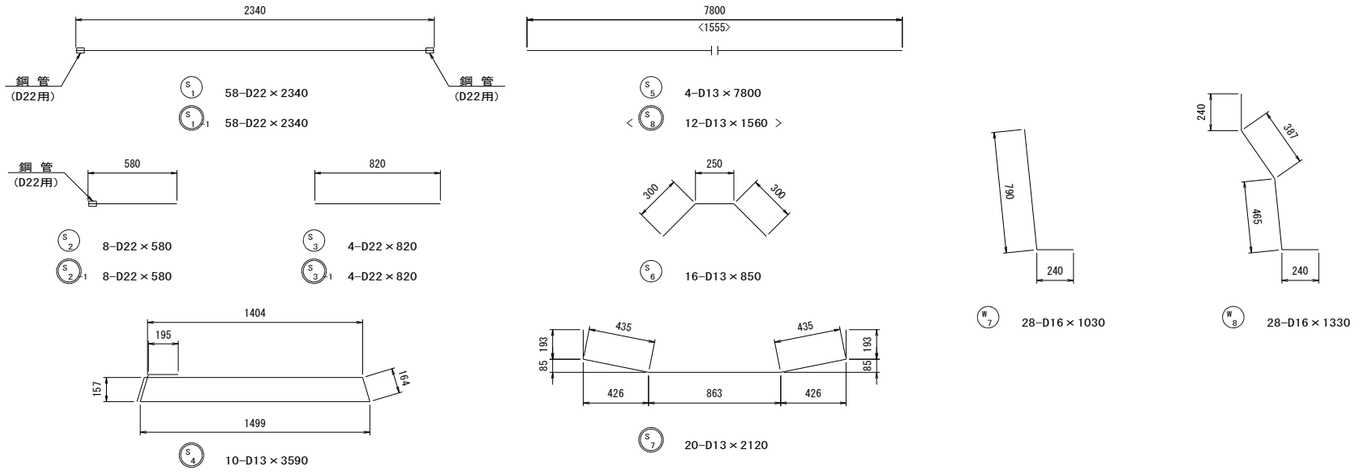


側　面　図　縮尺=1:20

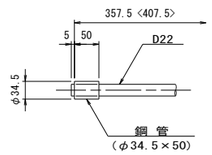


断　面　図　縮尺=1:30





鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

注）鉄筋の仕様について

○ ・・・普通鉄筋

◎ ・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

鉄　筋　表

（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D22	2340	58	3.04	7.11	412	鋼管
* 1-1	〃	2340	58	〃	7.11	412	鋼管
2	〃	580	8	〃	1.76	14	鋼管
* 2-1	〃	580	8	〃	1.76	14	鋼管
3	〃	820	4	〃	2.49	10	
* 3-1	〃	820	4	〃	2.49	10	
* 4	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
5	〃	7800	4	〃	7.76	31	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
* 7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
* 8	〃	1560	12	〃	1.55	19	
W 7	D16	1030	28	1.56	1.61	45	
8	〃	1330	28	〃	2.07	58	

普通鉄筋			
SD345	D22	436	kg
〃	D16	103	kg
〃	D13	45	kg
〃	合計	584	kg
鋼管（φ34.5×50）		124	個

塗装鉄筋			
SD345	D22	436	kg
〃	D13	97	kg
〃	合計	533	kg
鋼管（φ34.5×50）		124	個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。
*印は塗装鉄筋を示す。

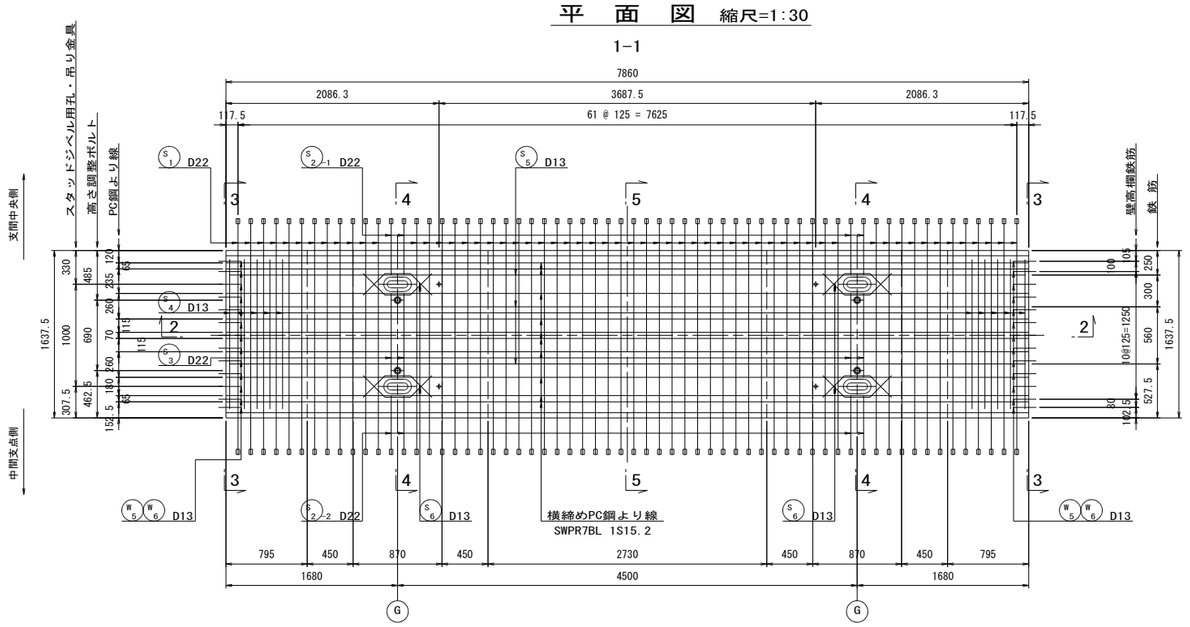
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その17)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	68 / 123

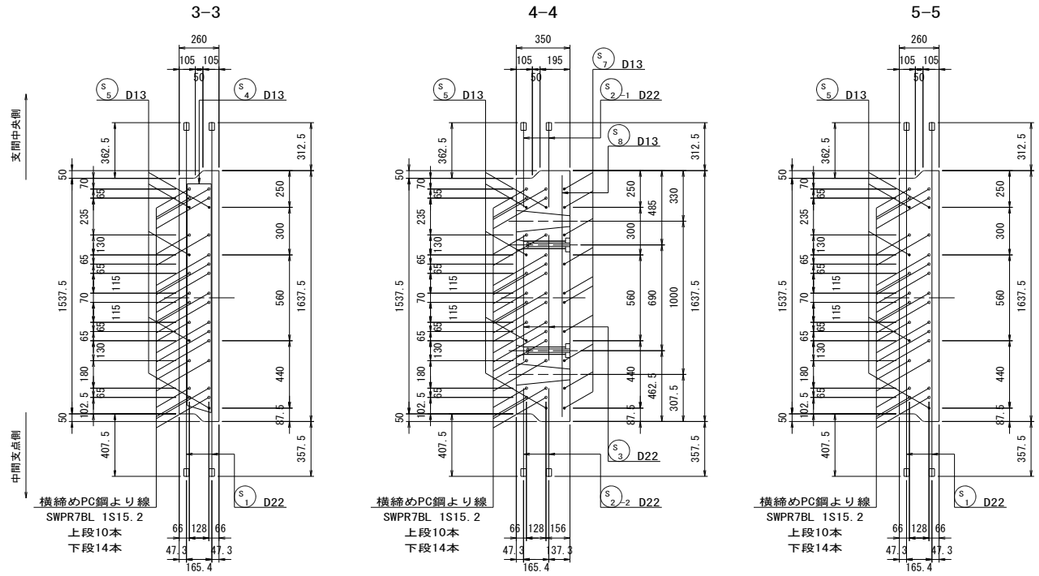
P2～A2 PC床版配筋図（その18）

D3 タイプ

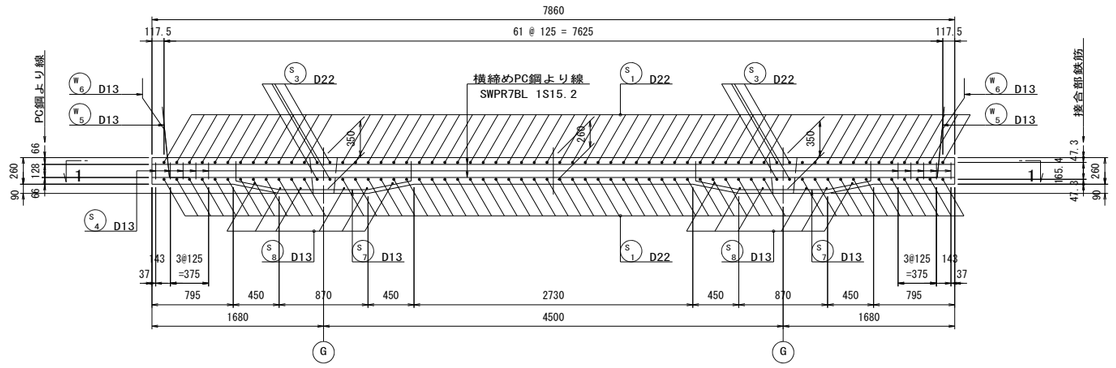
平　面　図　縮尺=1:30

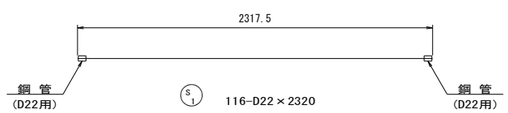


側　面　図　縮尺=1:20

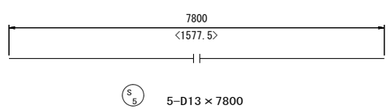


断　面　図　縮尺=1:30





S1 116-D22×2320



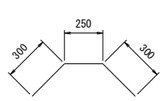
S5 5-D13×7800

< S8 12-D13×1580 >

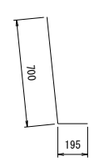
S2-1 16-D22×570

< S2-2 16-D22×580 >

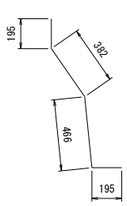
S3 8-D22×820



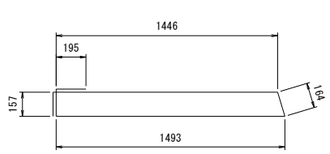
S6 16-D13×850



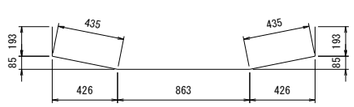
W5 26-D13×900



W6 26-D13×1240



S4 10-D13×3610



S7 20-D13×2120

鋼　筋　表

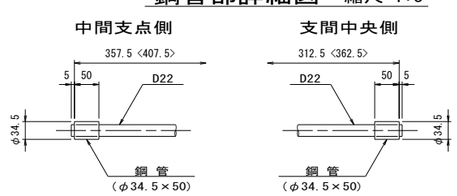
（床版1枚当り）

種別	径	長　さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	摘　要
S 1	D22	2320	116	3.04	7.05	818	鋼管
2-1	〃	570	16	〃	1.73	28	鋼管
2-2	〃	580	16	〃	1.76	28	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	D13	3610	10	0.995	3.59	36	
5	〃	7800	5	〃	7.76	39	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
8	〃	1580	12	〃	1.57	19	
W 5	D13	900	26	0.995	0.90	23	
6	〃	1240	26	〃	1.23	32	

普通鉄筋			
SD345	D22	894	kg
〃	D13	205	kg
〃	合計	1099	kg
鋼管（φ34.5×50）		264	個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

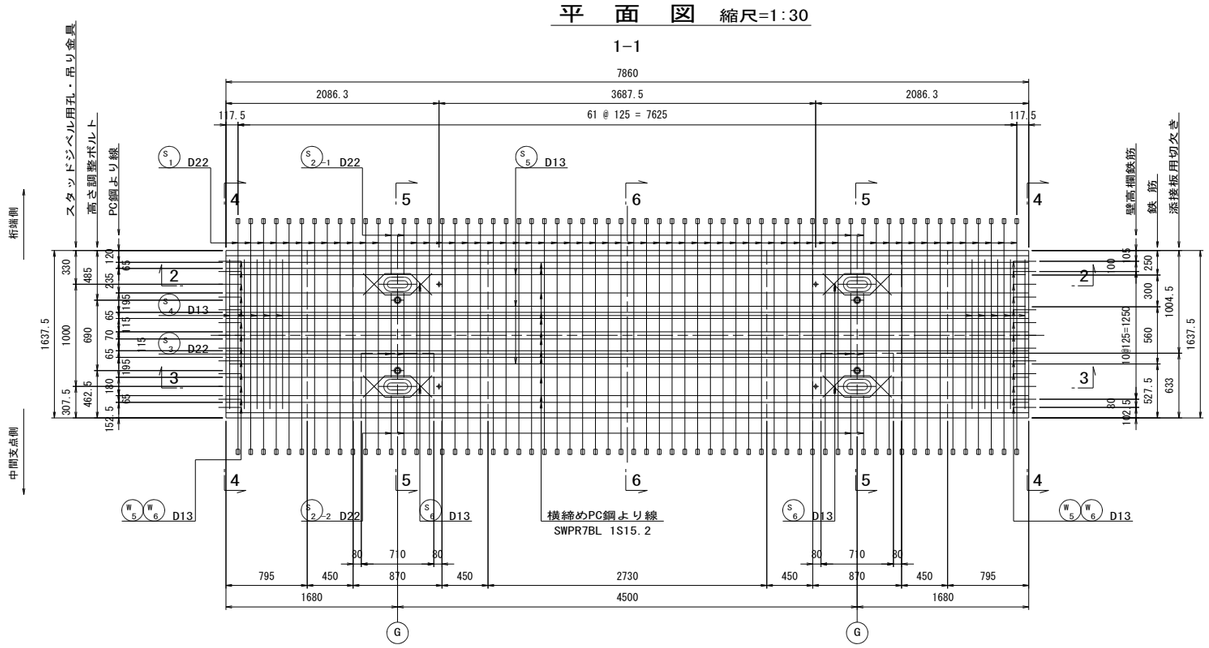
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その18)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	69 / 123

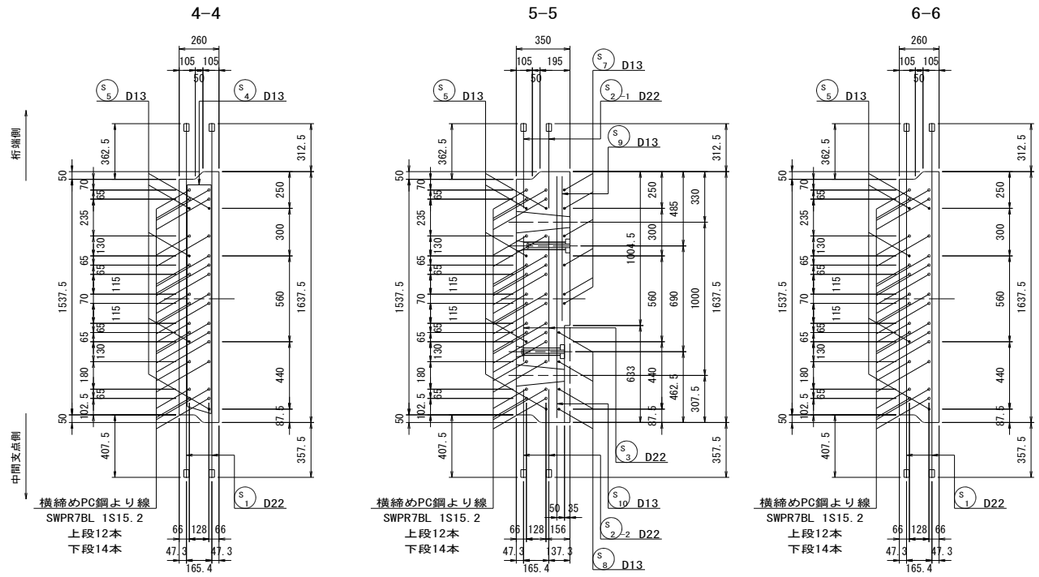
P2～A2 PC床版配筋図（その19）

D3-K タイプ

平　面　図　縮尺=1:30

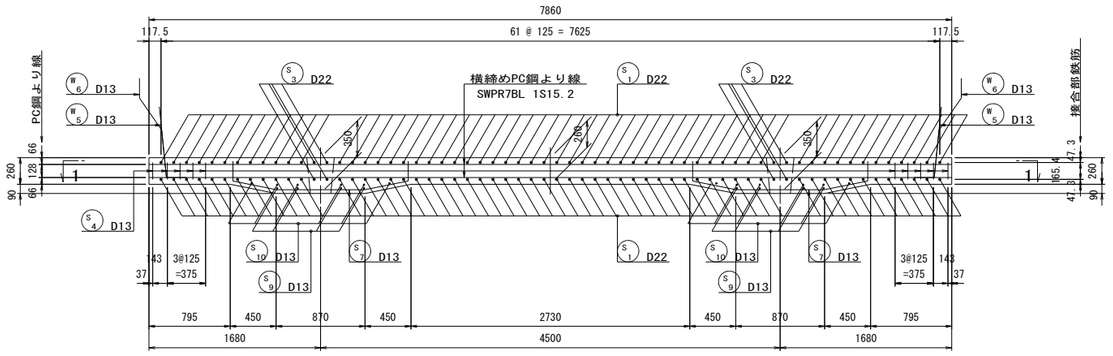


側　面　図　縮尺=1:20

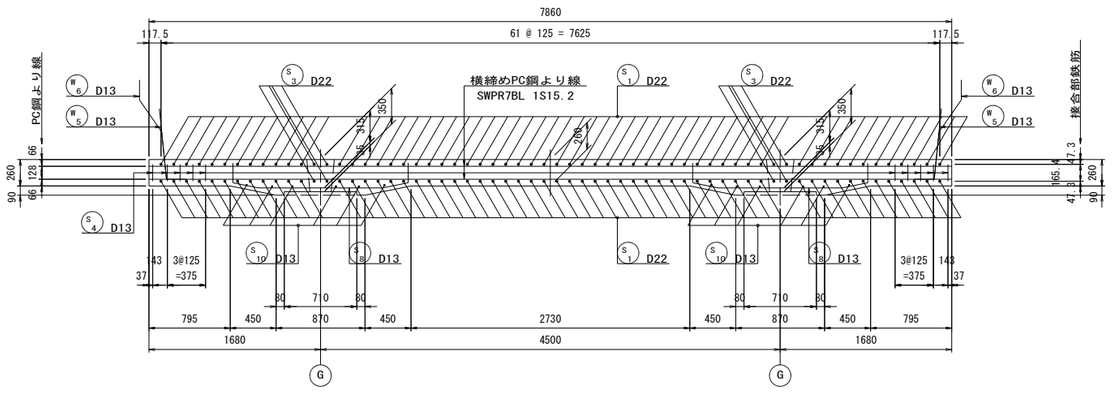


断　面　図　縮尺=1:30

2-2



3-3



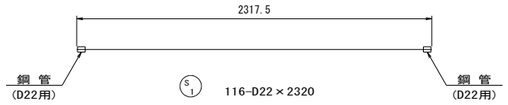
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その19)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	70 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その20）

D3-K タイプ

鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20

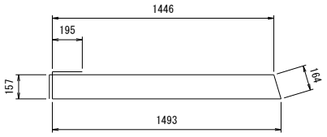


S1 116-D22×2320

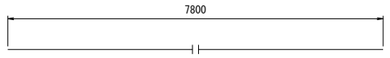
S2-1 8-D22×570

< S2-2 8-D22×580 >

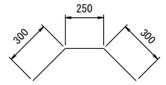
S3 8-D22×820



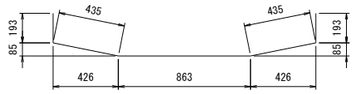
S4 10-D13×3610



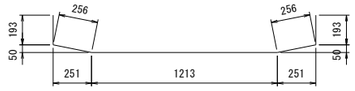
S5 5-D13×7800



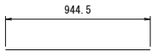
S6 16-D13×850



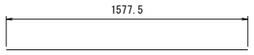
S7 12-D13×2120



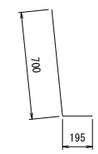
S8 8-D13×2110



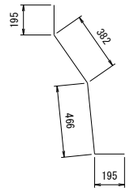
S9 8-D13×940



S10 12-D13×1580

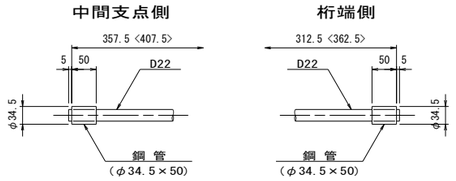


W5 26-D13×900



W6 26-D13×1240

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D22	2320	116	3.04	7.05	818	鋼管
2-1	〃	570	8	〃	1.73	14	鋼管
2-2	〃	580	8	〃	1.76	14	鋼管
3	〃	820	8	〃	2.49	20	
4	D13	3610	10	0.995	3.59	36	
5	〃	7800	5	〃	7.76	39	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
7	〃	2120	12	〃	2.11	25	
8	〃	2110	8	〃	2.10	17	
9	〃	940	8	〃	0.94	8	
10	〃	1580	12	〃	1.57	19	
W 5	D13	900	26	0.995	0.90	23	
6	〃	1240	26	〃	1.23	32	

普通鉄筋			
SD345	D22	866	kg
〃	D13	213	kg
〃	合計	1079	kg
鋼管（φ34.5×50）		248	個

注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

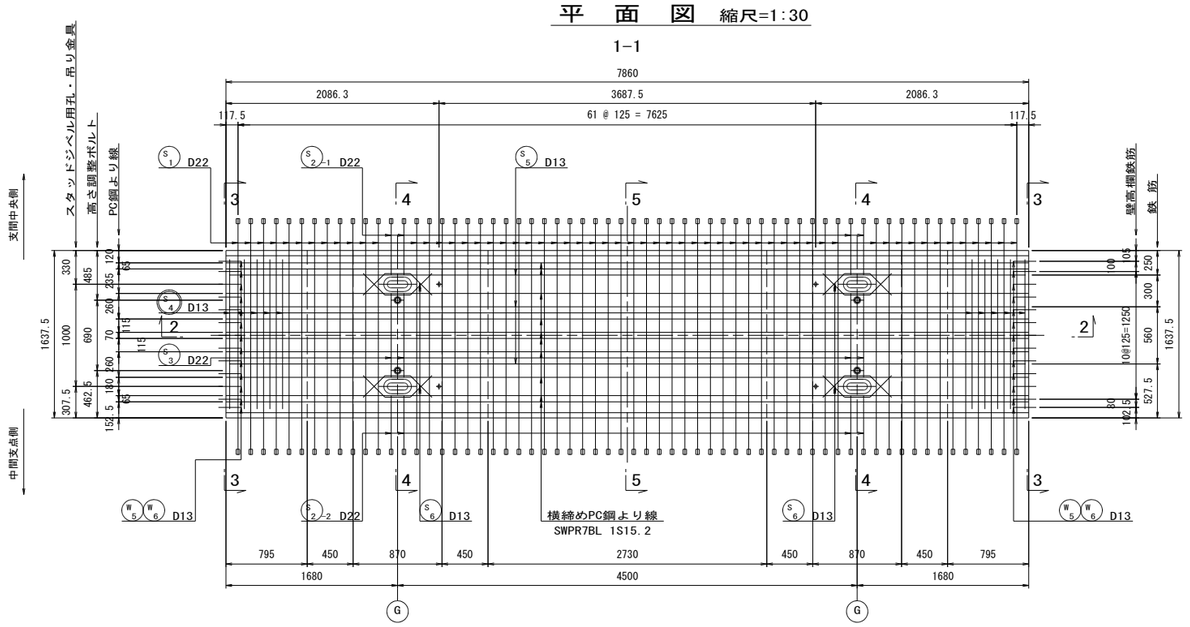
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その20)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	71 / 123

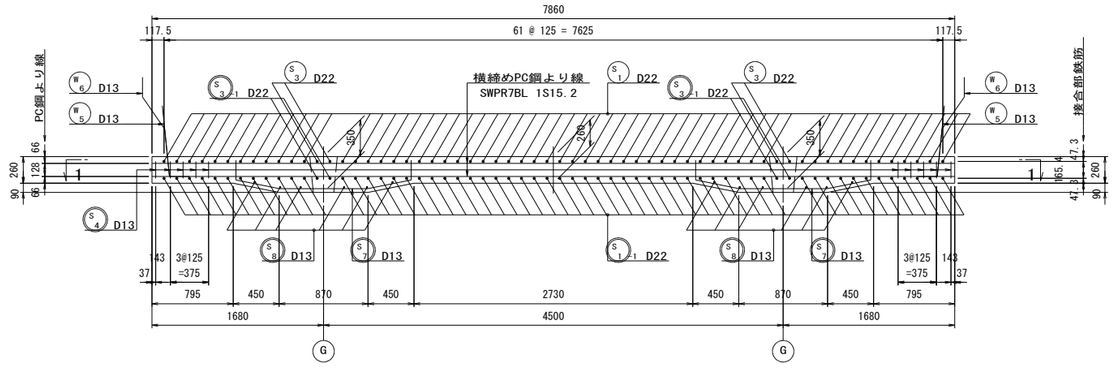
P2～A2 PC床版配筋図（その21）

D4 タイプ

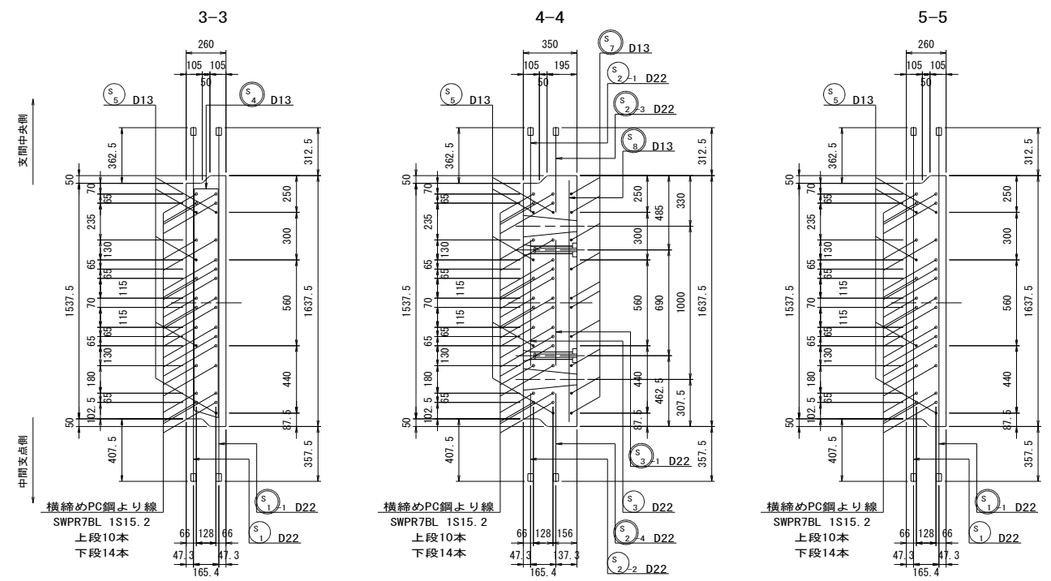
平　面　図　縮尺=1:30



断　面　図　縮尺=1:30



側　面　図　縮尺=1:20



鉄　筋　表

（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D22	2320	58	3.04	7.05	409	鋼管
* 1-1	〃	2320	58	〃	7.05	409	鋼管
2-1	〃	570	4	〃	1.73	7	鋼管
2-2	〃	580	4	〃	1.76	7	鋼管
* 2-3	〃	570	4	〃	1.73	7	鋼管
* 2-4	〃	580	4	〃	1.76	7	鋼管
3	〃	820	4	〃	2.49	10	
* 3-1	〃	820	4	〃	2.49	10	
* 4	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
5	〃	7800	5	〃	7.76	39	
6	〃	850	16	〃	0.85	14	
* 7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
* 8	〃	1580	12	〃	1.57	19	
W 5	D13	900	26	0.995	0.90	23	
6	〃	1240	26	〃	1.23	32	

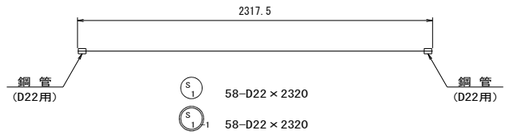
普通鉄筋			
SD345	D22	433	kg
〃	D13	108	kg
〃	合計	541	kg
鋼管（φ34.5×50）		124	個

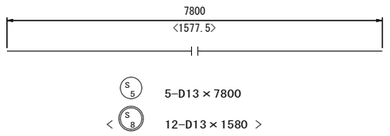
塗装鉄筋			
SD345	D22	433	kg
〃	D13	97	kg
〃	合計	530	kg
鋼管（φ34.5×50）		124	個

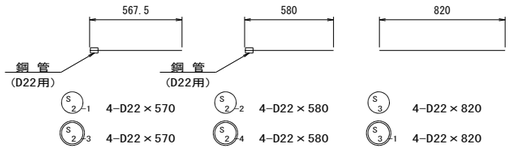
注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。
*印は塗装鉄筋を示す。

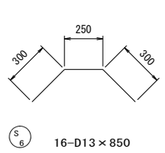
実施

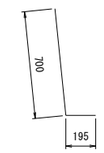
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その21)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	72 / 123

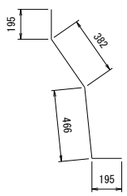


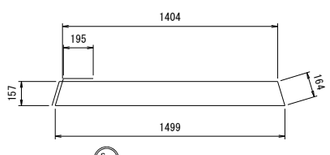


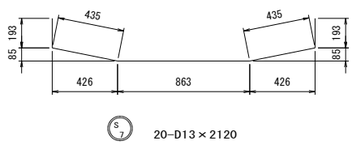




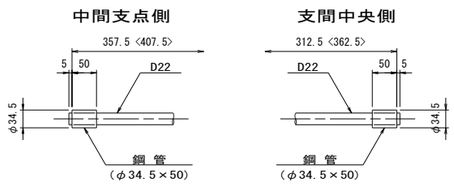








鋼管部詳細図　縮尺=1:5



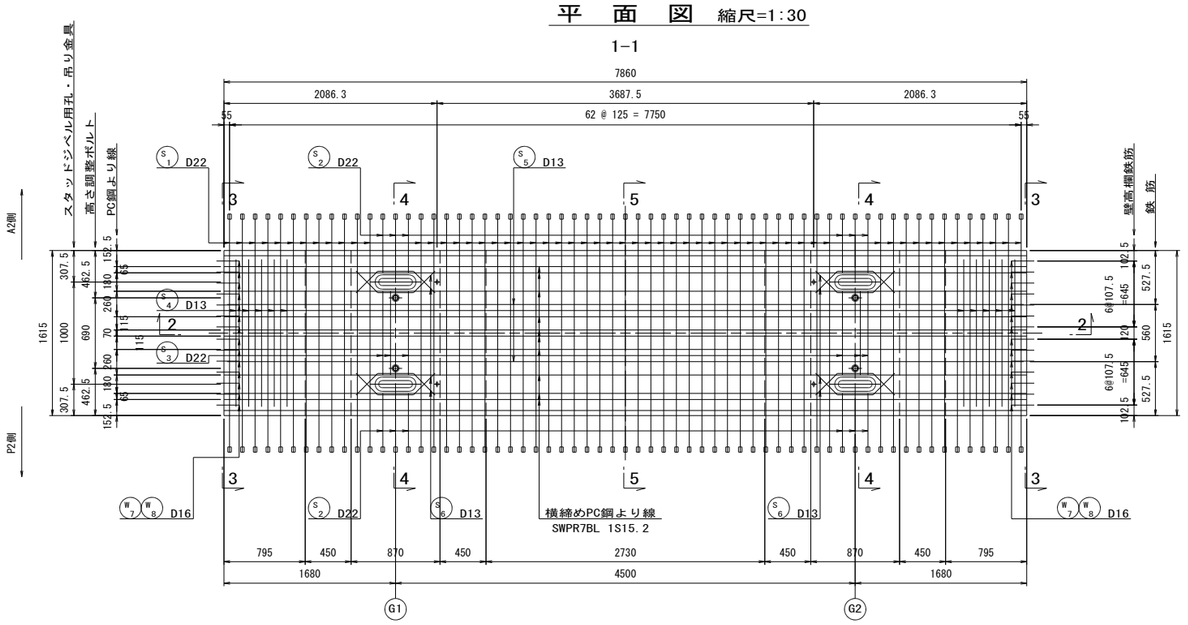
注）< >内は上段側を示す。

注）鉄筋の仕様について
○ ・・・普通鉄筋
◎ ・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

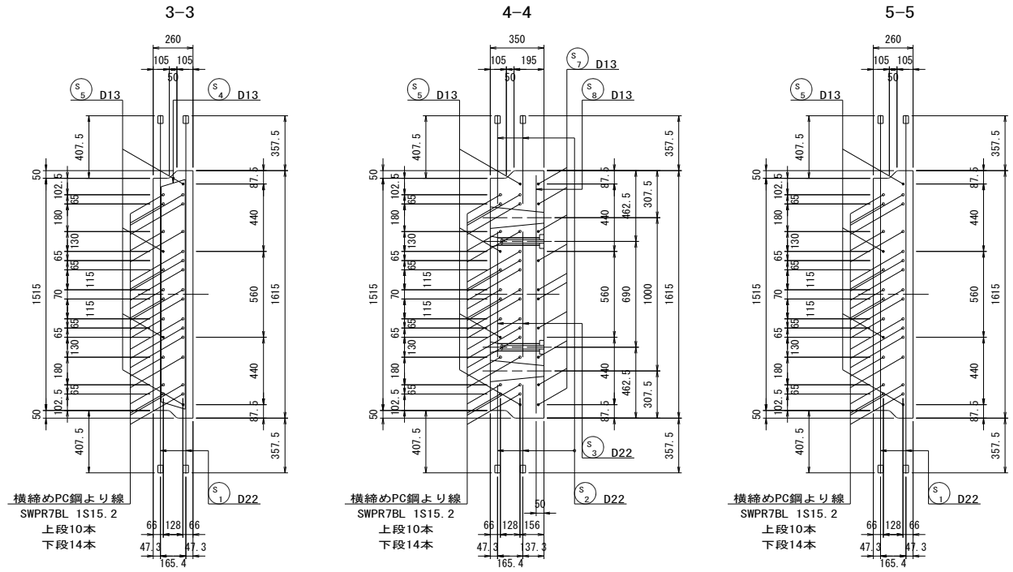
P2～A2 PC床版配筋図（その22）

E-M タイプ

平　面　図　縮尺=1:30

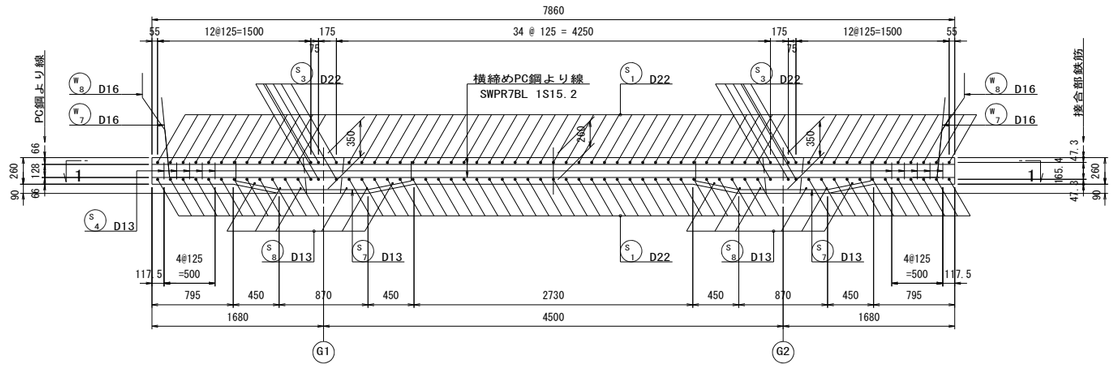


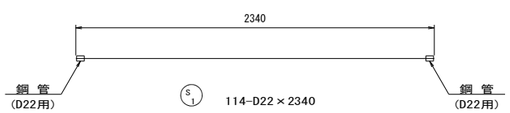
側　面　図　縮尺=1:20



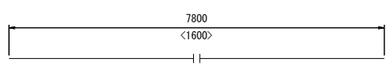
断　面　図　縮尺=1:30

2-2





S1 114-D22×2340

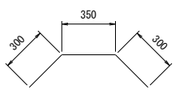


S5 4-D13×7800

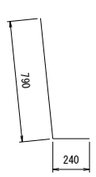
< S8 12-D13×1600 >

S2 24-D22×580

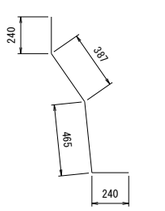
S3 12-D22×820



S6 16-D13×950

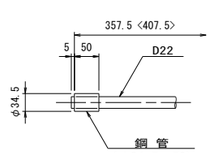


W7 28-D16×1030



W8 28-D16×1330

鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄　筋　表

（床版1枚当り）

種別		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S	1	D22	2340	114	3.04	7.11	811	鋼管
	2	〃	580	24	〃	1.76	42	鋼管
	3	〃	820	12	〃	2.49	30	
	4	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
	5	〃	7800	4	〃	7.76	31	
	6	〃	950	16	〃	0.95	15	
	7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
	8	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W	7	D16	1030	28	1.56	1.61	45	
	8	〃	1330	28	〃	2.07	58	

普通鉄筋			
SD345	D22	883	kg
〃	D16	103	kg
〃	D13	143	kg
〃	合計	1129	kg
鋼管（φ34.5×50）		252	個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

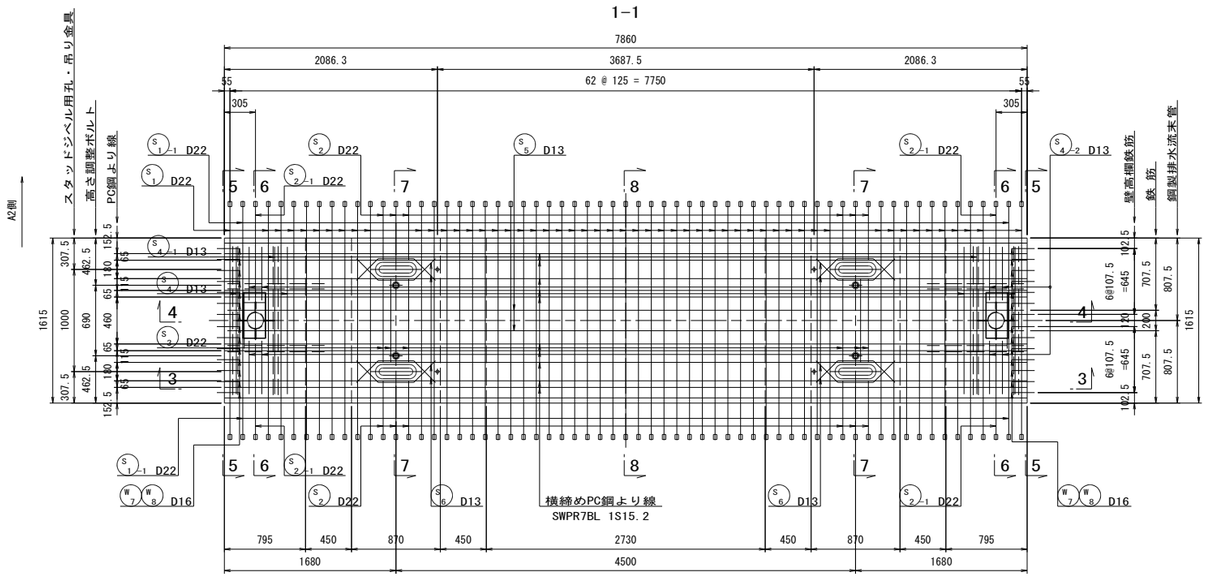
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その22)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	73 / 123

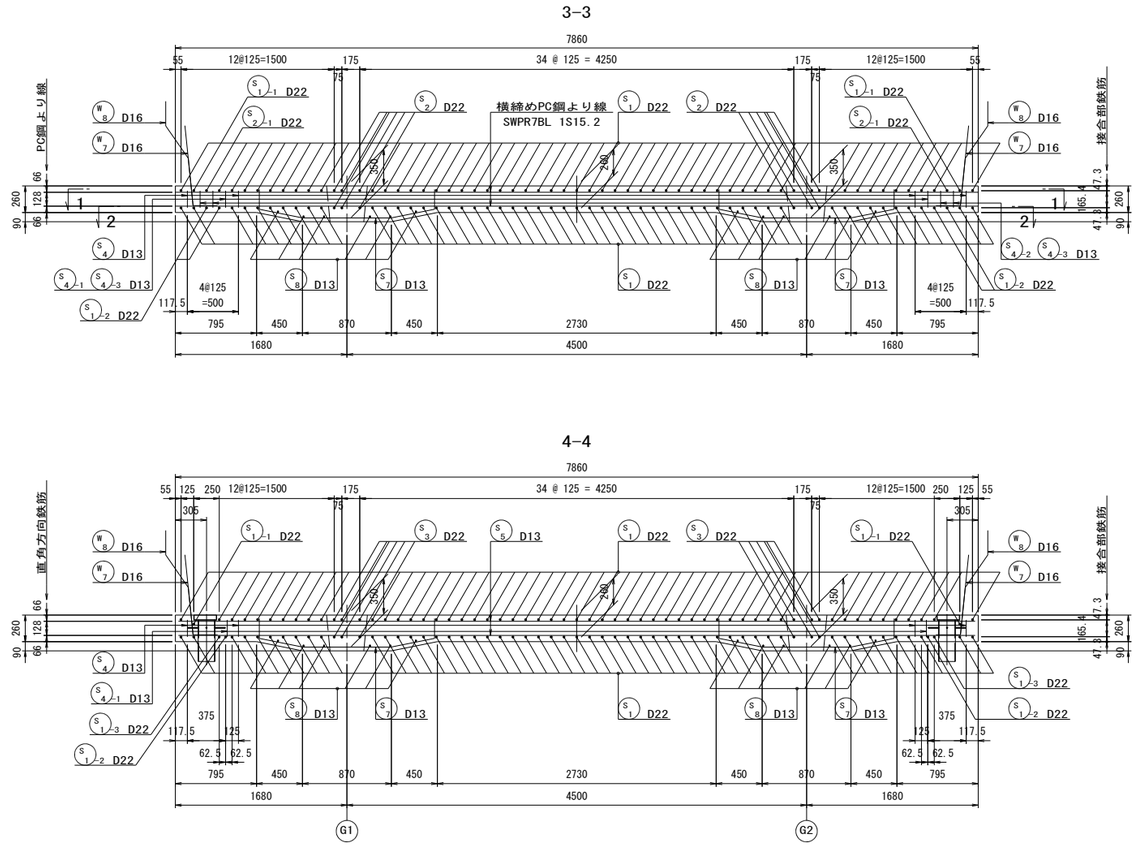
P2～A2 PC床版配筋図（その23）

E-MH タイプ

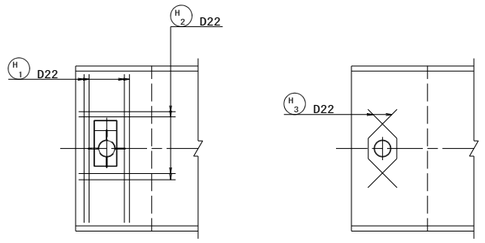
平　面　図　縮尺=1:30



断　面　図　縮尺=1:30



排水桝補強筋　縮尺=1:30



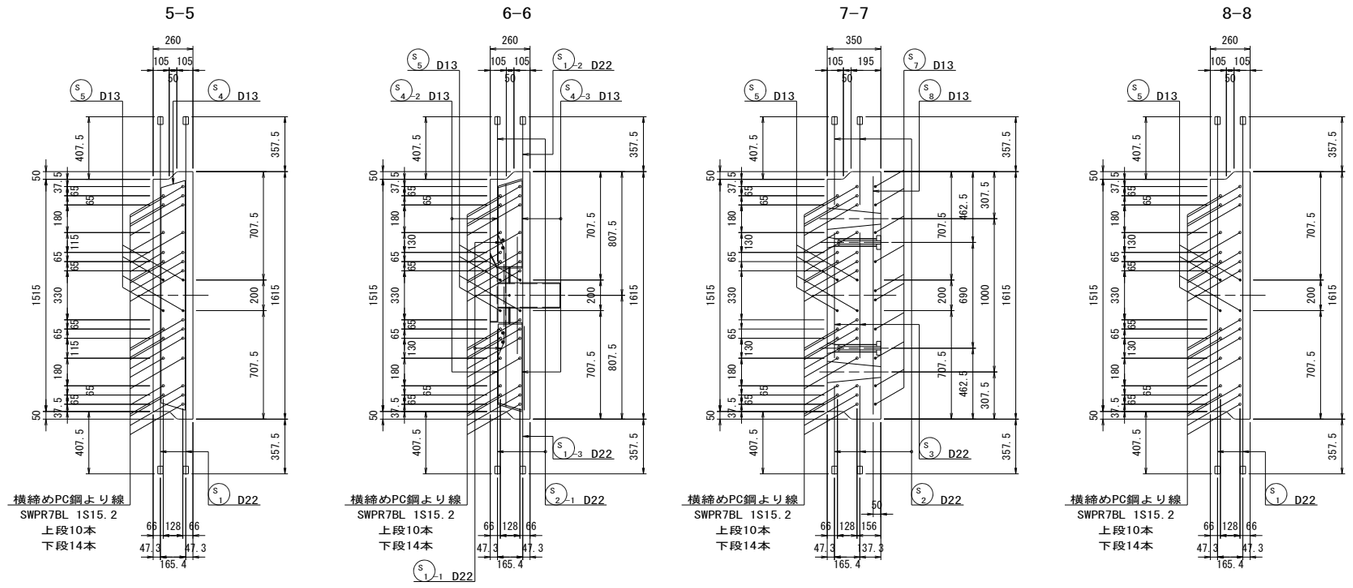
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その23)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	74 / 123

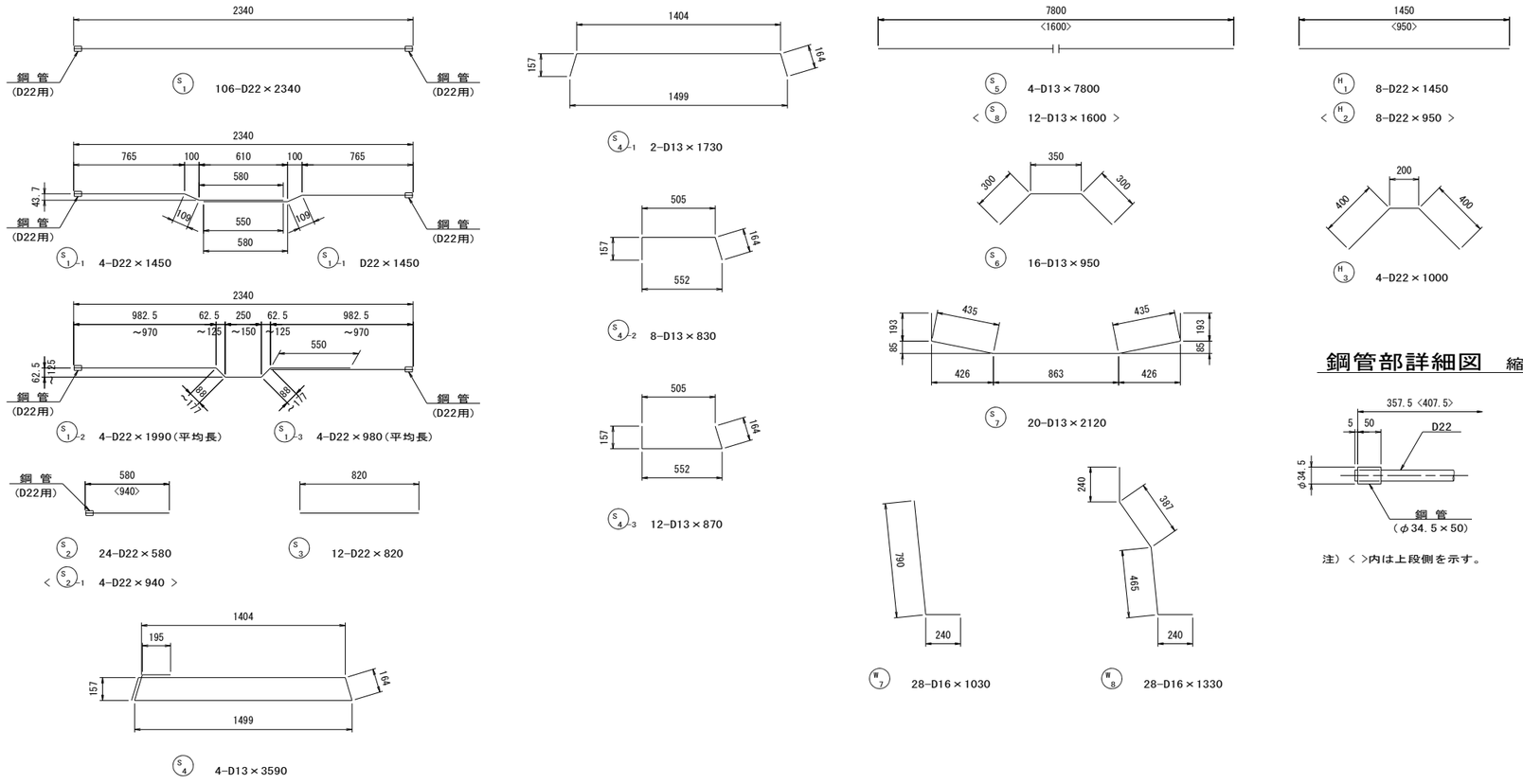
P2～A2 PC床版配筋図（その24）

E-MH タイプ

側　面　図　縮尺=1:20



鉄　筋　加　工　図　縮尺=1:20



鋼管部詳細図　縮尺=1:5

注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄　筋　表

（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D22	2340	106	3.04	7.11	754	鋼管
1–1	〃	1450	4	〃	4.41	18	鋼管
1–2	〃	1990	4	〃	6.05	24	（平均長）鋼管
1–3	〃	980	4	〃	2.98	12	（平均長）鋼管
2	〃	580	24	〃	1.76	42	鋼管
2–1	〃	940	4	〃	2.86	11	鋼管
3	〃	820	12	〃	2.49	30	
4	D13	3590	4	0.995	3.57	14	
4–1	〃	1730	2	〃	1.72	3	
4–2	〃	830	8	〃	0.83	7	
4–3	〃	870	12	〃	0.87	10	
5	〃	7800	4	〃	7.76	31	
6	〃	950	16	〃	0.95	15	
7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
8	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 7	D16	1030	28	1.56	1.61	45	
8	〃	1330	28	〃	2.07	58	
H 1	D22	1450	8	3.04	4.41	35	
2	〃	950	8	〃	2.89	23	
3	〃	1000	4	〃	3.04	12	

普通鉄筋		
SD345	D22	961 kg
〃	D16	103 kg
〃	D13	141 kg
〃	合計	1205 kg

鋼管（φ34.5×50）	252 個

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

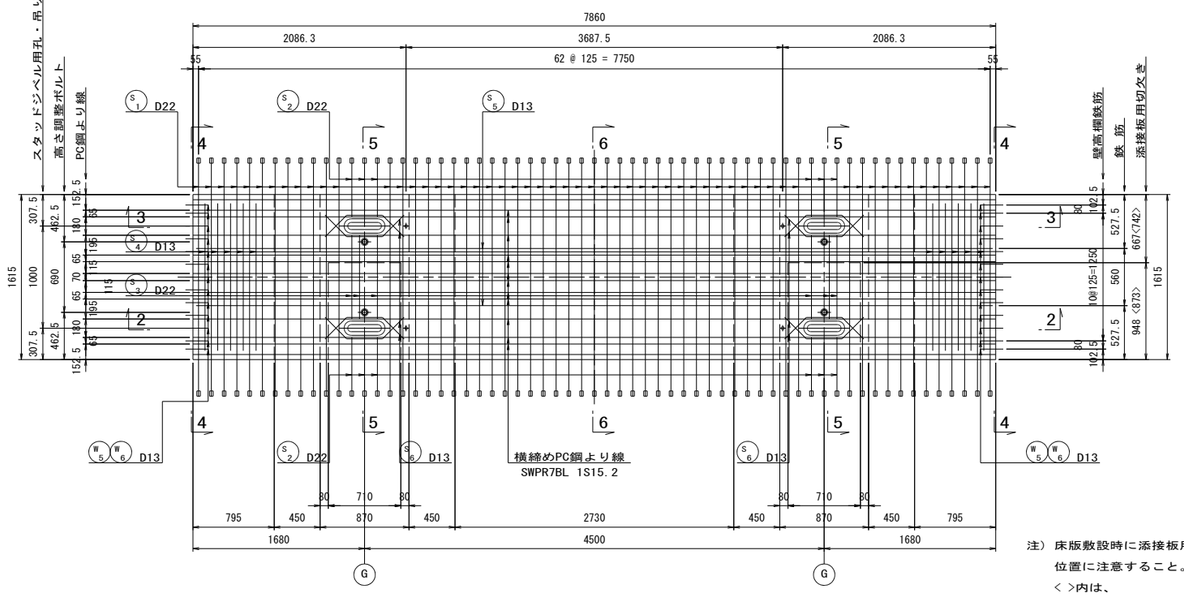
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その24)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	75 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その25）

E-K1 ， E-K2 タイプ

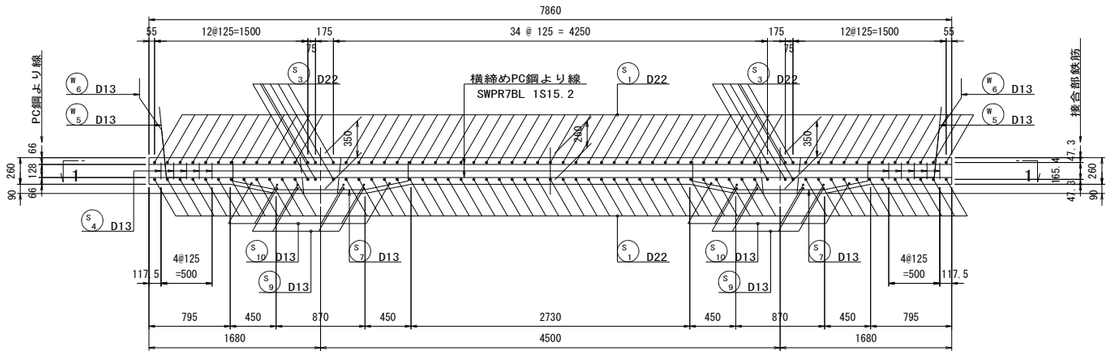
平　面　図　縮尺=1:30



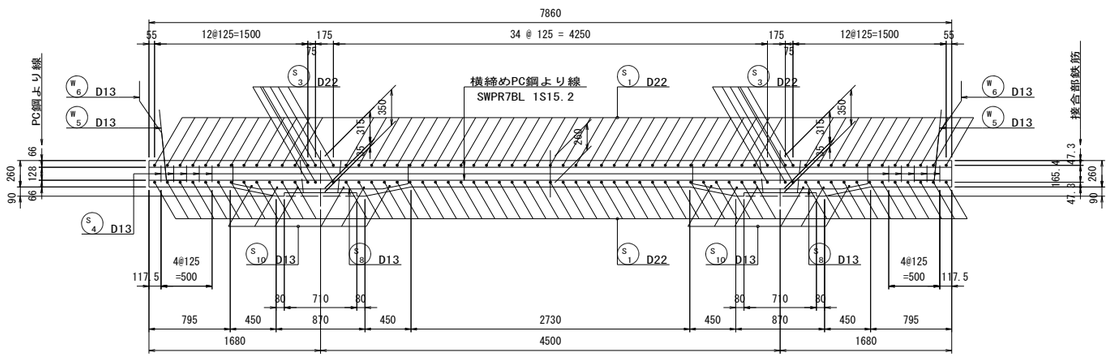
注）床版敷設時に添接板用切欠きの位置に注意すること。
< >内は、
E-K2タイプを示す。

断　面　図　縮尺=1:30

2-2

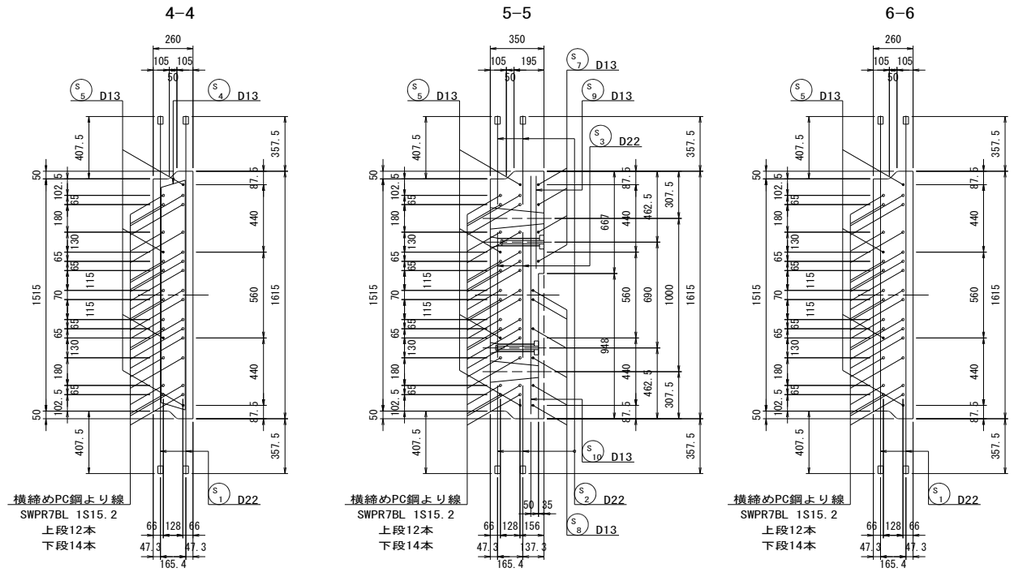


3-3

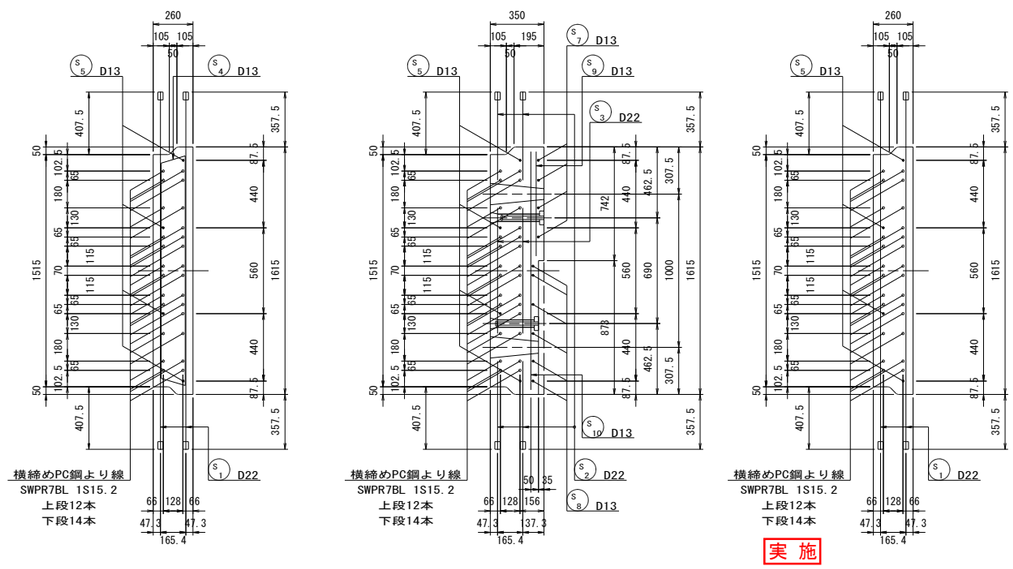


側　面　図　縮尺=1:20

E-K1



E-K2



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

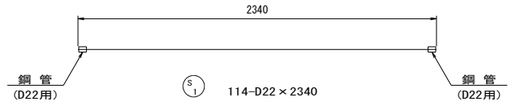
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その25)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	76 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その26）

E-K1 ， E-K2 タイプ

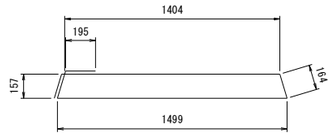
鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20



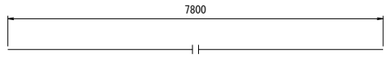
S1 114-D22×2340

S2 24-D22×580

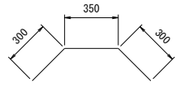
S3 12-D22×820



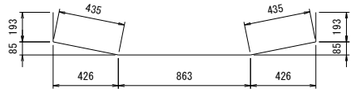
S4 10-D13×3590



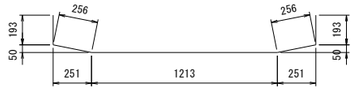
S5 4-D13×7800



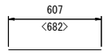
S6 16-D13×950



S7 12-D13×2120

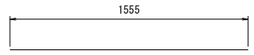


S8 8-D13×2110

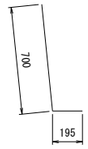


S9 8-D13×610 (E-K1)

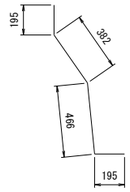
< S9 8-D13×680 (E-K2) >



S10 12-D13×1560

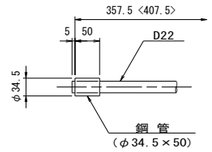


W5 26-D13×900



W6 26-D13×1240

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D22	2340	114	3.04	7.11	811	鋼管
2	〃	580	24	〃	1.76	42	鋼管
3	〃	820	12	〃	2.49	30	
4	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
5	〃	7800	4	〃	7.76	31	
6	〃	950	16	〃	0.95	15	
7	〃	2120	12	〃	2.11	25	
8	〃	2110	8	〃	2.10	17	
9	〃	610	8	〃	0.61	5	E-K1
	〃	680	8	〃	0.68	5	E-K2
10	〃	1560	12	〃	1.55	19	
W 5	D13	900	26	0.995	0.90	23	
6	〃	1240	26	〃	1.23	32	

普通鉄筋		E-K1	E-K2
SD345	D22	883 kg	883 kg
〃	D13	203 kg	203 kg
〃	合計	1086 kg	1086 kg
鋼管（φ34.5×50）		252 個	252 個

注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

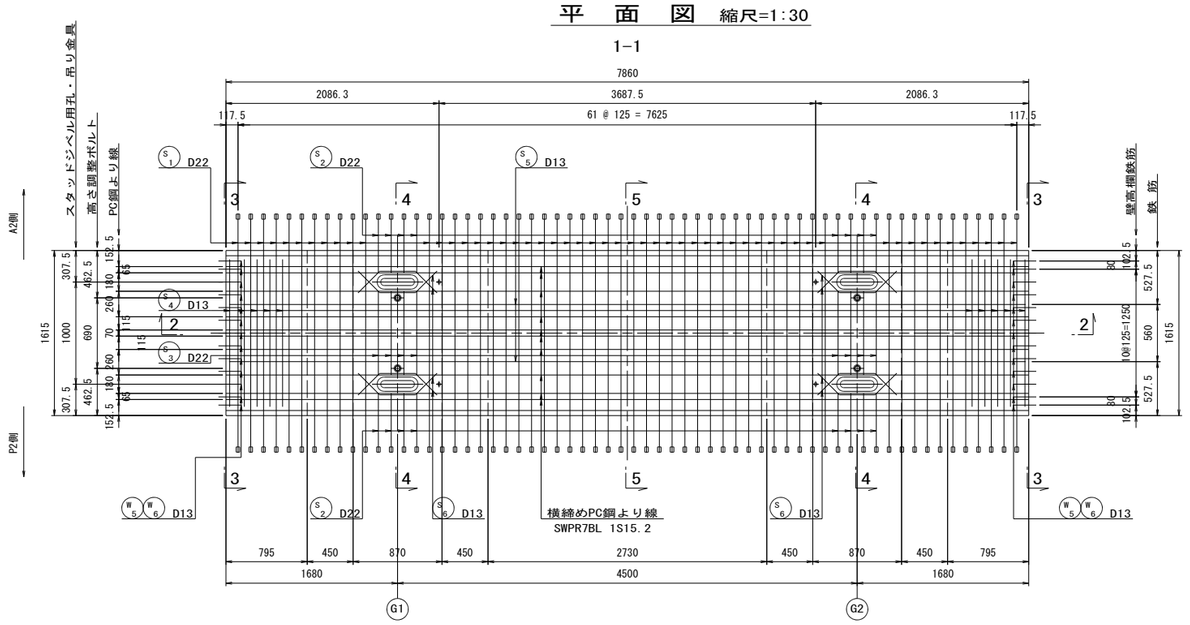
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その26)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	77 / 123

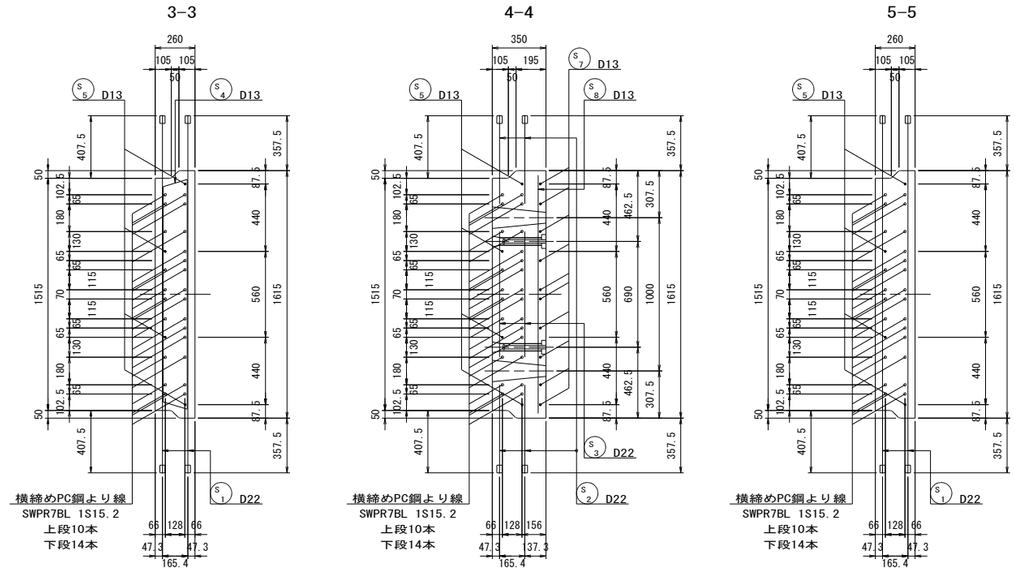
P2～A2 PC床版配筋図（その27）

F タイプ

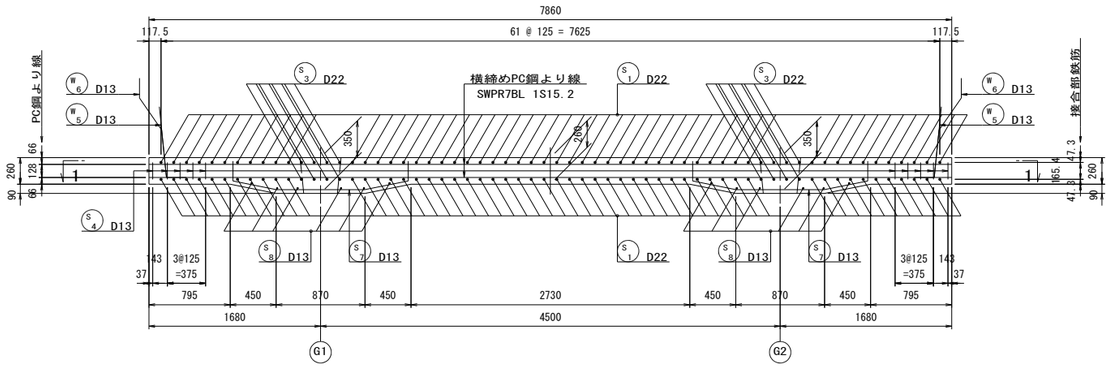
平　面　図　縮尺=1:30

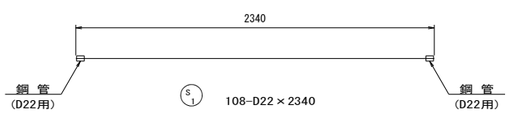


側　面　図　縮尺=1:20

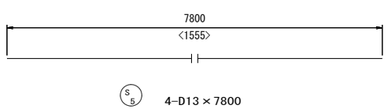


断　面　図　縮尺=1:30





S1 108-D22×2340

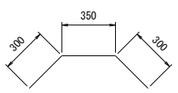


S5 4-D13×7800

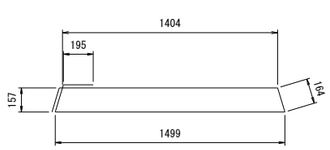
< S8 12-D13×1560 >

S2 32-D22×580

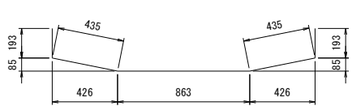
S3 16-D22×820



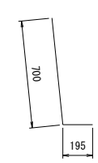
S6 16-D13×950



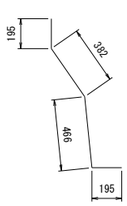
S4 10-D13×3590



S7 20-D13×2120

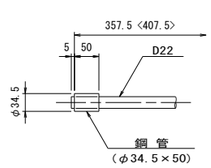


W5 26-D13×900



W6 26-D13×1240

鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

鉄　筋　表

（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D22	2340	108	3.04	7.11	768	鋼管
2	〃	580	32	〃	1.76	56	鋼管
3	〃	820	16	〃	2.49	40	
4	D13	3590	10	0.995	3.57	36	
5	〃	7800	4	〃	7.76	31	
6	〃	950	16	〃	0.95	15	
7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
8	〃	1560	12	〃	1.55	19	
W 5	D13	900	26	0.995	0.90	23	
6	〃	1240	26	〃	1.23	32	

普通鉄筋			
SD345	D22	864	kg
〃	D13	198	kg
〃	合計	1062	kg
鋼管（φ34.5×50）		248	個

注）床版の配置位置については
“PC床版割付図”を参照すること。

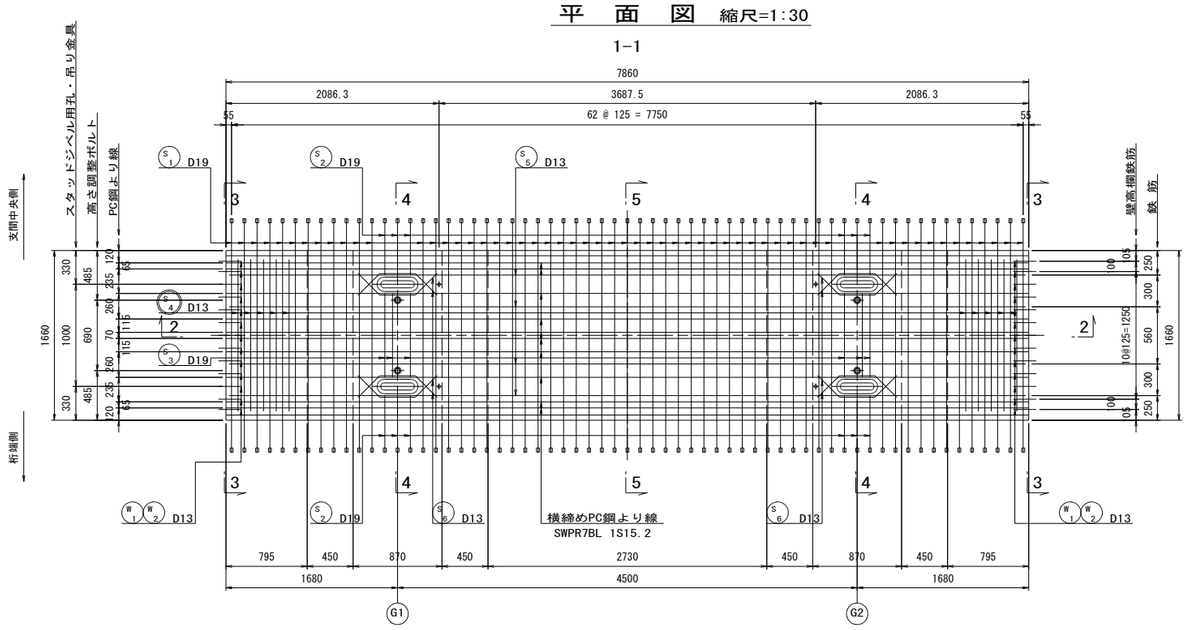
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その27)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	78 / 123

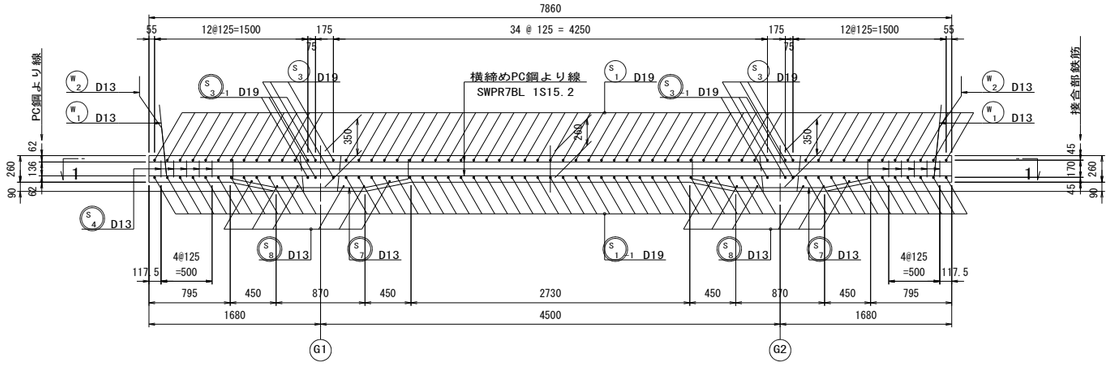
P2～A2 PC床版配筋図（その28）

G ， H タイプ

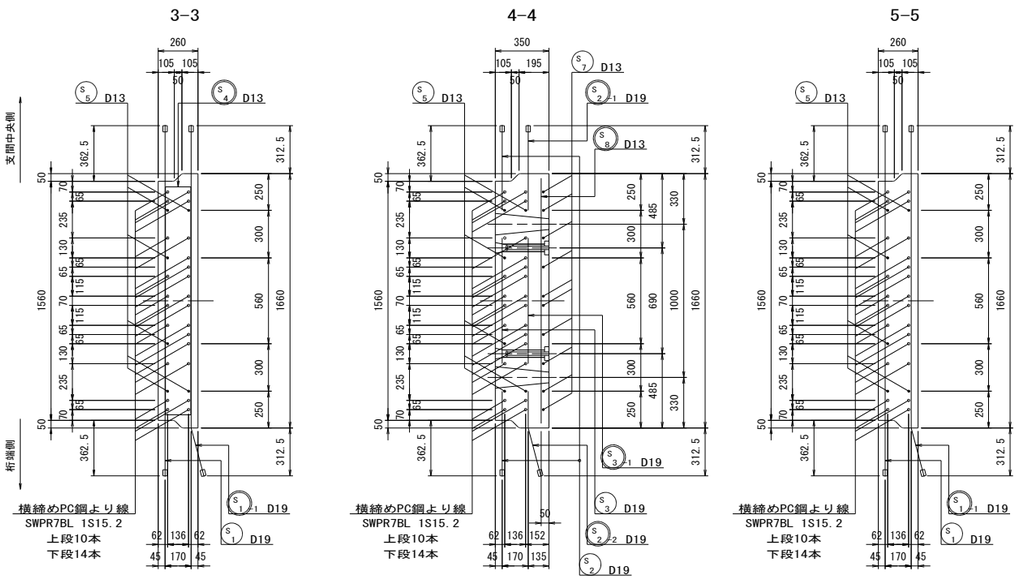
平　面　図　縮尺=1:30



断　面　図　縮尺=1:30



側　面　図　縮尺=1:20



注）側面図はGタイプを示す。
　　Hタイプは橋軸方向に対称とする。

鉄　筋　表

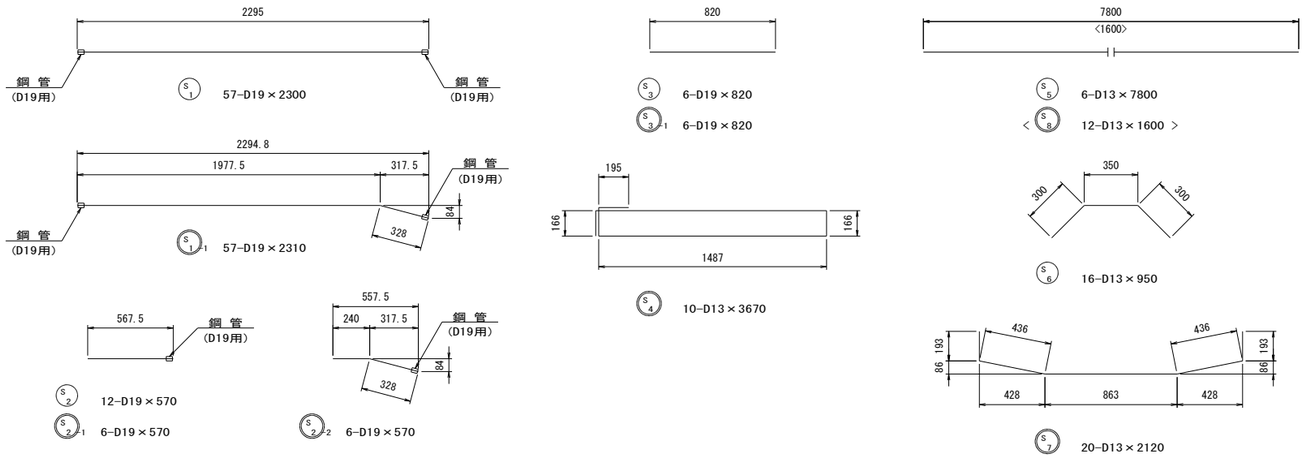
（床版1枚当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D19	2300	57	2.25	5.18	295	鋼管
* 1-1	〃	2310	57	〃	5.20	296	鋼管
2	〃	570	12	〃	1.28	15	鋼管
* 2-1	〃	570	6	〃	1.28	8	鋼管
* 2-2	〃	570	6	〃	1.28	8	鋼管
3	〃	820	6	〃	1.85	11	
* 3-1	〃	820	6	〃	1.85	11	
* 4	D13	3670	10	0.995	3.65	37	
5	〃	7800	6	〃	7.76	47	
6	〃	950	16	〃	0.95	15	
* 7	〃	2120	20	〃	2.11	42	
* 8	〃	1600	12	〃	1.59	19	
W 1	D13	900	26	0.995	0.90	23	
2	〃	1240	26	〃	1.23	32	

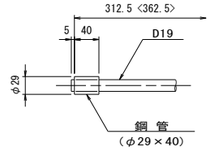
普通鉄筋			
SD345	D19	321	kg
〃	D13	117	kg
〃	合計	438	kg
鋼管（φ29×40）		126	個

塗装鉄筋			
SD345	D19	323	kg
〃	D13	98	kg
〃	合計	421	kg
鋼管（φ29×40）		126	個

注）床版の配置位置については
　　"PC床版割付図"を参照すること。
　　*印は塗装鉄筋を示す。



鋼管部詳細図　縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

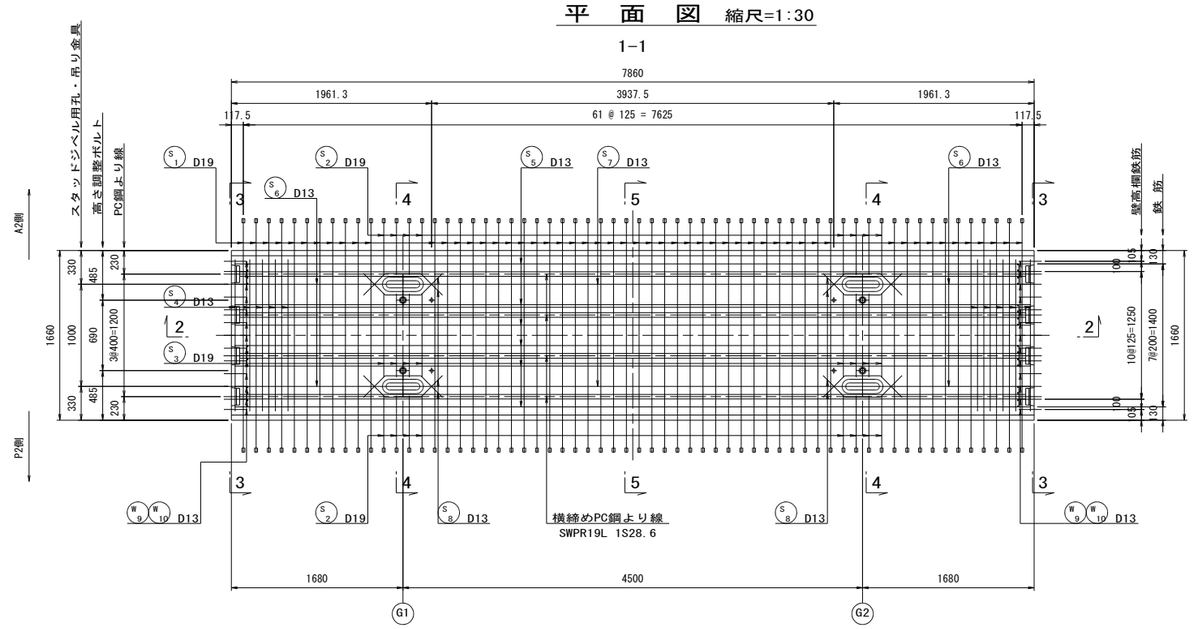
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号
路線名	(主)築館登米線
施工地名	登米市中田町石森 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その28)
縮尺	1:30
位置	
設計者	
設計年度	
宮城県	図番 79 / 123

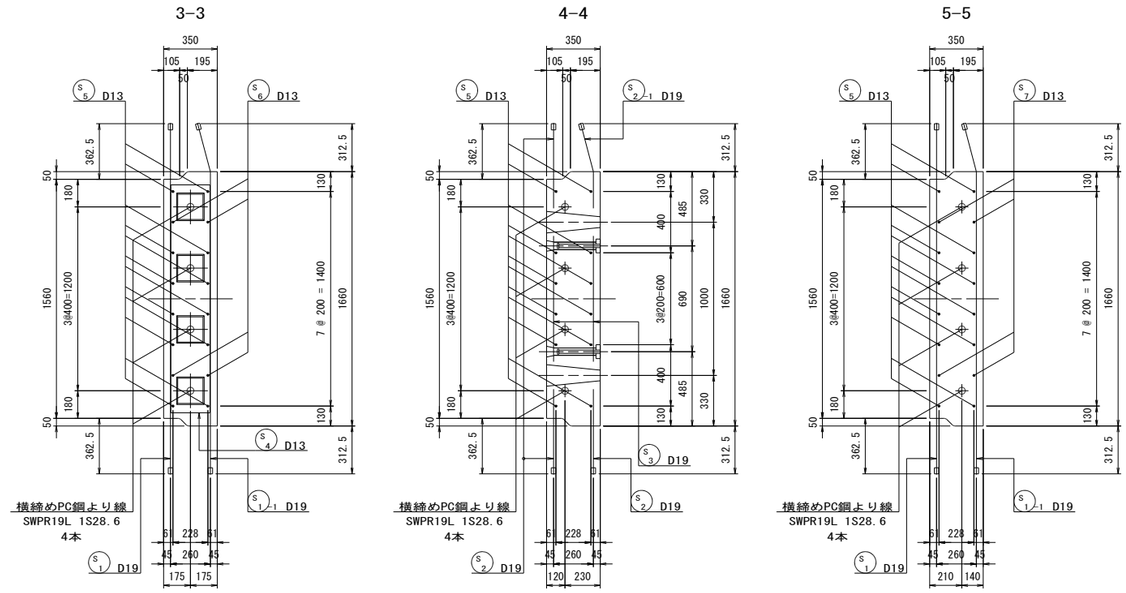
P2～A2 PC床版配筋図（その29）

Ⅰ タイプ

平　面　図　縮尺=1:30

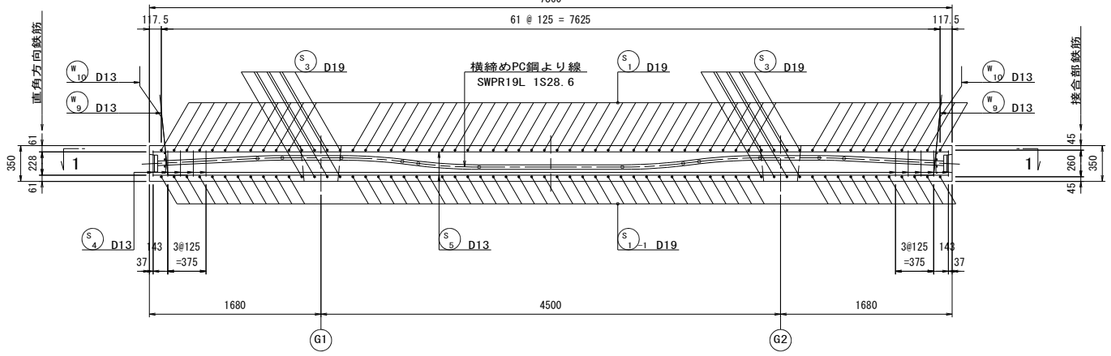


側　面　図　縮尺=1:20

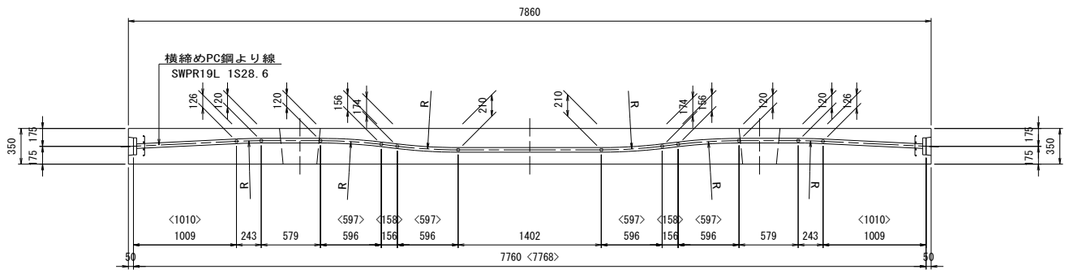


断　面　図　縮尺=1:30

2-2



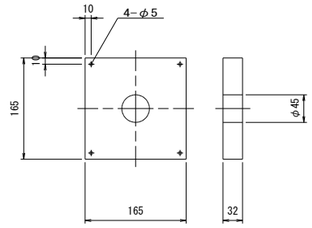
Ｐ Ｃ 鋼 材 形 状 図　縮尺=1:30



注）鋼材の曲げ半径はR=5000とする。
< >内は鋼材の実長寸法を示す。

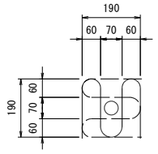
アンカープレート　縮尺=1:5

（1S28.6，プレグラウト用）



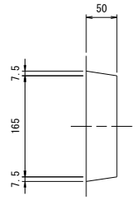
グリッド筋　縮尺=1:10

（1S28.6用）



2-φ9×877（1組当り）

横締め定着部切欠き詳細図　縮尺=1:5



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

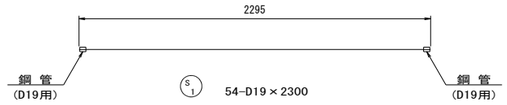
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その29)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	80 / 123

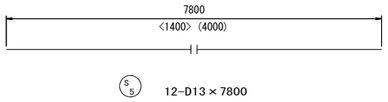
P2～A2 PC床版配筋図（その30）

Ⅰ タイプ

鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20

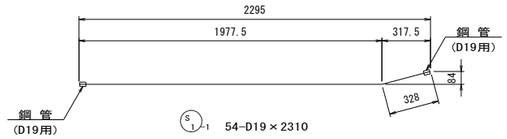


S1 54-D19×2300

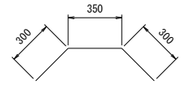


S5 12-D13×7800

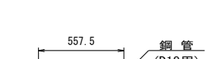
〈 S6 8-D13×1400 〉 （ S7 4-D13×4000 ）



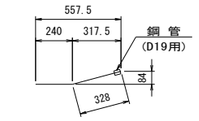
S1-1 54-D19×2310



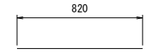
S8 16-D13×950



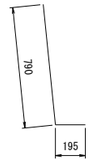
S2 24-D19×560



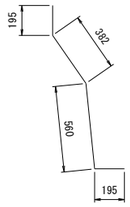
S2-1 8-D19×570



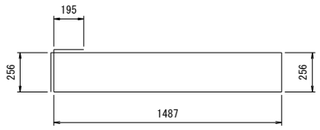
S3 16-D19×820



W9 26-D13×990

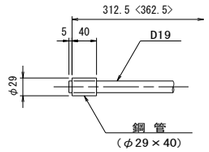


W10 26-D13×1330



S4 10-D13×3940

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2300	54	2.25	5.18	280	鋼管
1-1	〃	2310	54	〃	5.20	281	鋼管
2	〃	560	24	〃	1.26	30	鋼管
2-1	〃	570	8	〃	1.28	10	鋼管
3	〃	820	16	〃	1.85	30	
4	D13	3940	10	0.995	3.92	39	
5	〃	7800	12	〃	7.76	93	
6	〃	1400	8	〃	1.39	11	
7	〃	4000	4	〃	3.98	16	
8	〃	950	16	〃	0.95	15	
W 5	D13	990	26	0.995	0.99	26	
6	〃	1330	26	〃	1.32	34	

普通鉄筋			
SD345	D19	631	kg
〃	D13	234	kg
〃	合計	865	kg
鋼管（φ29×40）		248	個

注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

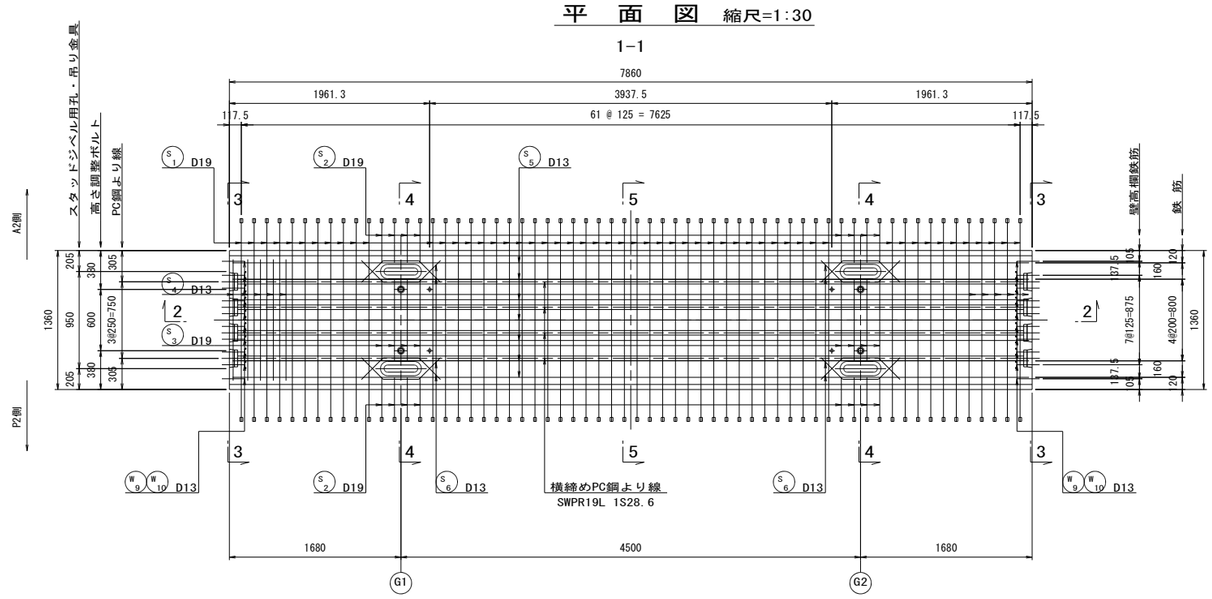
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路 線 名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図 面 名	P2～A2 PC床版配筋図(その30)		
縮 尺	1:20	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	81 / 123

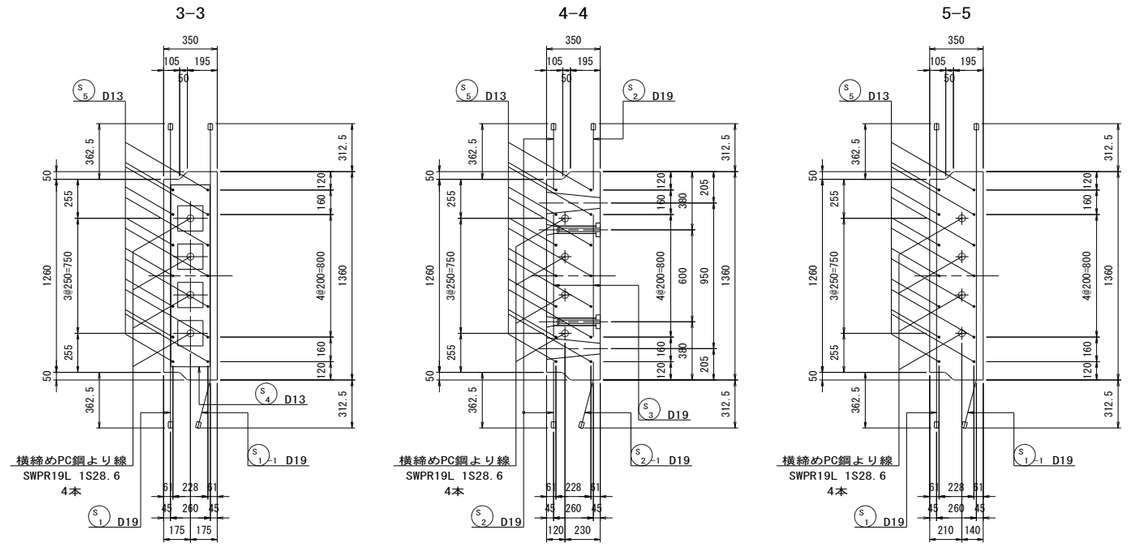
P2～A2 PC床版配筋図（その31）

J タイプ

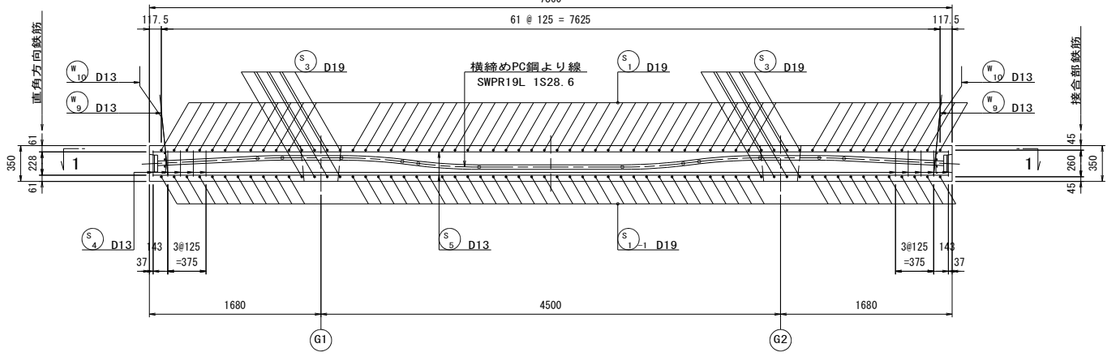
平　面　図　縮尺=1:30



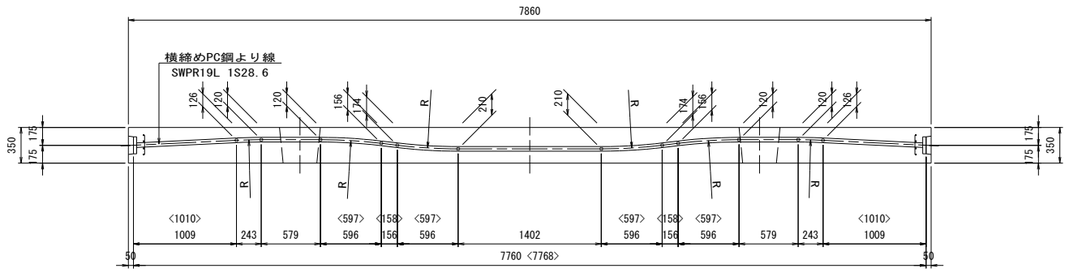
側　面　図　縮尺=1:20



断　面　図　縮尺=1:30



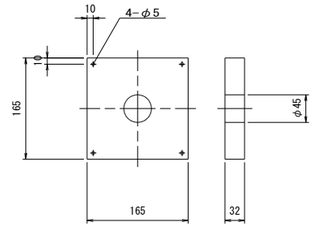
P C 鋼 材 形 状 図　縮尺=1:30



注）鋼材の曲げ半径はR=5000とする。
　　< >内は鋼材の実長寸法を示す。

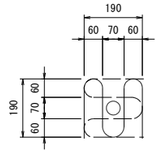
アンカープレート　縮尺=1:5

（1S28.6，プレグラウト用）



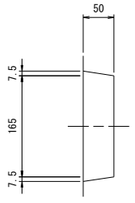
グリッド筋　縮尺=1:10

（1S28.6用）



2-φ9×877（1組当り）

横締め定着部切欠き詳細図　縮尺=1:5



注）床版の配置位置については
　　"PC床版割付図"を参照すること。

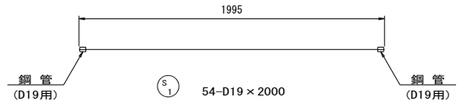
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その31)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	82 / 123

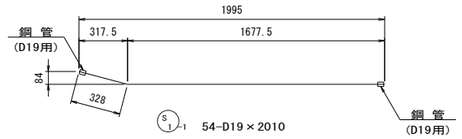
P2～A2 PC床版配筋図（その32）

J タイプ

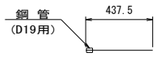
鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20



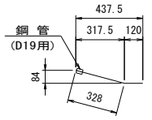
S1 54-D19×2000



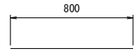
S1-1 54-D19×2010



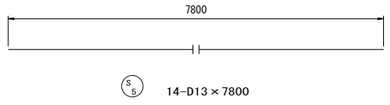
S2 24-D19×440



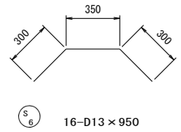
S2-1 8-D19×450



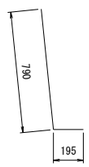
S3 16-D19×800



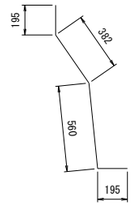
S5 14-D13×7800



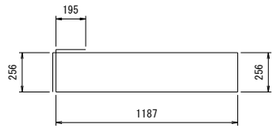
S6 16-D13×950



W9 20-D13×990

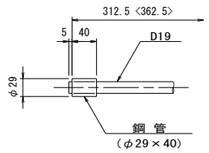


W10 20-D13×1330



S4 10-D13×3340

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）〈 〉内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2000	54	2.25	4.50	243	鋼管
1-1	〃	2010	54	〃	4.52	244	鋼管
2	〃	440	24	〃	0.99	24	鋼管
2-1	〃	450	8	〃	1.01	8	鋼管
3	〃	800	16	〃	1.80	29	
4	D13	3340	10	0.995	3.32	33	
5	〃	7800	14	〃	7.76	109	
6	〃	950	16	〃	0.95	15	
W 5	D13	990	20	0.995	0.99	20	
6	〃	1330	20	〃	1.32	26	

普通鉄筋			
SD345	D19	548	kg
〃	D13	203	kg
〃	合計	751	kg
鋼管（φ29×40）		248	個

注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

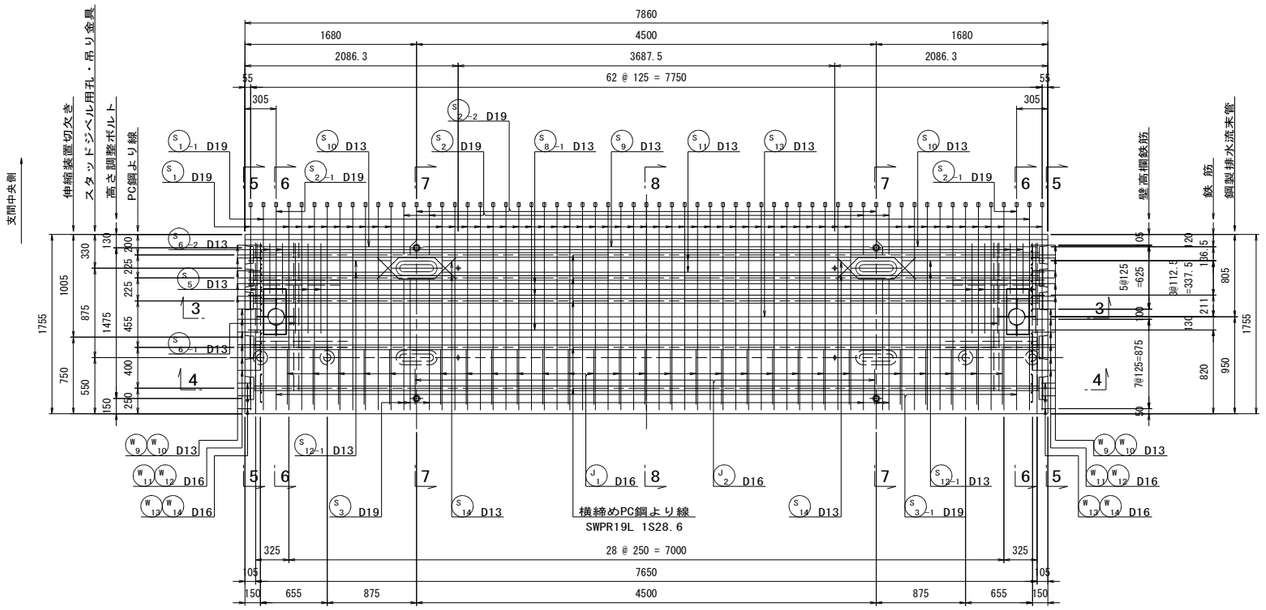
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路 線 名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図 面 名	P2～A2 PC床版配筋図(その32)		
縮 尺	1:20	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	83 / 123

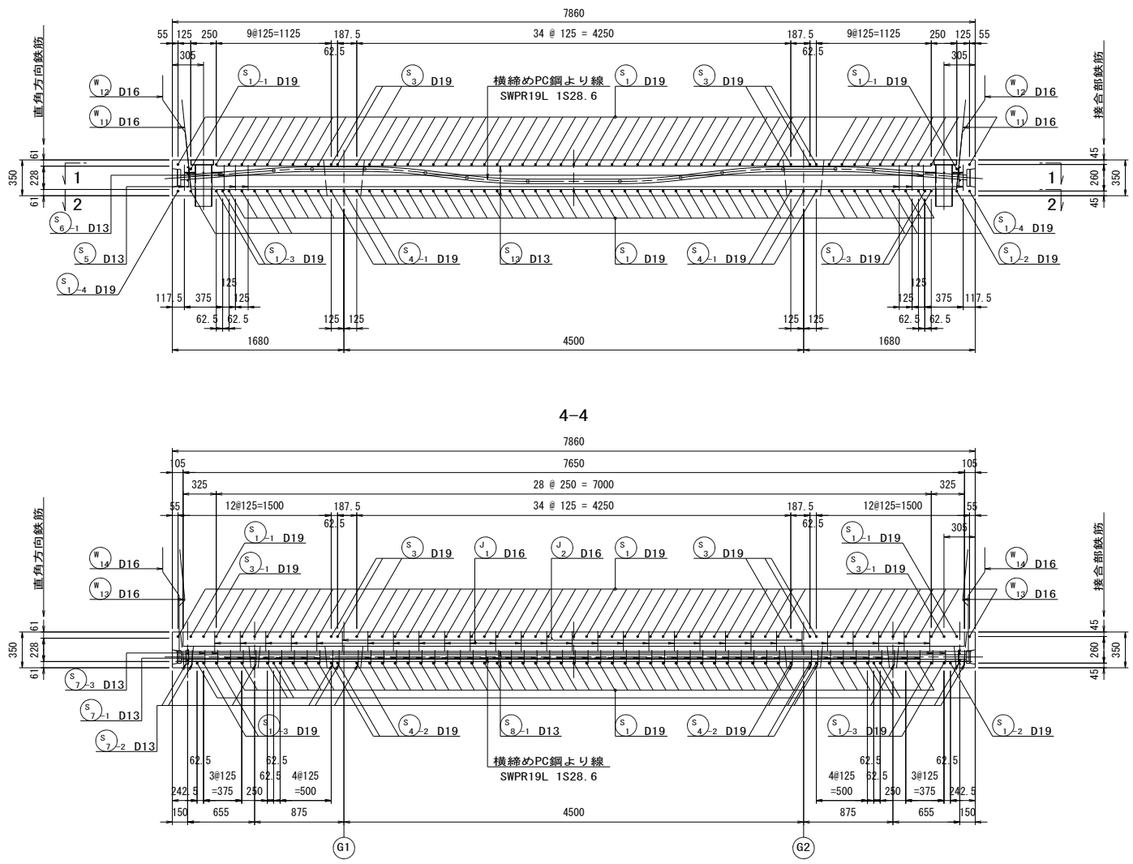
P2～A2 PC床版配筋図（その33）

K-H タイプ

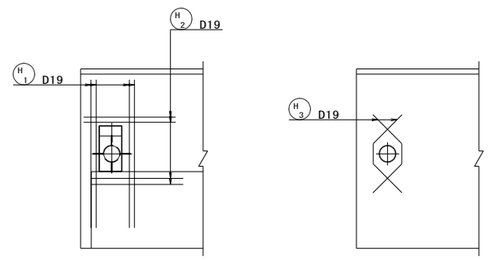
平　面　図　縮尺=1:30



断　面　図　縮尺=1:30



排水桝補強筋　縮尺=1:30



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実施

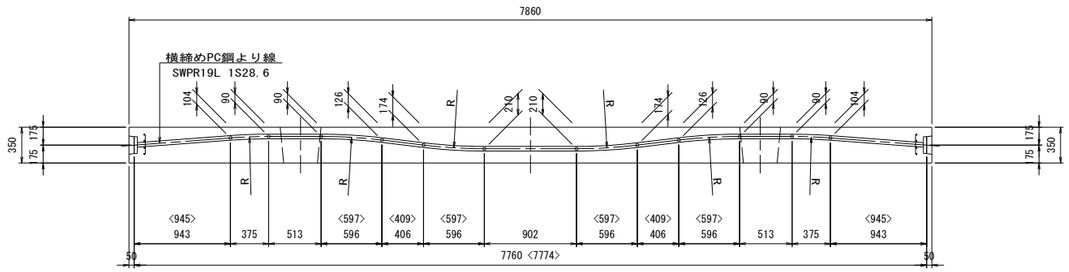
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その33)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	84 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その34）

K-H タイプ

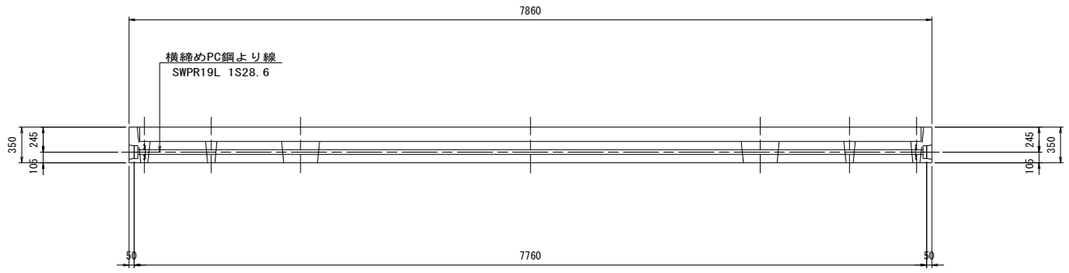
ＰＣ鋼材形状図 縮尺=1:30

3-3



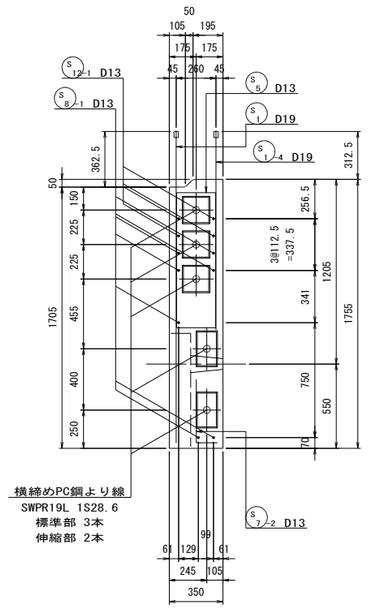
注）鋼材の曲げ半径はR=5000とする。
< >内は鋼材の実長寸法を示す。

4-4

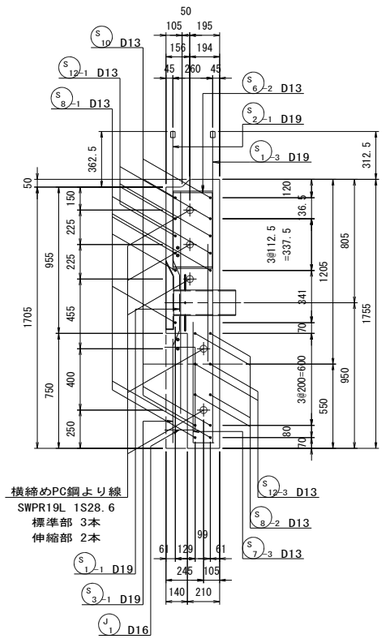


側面図 縮尺=1:20

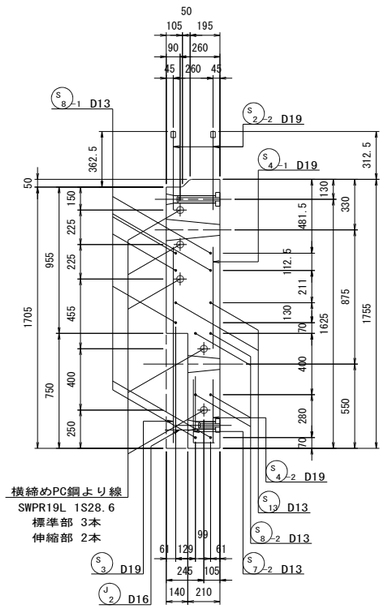
5-5



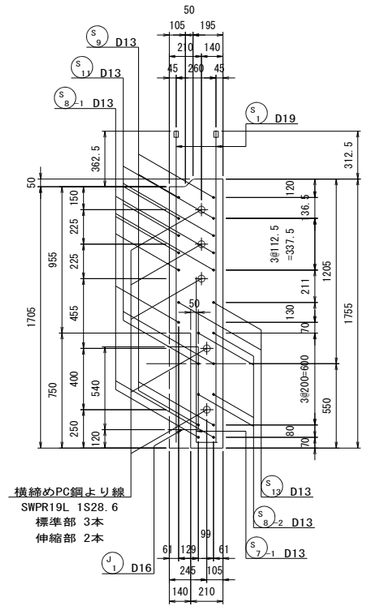
6-6



7-7



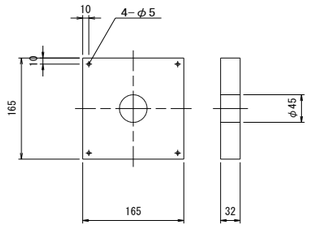
8-8



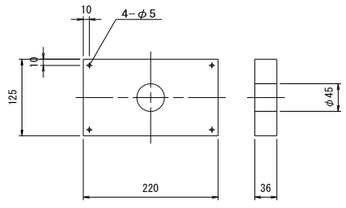
アンカープレート 縮尺=1:5

（1S28.6，プレグラウト用）

標準部



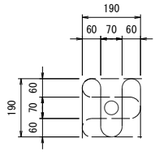
伸縮装置切欠き部



グリッド筋 縮尺=1:10

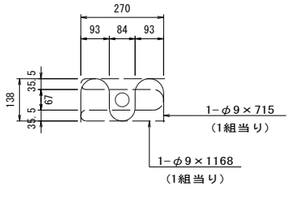
（1S28.6用）

標準部



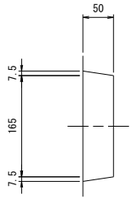
2-φ9×877（1組当り）

伸縮装置切欠き部

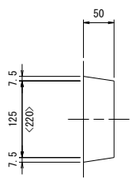


横締め定着部切欠き詳細図 縮尺=1:5

標準部



伸縮装置切欠き部



注）< >内は平面図の値を示す。

注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

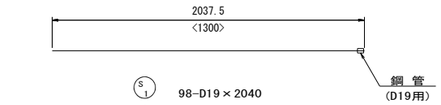
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その34)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	85 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その35）

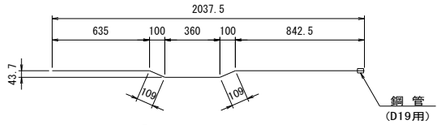
K-H タイプ

鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20

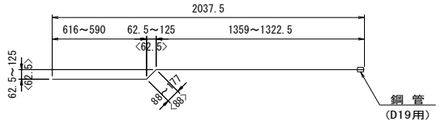


S1 98-D19×2040

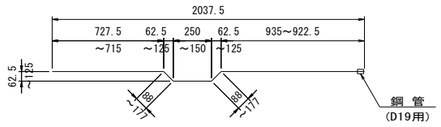
< S1-4 2-D19×1300 >



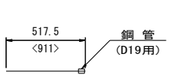
S1-1 2-D19×2060



S1-2 6-D19×2080（平均長）

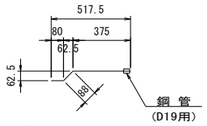


S1-3 4-D19×2120（平均長）

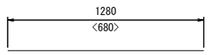


S2 8-D19×520

< S2-1 2-D19×910 >

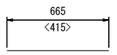


S2-2 4-D19×540



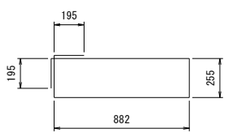
S3 6-D19×1280

< S3-1 2-D19×680 >

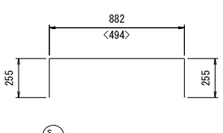


S4-1 6-D19×670

< S4-2 6-D19×420 >

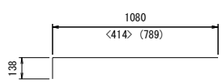


S5 6-D13×2660



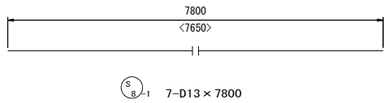
S6-1 2-D13×1390

< S6-2 10-D13×1000 >



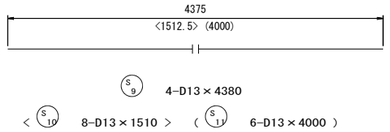
S7-1 47-D13×1220

< S7-2 10-D13×550 > (S7-3 4-D13×930)



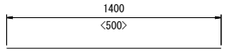
S8-1 7-D13×7800

< S8-2 4-D13×7650 >



S9 4-D13×4380

< S10 8-D13×1510 > (S11 6-D13×4000)

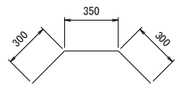


S12-1 8-D13×1400

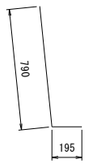
< S12-2 4-D13×500 >

S12-3 4-D13×440

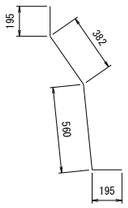
< S13 2-D13×7000 >



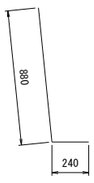
S14 12-D13×950



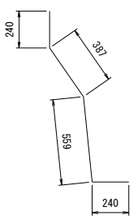
W9 10-D13×990



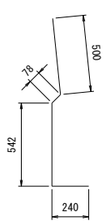
W10 10-D13×1330



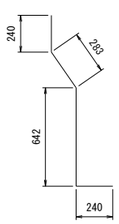
W11 12-D16×1120



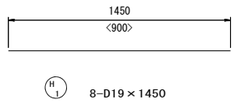
W12 12-D16×1430



W13 6-D16×1360

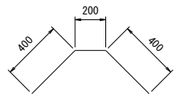


W14 6-D16×1410



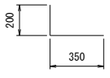
H1 8-D19×1450

< H2 8-D19×900 >



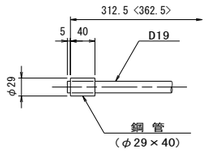
H3 4-D19×1000

J1 27-D16×940



J2 2-D16×550

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2040	98	2.25	4.59	450	鋼管
1-1	〃	2060	2	〃	4.64	9	鋼管
1-2	〃	2080	6	〃	4.68	28	(平均長) 鋼管
1-3	〃	2120	4	〃	4.77	19	(平均長) 鋼管
1-4	〃	1300	2	〃	2.93	6	鋼管
2	〃	520	8	〃	1.17	9	鋼管
2-1	〃	910	2	〃	2.05	4	鋼管
2-2	〃	540	4	〃	1.22	5	鋼管
3	〃	1280	6	〃	2.88	17	
3-1	〃	680	2	〃	1.53	3	
4-1	〃	670	6	〃	1.51	9	
4-2	〃	420	6	〃	0.95	6	
5	D13	2660	6	0.995	2.65	16	
6-1	〃	1390	2	〃	1.38	3	
6-2	〃	1000	10	〃	1.00	10	
7-1	〃	1220	47	〃	1.21	57	
7-2	〃	550	10	〃	0.55	6	
7-3	〃	930	4	〃	0.93	4	
8-1	〃	7800	7	〃	7.76	54	
8-2	〃	7650	4	〃	7.61	30	
9	〃	4380	4	〃	4.36	17	
10	〃	1510	8	〃	1.50	12	
11	〃	4000	6	〃	3.98	24	
12-1	〃	1400	8	〃	1.39	11	
12-2	〃	500	4	〃	0.50	2	
12-3	〃	440	4	〃	0.44	2	
13	〃	7000	2	〃	6.97	14	
14	〃	950	12	〃	0.95	11	
W 9	D13	990	10	0.995	0.99	10	
10	〃	1330	10	〃	1.32	13	
11	D16	1120	12	1.56	1.75	21	
12	〃	1430	12	〃	2.23	27	
13	〃	1360	6	〃	2.12	13	
14	〃	1410	6	〃	2.20	13	
H 1	D19	1450	8	2.25	3.26	26	
2	〃	900	8	〃	2.03	16	
3	〃	1000	4	〃	2.25	9	
J 1	D16	940	27	1.56	1.47	40	
2	〃	550	2	〃	0.86	2	

普通鉄筋			
SD345	D19	616	kg
〃	D16	116	kg
〃	D13	296	kg
〃	合計	1028	kg
鋼管（φ29×40）		126	個

注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実施

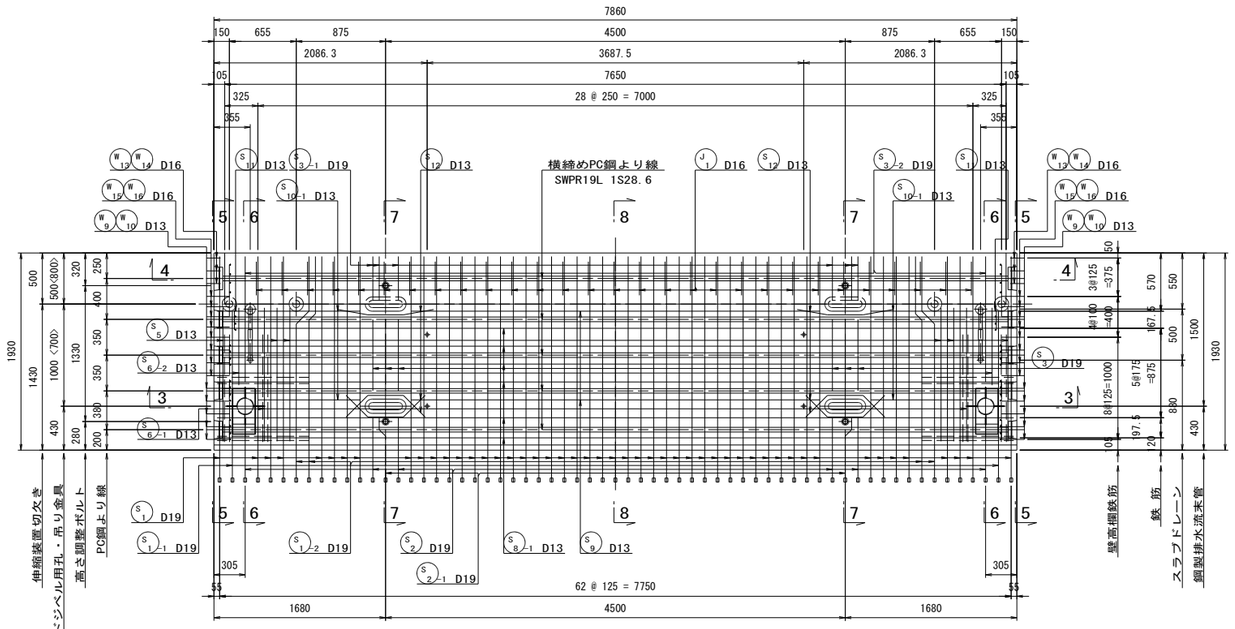
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その35)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	86 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その36）

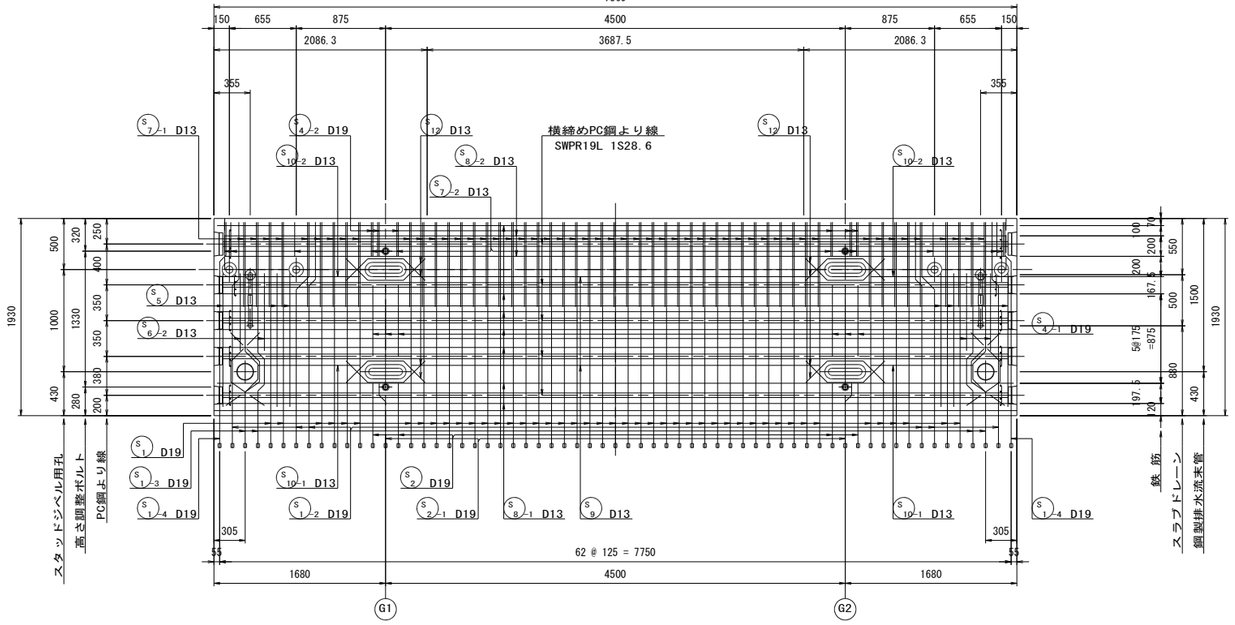
L-H タイプ

平　面　図　縮尺=1:30

1-1

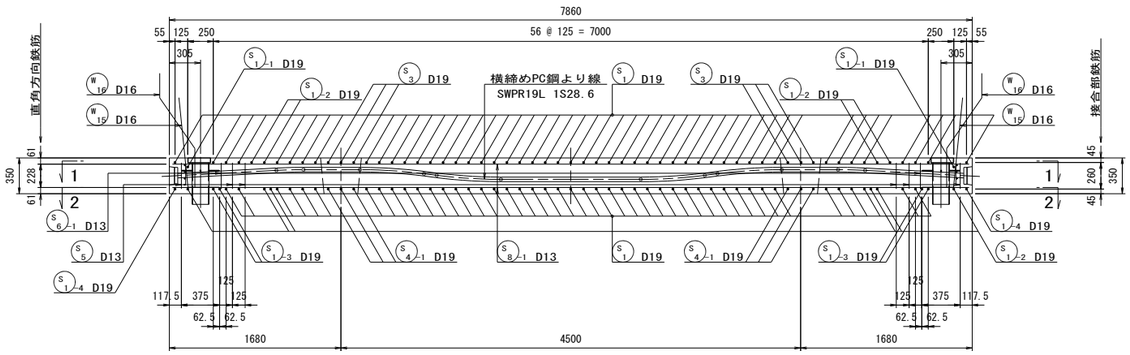


2-2

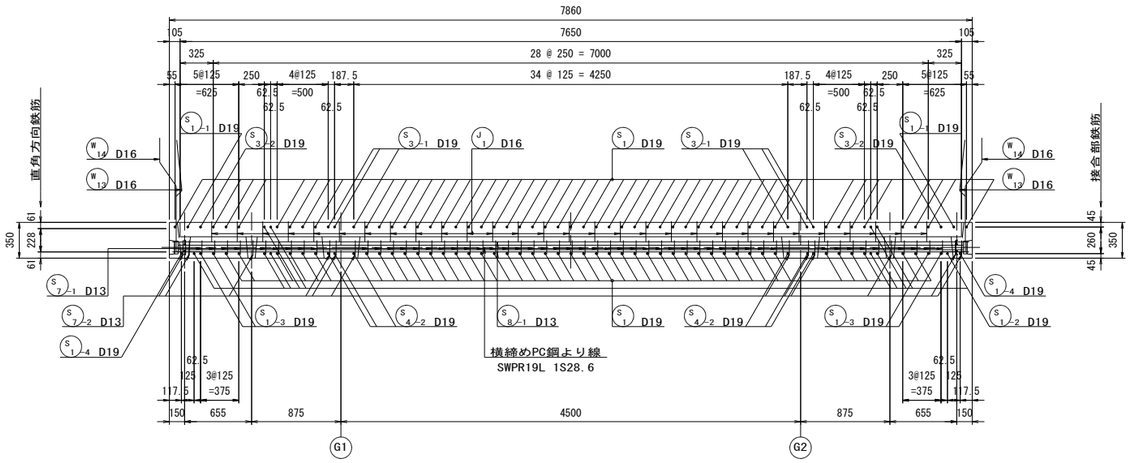


断　面　図　縮尺=1:30

3-3

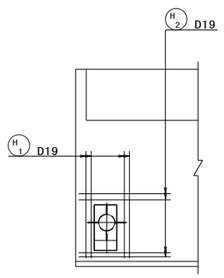


4-4

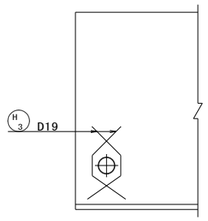


排水桝補強筋　縮尺=1:30

上面



下面



注）床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実施

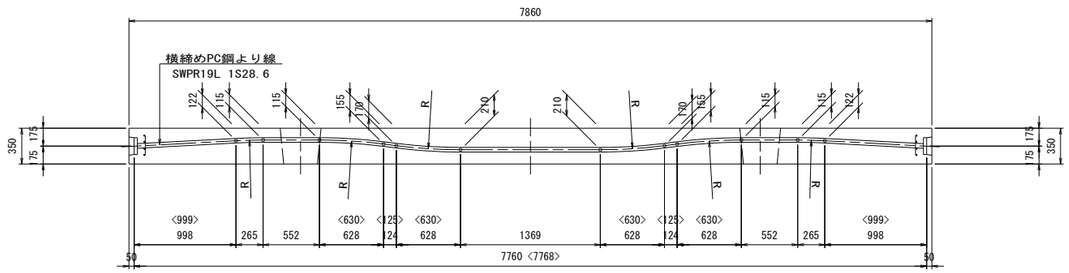
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その36)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	87 / 123

P2～A2 PC床版配筋図（その37）

L-H タイプ

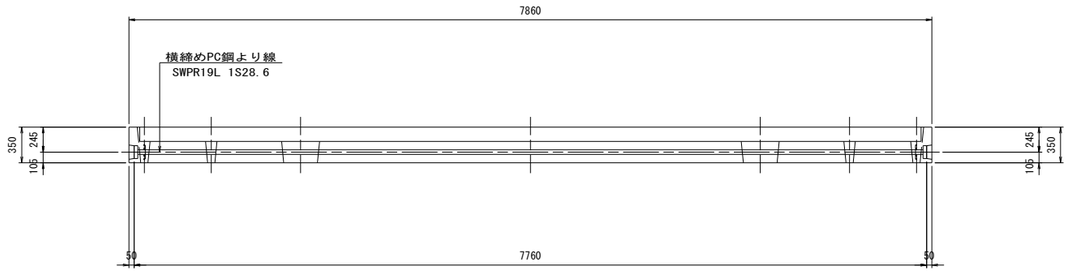
ＰＣ鋼材形状図　縮尺=1:30

3-3



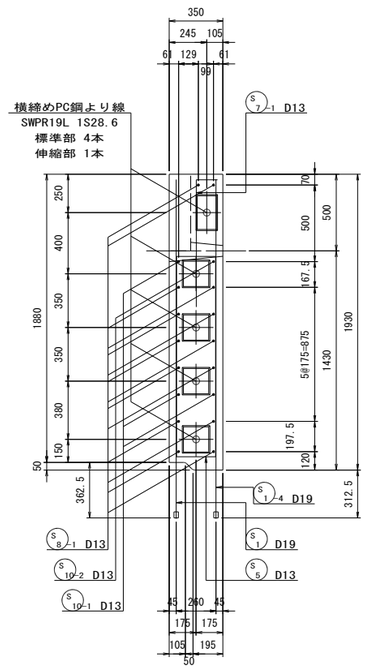
注）鋼材の曲げ半径はR=5000とする。
＜ ＞内は鋼材の実長寸法を示す。

4-4

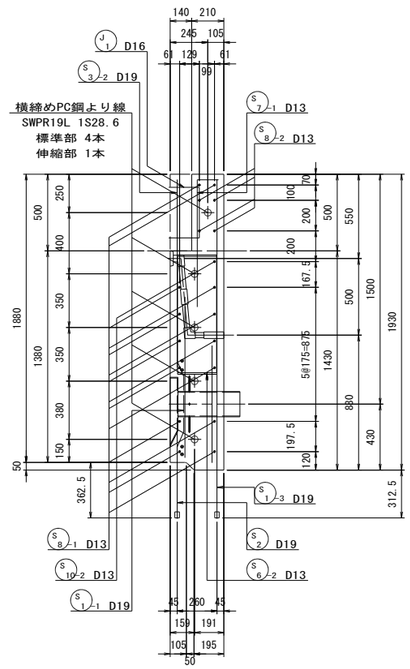


側　面　図　縮尺=1:20

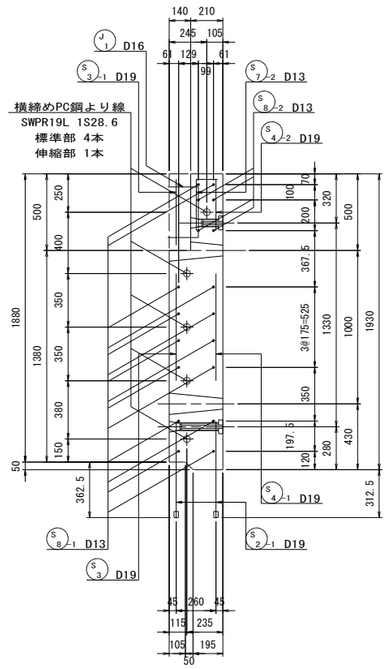
5-5



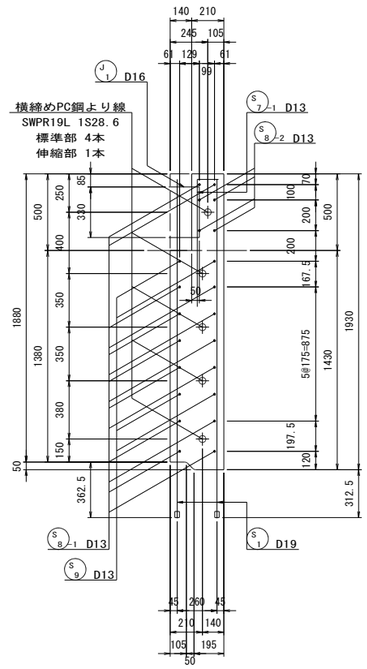
6-6



7-7



8-8

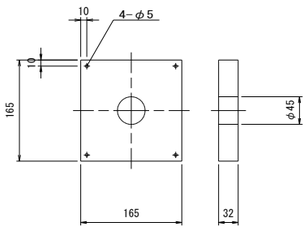


注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

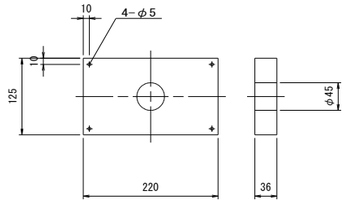
アンカープレート　縮尺=1:5

（1S28.6，プレグラウト用）

標　準　部



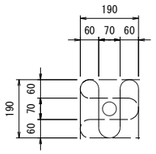
伸縮装置切欠き部



グリッド筋　縮尺=1:10

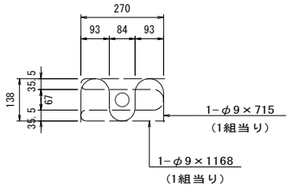
（1S28.6用）

標　準　部



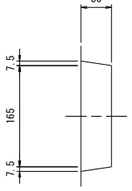
2-φ9×877（1組当り）

伸縮装置切欠き部

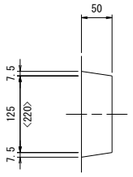


横締め定着部切欠き詳細図　縮尺=1:5

標　準　部



伸縮装置切欠き部



注）＜ ＞内は平面図の値を示す。

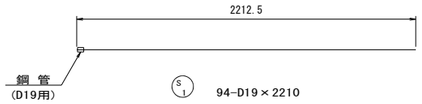
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その37)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	88 / 123

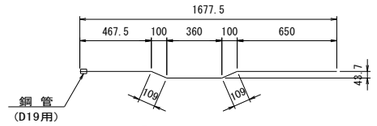
P2～A2 PC床版配筋図（その38）

L-H タイプ

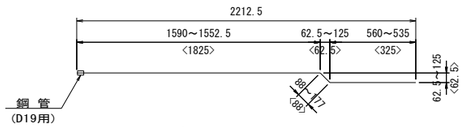
鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20



S1 94-D19×2210

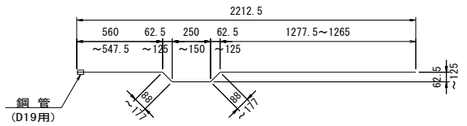


S1-1 2-D19×1700

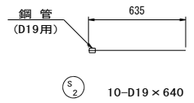


S1-2 10-D19×2250（平均長）

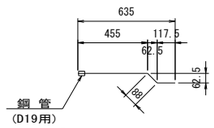
< S1-4 2-D19×2240 >



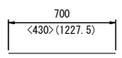
S1-3 4-D19×2290（平均長）



S2 10-D19×640



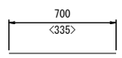
S2-1 4-D19×660



S3 6-D19×700

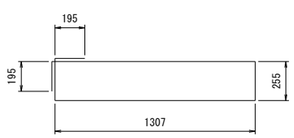
< S3-1 6-D19×430 >

(S3-2 2-D16×1230)

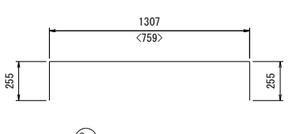


S4-1 6-D19×700

< S4-2 6-D19×340 >

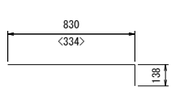


S5 6-D13×3510



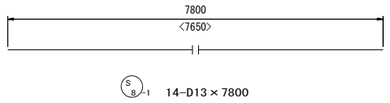
S6-1 2-D13×1820

< S6-2 6-D12×1270 >



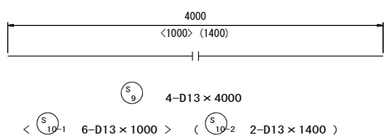
S7-1 51-D13×970

< S7-2 12-D13×470 >



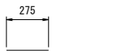
S8-1 14-D13×7800

< S8-2 4-D13×7650 >

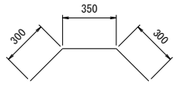


S9 4-D13×4000

< S10-1 6-D13×1000 > (S10-2 2-D13×1400)

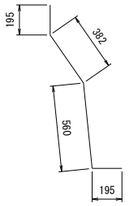


S11 2-D13×280

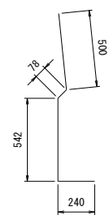


S12 14-D13×950

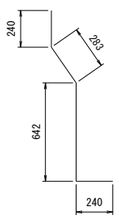
W9 10-D13×990



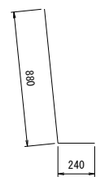
W10 10-D13×1330



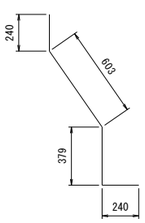
W13 6-D16×1360



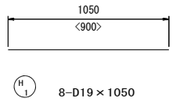
W14 6-D16×1410



W15 16-D16×1120

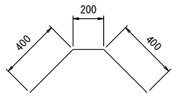


W16 16-D16×1460



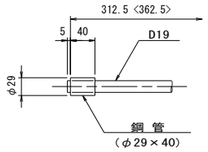
H1 8-D19×1050

< H2 8-D19×900 >

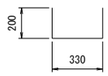


H3 4-D19×1000

鋼管部詳細図 縮尺=1:5



注）< >内は上段側を示す。



J1 29-D16×730

鉄 筋 表

（床版1枚当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D19	2210	94	2.25	4.97	467	鋼管
1-1	〃	1700	2	〃	3.83	8	鋼管
1-2	〃	2250	10	〃	5.06	51	(平均長) 鋼管
1-3	〃	2290	4	〃	5.15	21	(平均長) 鋼管
1-4	〃	2240	2	〃	5.04	10	鋼管
2	〃	640	10	〃	1.44	14	鋼管
2-1	〃	660	4	〃	1.49	6	鋼管
3	〃	700	6	〃	1.58	9	
3-1	〃	430	6	〃	0.97	6	
3-2	〃	1230	2	〃	2.77	6	
4-1	〃	700	6	〃	1.58	9	
4-2	〃	340	6	〃	0.77	5	
5	D13	3510	6	0.995	3.49	21	
6-1	〃	1820	2	〃	1.81	4	
6-2	〃	1270	6	〃	1.26	8	
7-1	〃	970	51	〃	0.97	49	
7-2	〃	470	12	〃	0.47	6	
8-1	〃	7800	14	〃	7.76	109	
8-2	〃	7650	4	〃	7.61	30	
9	〃	4000	4	〃	3.98	16	
10-1	〃	1000	6	〃	1.00	6	
10-2	〃	1400	2	〃	1.39	3	
11	〃	280	2	〃	0.28	1	
12	〃	950	14	〃	0.95	13	
W 9	D13	990	10	0.995	0.99	10	
10	〃	1330	10	〃	1.32	13	
13	D16	1360	6	1.56	2.12	13	
14	〃	1410	6	〃	2.20	13	
15	〃	1120	16	〃	1.75	28	
16	〃	1460	16	〃	2.28	36	
H 1	D19	1050	8	2.25	2.36	19	
2	〃	900	8	〃	2.03	16	
3	〃	1000	4	〃	2.25	9	
J 1	D16	730	29	1.56	1.14	33	
普通鉄筋							
				SD345	D19	656 kg	
				〃	D16	123 kg	
				〃	D13	289 kg	
				〃	合計	1068 kg	
				鋼管（φ29×40）		126 個	

注） 床版の配置位置については
"PC床版割付図"を参照すること。

実 施

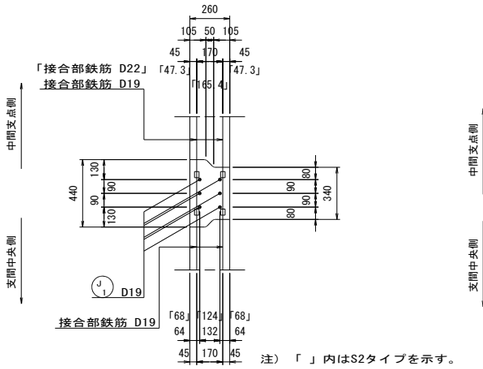
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版配筋図(その38)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	89 / 123

P2～A2 PC床版接合部配筋図（その1）

S1 ， S1-M ， S2 タイプ

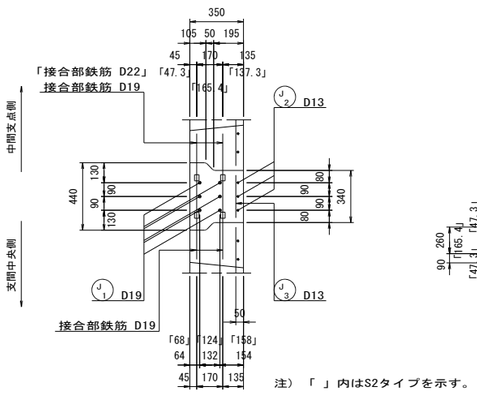
側　面　図　縮尺=1:20

2-2, 4-4



注）「 」内はS2タイプを示す。

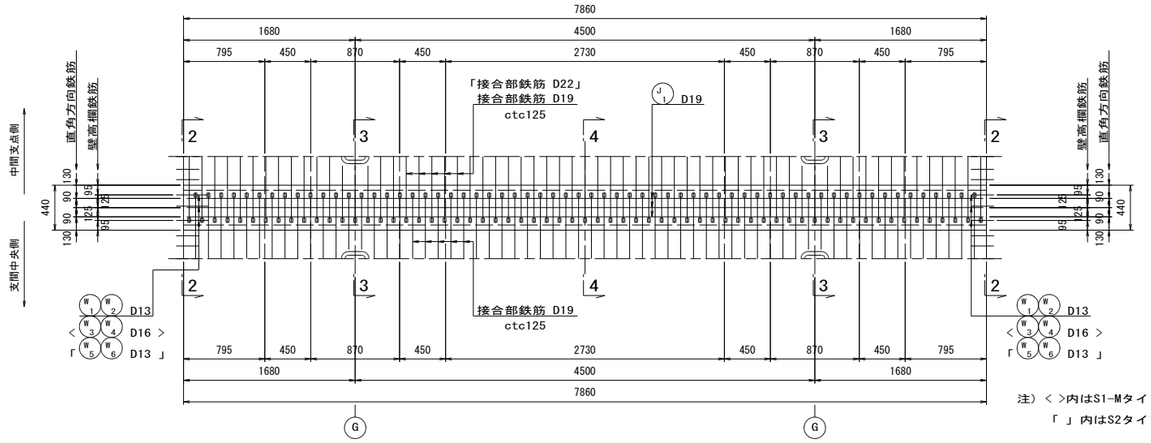
3-3



注）「 」内はS2タイプを示す。

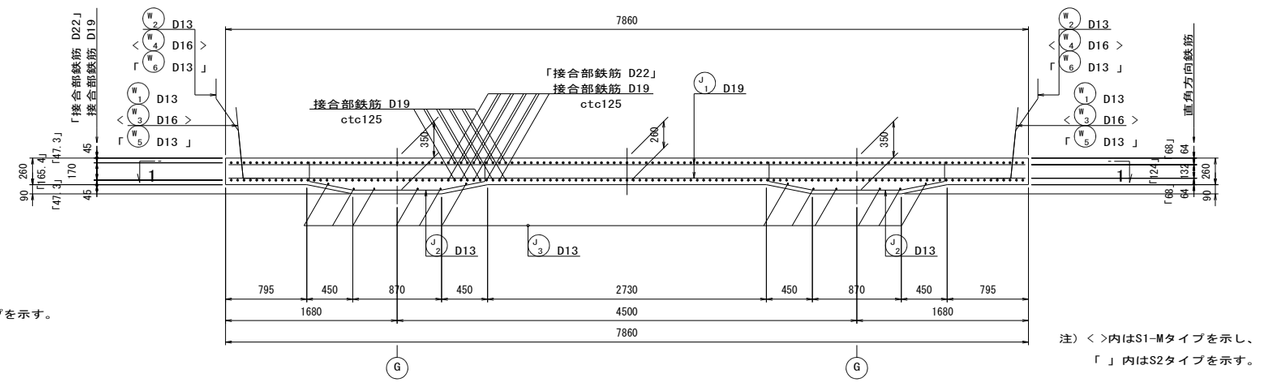
平　面　図　縮尺=1:30

1-1



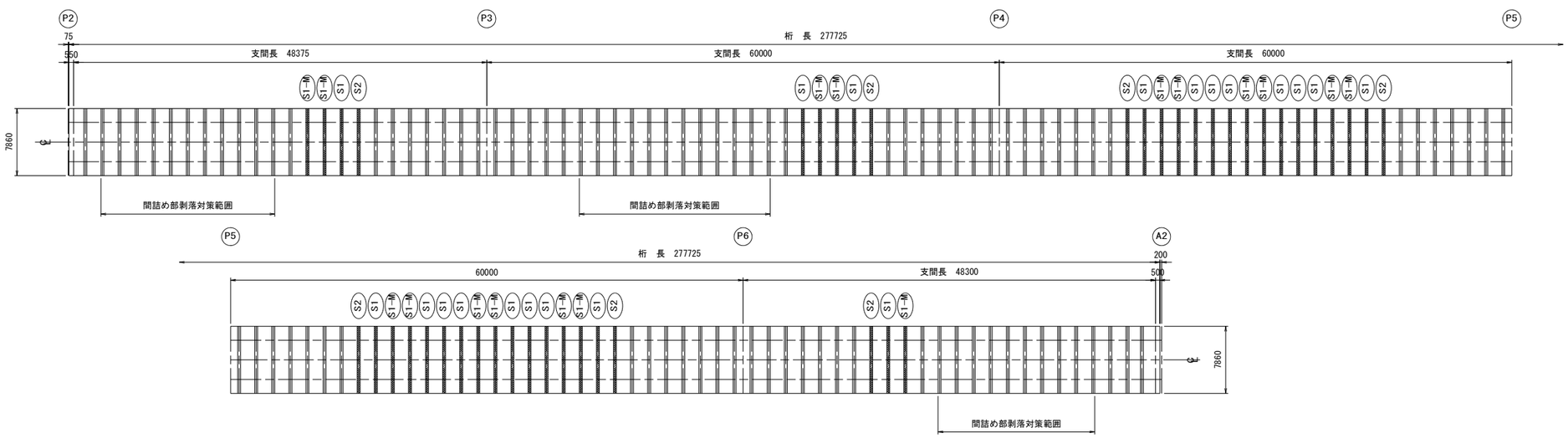
注）< >内はS1-Mタイプを示し、
「 」内はS2タイプを示す。

断　面　図　縮尺=1:30



注）< >内はS1-Mタイプを示し、
「 」内はS2タイプを示す。

位　置　図　縮尺=1:300

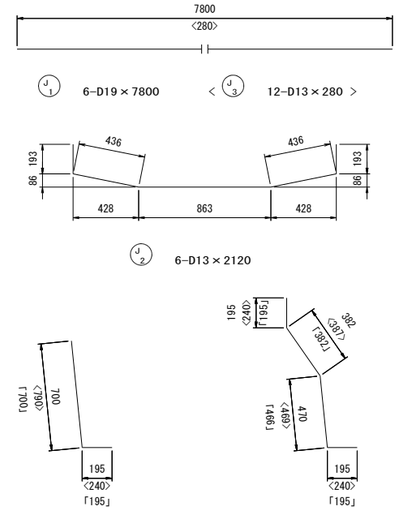


鉄　筋　表

（1箇所当り）

種別		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J	1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
	2	D13	2120	6	0.995	2.11	13	
	3	〃	280	12	〃	0.28	3	
W	1	D13	900	6	0.995	0.90	5	S1
	2	〃	1240	6	〃	1.23	7	S1
W	3	D16	1030	6	1.56	1.61	10	S1-M
	4	〃	1340	6	〃	2.09	13	S1-M
W	5	D13	900	6	0.995	0.90	5	S2
	6	〃	1240	6	〃	1.23	7	S2

普通鉄筋		S1	S1-M	S2
SD345	D19	105 kg	105 kg	105 kg
〃	D16	－ kg	23 kg	－ kg
〃	D13	28 kg	16 kg	28 kg
〃	合計	133 kg	144 kg	133 kg



実施

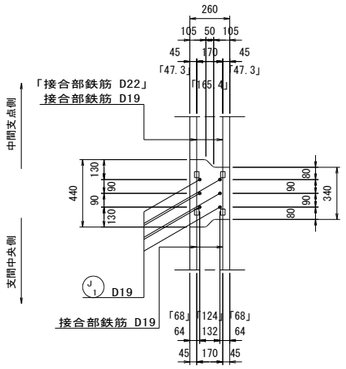
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版接合部配筋図(その1)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	90 / 123

P2～A2 PC床版接合部配筋図（その2）

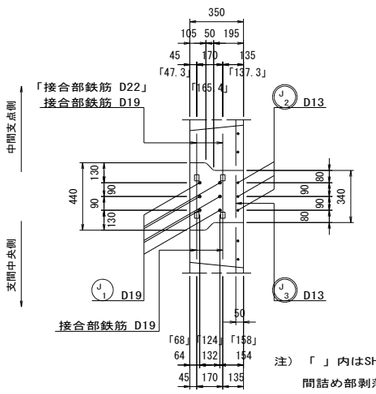
S3 ， S3-M ， SH3 ， SH3-M ， SH4 タイプ

側　面　図　縮尺=1:20

2-2, 4-4



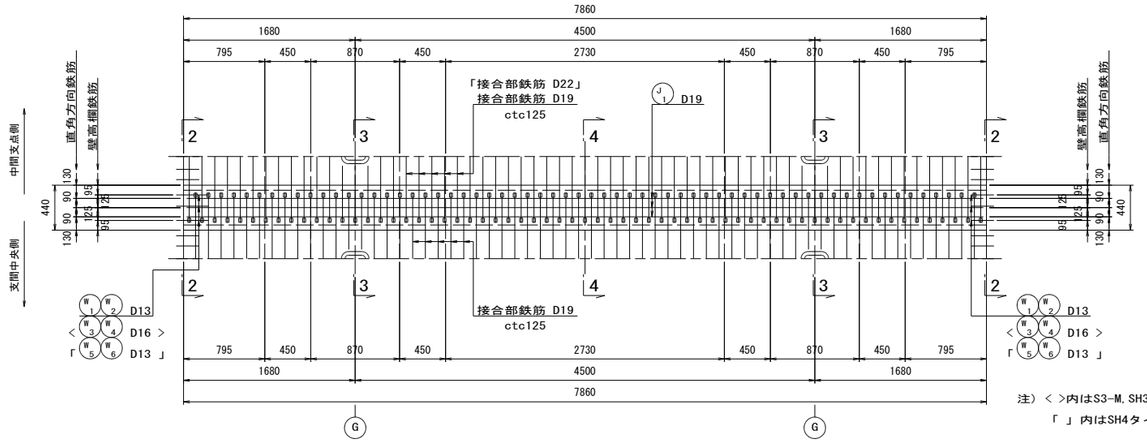
3-3



注）「 」内はSH4タイプを示す。
間詰め部剥落対策範囲のみ、
下段の直角方向鉄筋 J1 を
エポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
接合部鉄筋については、
"PC床版配筋図"を参照すること。

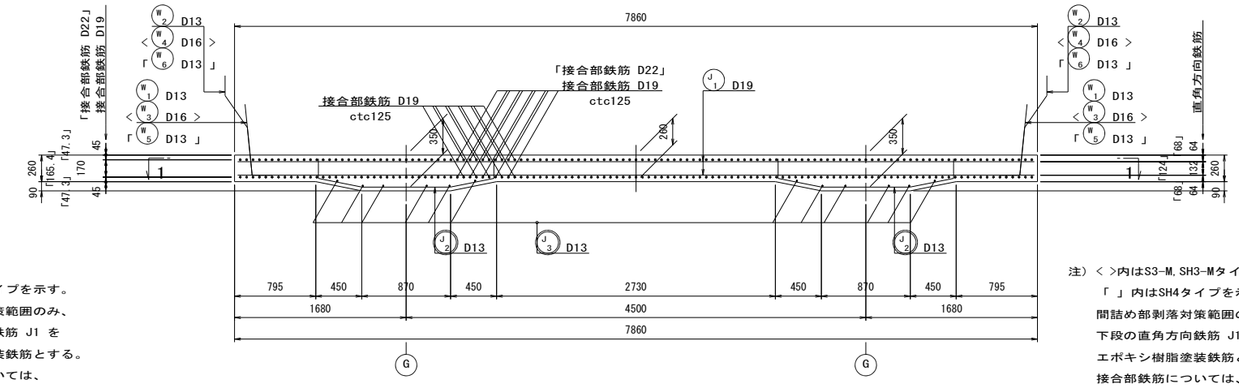
平　面　図　縮尺=1:30

1-1



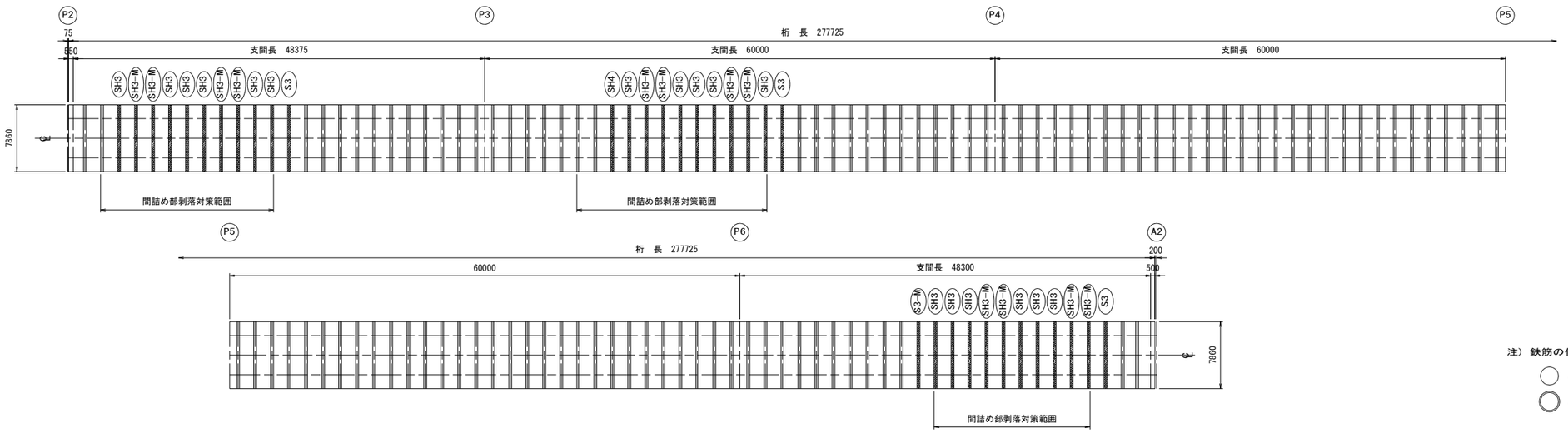
注）< >内はS3-M, SH3-Mタイプを示し、
「 」内はSH4タイプを示す。

断　面　図　縮尺=1:30



注）< >内はS3-M, SH3-Mタイプを示し、
「 」内はSH4タイプを示す。
間詰め部剥落対策範囲のみ、
下段の直角方向鉄筋 J1 を
エポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
接合部鉄筋については、
"PC床版配筋図"を参照すること。

位　置　図　縮尺=1:300



鉄　筋　表

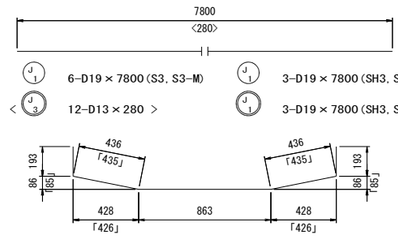
（1箇所当り）

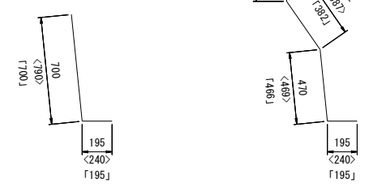
種別		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J	1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	S3, S3-M
	1	〃	7800	3	〃	17.55	53	SH3, SH3-M, SH4
*	1	〃	7800	3	〃	17.55	53	SH3, SH3-M, SH4
*	2	D13	2120	6	0.995	2.11	13	⌒
*	3	〃	280	12	〃	0.28	3	
W	1	D13	900	6	0.995	0.90	5	S3, SH3
	2	〃	1240	6	〃	1.23	7	S3, SH3
W	3	D16	1030	6	1.56	1.61	10	S3-M, SH3-M
	4	〃	1340	6	〃	2.09	13	S3-M, SH3-M
W	5	D13	900	6	0.995	0.90	5	SH4
	6	〃	1240	6	〃	1.23	7	SH4

			S3	S3-M
普通鉄筋	SD345	D19	105 kg	105 kg
	〃	D16	− kg	23 kg
	〃	D13	12 kg	− kg
	〃	合計	117 kg	128 kg
塗装鉄筋	SD345	D13	16 kg	16 kg

			SH3	SH3-M	SH4
普通鉄筋	SD345	D19	53 kg	53 kg	53 kg
	〃	D16	− kg	23 kg	− kg
	〃	D13	12 kg	− kg	12 kg
	〃	合計	65 kg	76 kg	65 kg
塗装鉄筋	SD345	D19	53 kg	53 kg	53 kg
	〃	D13	16 kg	16 kg	16 kg
	〃	合計	69 kg	69 kg	69 kg

注）*印は塗装鉄筋を示す。





実施

注）鉄筋の仕様について
○ ・・・普通鉄筋
◎ ・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

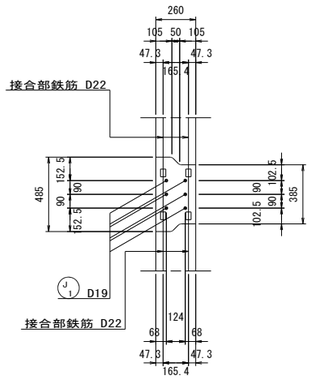
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版接合部配筋図(その2)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	91 / 123

P2～A2 PC床版接合部配筋図（その3）

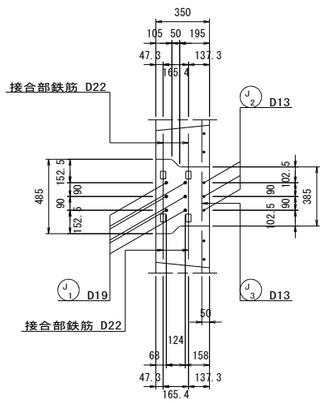
S5 ， S5-M タイプ

側　面　図　縮尺=1:20

2-2, 4-4

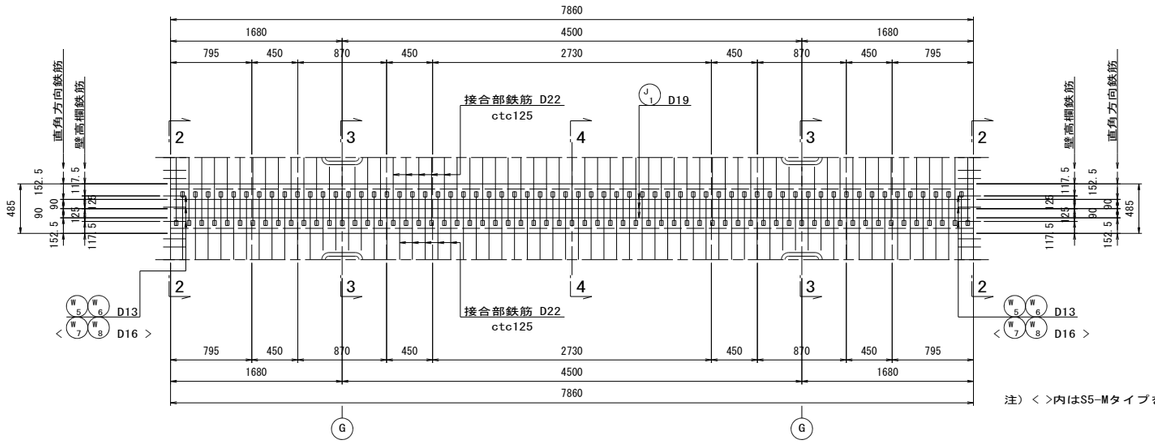


3-3



平　面　図　縮尺=1:30

1-1



注）< >内はS5-Mタイプを示す。

断　面　図　縮尺=1:30

注）< >内はS5-Mタイプを示す。

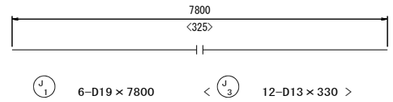
位　置　図　縮尺=1:300

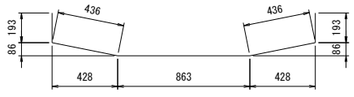
鉄　筋　表

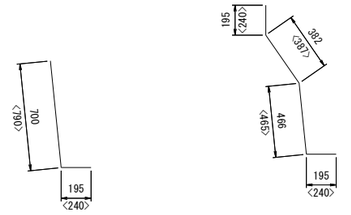
（1箇所当り）

種別		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J	1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
	2	D13	2120	6	0.995	2.11	13	
	3	〃	330	12	〃	0.33	4	
W	5	D13	900	6	0.995	0.90	5	S5
	6	〃	1240	6	〃	1.23	7	S5
W	7	D16	1030	6	1.56	1.61	10	S5-M
	8	〃	1330	6	〃	2.07	12	S5-M

普通鉄筋		S5	S5-M
SD345	D19	105 kg	105 kg
〃	D16	－ kg	22 kg
〃	D13	29 kg	17 kg
〃	合計	134 kg	144 kg







実施

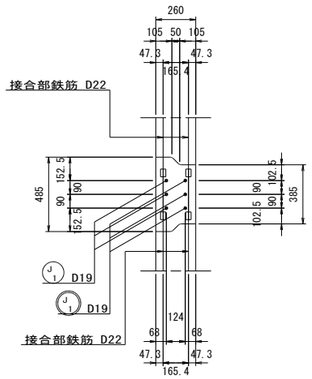
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版接合部配筋図(その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	92 / 123

P2～A2 PC床版接合部配筋図（その4）

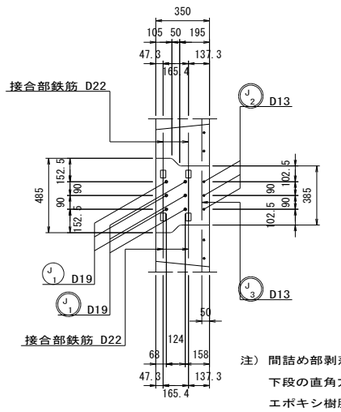
SH6 ， SH6-M タイプ

側　面　図　縮尺=1:20

2-2, 4-4



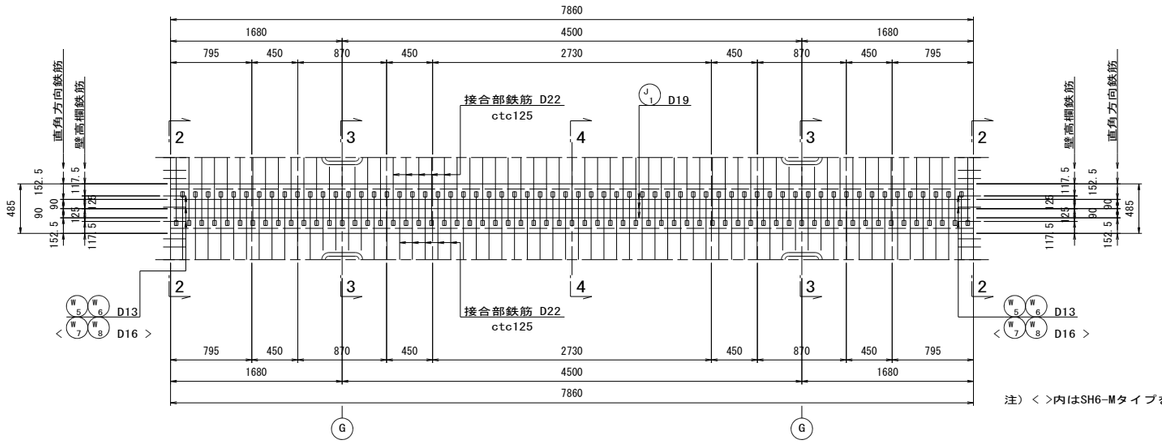
3-3



注）間詰め部剥落対策範囲のみ、
下段の直角方向鉄筋 J1 を
エポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
接合部鉄筋については、
"PC床版配筋図"を参照すること。

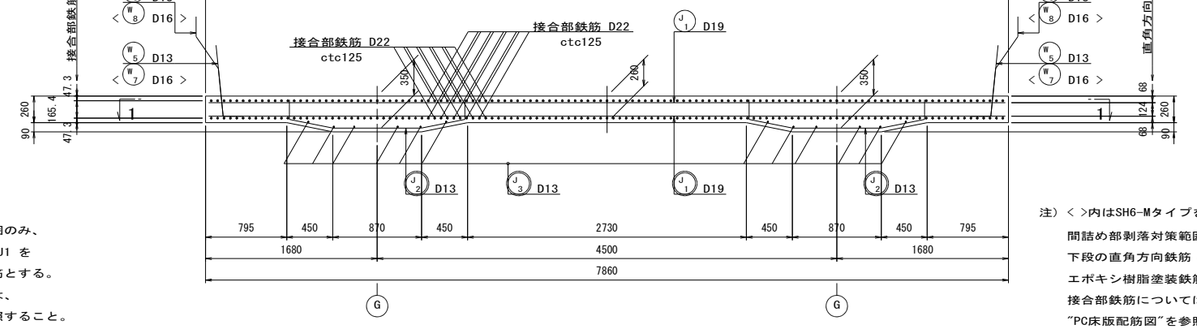
平　面　図　縮尺=1:30

1-1



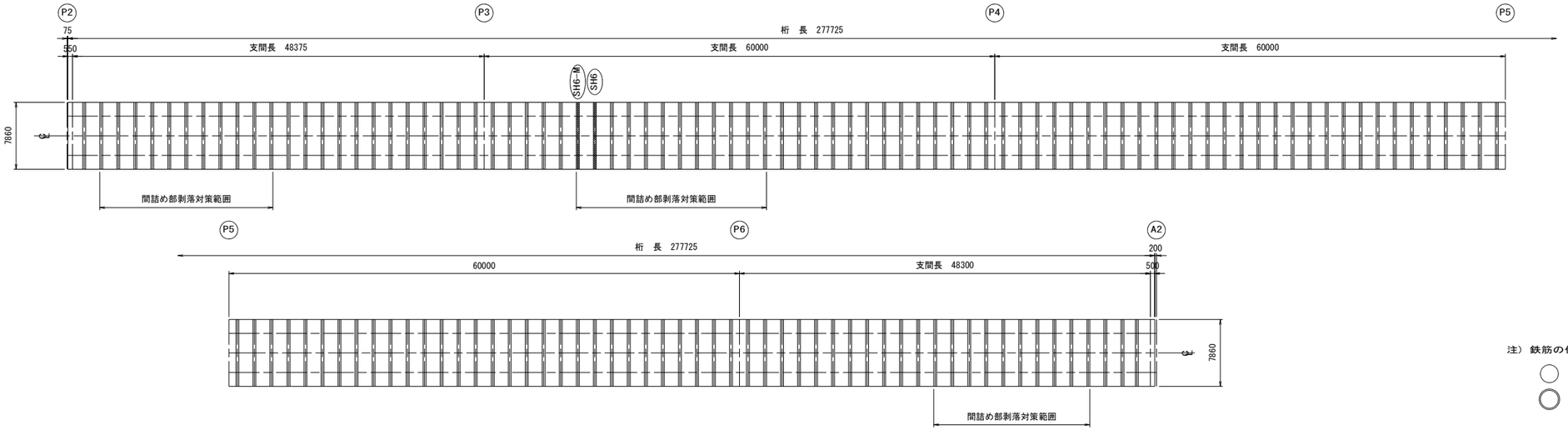
注）< >内はSH6-Mタイプを示す。

断　面　図　縮尺=1:30



注）< >内はSH6-Mタイプを示す。
間詰め部剥落対策範囲のみ、
下段の直角方向鉄筋 J1 を
エポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
接合部鉄筋については、
"PC床版配筋図"を参照すること。

位　置　図　縮尺=1:300



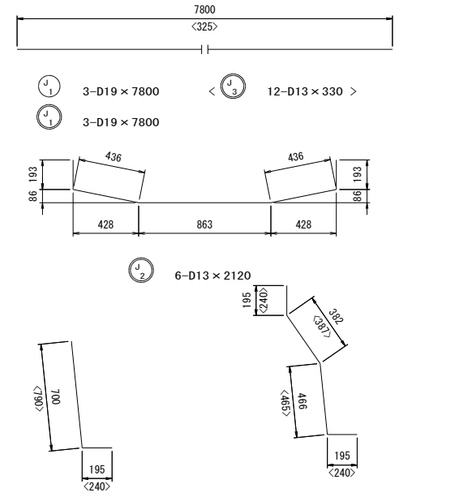
鉄　筋　表

（1箇所当り）

種別		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J	1	D19	7800	3	2.25	17.55	53	
*	1	〃	7800	3	〃	17.55	53	
*	2	D13	2120	6	0.995	2.11	13	
*	3	〃	330	12	〃	0.33	4	
W	5	D13	900	6	0.995	0.90	5	SH6
	6	〃	1240	6	〃	1.23	7	SH6
W	7	D16	1030	6	1.56	1.61	10	SH6-M
	8	〃	1330	6	〃	2.07	12	SH6-M

普通鉄筋		SH6	SH6-M
SD345	D19	53 kg	53 kg
〃	D16	− kg	22 kg
〃	D13	12 kg	− kg
〃	合計	65 kg	75 kg
塗装鉄筋			
SD345	D19	53 kg	53 kg
〃	D13	17 kg	17 kg
〃	合計	70 kg	70 kg

注）*印は塗装鉄筋を示す。



注）鉄筋の仕様について
○ ・・・普通鉄筋
◎ ・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

実施

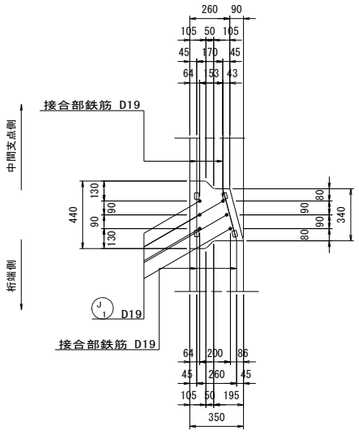
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版接合部配筋図(その4)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	93 / 123

P2～A2 PC床版接合部配筋図（その5）

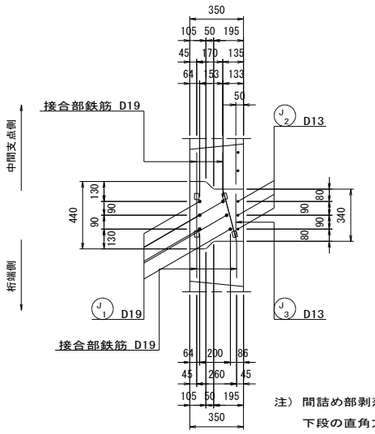
S7 ， SH7 タイプ

側　面　図　縮尺=1:20

4-4, 6-6



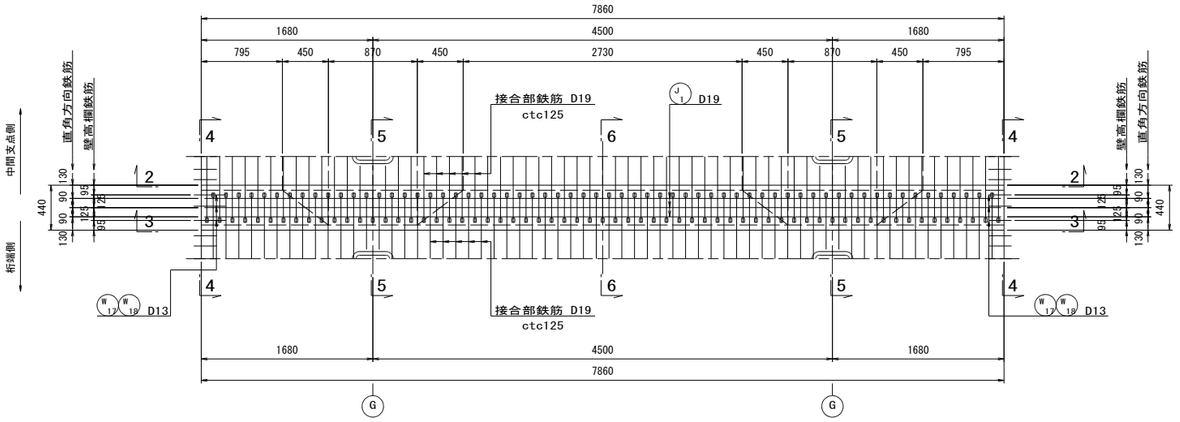
5-5



注）間詰め部剥落対策範囲のみ、
下段の直角方向鉄筋 J1 を
エポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
接合部鉄筋については、
"PC床版配筋図"を参照すること。

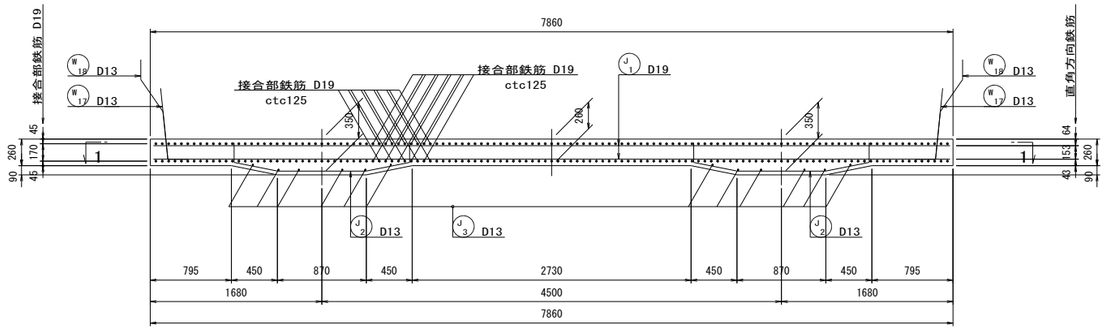
平　面　図　縮尺=1:30

1-1

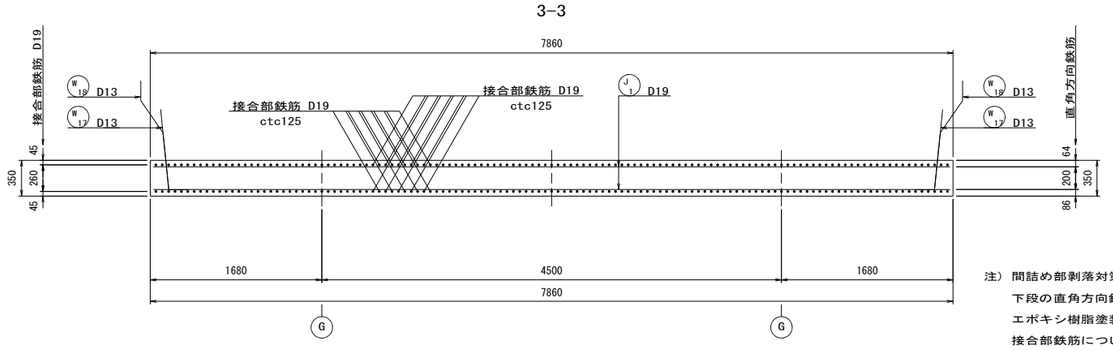


断　面　図　縮尺=1:30

2-2

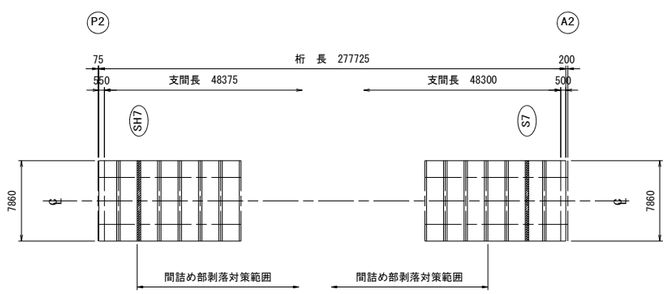


3-3



注）間詰め部剥落対策範囲のみ、
下段の直角方向鉄筋 J1 を
エポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
接合部鉄筋については、
"PC床版配筋図"を参照すること。

位　置　図　縮尺=1:300



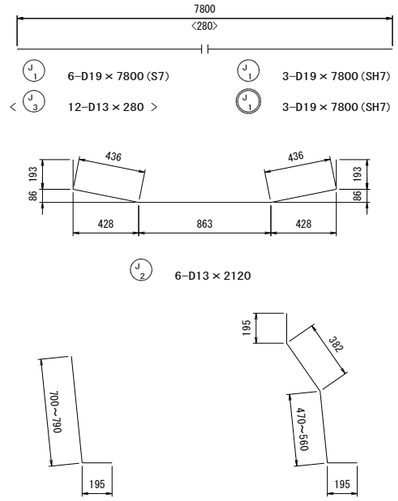
鉄　筋　表

（1箇所当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	S7
1	〃	7800	3	〃	17.55	53	SH7
* 1	〃	7800	3	〃	17.55	53	SH7
2	D13	2120	6	0.995	2.11	13	
3	〃	280	12	〃	0.28	3	
W 17	D13	940	6	0.995	0.94	6	（平均長）
18	〃	1290	6	〃	1.28	8	（平均長）

普通鉄筋		S7	SH7
SD345	D19	105 kg	53 kg
〃	D13	30 kg	30 kg
〃	合計	135 kg	83 kg
塗装鉄筋			
SD345	D19	－ kg	53 kg
〃	D13	－ kg	－ kg
〃	合計	－ kg	53 kg

注）＊印は塗装鉄筋を示す。



注）鉄筋の仕様について
○ ・・・普通鉄筋
◎ ・・・エポキシ樹脂塗装鉄筋

実施

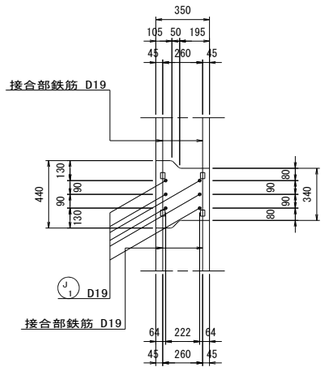
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版接合部配筋図(その5)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	94 / 123

P2～A2 PC床版接合部配筋図（その6）

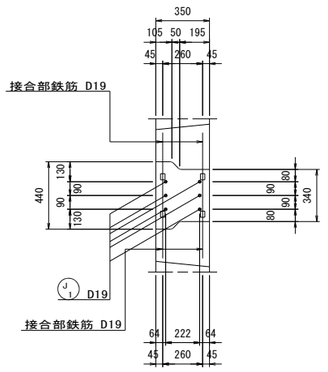
S8 タイプ

側　面　図　縮尺=1:20

2-2, 4-4

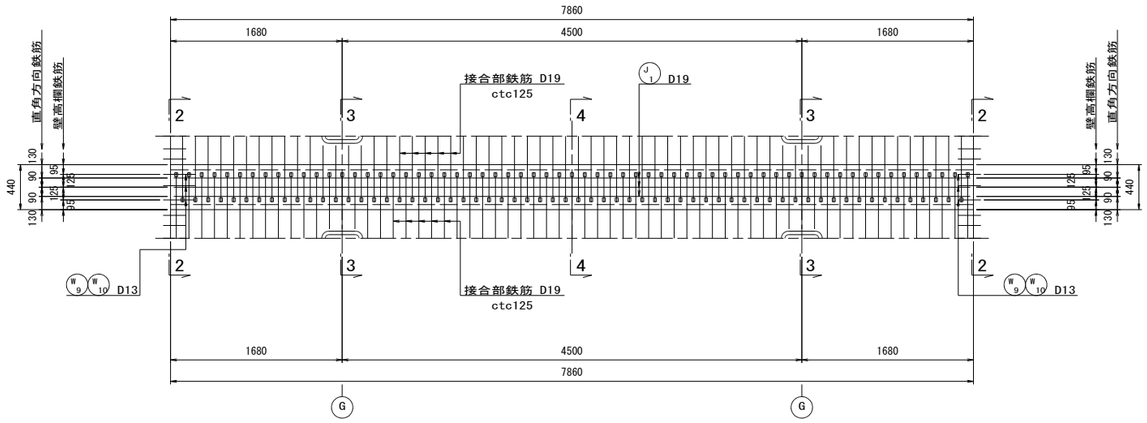


3-3

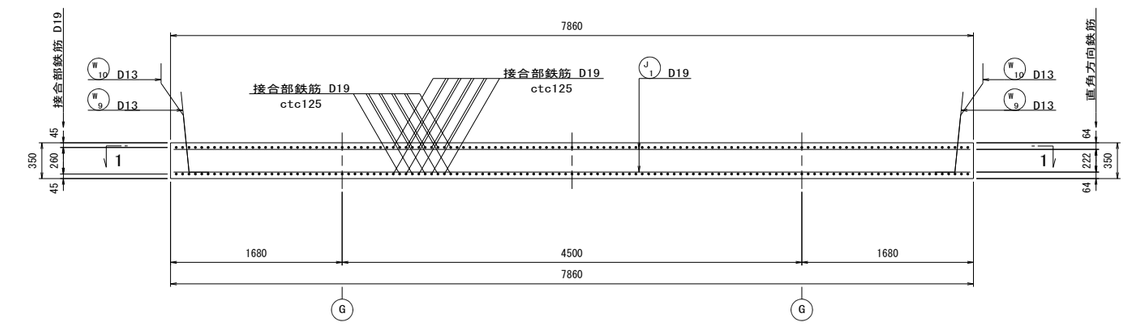


平　面　図　縮尺=1:30

1-1



断　面　図　縮尺=1:30

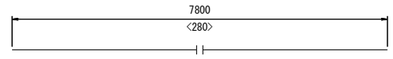


鉄　筋　表

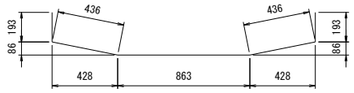
（1箇所当り）

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J 1	D19	7800	6	2.25	17.55	105	
2	D13	2120	6	0.995	2.11	13	
3	〃	280	12	〃	0.28	3	
W 9	D13	990	6	0.995	0.99	6	
10	〃	1330	6	〃	1.32	8	

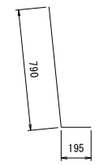
普通鉄筋		
SD345	D19	105 kg
〃	D13	30 kg
〃	合計	135 kg



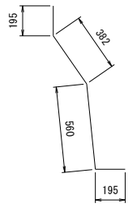
J1 6-D19×7800　　< J3 12-D13×280 >



J2 6-D13×2120

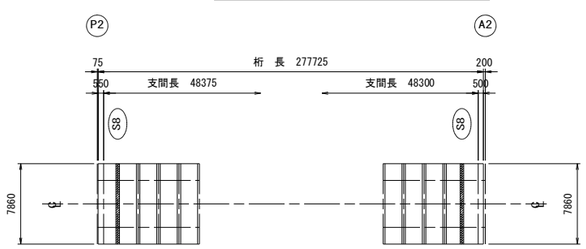


W9 6-D13×990



W10 6-D13×1330

位　置　図　縮尺=1:300

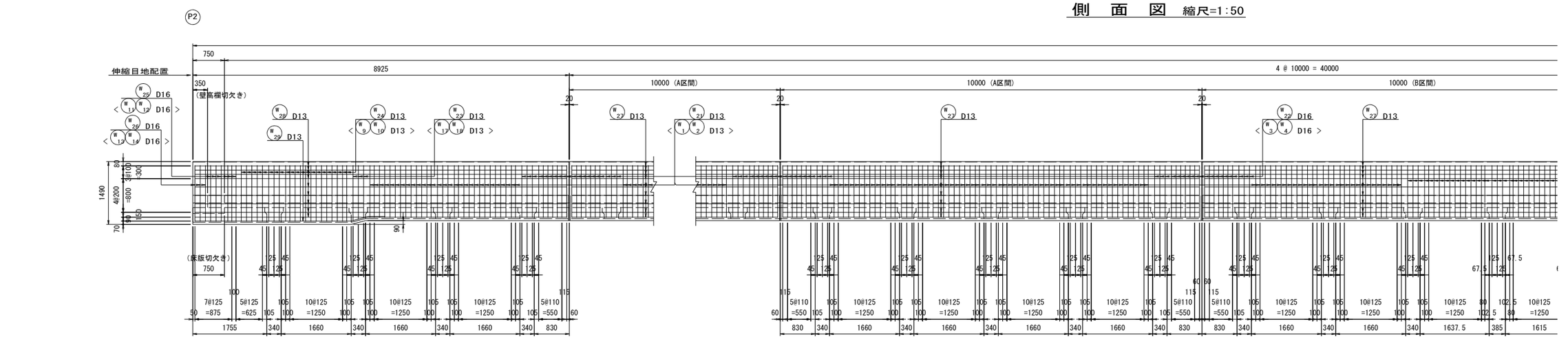


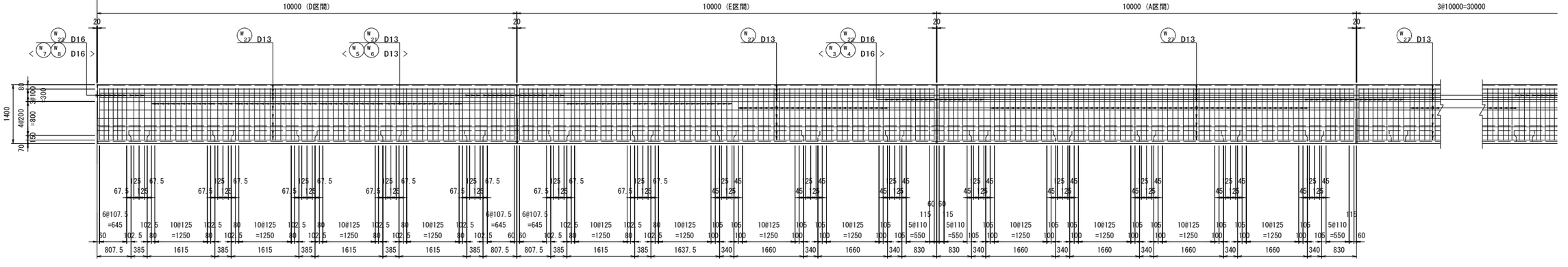
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 PC床版接合部配筋図(その6)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	95 / 123

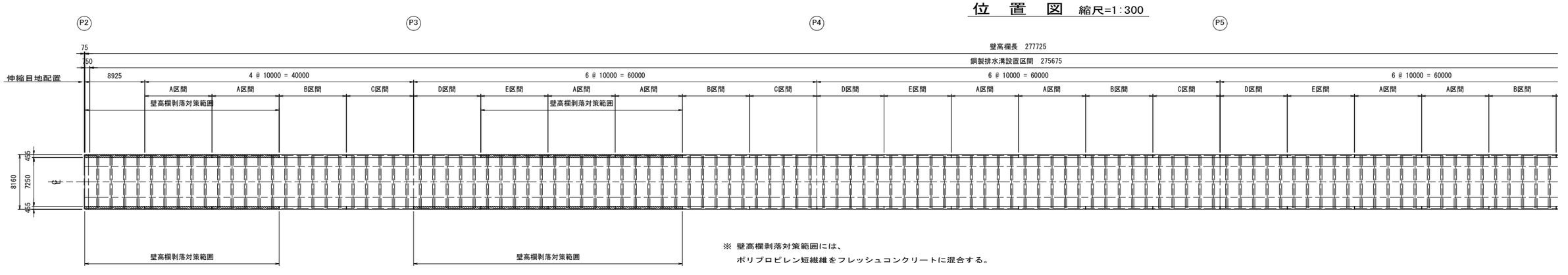
P2～A2 壁高欄配筋図（その1） 【参考図】

側 面 図 縮尺=1:50





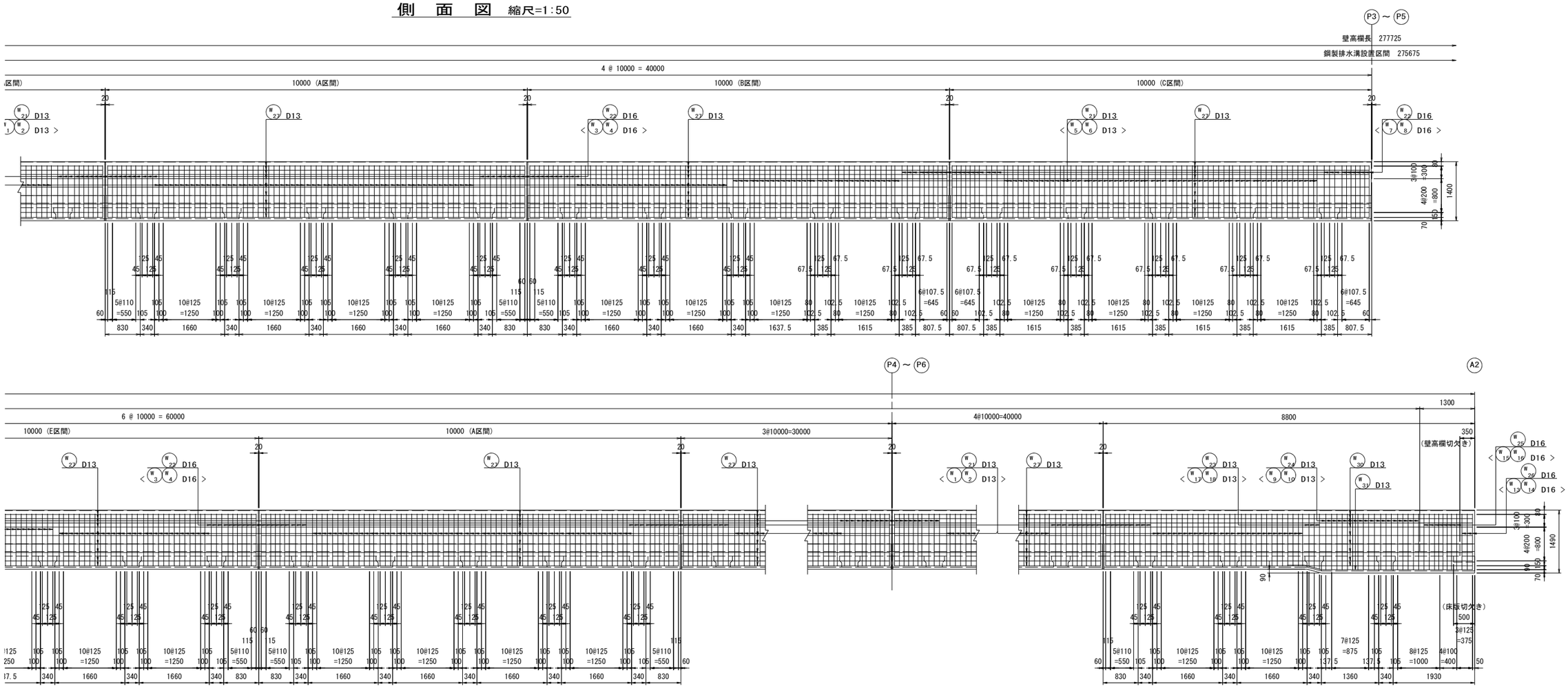
位 置 図 縮尺=1:300



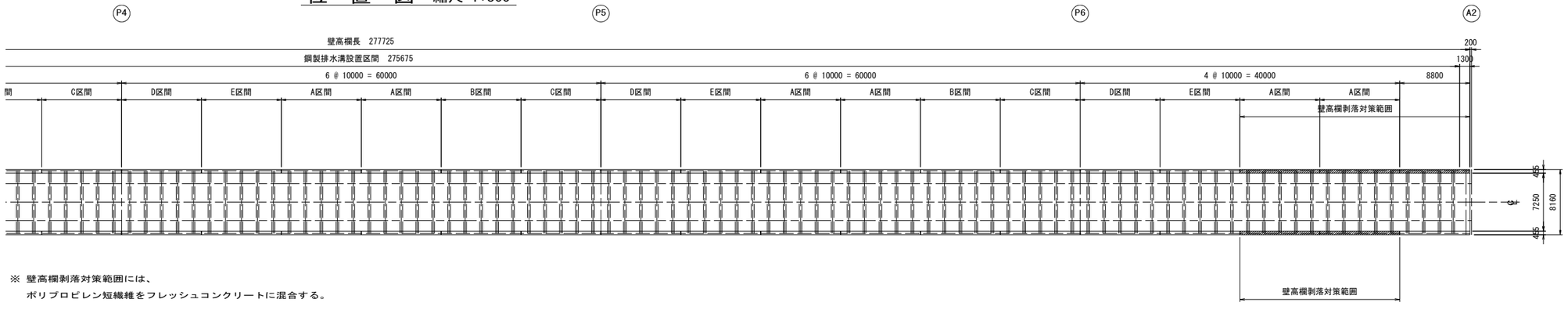
※ 壁高欄剥落対策範囲には、
ポリプロピレン短繊維をフレッシュコンクリートに混合する。

P2～A2 壁高欄配筋図（その1） 【参考図】

側　面　図　縮尺=1:50



位　置　図　縮尺=1:300



※ 壁高欄剥落対策範囲には、
ポリプロピレン短繊維をフレッシュコンクリートに混合する。

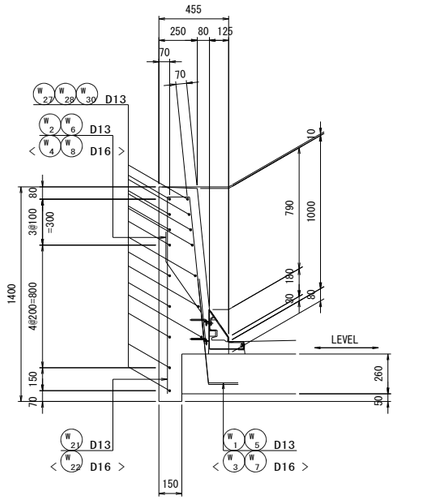
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 壁高欄配筋図(その1) 【参考図】		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	96 / 123

P2～A2 壁高欄配筋図（その2） 【参考図】

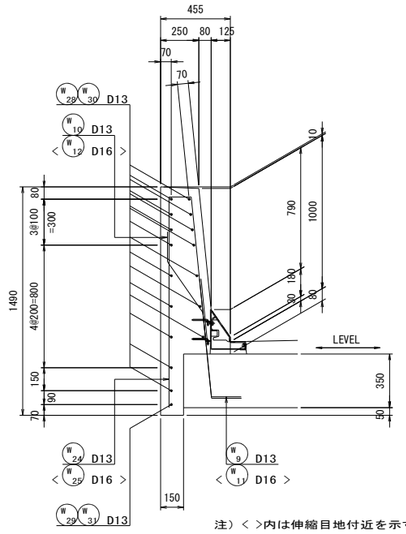
断 面 図 縮尺=1:20

中間部・鋼製排水溝設置区間



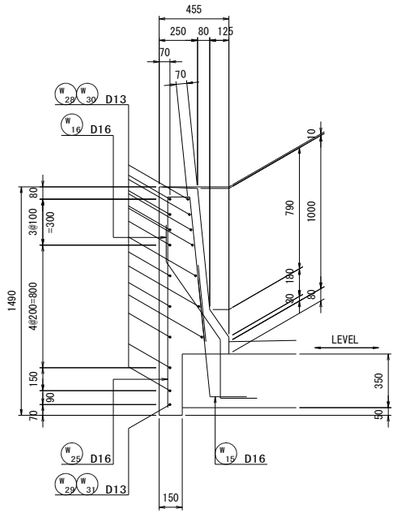
注）< >内は伸縮目地付近を示す。

端部・鋼製排水溝設置区間

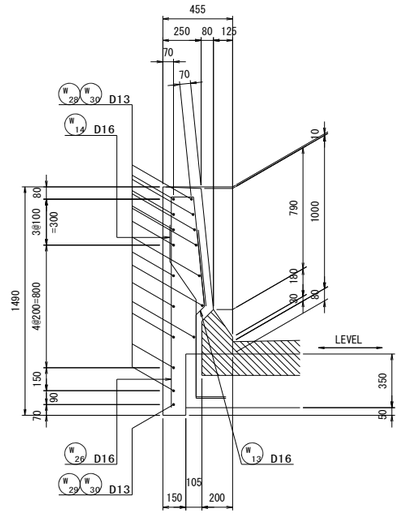


注）< >内は伸縮目地付近を示す。

端部・鋼製排水溝未設置区間



端部・伸縮装置切欠き区間



鉄 筋 表

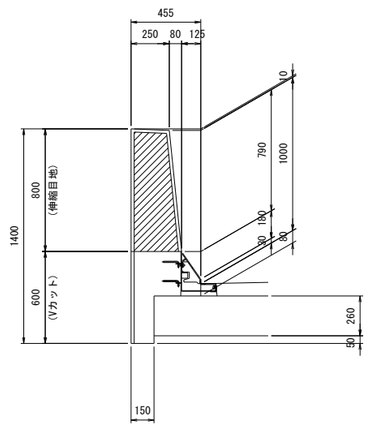
（1橋当り）

種別	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
W 21	D13	2370	3288	0.995	2.36	7760	∩
22	D16	2380	1080	1.56	3.71	4007	∩
23	D13	2420	12	0.995	2.41	29	∩ （平均長）
24	〃	2460	78	〃	2.45	191	∩
25	D16	2470	28	1.56	3.85	108	∩
26	〃	2240	12	〃	3.49	42	∩
27	D13	9880	832	0.995	9.83	8179	
28	〃	8820	32	〃	8.78	281	
29	〃	4470	2	〃	4.45	9	
30	〃	8690	32	〃	8.65	277	
31	〃	4340	2	〃	4.32	9	
				SD345	D16	4157 kg	
				〃	D13	16735 kg	
				〃	合計	20892 kg	

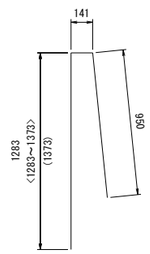
注）壁高欄のコンクリートは膨張コンクリートを使用し、
単位膨張材量は、30kg/m3程度を添加すること。
床版埋め込み鉄筋（W1～18）はPC床版配筋図、PC床版接合部配筋図に計上し、
W19，20は欠番とする。

伸縮目地詳細図

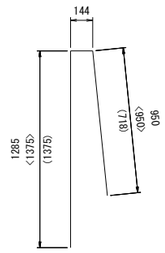
断 面 図 縮尺=1:20



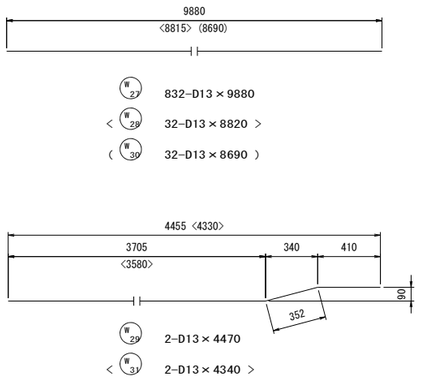
鉄 筋 加 工 図 縮尺=1:20



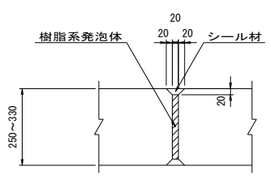
W 27 3288-D13×2370
< W 23 12-D13×2420（平均長）>
(W 24 78-D13×2460)



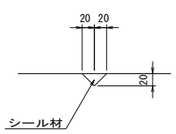
W 22 1080-D16×2380
< W 25 28-D16×2470 >
(W 26 12-D13×2240)



伸縮目地断面図 縮尺=1:10



Vカット断面図 縮尺=1:5



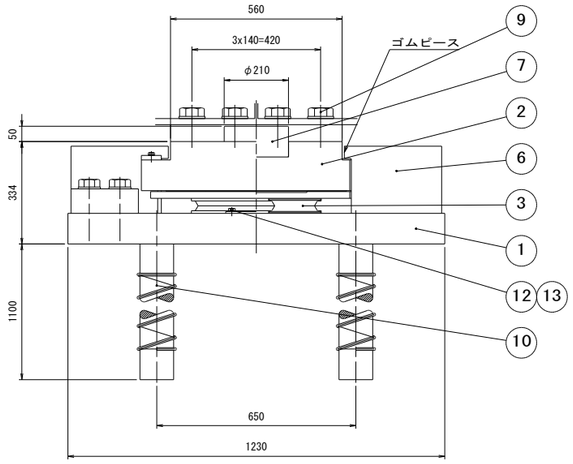
実 施

工事番号	令和元年度 受（Ⅲ）橋第2-2-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ） 橋梁上部工（加賀野高架橋）その2工事		
図面名	P2～A2 壁高欄配筋図（その2） 【参考図】		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	97 / 123

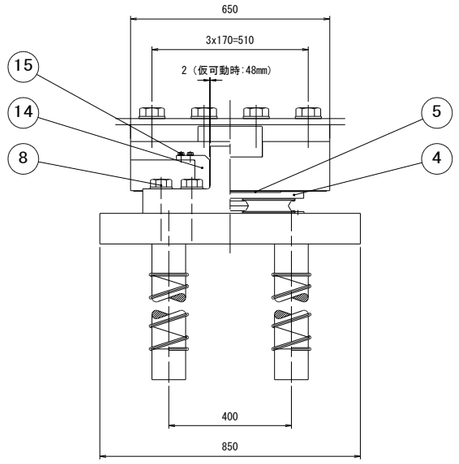
P2～A2 支承詳細図（その1） 【参考図】

縮尺=1:10

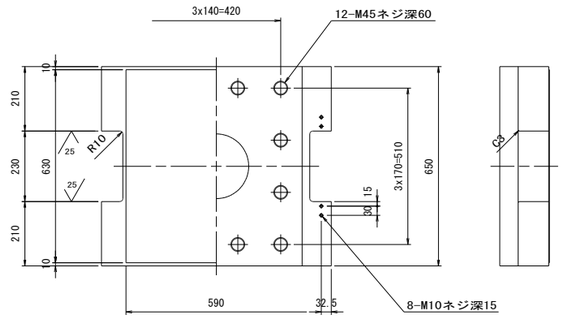
橋軸直角方向

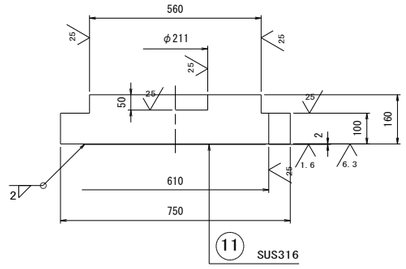


橋軸方向



② ▽（25/ 6.3/）SM490A





設計条件

反力			
全反力	R	2100	kN
死荷重反力	Rd	1300	kN
橋軸方向水平力（移動時）	Rh1f	210	kN
橋軸方向水平力（地震時）	Rh1e	4300	kN
橋軸直角方向水平力（地震時）	Rh2e	1300	kN
上揚力（地震時）	V	690	kN
移動量			
移動可能量	ΔL	± 50	mm
ゴム沓			
回転照査荷重	R1	2000	kN
回転変位量	δr	0.704	mm
照査荷重	R1L	450	kN
照査荷重圧縮変位量	δcL	0.488	mm
摩擦係数			
設計摩擦係数	f	0.10	
支承部支持条件			
橋軸方向：固定	橋軸直角方向：固定		

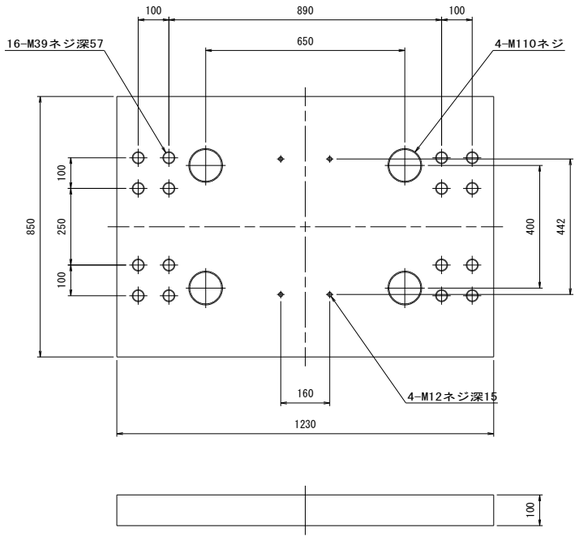
材料表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	下沓	SM490A	1	782.3	
②	上沓	SM490A	1	506.1	
3	高面圧ゴム支承	高面圧ゴム	1	16.3	
④	拘束板	SM490A	1	53.5	
5	滑り板	PTFE	1	0.8	
⑥	サイドブロック	SM490A	2	242.1	
⑦	せん断キー	SM490A	1	27.2	
8	六角ボルト・座金	----	16	31.0	JIS B 1180 JIS B 1256
⑨	六角ボルト・座金	----	12	28.3	JIS B 1180 JIS B 1256
⑩	アンカーボルト	SS400	4	355.1	
11	ステンレス板	SUS316	1	5.9	800x2x830
⑫	スットパー	SS400	2	0.7	
⑬	六角ボルト・座金	----	4	0.2	JIS B 1180 JIS B 1256
⑭	固定ブロック	SM490A	4	13.0	
⑮	六角ボルト・座金	----	8	0.3	JIS B 1180 JIS B 1256
全重量	2062.8 (kg)				
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。				
	付着量550g/m²以上、350g/m²以上（ボルト類）				

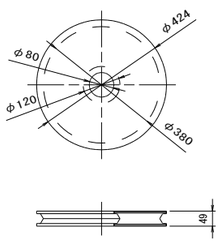
注1） 部番9の六角ボルト・座金の重量は、参考重量とする。

注2） 強度区分10.9の六角ボルトは、ダクロ処理のこと。

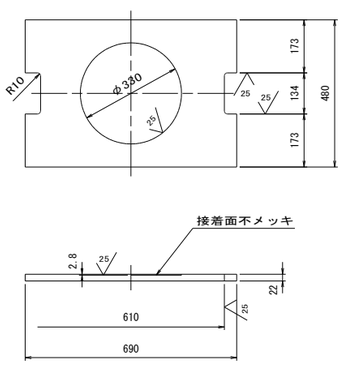
① ▽ SM490A



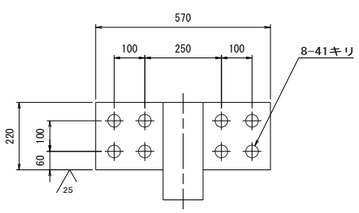
③ ▽ 高面圧ゴム

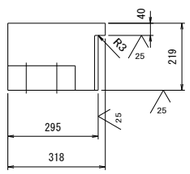


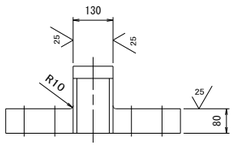
④ ▽（25/）SM490A

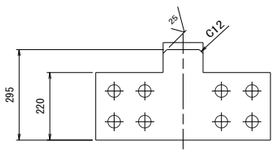


⑥ ▽（25/）SM490A

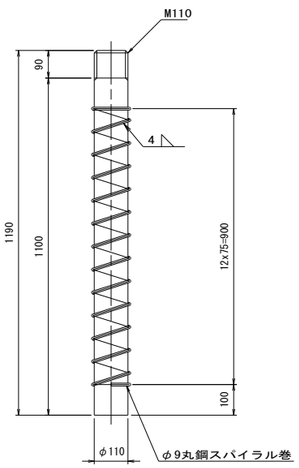




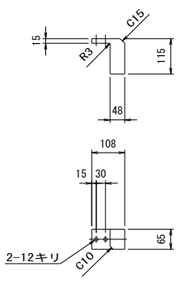




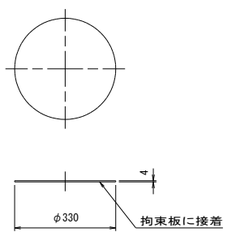
⑩ ▽ SS400



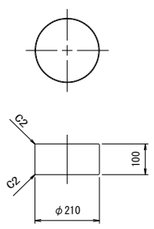
⑭ ▽（25/） SM490A



⑤ ▽ PTFE



⑦ ▽（25/） SM490A



全4ヶの内2ヶを勝手違いで製作のこと。

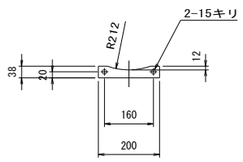
⑧ 六角ボルト 中 M39x140 10.9
（平座金付き）

⑨ 六角ボルト 中 M45x 8.8
（平座金付き）

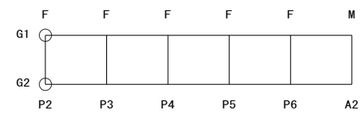
⑬ 六角ボルト 中 M12x20 4.8
（平座金付き）

⑮ 六角ボルト 中 M10x30 4.8
（平座金付き）

⑫ ▽ SS400
F.B 38x200x6t



配置図

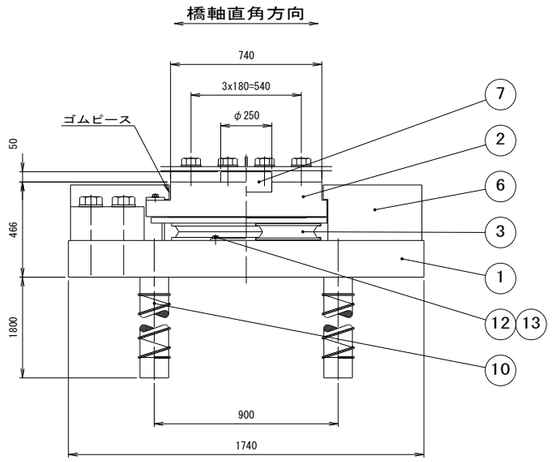


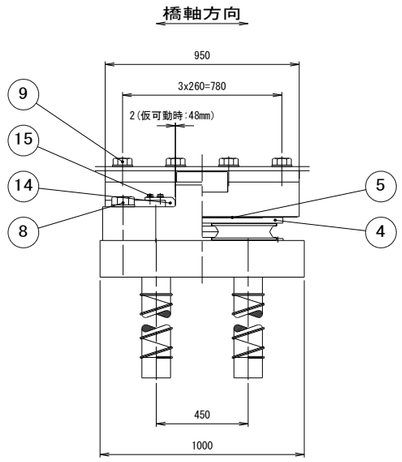
実施

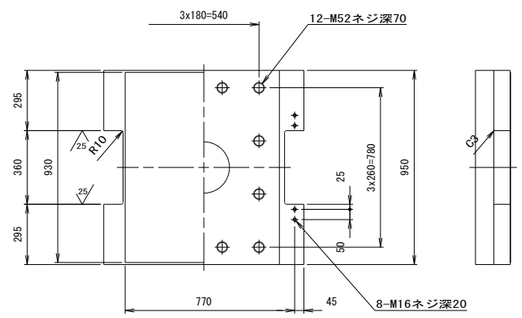
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 支承詳細図(その1) 【参考図】		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	98 / 123

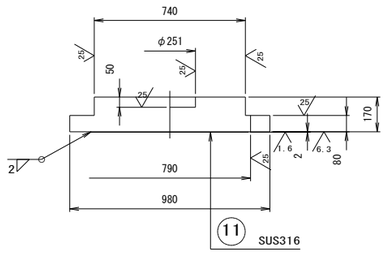
P2～A2 支承詳細図（その2）【参考図】

縮尺=1:15



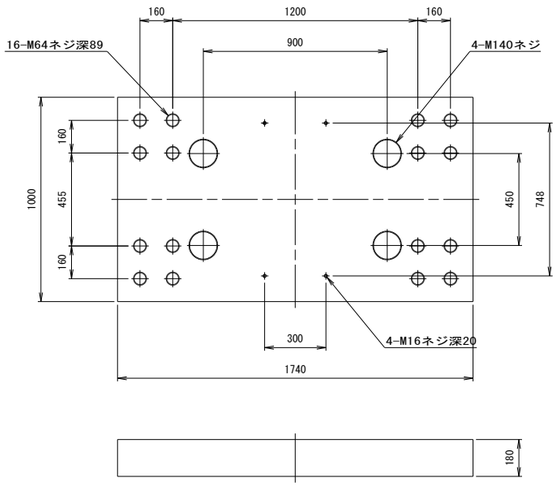


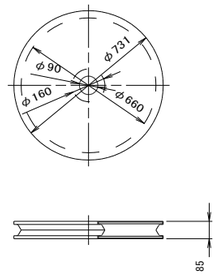


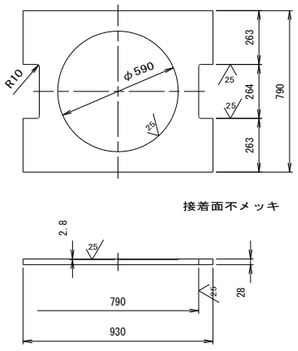


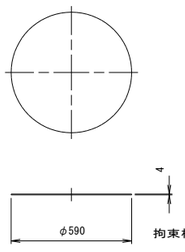
設計条件

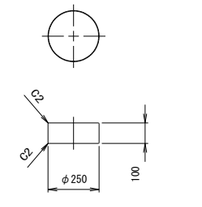
反力			
全反力	R	5500	kN
死荷重反力	Rd	3800	kN
橋軸方向水平力（移動時）	Rh1f	550	kN
橋軸方向水平力（地震時）	Rh1e	2900	kN
橋軸直角方向水平力（地震時）	Rh2e	4600	kN
上揚力（地震時）	V	3690	kN
移動量			
移動可能量	ΔL	± 50	mm
ゴム沓			
回転照査荷重	R1	5300	kN
回転変位量	δr	0.971	mm
摩擦係数			
設計摩擦係数	f	0.10	
支承部支持条件			
橋軸方向：固定	橋軸直角方向：固定		

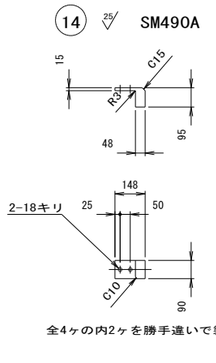


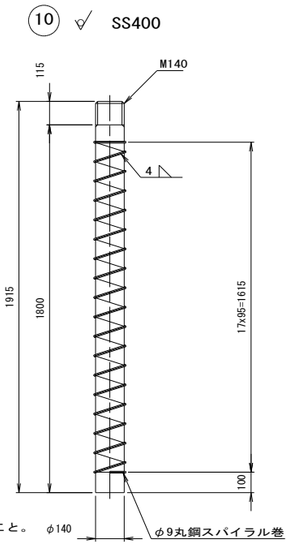


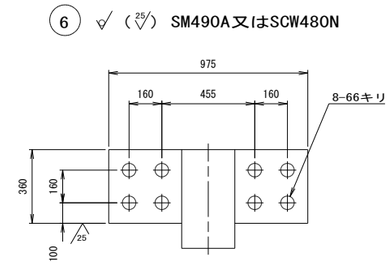


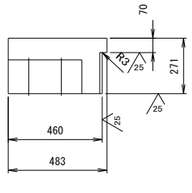


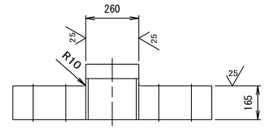


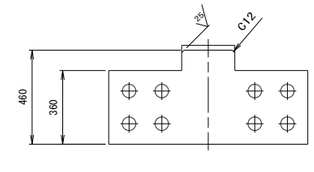












材料表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	下沓	SM490A	1	2335.5	
2	上沓	SM490A	1	1004.7	
3	高面圧ゴム支承	高面圧ゴム	1	91.9	
4	拘束板	SM490A	1	147.4	
5	滑り板	PTFE	1	2.5	
6	サイドブロック	SM490A又はSCW480N	2	1111.3	
7	せん断キー	SM490A	1	38.5	
8	六角ボルト・座金	----	16	144.3	JIS B 1180 JIS B 1256
9	六角ボルト・座金	----	12	44.3	JIS B 1180 JIS B 1256
10	アンカーボルト	SS400	4	925.6	
11	ステンレス板	SUS316	1	11.4	800x2x830
12	ストッパー	SS400	2	2.5	
13	六角ボルト・座金	----	4	0.4	JIS B 1180 JIS B 1256
14	固定ブロック	SM490A	4	16.9	
15	六角ボルト・座金	----	8	0.8	JIS B 1180 JIS B 1256
全重量	5878.0	(kg)			
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。				
	付着量550g/m^{2}以上、350g/m^{2}以上（ボルト類）				

注1）部番9の六角ボルト・座金の重量は、参考重量とする。

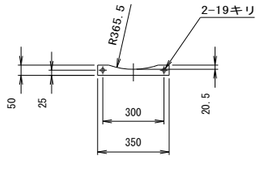
注2）強度区分10.9の六角ボルトは、ダクロ処理のこと。

(8) 六角ボルト 中 M64x260 10.9（平座金付き）

(9) 六角ボルト 中 M52x 8.8（平座金付き）

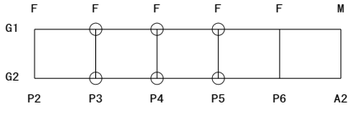
(13) 六角ボルト 中 M16x25 4.8（平座金付き）

(15) 六角ボルト 中 M16x35 4.8（平座金付き）



全4ヶの内2ヶを勝手違いで製作のこと。

配置図

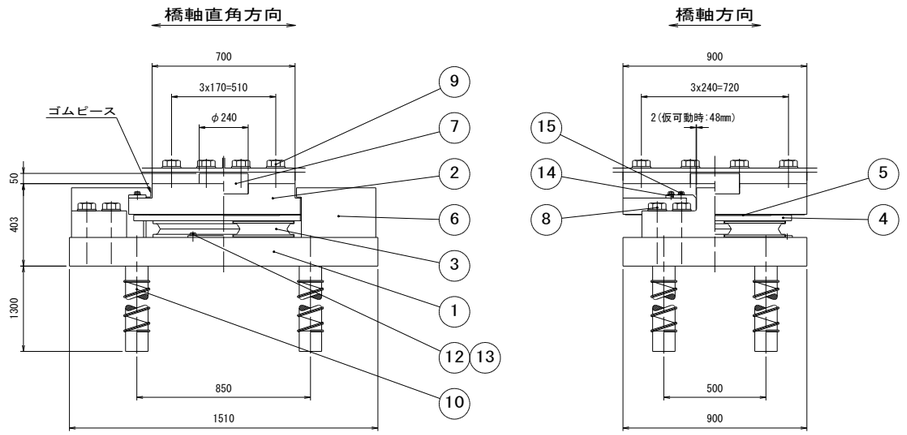


実施

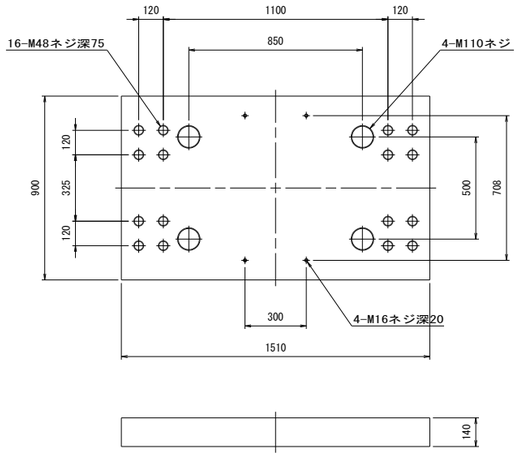
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 支承詳細図(その2) 【参考図】		
縮尺	1:15	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	99 / 123

P2～A2 支承詳細図（その3）【参考図】

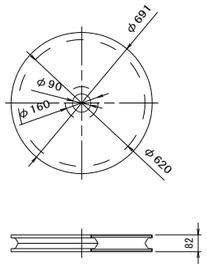
縮尺=1:15



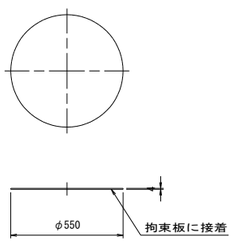
① SM490A



③ 高面圧ゴム

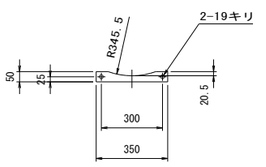


⑤ PTFE

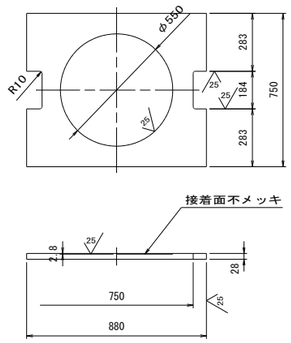


⑫ SS400

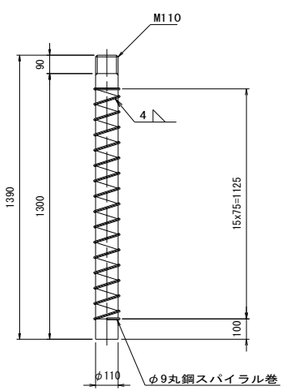
F.B 50 x 350 x 9t



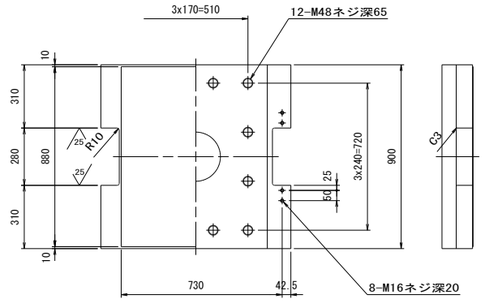
④ SM490A



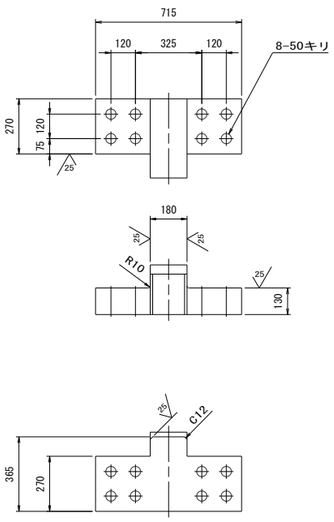
⑩ SS400



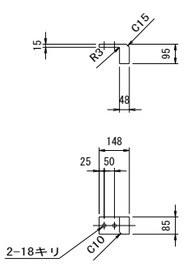
② SM490A



⑥ SM490A

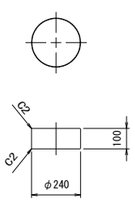


⑭ SM490A



全4ヶの内2ヶを勝手違いで製作のこと。

⑦ SM490A



⑧ 六角ボルト 中 M48x210 10.9（平座金付き）

⑨ 六角ボルト 中 M48x 8.8（平座金付き）

⑬ 六角ボルト 中 M16x25 4.8（平座金付き）

⑮ 六角ボルト 中 M16x35 4.8（平座金付き）

設計条件

反力			
全反力	R	5400	kN
死荷重反力	Rd	3800	kN
橋軸方向水平力（移動時）	Rh1f	540	kN
橋軸方向水平力（地震時）	Rh1e	4300	kN
橋軸直角方向水平力（地震時）	Rh2e	3300	kN
上揚力（地震時）	V	1745	kN
移動量			
移動可能量	ΔL	± 50	mm
ゴム沓			
回転照査荷重	R1	5300	kN
回転変位量	δr	0.912	mm
摩擦	係数		
設計摩擦係数	f	0.10	
支承部支持条件			
橋軸方向：固定	橋軸直角方向：固定		

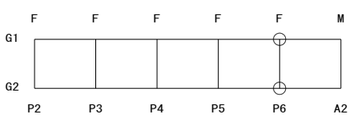
材料表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	下沓	SM490A	1	1434.6	
②	上沓	SM490A	1	810.9	
3	高面圧ゴム支承	高面圧ゴム	1	80.7	
④	拘束板	SM490A	1	134.6	
5	滑り板	PTFE	1	2.2	
⑥	サイドブロック	SM490A	2	516.3	
⑦	せん断キー	SM490A	1	35.5	
8	六角ボルト・座金	---	16	67.2	JIS B 1180 JIS B 1256
⑨	六角ボルト・座金	---	12	35.3	JIS B 1180 JIS B 1256
⑩	アンカーボルト	SS400	4	414.8	
11	ステンレス板	SUS316	1	10.3	800x2x830
⑫	ストッパー	SS400	2	2.5	
⑬	六角ボルト・座金	---	4	0.4	JIS B 1180 JIS B 1256
⑭	固定ブロック	SM490A	4	15.9	
⑮	六角ボルト・座金	---	8	0.8	JIS B 1180 JIS B 1256
全重量		3562.0	(kg)		
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。				
	付着量550g/m^{2}以上、350g/m^{2}以上（ボルト類）				

注1) 部番9の六角ボルト・座金の重量は、参考重量とする。

注2) 強度区分10.9の六角ボルトは、ダクロ処理のこと。

配置図



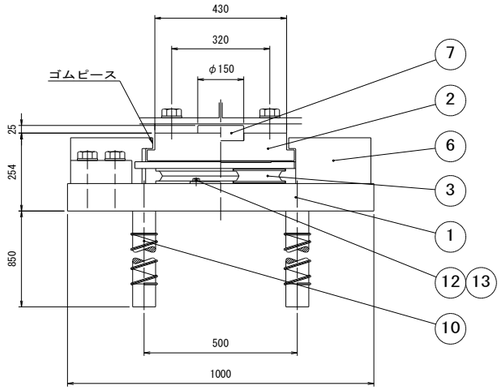
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 支承詳細図(その3) 【参考図】		
縮尺	1:15	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	100 / 123

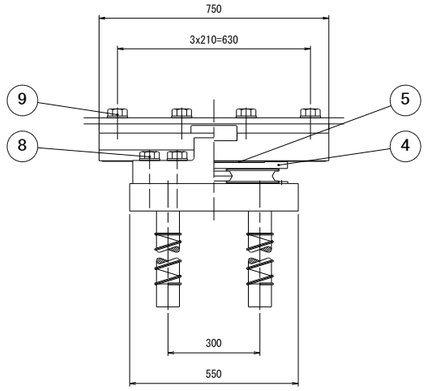
P2～A2 支承詳細図（その4）【参考図】

縮尺=1:10

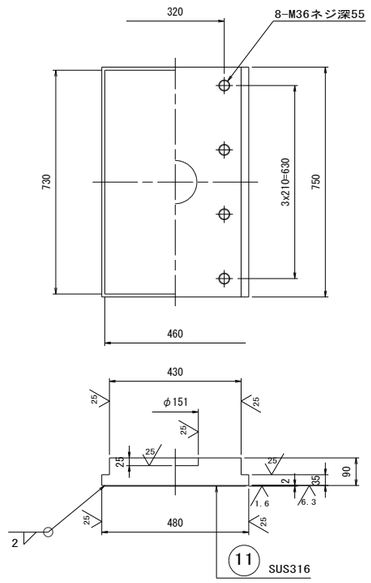
橋軸直角方向



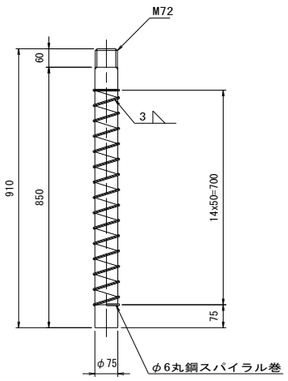
橋軸方向



② √(25/6.3) SM490A



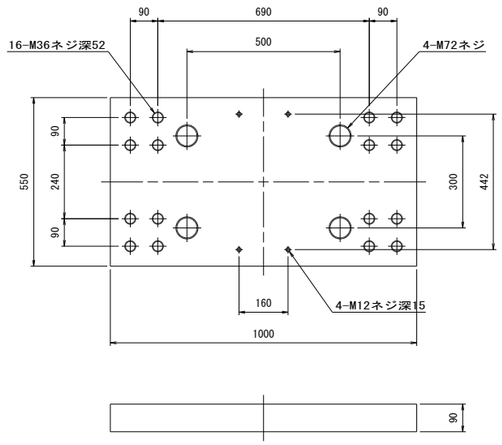
⑩ √ SS400



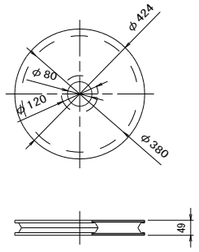
設計条件

反力			
全反力	R	2100	kN
死荷重反力	Rd	1300	kN
橋軸方向水平力（移動時）	Rh1f	210	kN
橋軸直角方向水平力（地震時）	Rh2e	1400	kN
上揚力（地震時）	V	822	kN
移動量			
移動可能量	ΔL	± 200	mm
ゴム沓			
回転照査荷重	R1	2000	kN
回転変位量	δr	0.704	mm
照査荷重	R1L	450	kN
照査荷重圧縮変位量	δcL	0.488	mm
摩擦係数			
設計摩擦係数	f	0.10	
支承部支持条件			
橋軸方向：可動	橋軸直角方向：固定		

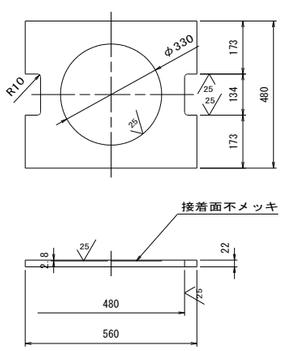
① √ SM490A



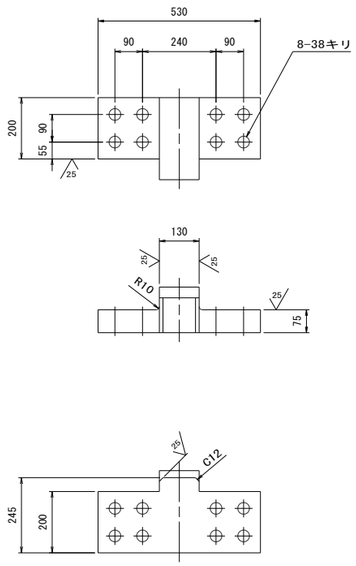
③ √ 高面圧ゴム



④ √(25/) SM490A



⑥ √(25/) SM490A



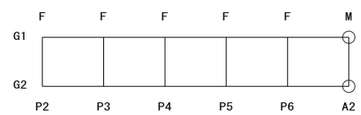
材料表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	下沓	SM490A	1	370.4	
②	上沓	SM490A	1	231.1	
3	高面圧ゴム支承	高面圧ゴム	1	16.3	
④	拘束板	SM490A	1	42.7	
5	滑り板	PTFE	1	0.8	
⑥	サイドブロック	SM490A	2	159.7	
⑦	せん断キー	SM490A	1	6.9	
8	六角ボルト・座金	---	16	24.3	JIS B 1180 JIS B 1256
⑨	六角ボルト・座金	---	12	9.6	JIS B 1180 JIS B 1256
⑩	アンカーボルト	SS400	4	126.2	
11	ステンレス板	SUS316	1	5.4	800x2x830
⑫	ストッパー	SS400	2	0.7	
⑬	六角ボルト・座金	---	4	0.2	JIS B 1180 JIS B 1256
全重量				994.3 (kg)	
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。				
	付着量550g/m²以上、350g/m²以上（ボルト類）				

注1）部番9の六角ボルト・座金の重量は、参考重量とする。

注2）強度区分10.9の六角ボルトは、ダクロ処理のこと。

配置図

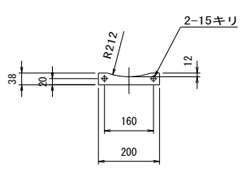


⑧ 六角ボルト 中 M36x130 10.9
（平座金付き）

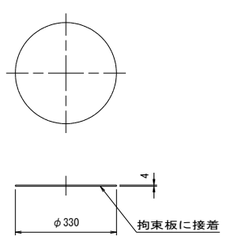
⑨ 六角ボルト 中 M36x 8.8
（平座金付き）

⑬ 六角ボルト 中 M12x20 4.8
（平座金付き）

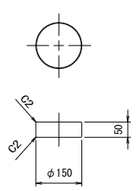
⑫ √ SS400
F.B 38 x 200 x 6t



⑤ √ PTFE



⑦ √25 SM490A

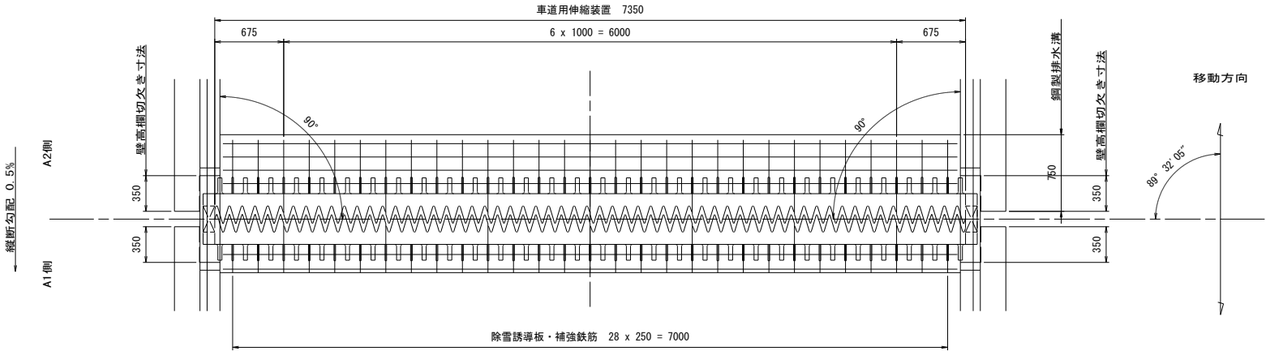


実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 支承詳細図(その4) 【参考図】		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	101 / 123

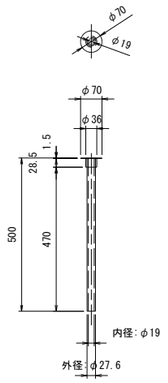
A1～P2 伸縮装置（その1）【参考図】

金物設置図 縮尺=1:30



P2上

排水パイプ形状詳細図 縮尺=1:10



数 量 表 （1箇所当たり x 1式）					
番号	名称	材質	単位	数量	記事
1	車道用伸縮装置	アルミ合金鋳物	m	7.350	
2	二次止水装置		m	7.350	
3	車道用アップスタンド		個	2	
4	壁高欄カバー	SUS304	式	2	
5	除雪誘導板	SS400相当品	枚	58	PL 16 x 65 x 160
6	補強鉄筋	SD345	kg	18.10	D16 x 400 x 29本
7	補強鉄筋	SD345	kg	19.45	D16 x 430 x 29本
8	補強鉄筋	SD345	kg	29.41	D16 x 650 x 29本
9	補強鉄筋	SD345	kg	30.76	D16 x 680 x 29本
10	補強鉄筋	SD345	kg	129.60	D19 x 7.2m x 8本
11	遊間部型枠		m^2	2.43	150 x 8.1m x 2式
12	後打コンクリート	高強度コンクリート	m^3	1.79	σck=36N/mm²

上部工にて施工

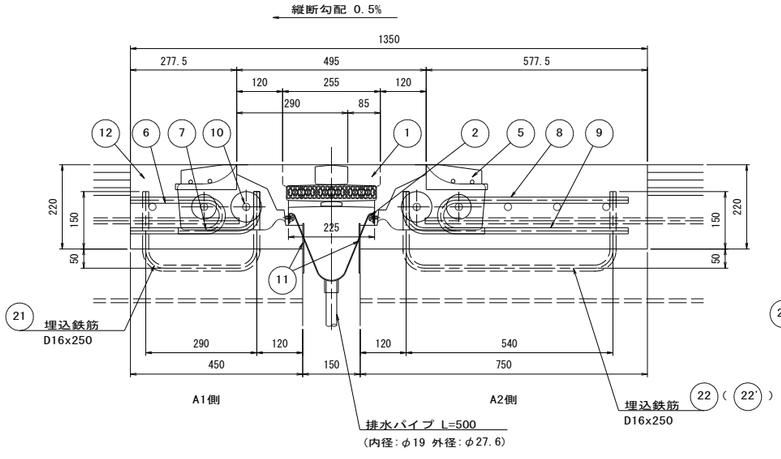
21	埋込鉄筋	SD345	kg	31.22	D16 x 690 x 29本
22	埋込鉄筋	SD345	kg	39.59	D16 x 940 x 27本
22'	埋込鉄筋	SD345	kg	3.34	D16 x 535 x 4本

設 計 条 件		
温度範囲	−20℃～+40℃	
温度変化伸縮量	91.9	mm
地震時移動量	±35.2	mm
常時伸縮量	110.3	mm

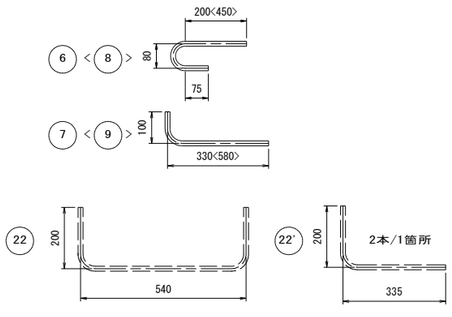
注記

1. 施工において図面相当品とする
2. 伸縮装置の割付は変更することがある
3. 幅員方向の鉄筋を分割する時には
   重ね長さを考慮すること
4. 施工の際は鋼製排水溝に留意すること

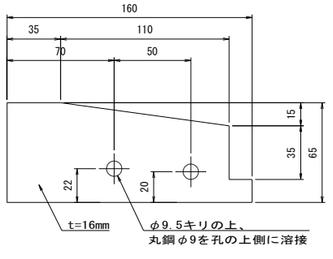
車道用伸縮装置断面図 縮尺=1:8



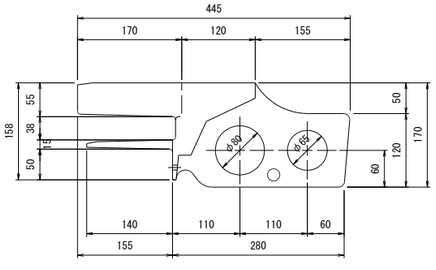
補強鉄筋加工図 縮尺=1:8



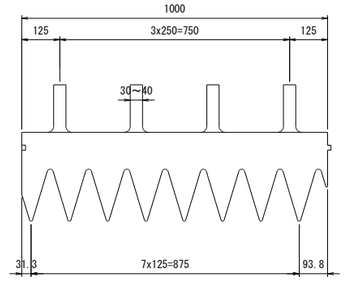
除雪誘導板詳細図 縮尺=1:2



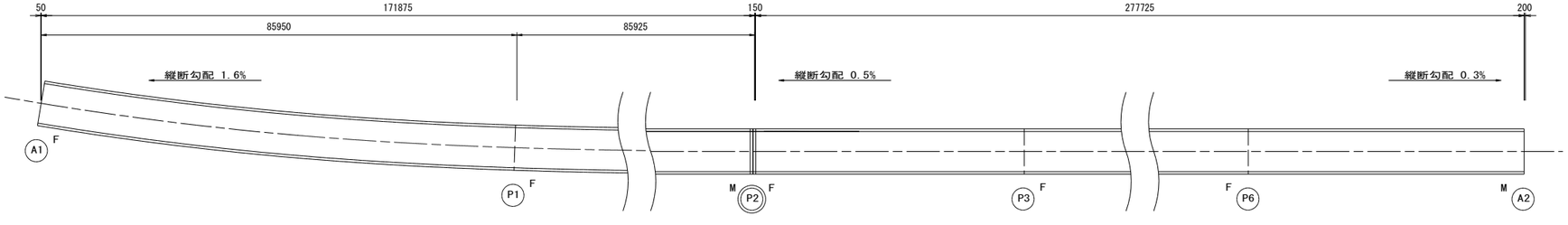
伸縮金物断面図 縮尺=1:5



伸縮金物平面図 縮尺=1:10



配 置 図



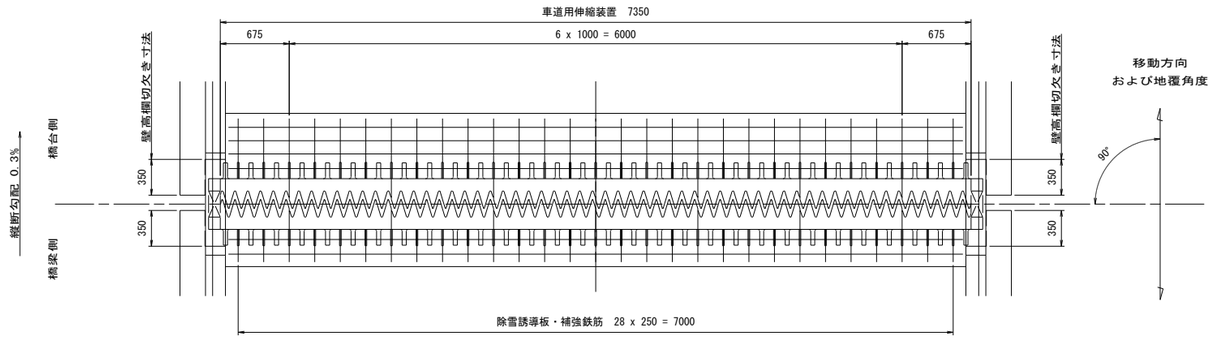
実施

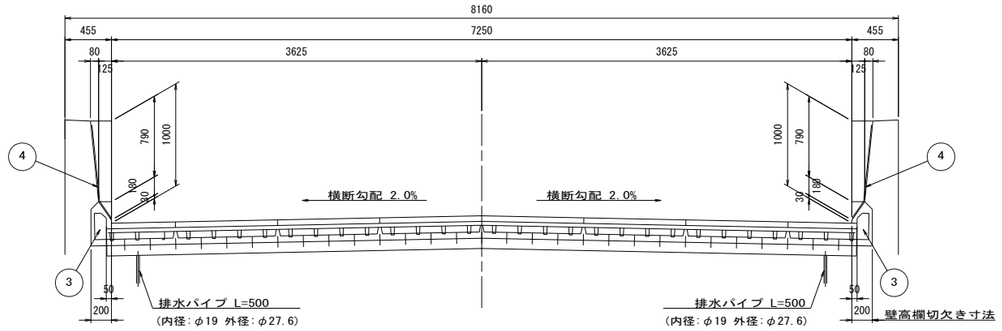
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	A1～P2 伸縮装置(その1) 【参考図】		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	102 / 123

P2～A2 伸縮装置（その2）【参考図】

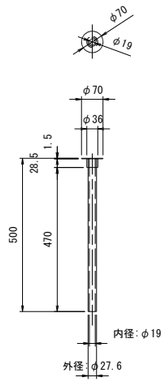
A2上

金物設置図 縮尺=1:30

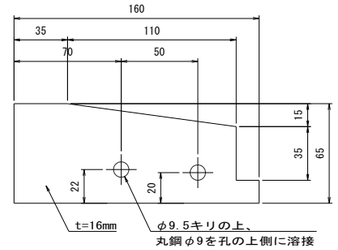




排水パイプ形状詳細図 縮尺=1:10



除雪誘導板詳細図 縮尺=1:2



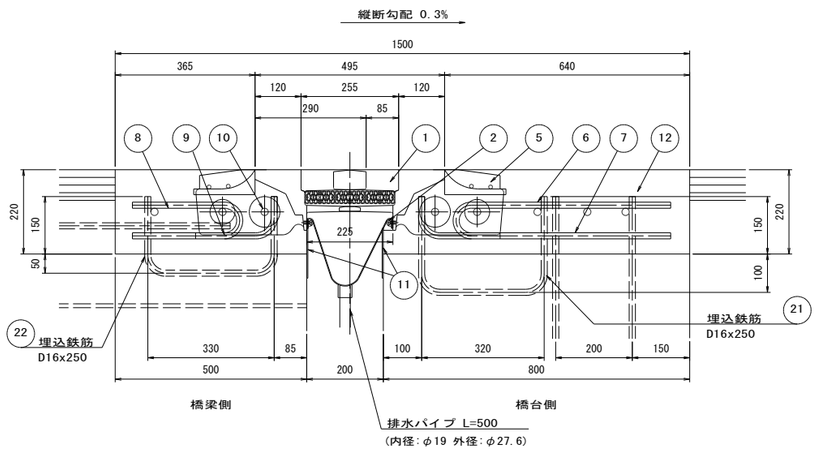
数 量 表 （1箇所当たり x 1式）					
番号	名称	材質	単位	数量	記事
1	車道用伸縮装置	アルミ合金鋳物	m	7.350	
2	二次止水装置		m	7.350	
3	車道用アップスタンド		個	2	特殊仕様：上部切欠き
4	壁高欄カバー	SUS304	式	2	
5	除雪誘導板	SS400相当品	枚	58	PL 16 x 65 x 160
6	補強鉄筋	SD345	kg	32.57	D16 x 720 x 29本
7	補強鉄筋	SD345	kg	33.93	D16 x 750 x 29本
8	補強鉄筋	SD345	kg	19.91	D16 x 440 x 29本
9	補強鉄筋	SD345	kg	21.26	D16 x 470 x 29本
10	補強鉄筋	SD345	kg	129.60	D19 x 7.2m x 8本
11	遊間部型枠		m^2	2.43	150 x 8.1m x 2式
12	後打コンクリート	高強度コンクリート	m^3	2.03	σck=36N/mm²
上部工および下部工にて施工					
21	埋込鉄筋	SD345	kg	37.10	D16 x 820 x 29本
22	埋込鉄筋	SD345	kg	33.03	D16 x 730 x 29本

設 計 条 件		
温度範囲	−20℃～+40℃	
温度変化伸縮量	99.4	mm
地震時移動量	±40.5	mm
常時伸縮量	119.3	mm

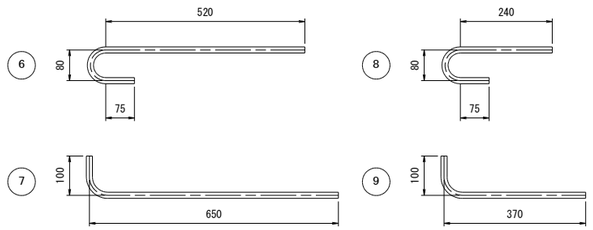
注記

1. 施工において図面相当品とする
2. 伸縮装置の割付は変更することがある
3. 幅員方向の鉄筋を分割する時には
   重ね長さを考慮すること

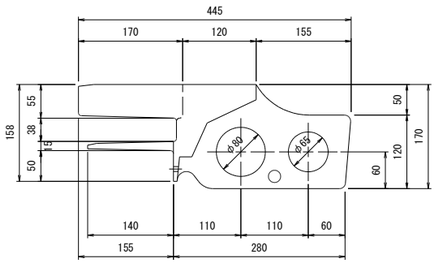
車道用伸縮装置断面図 縮尺=1:8



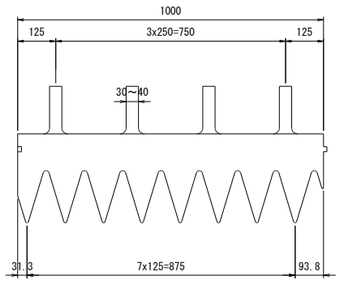
補強鉄筋加工図 縮尺=1:8



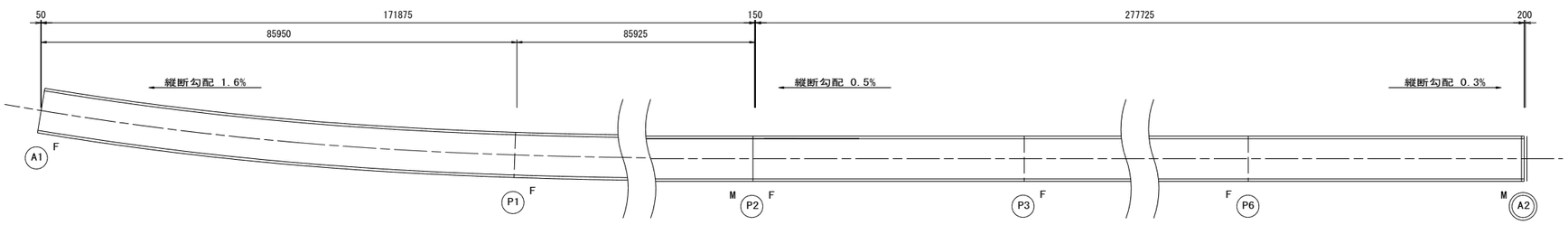
伸縮金物断面図 縮尺=1:5



伸縮金物平面図 縮尺=1:10



配 置 図



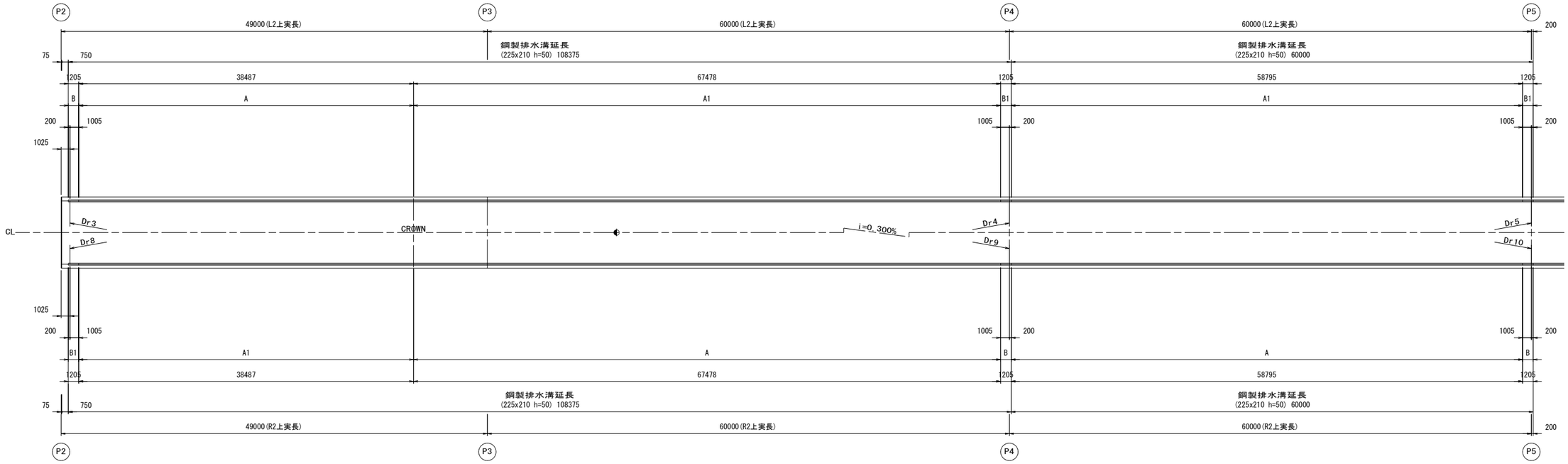
実施

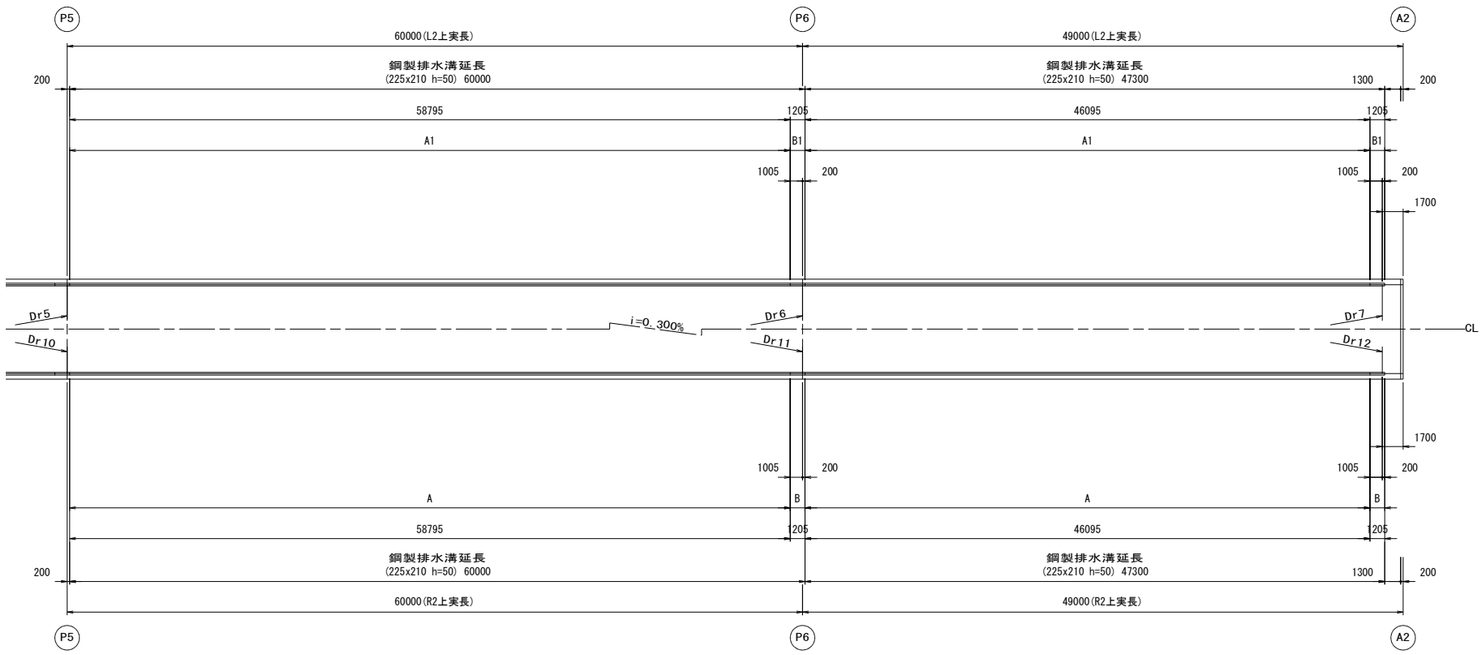
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 伸縮装置(その2) 【参考図】		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	103 / 123

P2～A2 鋼製排水溝（その1）【参考図】

鋼製排水溝設置図　縮尺=1:250

※ 鋼製排水溝延長は実長寸法を示す。（縦断勾配考慮）





実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 鋼製排水溝(その1) 【参考図】		
縮尺	1:250	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	104 / 123

P2～A2 鋼製排水溝(その2)【参考図】

鋼製排水溝 数量表

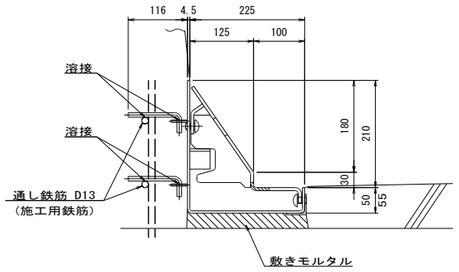
ドレン符号	寸　法	延 長(m)	記　事
A	225 x 210　h=50	269.650	標 準 部
B	225 x 210　h=50	6.025	流 末 部、End PL付
A1	225 x 210　h=50	269.650	標 準 部
B1	225 x 210　h=50	6.025	流 末 部、End PL付
流 末 管 (Dr3)		1 ヶ 所	
流 末 管 (Dr9～Dr12)		4 ヶ 所	
流 末 管 (Dr4～Dr7)		4 ヶ 所	
流 末 管 (Dr8)		1 ヶ 所	
合　計		551.350	

※ hは,鋼製排水溝の埋込深さを示す。

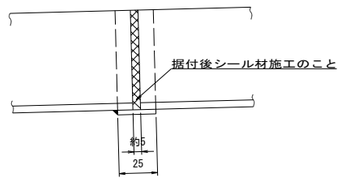
仕様特記　・製品の表面処理は「溶融亜鉛・アルミニウム合金めっき(Mg入り)」
とし亜鉛付着量350g/m2(50μm)以上とする。
(主要部材の平均付着量とします)
・フタは1セット毎に開口及び立てかけ可能な事。
・フタは跳ね上がり防止機能を有し、跳ね上がり防止機能は流水範囲に
位置しない事。

鋼製排水溝断面図　縮尺=1:6

標準部

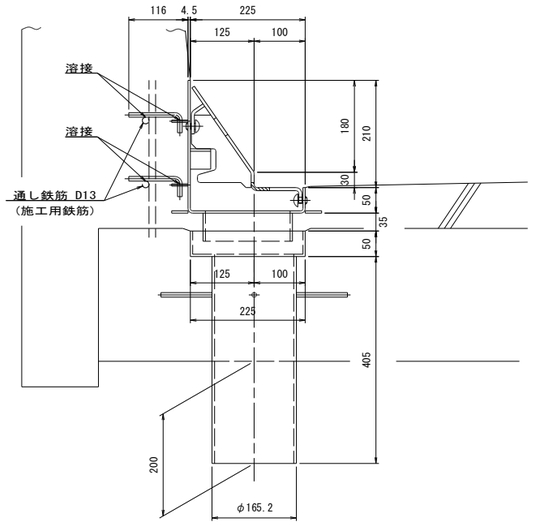


継ぎ手目地詳細図



鋼製排水溝断面図　縮尺=1:6

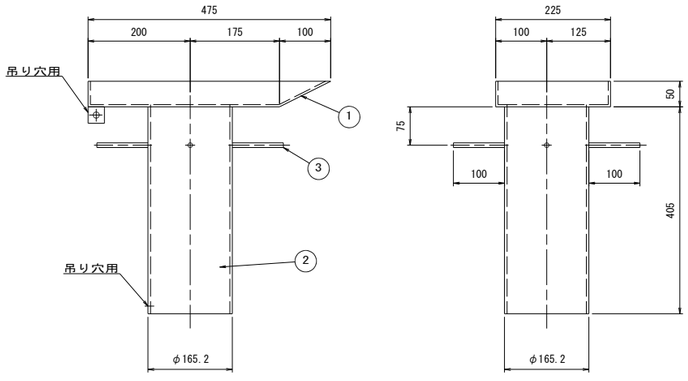
流末部 Dr3～Dr12



流末管詳細図　縮尺=1:6

流末管 Dr3

※　Dr8は、本図に対して線対称とする。



材料表　流末管 Dr3、Dr8

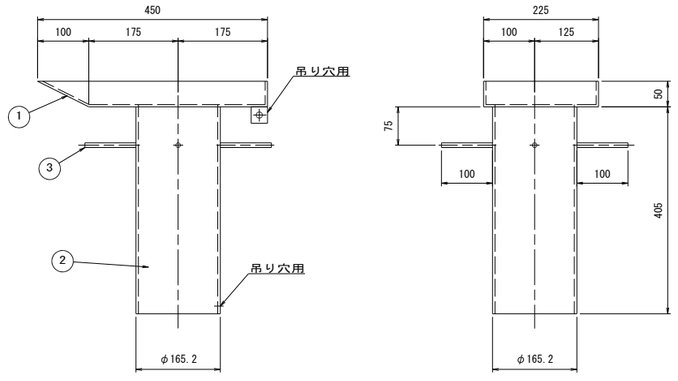
符号	寸法	重量(kg)
1	PL 475 x 225 x 50 x 4.5	5.60
2	1-GP φ165.2 x 5.0 x 405　(150A:SGP)	8.02
3	4-RB φ9 x 100	0.20
合計		13.8

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。

流末管詳細図　縮尺=1:6

流末管 Dr4～Dr7

※　Dr9～Dr12は、本図に対して線対称とする。



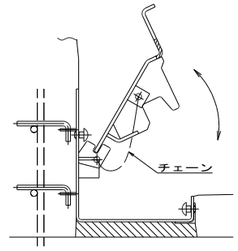
材料表　流末管 Dr4～Dr7、Dr9～Dr12

符号	寸法	重量(kg)
1	PL 450 x 225 x 50 x 4.5	5.32
2	1-GP φ165.2 x 5.0 x 405　(150A:SGP)	8.02
3	4-RB φ9 x 100	0.20
合計		13.5

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。

清掃時断面図　縮尺=1:6

※フタは1セット毎に開口及び立てかけ可能
※フタは跳ね上がり防止機能付き



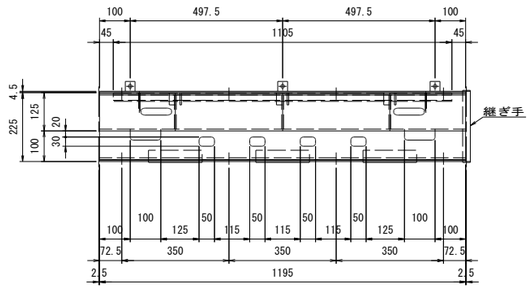
実 施

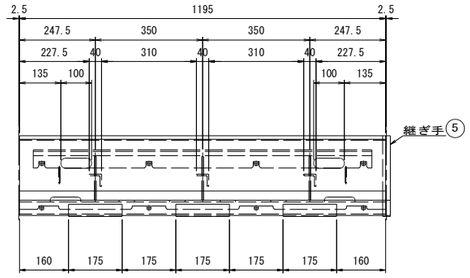
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路 線 名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図 面 名	P2～A2 鋼製排水溝(その2) 【参考図】		
縮　尺	1:6	位置	
設 計 者		設計年度	
宮　城　県		図番	105 / 123

P2～A2 鋼製排水溝（その3）【参考図】

鋼製排水溝詳細図 縮尺=1:10

A-225 x 210 x 1200
h=50 標準部



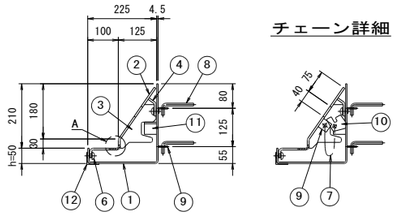


材料表 A-225x210x1200 h=50

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 539.5 x 4.5 x 1195	22.8
2	1-PL 358 x 6.0 x 1195	20.1
3	3-PL 142 x 6.0 x 117	1.08
4	1-PL 71 x 6.0 x 1105	3.48
5	1-PL 25 x 3.0 x 539.5	0.32
6	8-Bolt M12 x 18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
7	1-Chain φ4 x 200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	6-RB φ9 x 135	0.40
9	7-PL 32 x 4.5 x 32	0.28
10	2-PL 50 x 4.5 x 56	0.14
11	3-L 40 x 40 x 5.0 x 40	0.36
12	3-L 40 x 40 x 3.0 x 175	0.96
総重量		50.3
m重量		41.9

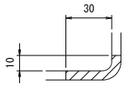
※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ A1- 225 x 210 x 1200 h=50 ・・・ 50.3kg(41.9kg/m)
A1は、Aに対して線対称とする。



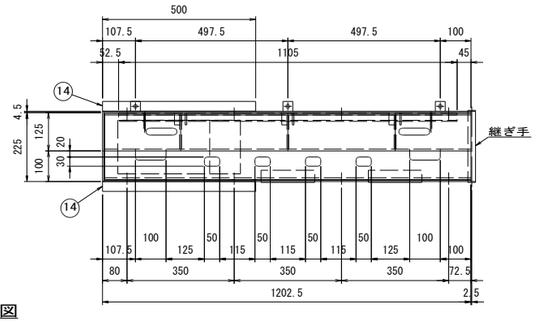
チェーン詳細

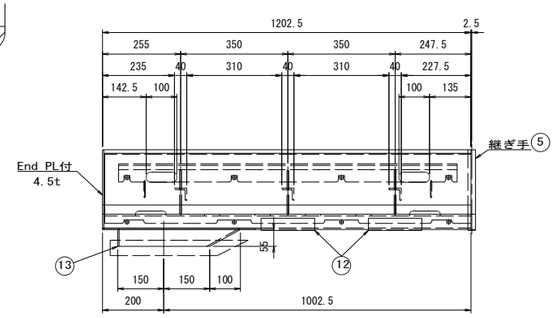
A部詳細図



鋼製排水溝詳細図 縮尺=1:10

B-225 x 210 x 1205
h=50 流末部





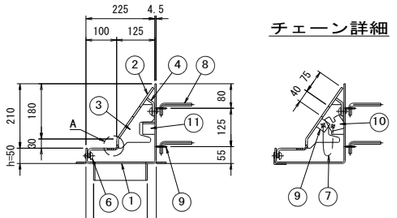
※ 破線は流末管を示す。

材料表 B-225x210x1205 h=50

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 539.5 x 4.5 x 1202.5(End PL付)	23.8
2	1-PL 358 x 6.0 x 1195	20.1
3	3-PL 142 x 6.0 x 117	1.08
4	1-PL 71 x 6.0 x 1105	3.48
5	1-PL 25 x 3.0 x 539.5	0.32
6	8-Bolt M12 x 18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
7	1-Chain φ4 x 200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	6-RB φ9 x 135	0.40
9	7-PL 32 x 4.5 x 32	0.28
10	2-PL 50 x 4.5 x 56	0.14
11	3-L 40 x 40 x 5.0 x 40	0.36
12	2-L 40 x 40 x 3.0 x 175	0.64
13	PL 400x55x175x4.5	2.35
14	2-PL 32 x 4.5 x 500	1.14
総重量		54.4
m重量		45.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ B1- 225 x 210 x 1205 h=50 ・・・ 54.4kg(45.1kg/m)
B1は、Bに対して線対称とする。



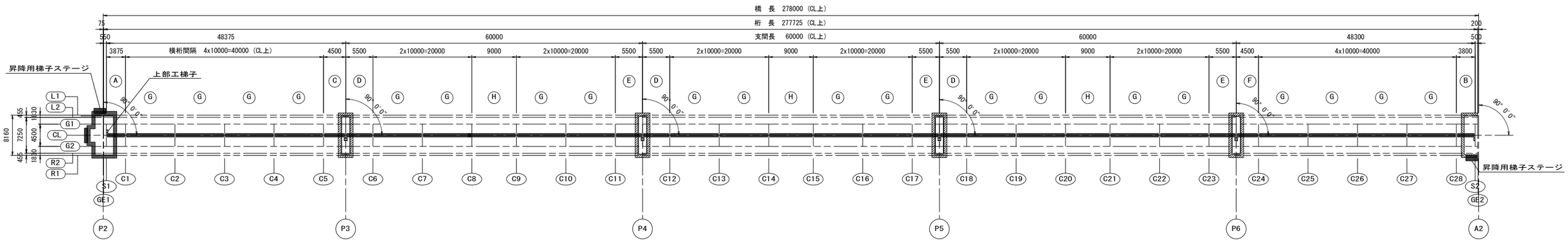
チェーン詳細

実施

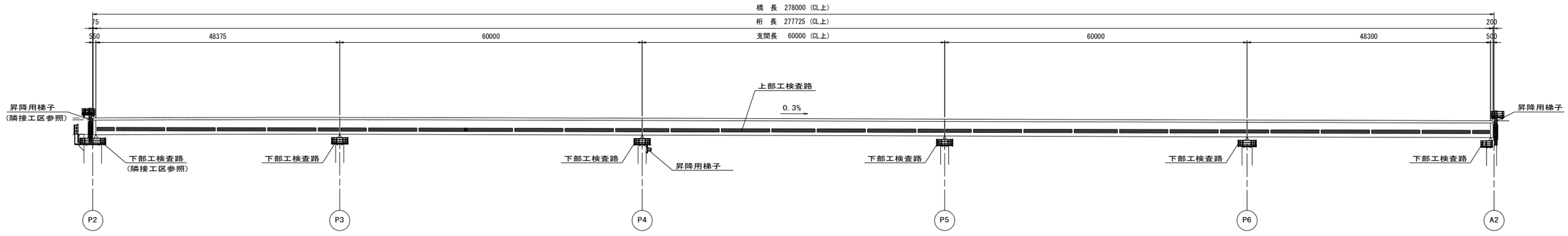
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 鋼製排水溝(その3) 【参考図】		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	106 / 123

P2～A2 検査路系統図 縮尺=1:400

平 面 図

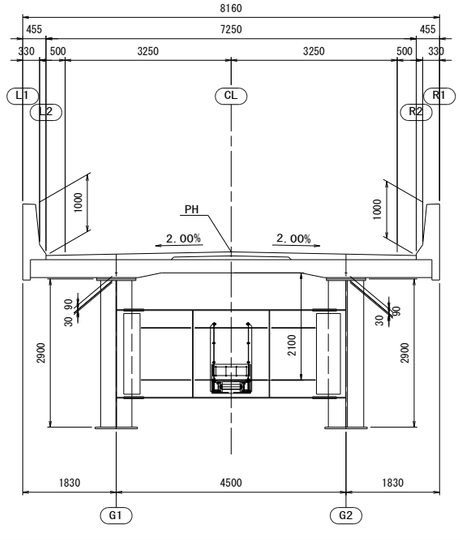


側 面 図

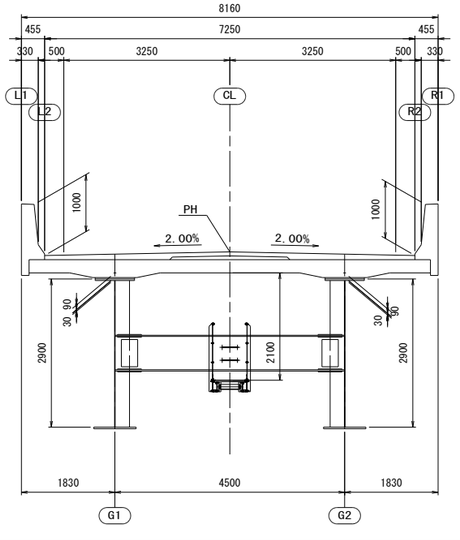


断 面 図 縮尺=1:60

端支点部　　中間支点部



中間部



タイプ	数量	長さ
A	1	3255
B	1	3180
C	1	3830
D	3	4830
E	3	4830
F	1	3830
G	20	9600
H	3	8600
合計	33	

実 施

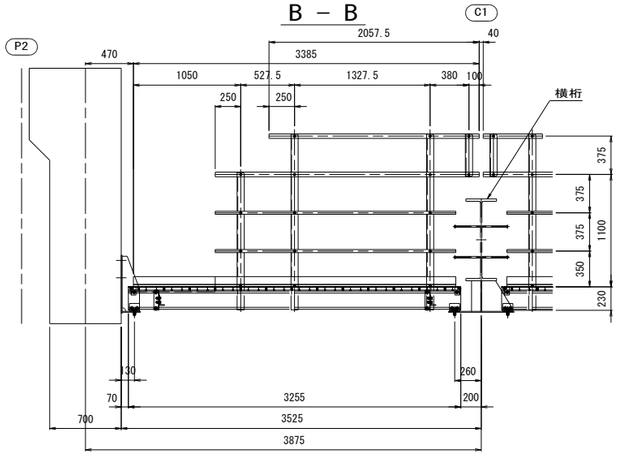
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 検査路系統図		
縮尺	1:400	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	107 / 123

P2～A2 上部工検査路（その1）【参考図】　縮尺=1:30

端支点部

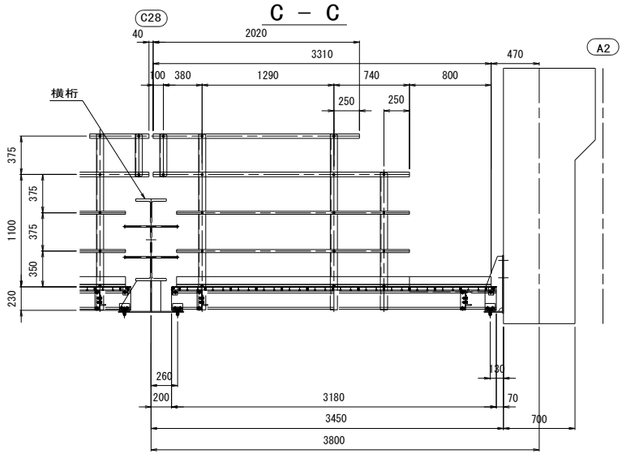
タイプ A

B － B

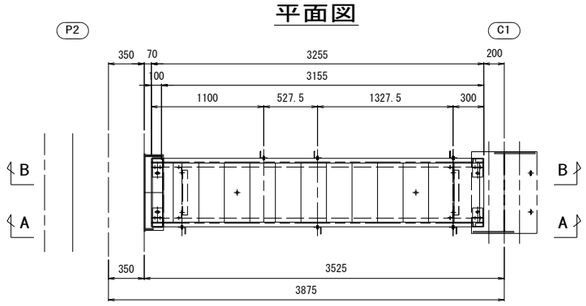


タイプ B

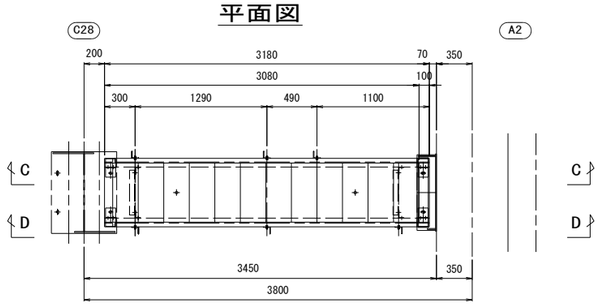
C － C



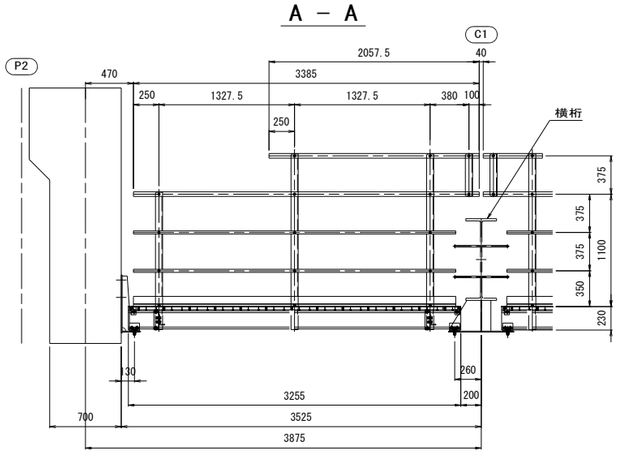
平面図



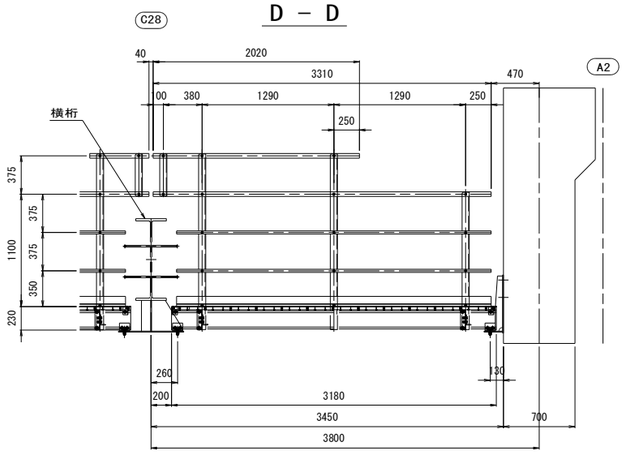
平面図



A － A

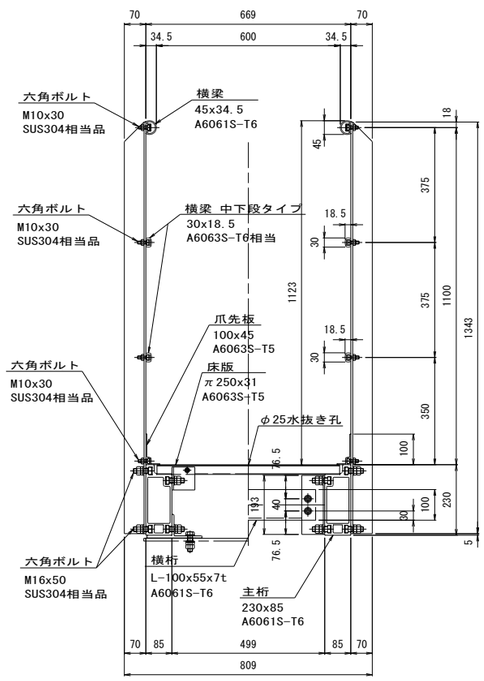


D － D



標準断面図　縮尺=1:10

端　部　　支柱部



注記）
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実施

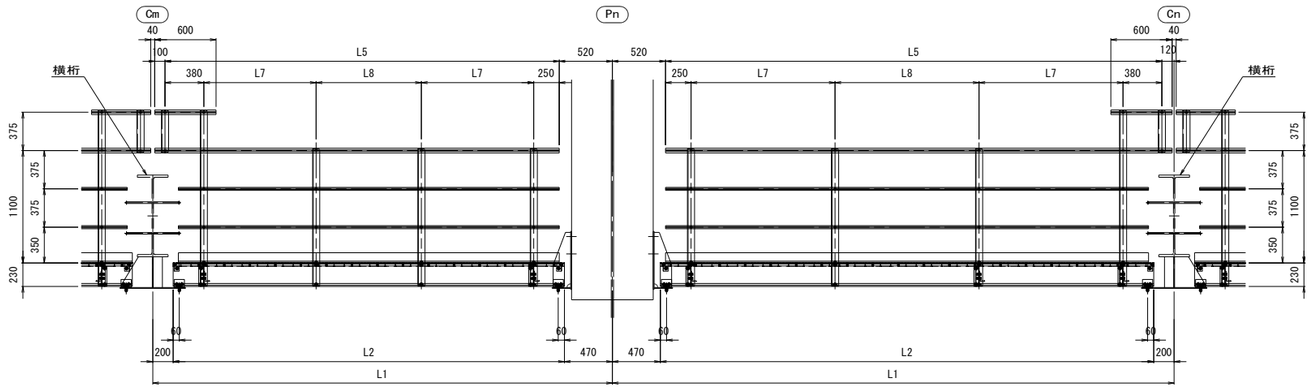
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 上部工検査路(その1) 【参考図】		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	108 / 123

P2～A2 上部工検査路（その2）【参考図】

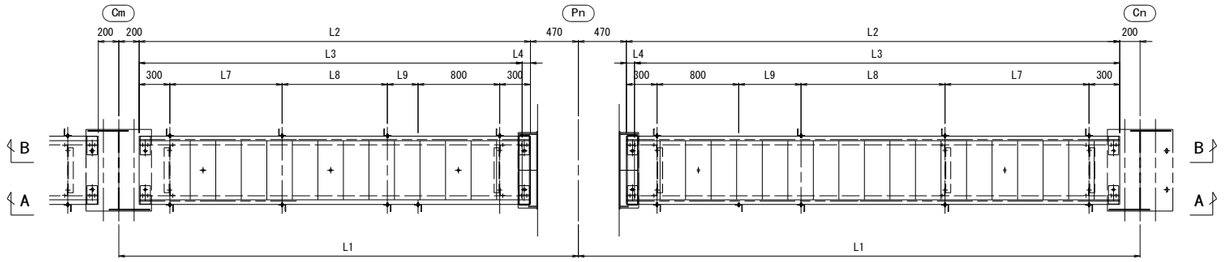
縮尺=1:30

中間支点部

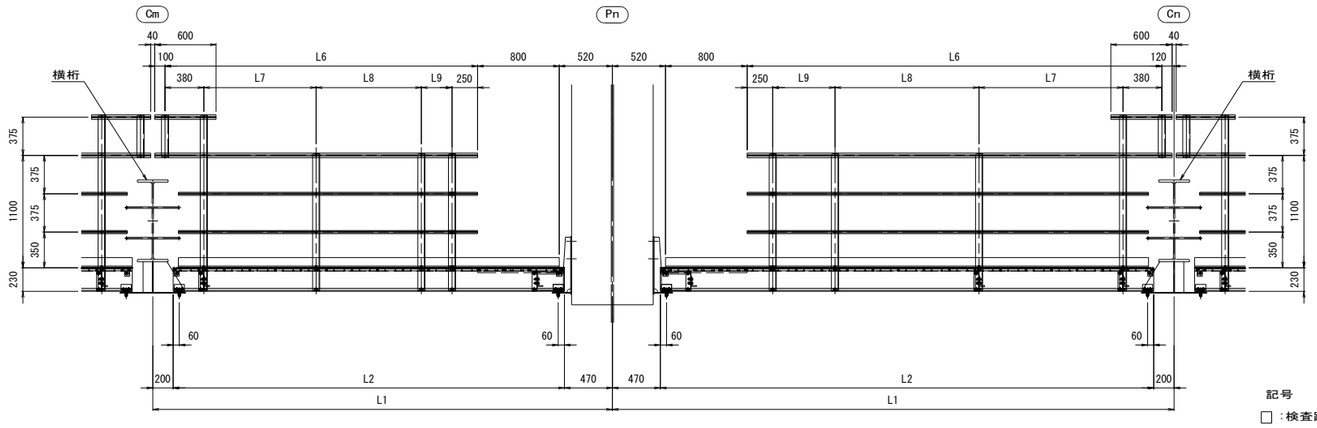
B － B



平面図



A － A



記号

□ ：検査路

P ：乗り越え手摺

P2-A2

タイプ	数量	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	構造
C	1	4500	3830	15×250＝3750	80	3780	2980	1000	1150	200	□P
D	3	5500	4830	19×250＝4750	80	4780	3980	1400	1350	600	□P
E	3	5500	4830	19×250＝4750	80	4780	3980	1400	1350	600	□P
F	1	4500	3830	15×250＝3750	80	3780	2980	1000	1150	200	□P
合計	8										

注記）

1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

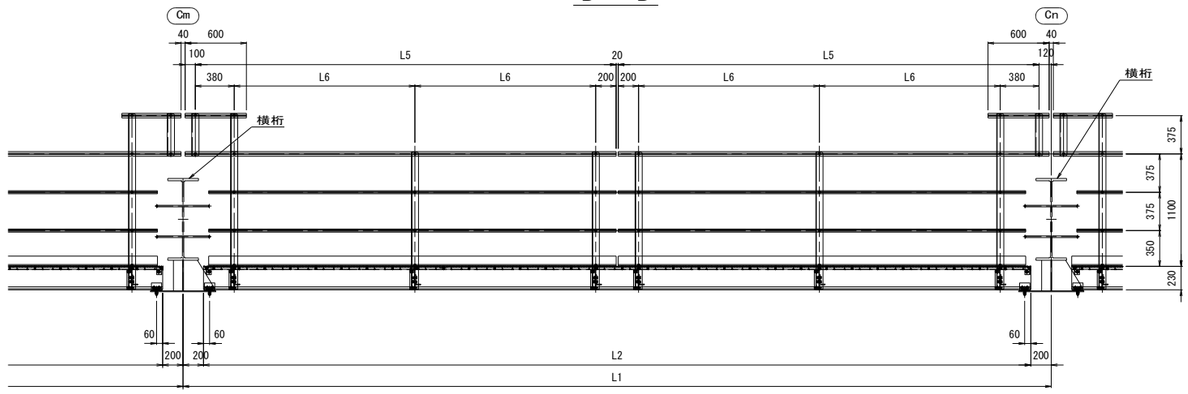
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 上部工検査路(その2) 【参考図】		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	109 / 123

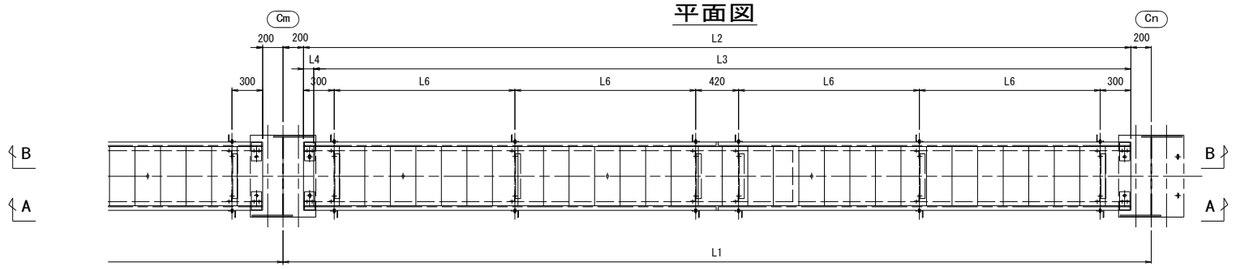
P2～A2 上部工検査路（その3） 縮尺=1:30

中間部

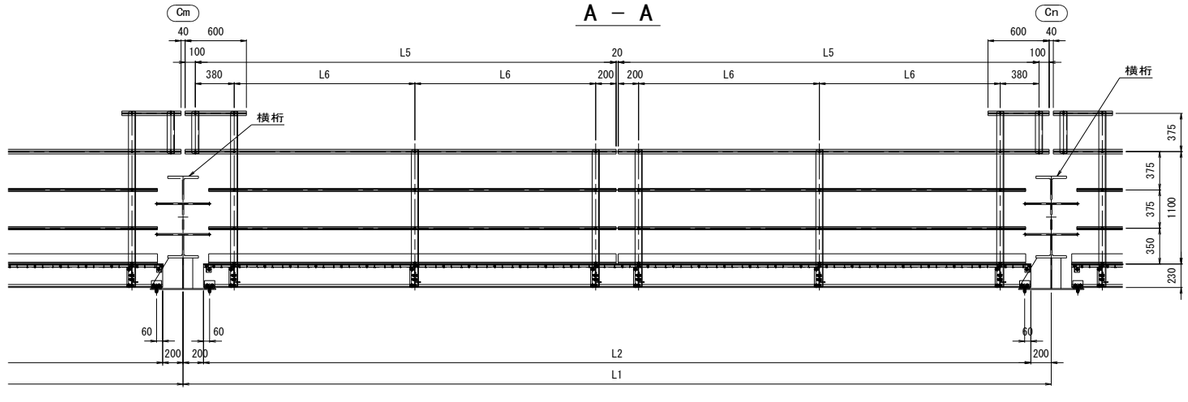
B － B



平面図



A － A



記号

□ ：検査路

P ：乗り越え手摺

P2-A2

タイプ	数量	L1	L2	L3	L4	L5	L6	構造
G	20	10000	9600	38×250=9500	100	4870	2145	□P
H	3	9000	8600	34×250=8500	100	4370	1895	□P
合計	23							

注記）

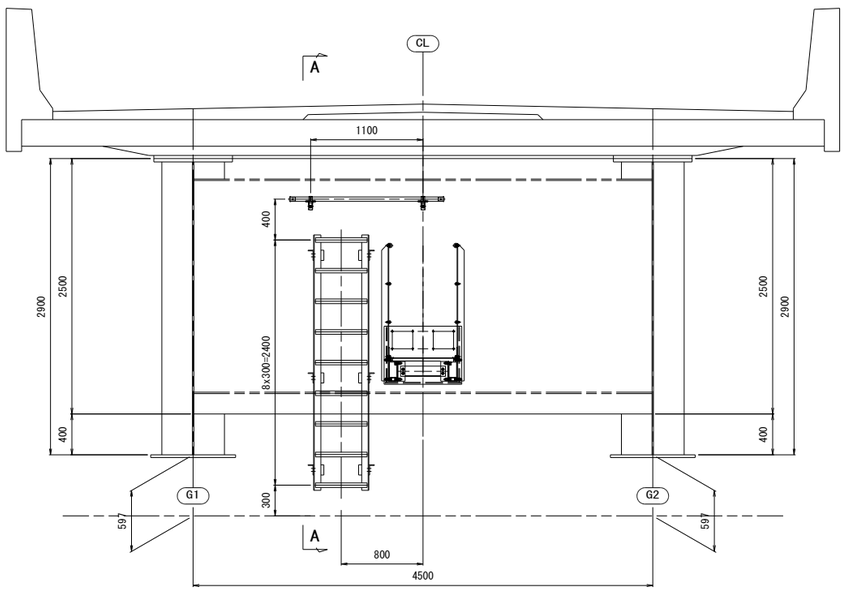
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実施

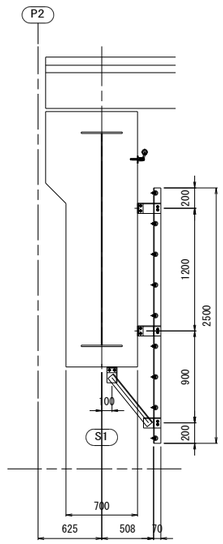
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 上部工検査路(その3)		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	110 / 123

P2～A2 上部工検査路（その4） 縮尺=1:30

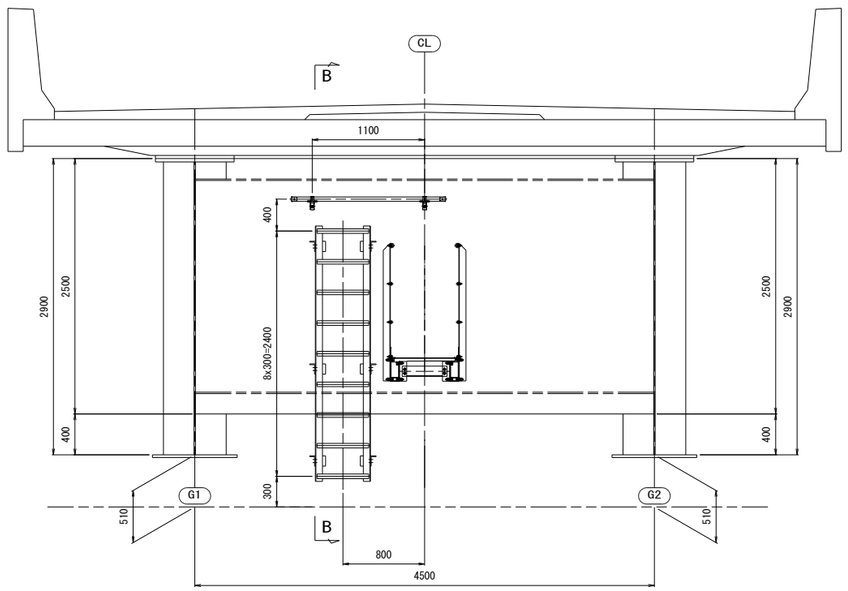
P2（S1） 端支点上横桁部



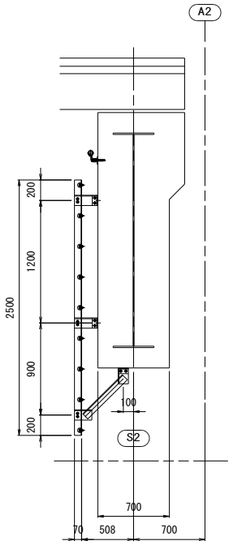
A － A



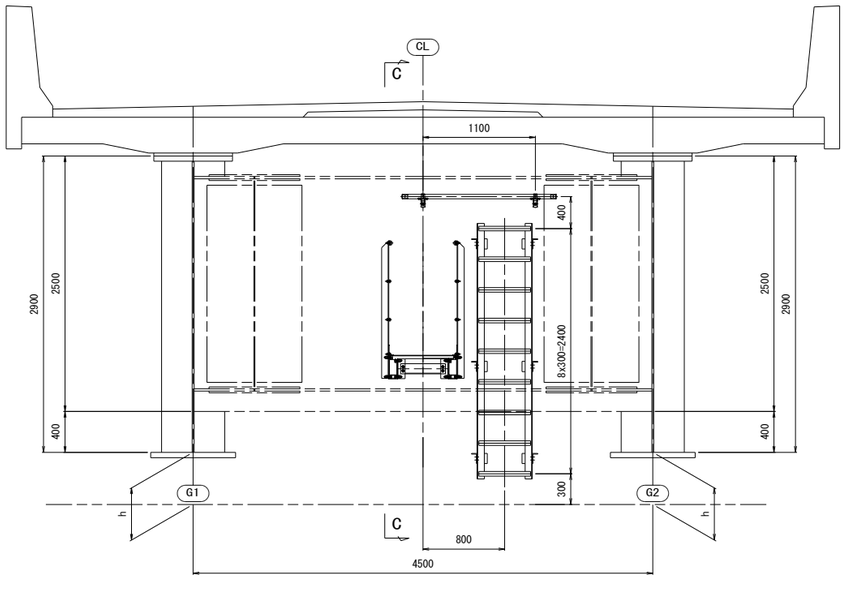
A2（S2） 端支点上横桁部



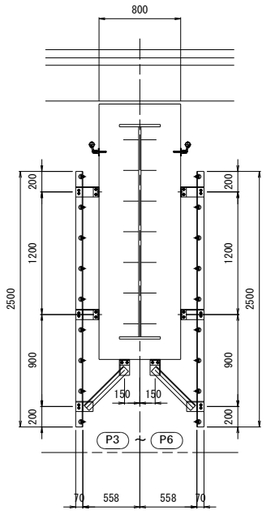
B － B



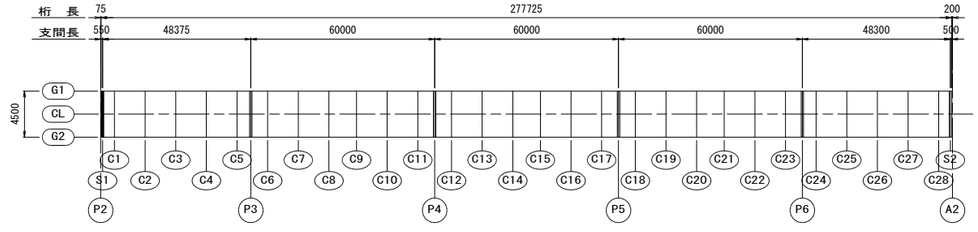
P3～P6 中間支点上横桁部



C － C



配置図



	h
P3	755
P4	757
P5	757
P6	695

実施

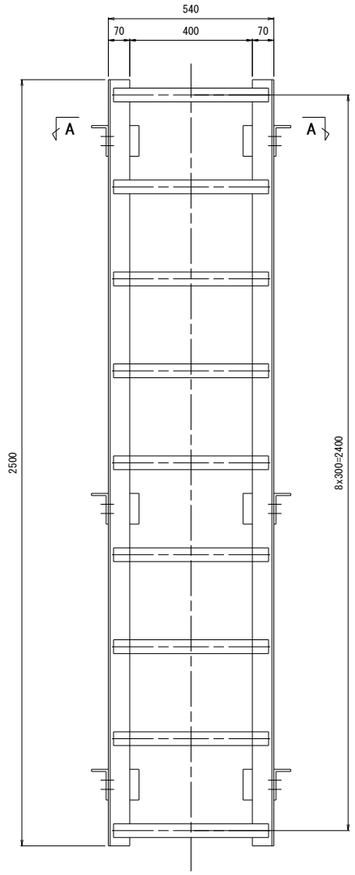
工事番号	令和元年度 受（Ⅲ）橋第2-2-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ） 橋梁上部工（加賀野高架橋）その2工事		
図面名	P2～A2 上部工検査路（その4）		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	111 / 123

P2～A2 上部工検査路（その5）【参考図】　縮尺=1:10

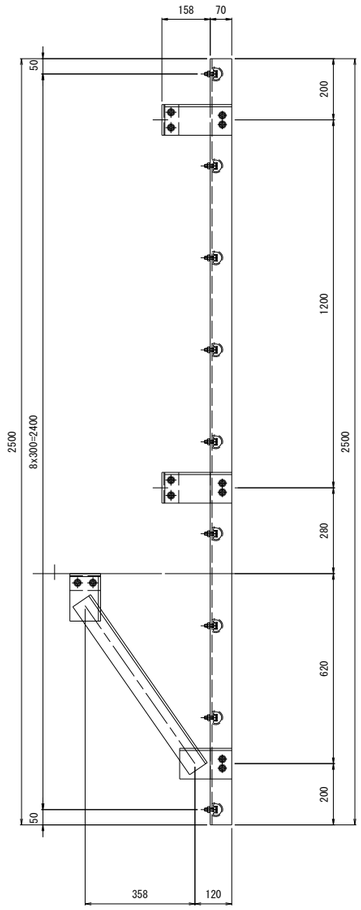
梯子

製作数：10組

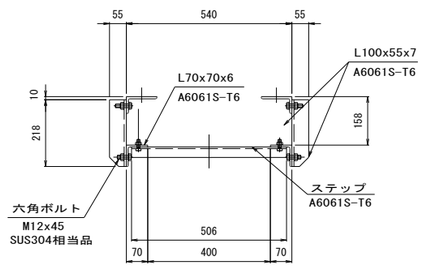
正 面 図



側 面 図

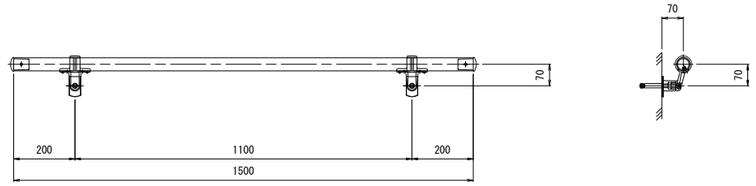


A － A



手摺詳細

製作数：10組



注記）
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路 線 名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工 事 名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図 面 名	P2～A2 上部工検査路(その5) 【参考図】		
縮 尺	1:10	位置	
設 計 者		設計年度	
宮 城 県		図番	112 / 123

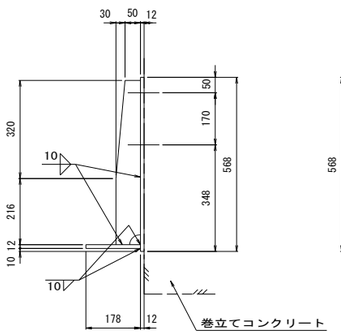
P2～A2 上部工検査路（その6）【参考図】

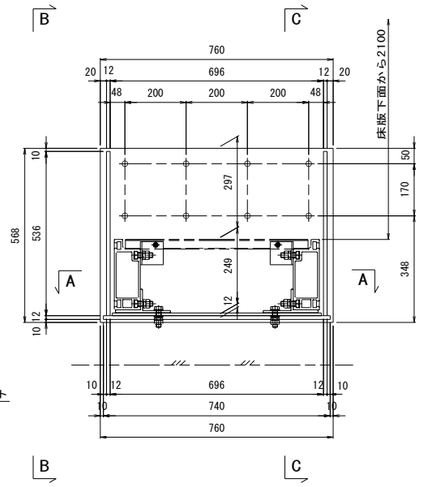
縮尺=1:10

巻立て部受け台詳細

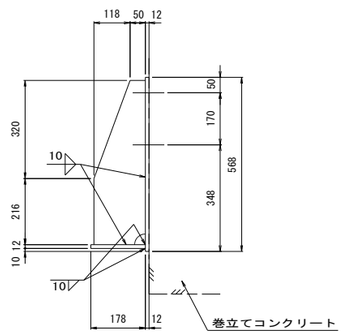
製作数： 10組

B － B

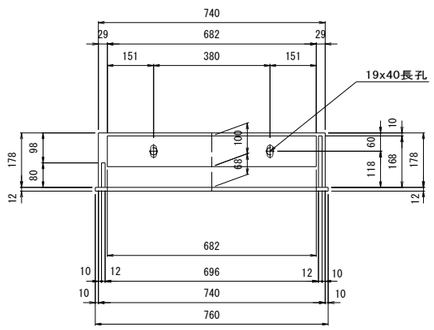




C － C



A － A



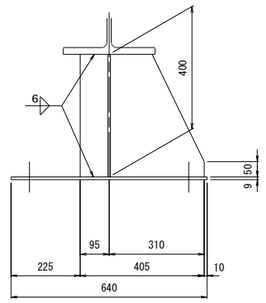
1 － PL 568 x 12 x 760 （A5083P）
1 － PL 168 x 12 x 536 （A5083P）
1 － PL 80 x 12 x 536 （A5083P）
1 － PL 178 x 12 x 740 （A5083P）
1 － PL 100 x 12 x 682 （A5083P）

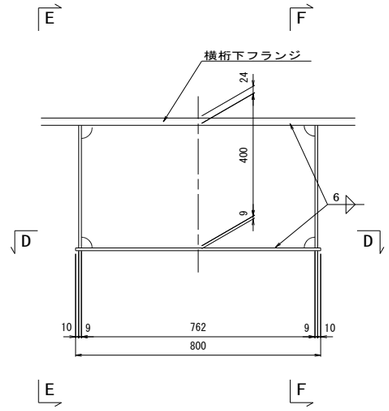
8 － ANC M16 （N1,3N1,W1付）（SBA1612相当品）

中間横桁部受け台詳細

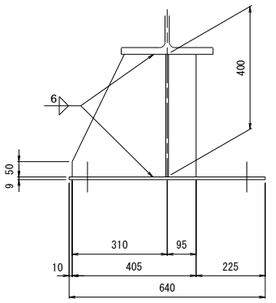
製作数： 28組

E － E

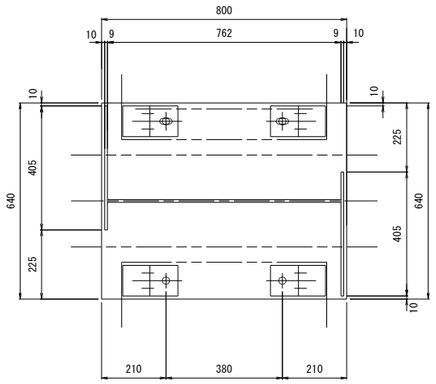




F － F



D － D



1–PL 640x9x800 （SM400A）
2–PL 405x9x400 （SM400A）
1–PL 400x9x762 （SM400A）

注記

1. ボルトの取合いは、現地測量後決定のこと。
2. 本図の受け台（鋼製）はアルミ検査路範囲外とする。

実 施

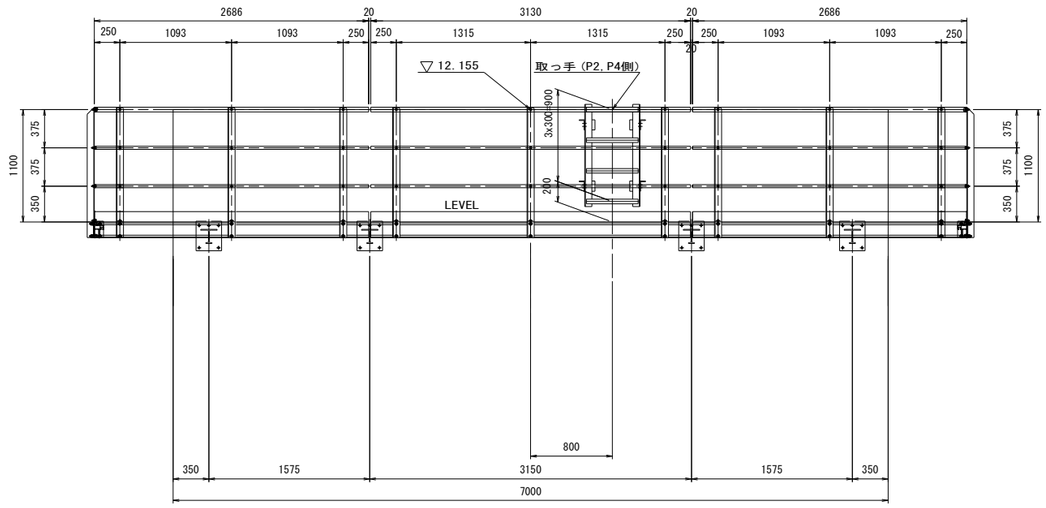
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 上部工検査路(その6) 【参考図】		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	113 / 123

P2～A2 下部工検査路（その1）【参考図】

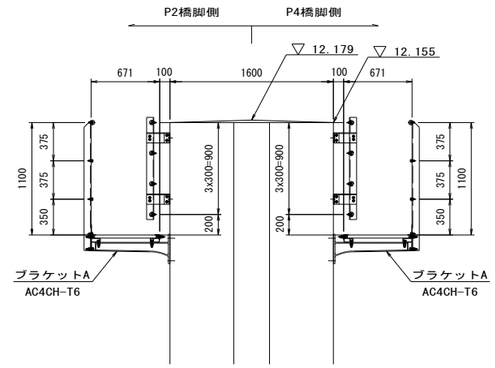
縮尺=1:30

P3橋脚

正 面 図



側 面 図



【検査路ユニット総括表】

	ユニット番号	ユニット長（mm）	ユニット幅（mm）	ユニット数（基）
1	P3-1	2686	671	2
2	P3-2	3130	671	1
3	P3-3	1700	671	2
4	P3-4	2686	671	2
5	P3-5	3130	671	1

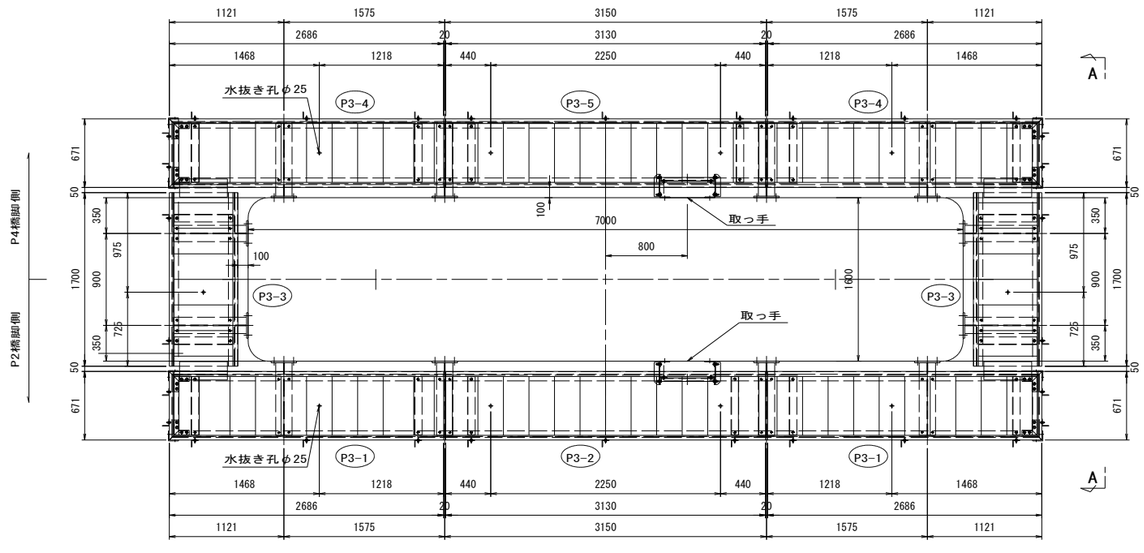
【ブラケット総括表】

		ブラケット数（本）	アンカー本数（本）
1	ブラケットA	12	60

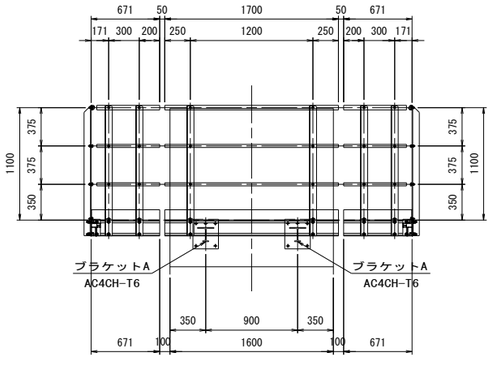
【梯子総括表】

		梯子長（mm）	梯子数（基）	アンカー本数（本）
1	取っ手	1000	2	4

平 面 図



A － A



実施

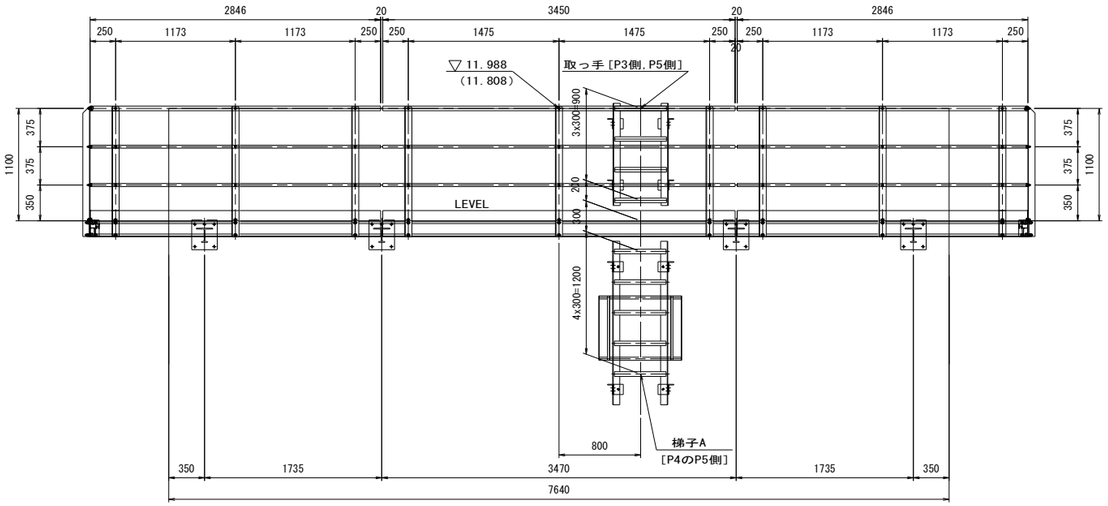
工事番号	令和元年度 受（Ⅲ）橋第2-2-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ） 橋梁上部工（加賀野高架橋）その2工事		
図面名	P2～A2 下部工検査路（その1） 【参考図】		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	114 / 123

P2～A2 下部工検査路（その2）【参考図】

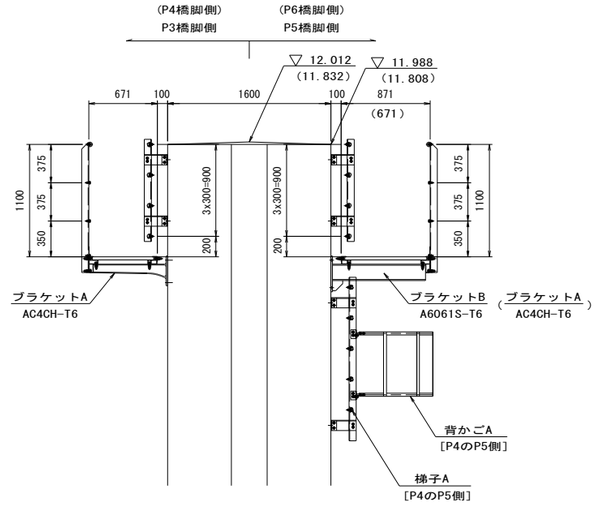
縮尺=1:30

P4橋脚, P5橋脚

正 面 図



側 面 図



1橋脚当り数量

【検査路ユニット総括表】

	ユニット番号	ユニット長（mm）	ユニット幅（mm）	ユニット数（基）
1	Pn-1	2846	671	2
2	Pn-2	3450	671	1
3	Pn-3	1700	671	2
4	Pn-4	2846	871（671）	2
5	Pn-5	3450	871（671）	1

※n=4（5）

【ブラケット総括表】

		ブラケット数（本）	アンカー本数（本）
1	ブラケットA	8（12）	40（60）
2	ブラケットB	4	20

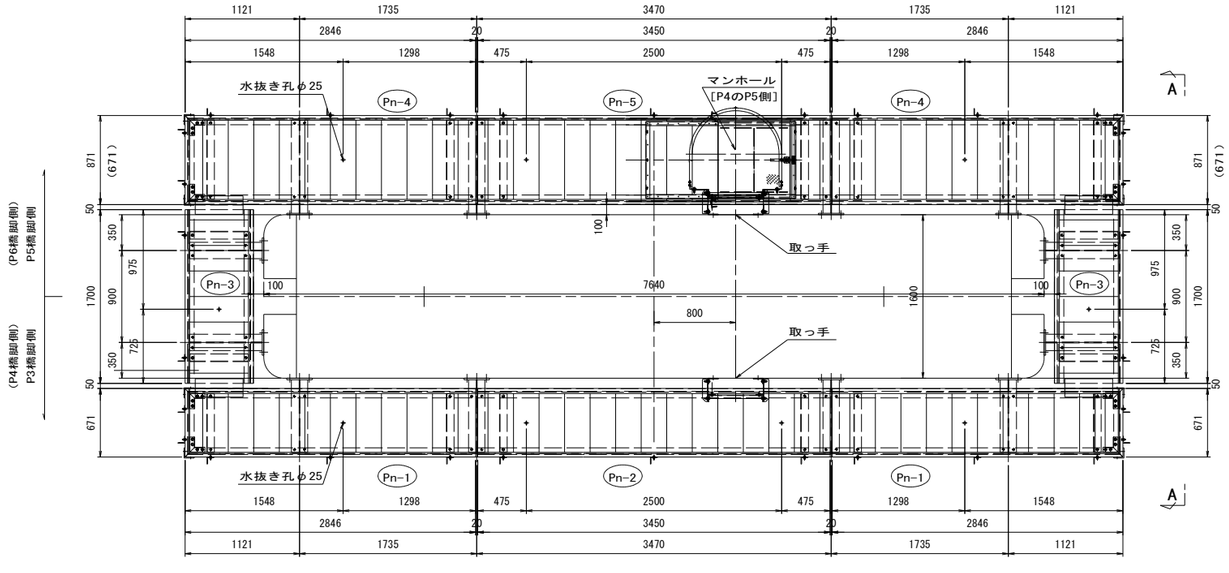
【梯子総括表】

		梯子長（mm）	梯子数（基）	アンカー本数（本）	位置
1	梯子A	1600	1	8	P4のみ
2	背かごA	650	1	–	P4のみ
3	取っ手	1000	2	4	

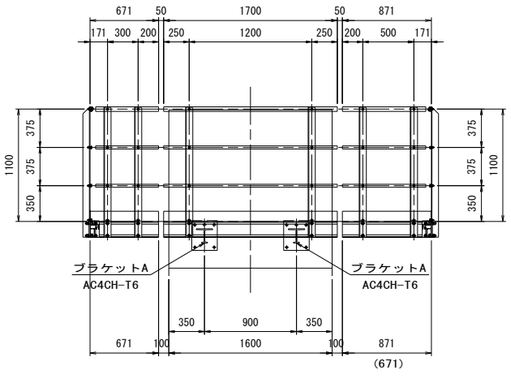
【スライド式マンホール】

		個数	位置
1	スライド式マンホール	1	P4のみ

平 面 図



A － A



※（ ）内の値はP5橋脚を示す。

実施

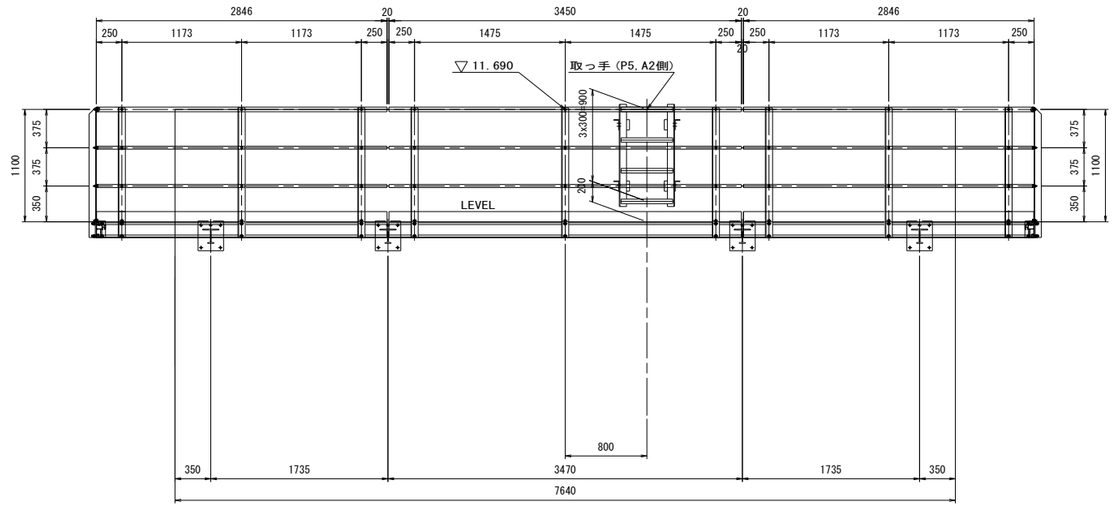
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 下部工検査路(その2) 【参考図】		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	115 / 123

P2～A2 下部工検査路（その3）【参考図】

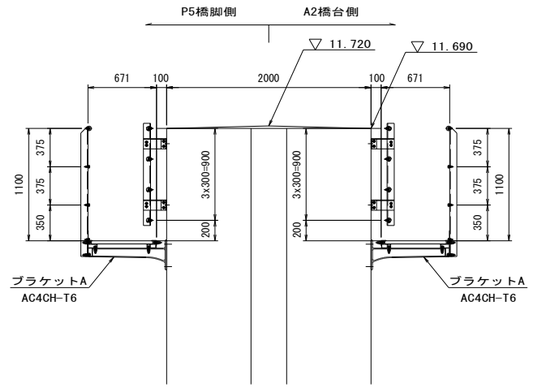
縮尺=1:30

P6橋脚

正 面 図



側 面 図



【検査路ユニット総括表】

	ユニット番号	ユニット長（mm）	ユニット幅（mm）	ユニット数（基）
1	P6-1	2846	671	2
2	P6-2	3450	671	1
3	P6-3	2100	671	2
4	P6-4	2846	671	2
5	P6-5	3450	671	1

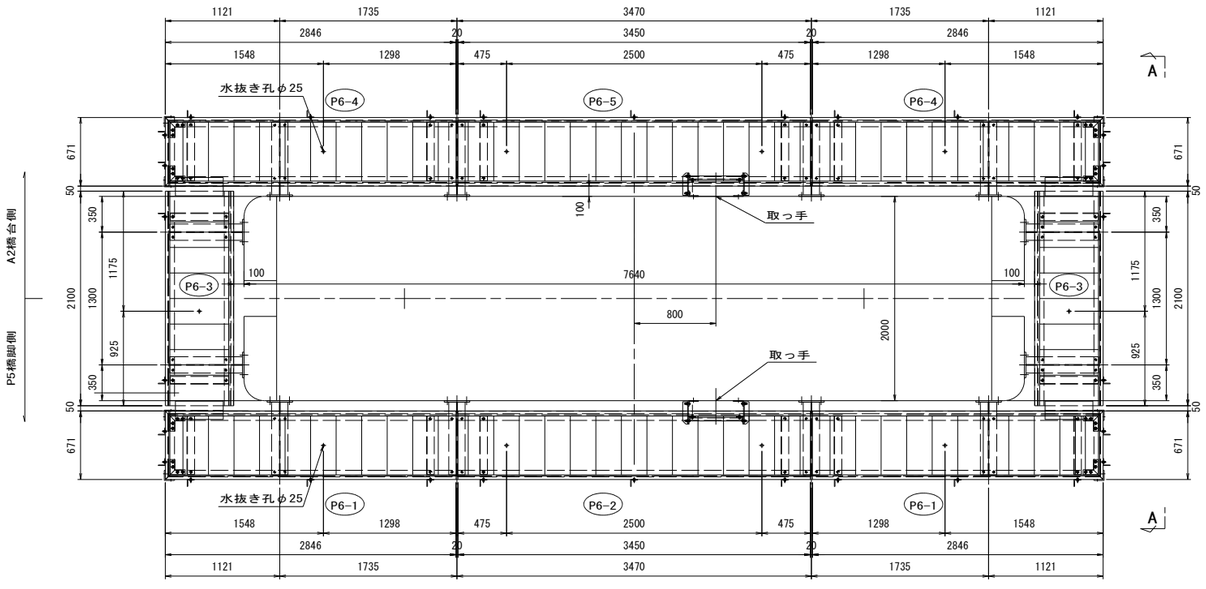
【ブラケット総括表】

		ブラケット数（本）	アンカー本数（本）
1	ブラケットA	12	60

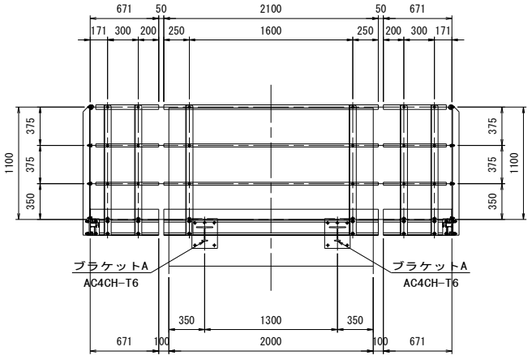
【梯子総括表】

		梯子長（mm）	梯子数（基）	アンカー本数（本）
1	取っ手	1000	2	4

平 面 図



A － A



実 施

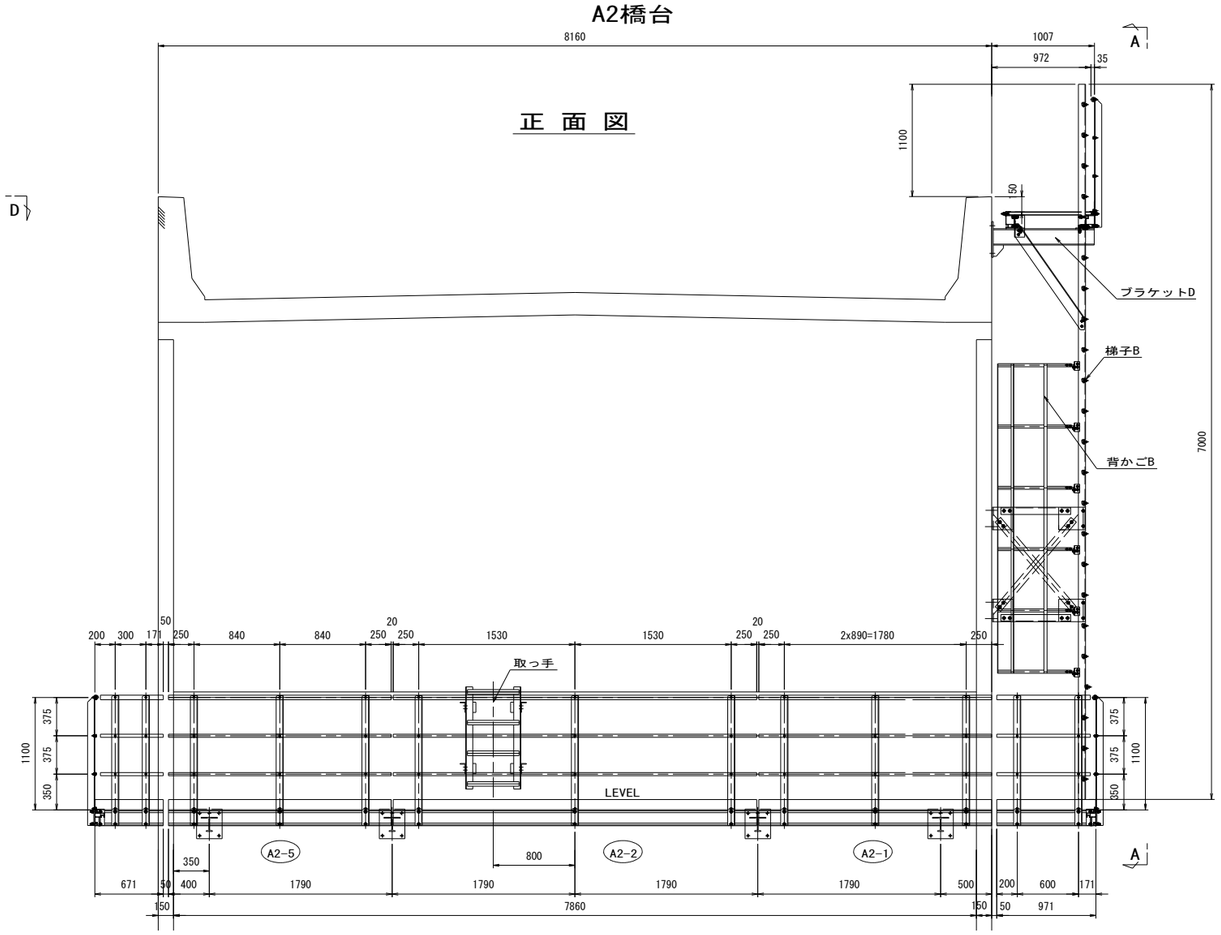
工事番号	令和元年度 受（Ⅲ）橋第2-2-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ） 橋梁上部工（加賀野高架橋）その2工事		
図面名	P2～A2 下部工検査路（その3） 【参考図】		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	116 / 123

P2～A2 下部工検査路（その4）【参考図】

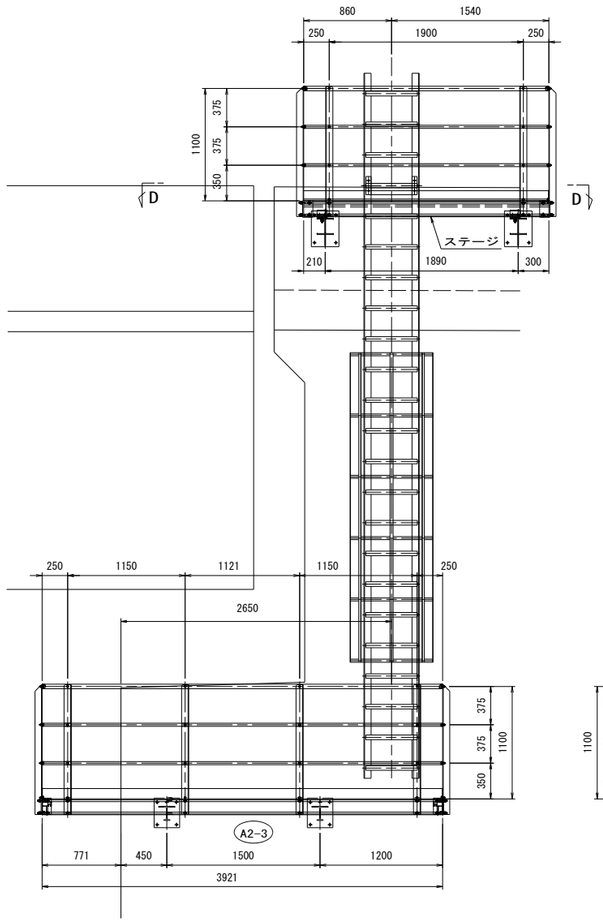
縮尺=1:30

A2橋台

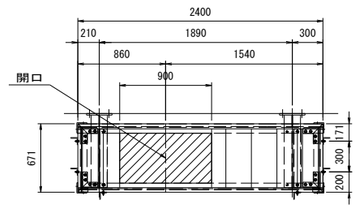
正 面 図



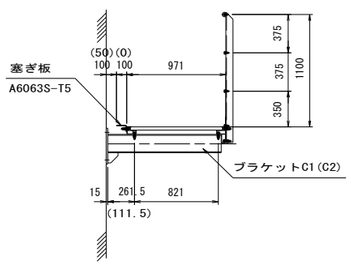
A － A



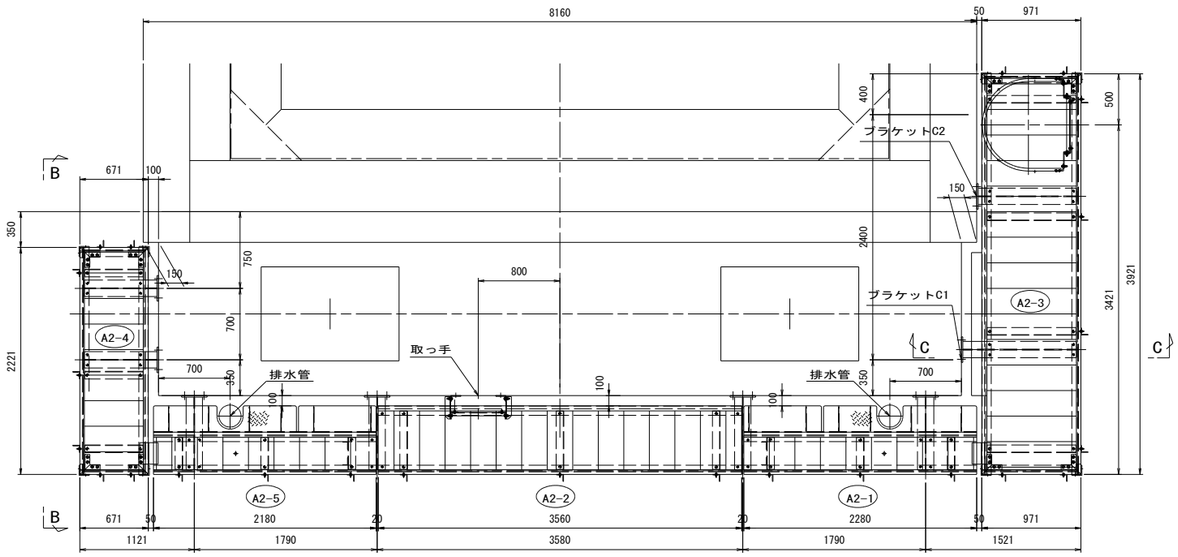
D － D



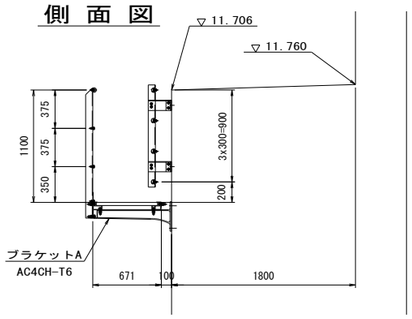
C － C



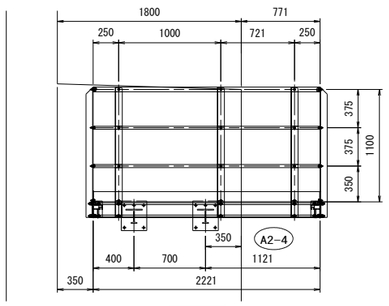
平 面 図



側 面 図



B － B



【検査路ユニット総括表】

	ユニット番号	ユニット長（mm）	ユニット幅（mm）	ユニット数（基）
1	A2-1	2280	671	1
2	A2-2	3560	671	1
3	A2-3	3921	971	1
4	A2-4	2221	671	1
5	A2-5	2180	671	1

【ブラケット総括表】

		ブラケット数（本）	アンカー本数（本）
1	ブラケットA	6	30
2	ブラケットC1	1	5
3	ブラケットC2	1	5

【梯子総括表】

		梯子長（mm）	梯子数（基）	アンカー本数（本）
1	梯子B	7000	1	－
2	背かごB	3050	1	－
3	取っ手	1000	1	4

【梯子用ステージ総括表】

		長さ（mm）	個数（基）	アンカー本数（本）
1	ステージ	2400	1	－
2	ブラケットD	989	2	10

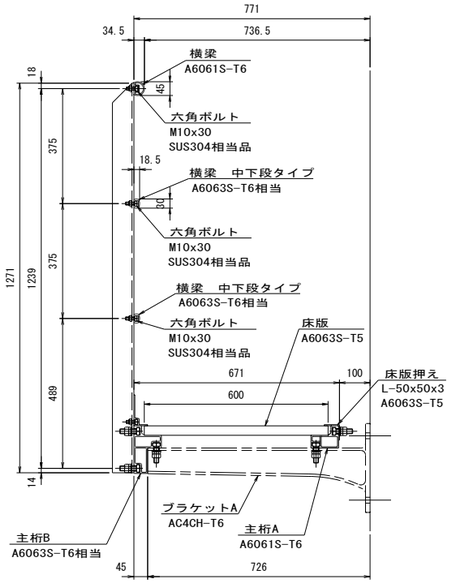
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 下部工検査路(その4) 【参考図】		
縮尺	1:30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	117 / 123

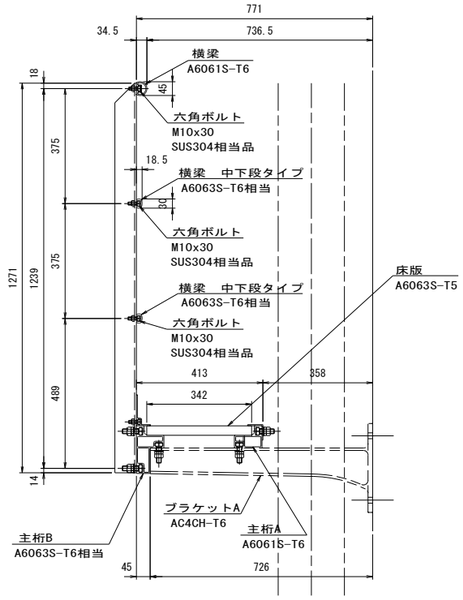
P2～A2 下部工検査路（その5）【参考図】　縮尺=1:10

各部詳細図

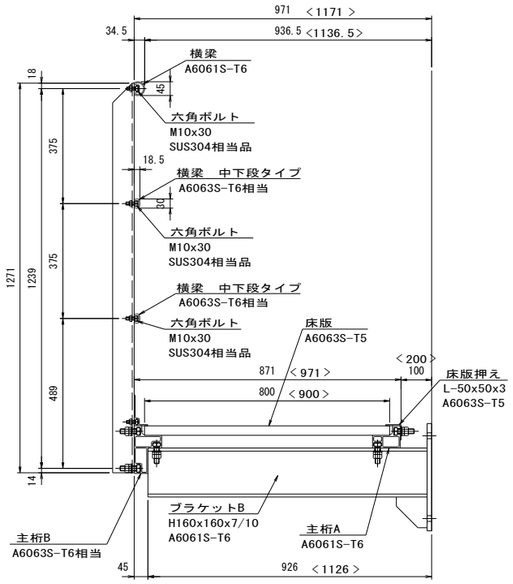
標準断面図



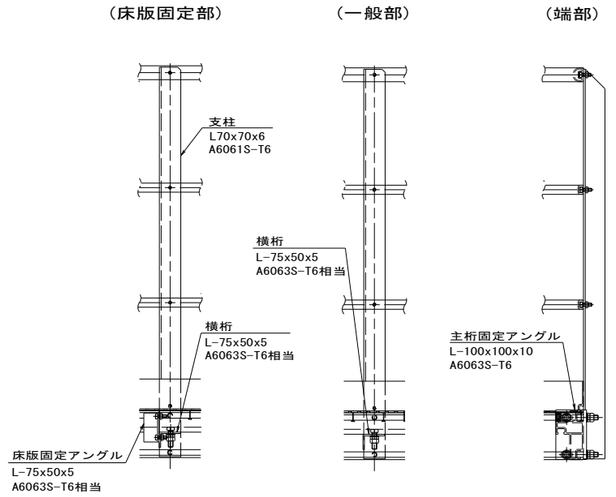
排水部断面図



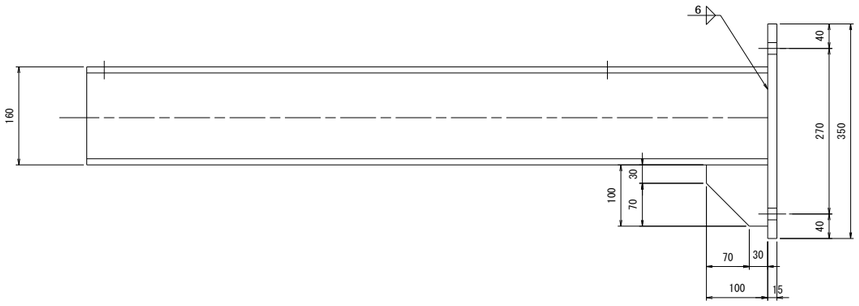
拡幅部断面図

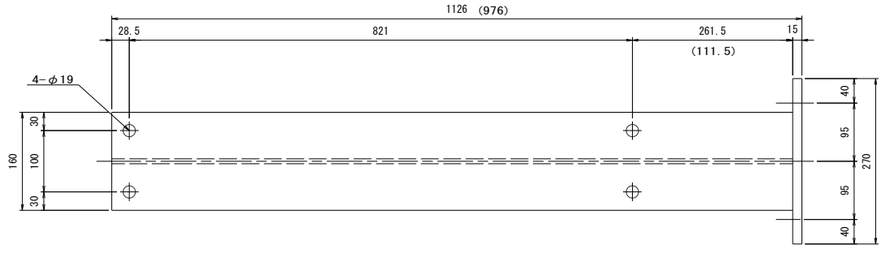


手摺姿図

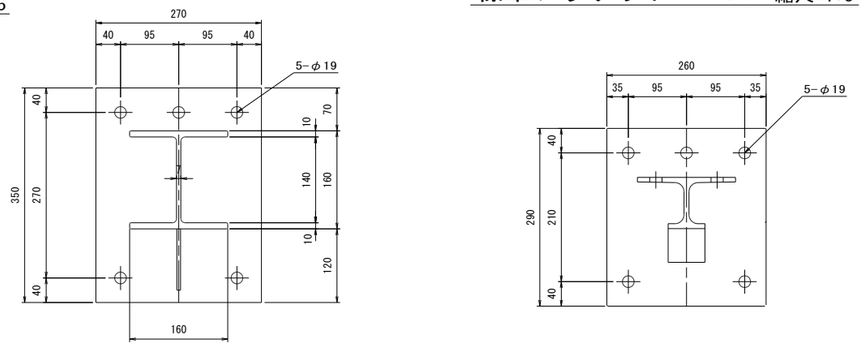


ブラケットC1（C2）詳細　縮尺=1:5

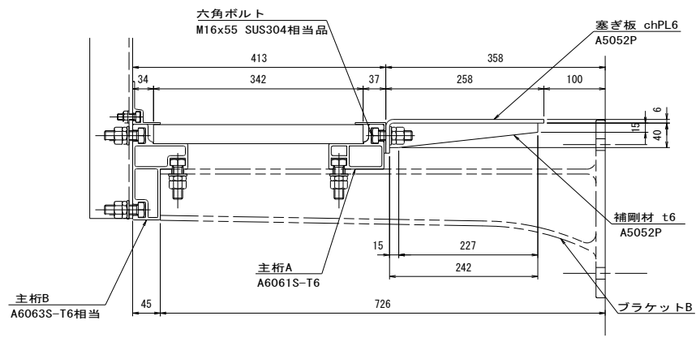




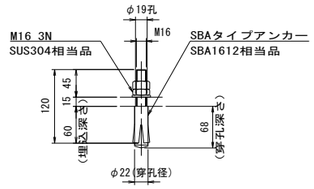
標準ブラケットベース　縮尺=1:5



排水部塞ぎ板　縮尺=1:5



アンカー詳細　縮尺=1:5



注）
1）本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
　但し、ブラケット、塞ぎ板、補強材は塗装処理とする。
2）ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3）ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

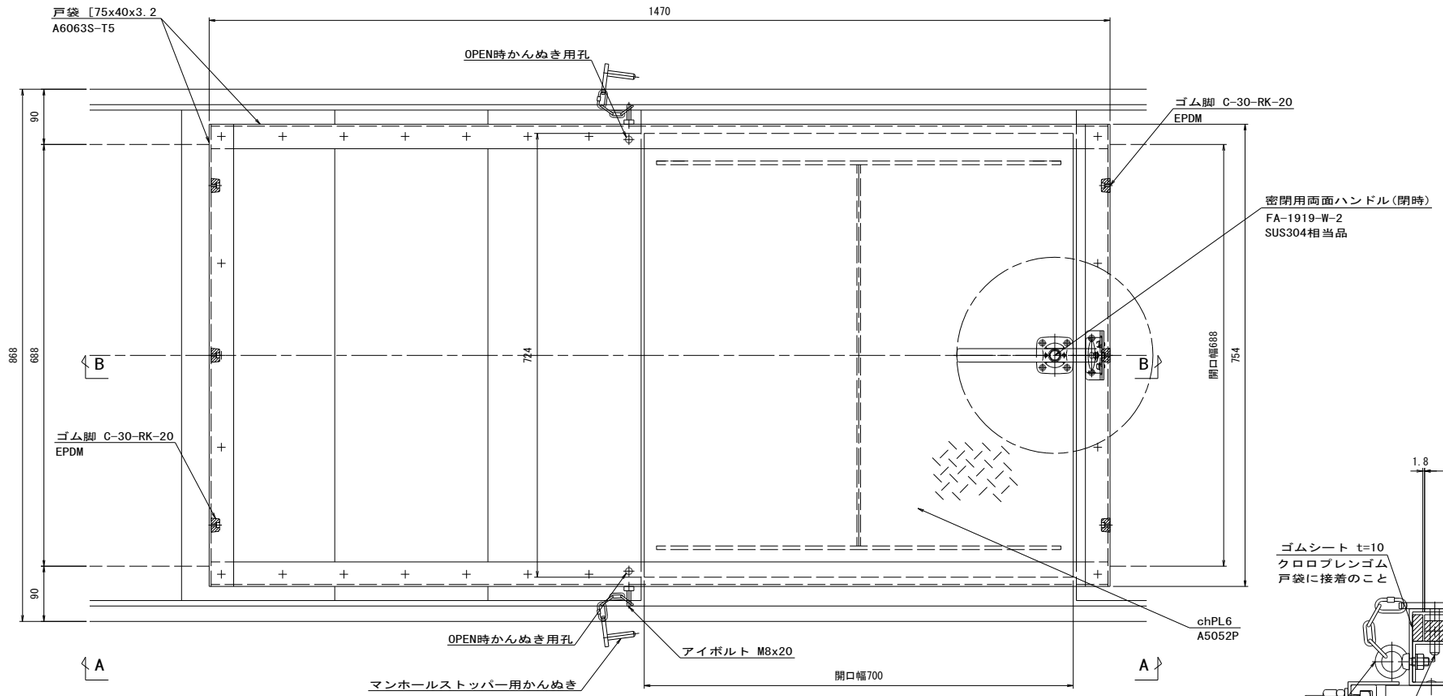
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 下部工検査路(その5) 【参考図】		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	118 / 123

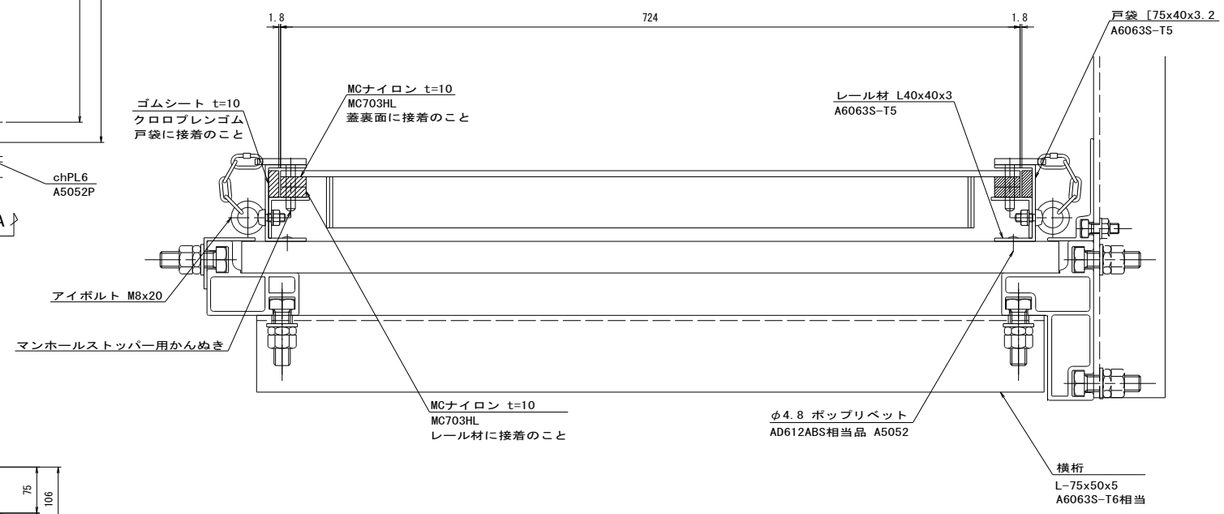
P2～A2 下部工検査路（その6）【参考図】　縮尺=1:5

スライド式マンホール

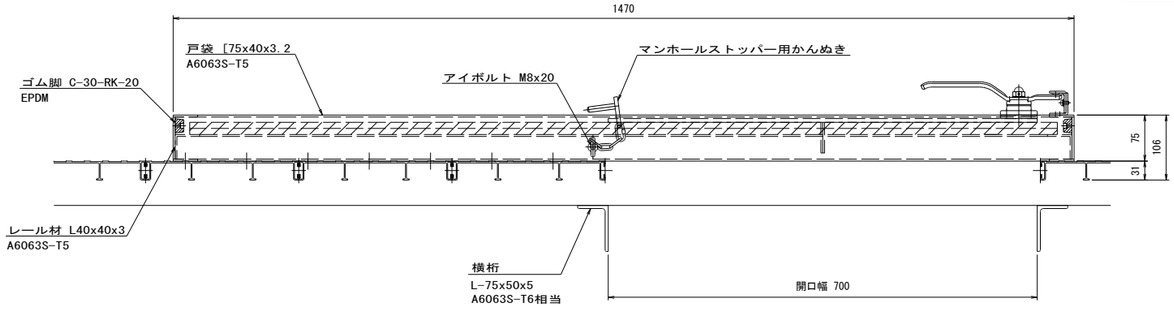
マンホール平面図



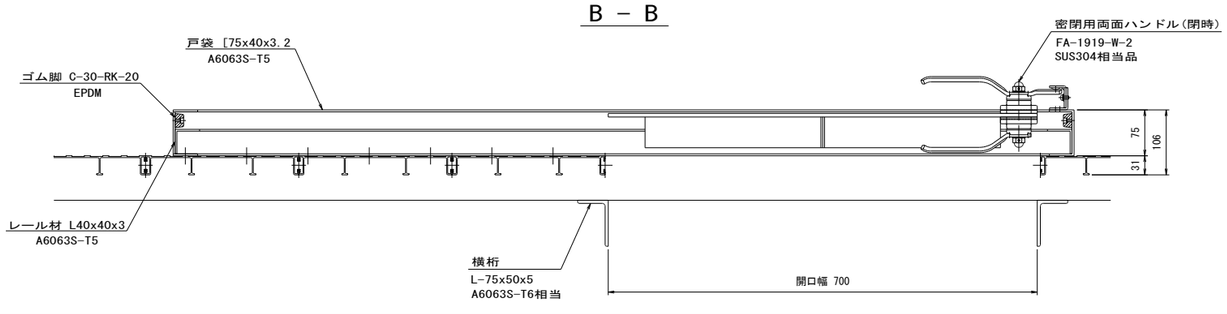
断面図　縮尺=1:3



A － A



B － B



注）
1）本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
　但し、マンホール、塞ぎ板、補強材は塗装処理とする。
2）ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3）ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 下部工検査路(その6) 【参考図】		
縮尺	1:5	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	119 / 123

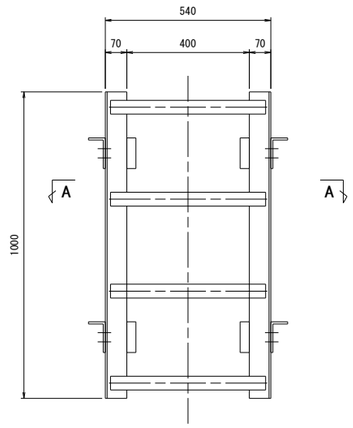
P2～A2 下部工検査路（その7）【参考図】

縮尺=1:10

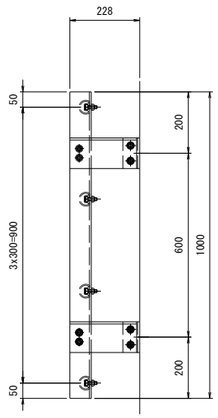
取っ手詳細図

取っ手

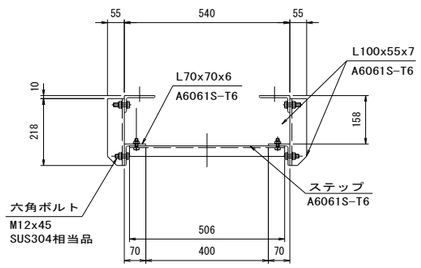
正 面 図



側 面 図

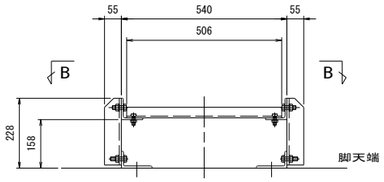


A － A

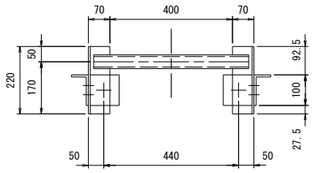


手摺り

正 面 図



B － B



注）
1）本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2）ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3）ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実 施

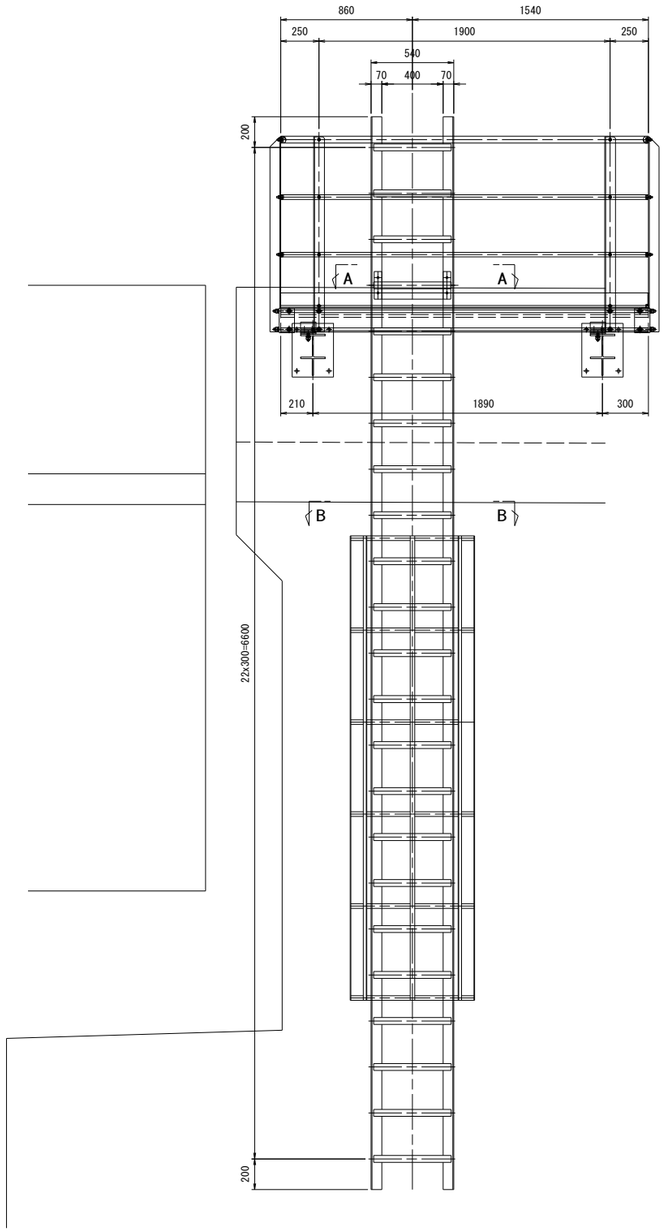
工事番号	令和元年度 受（Ⅲ）橋第2-2-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ） 橋梁上部工（加賀野高架橋）その2工事		
図面名	P2～A2 下部工検査路（その7） 【参考図】		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	120 / 123

P2～A2 下部工検査路（その8）【参考図】

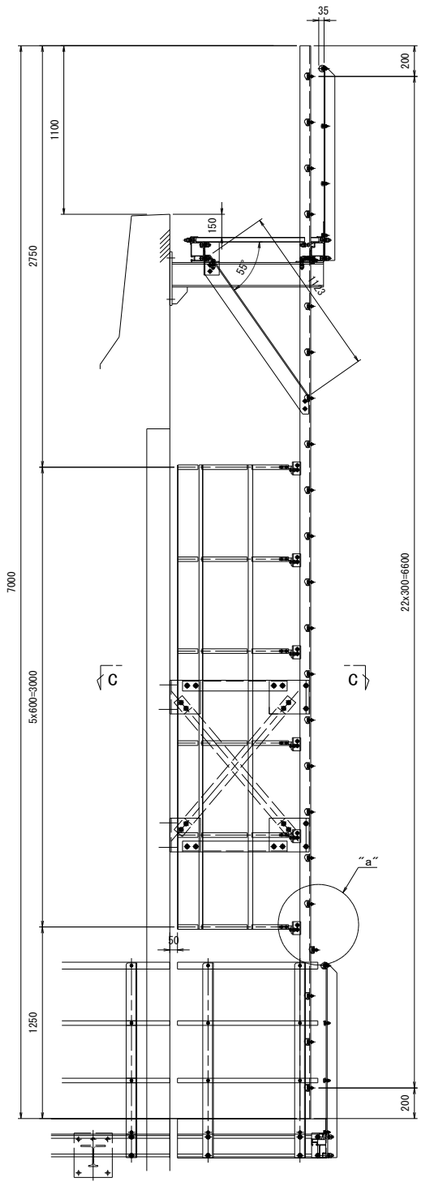
縮尺=1:20

A2橋台

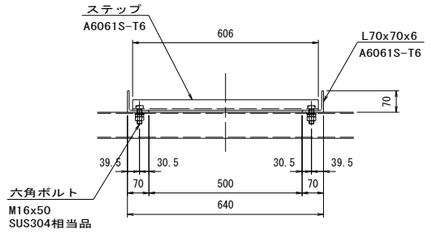
正面図



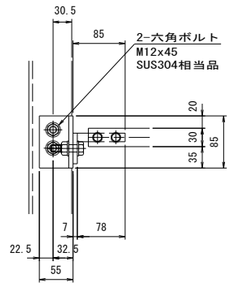
側面図



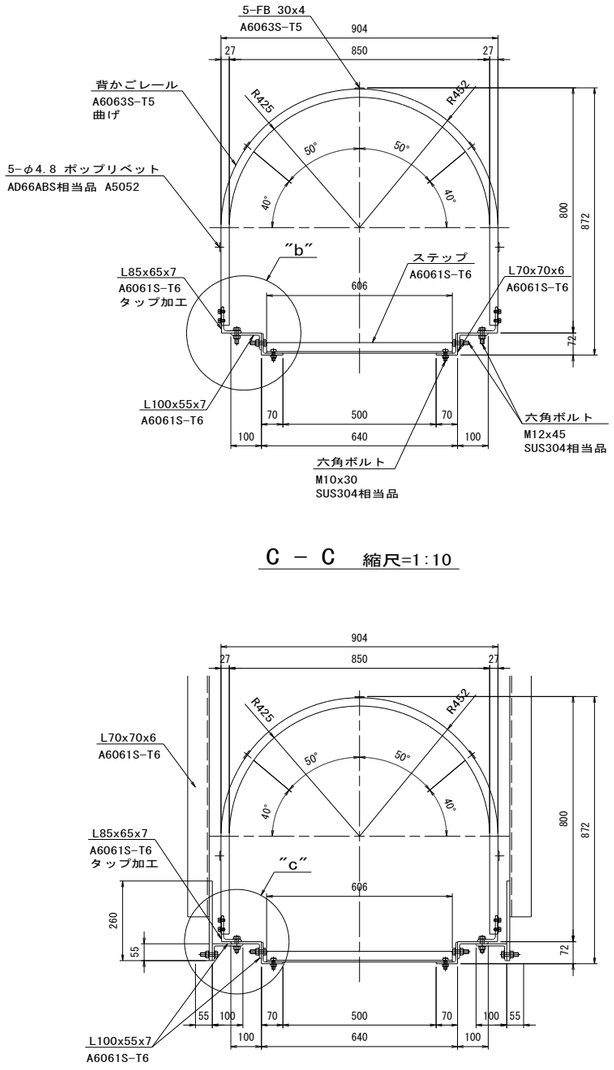
A － A 縮尺=1:10



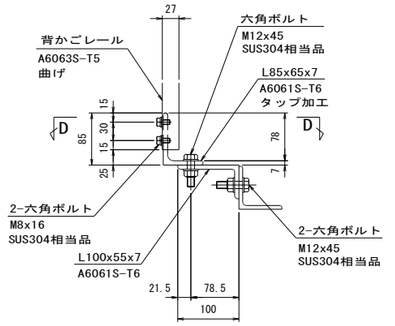
"a"詳細 縮尺=1:5



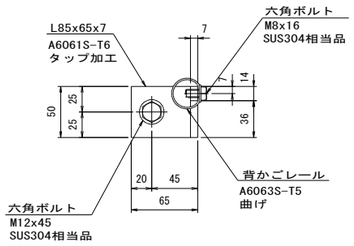
B － B 縮尺=1:10



"b"詳細 縮尺=1:5

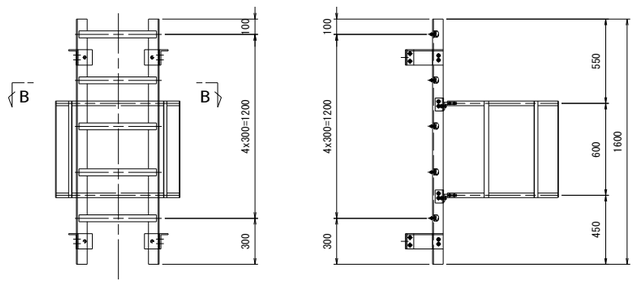


D － D 縮尺=1:3

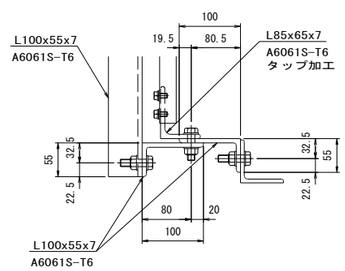


C － C 縮尺=1:10

P4橋脚



"c"詳細 縮尺=1:5



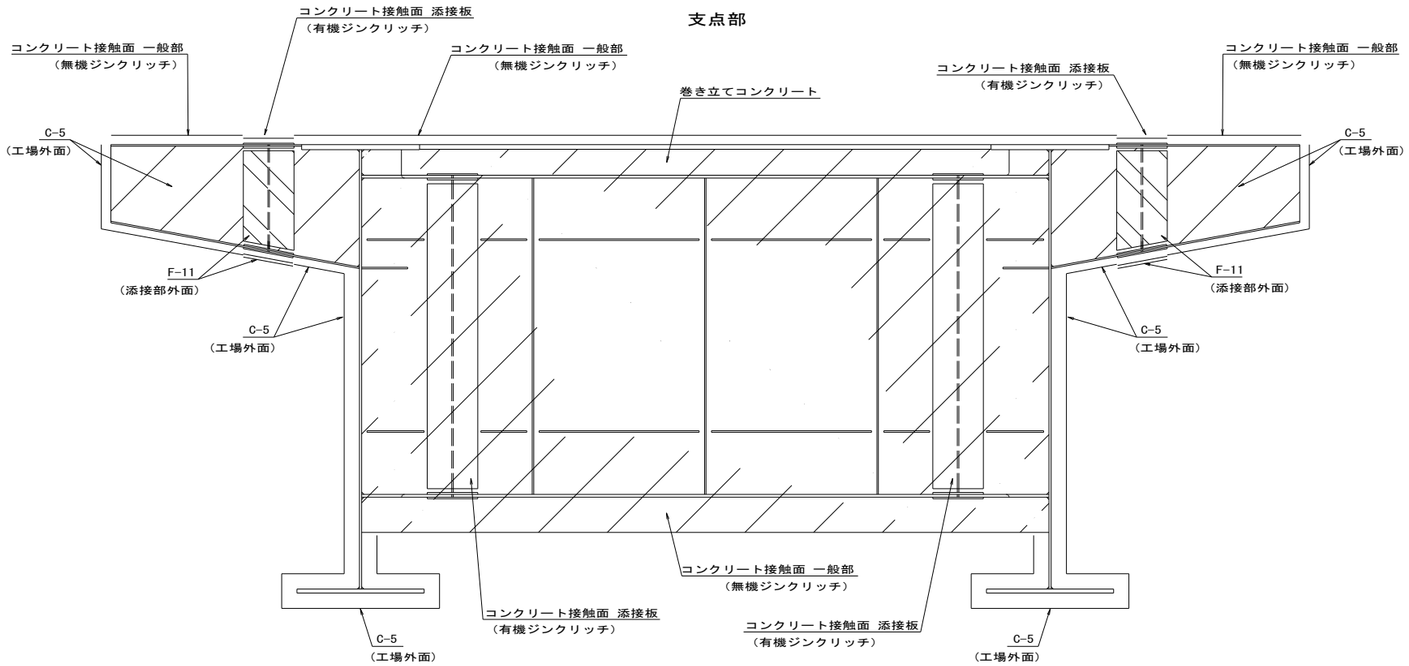
注）
1）本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
　但し，ブラケット、補強材は塗装処理とする。
2）ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3）ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

実施

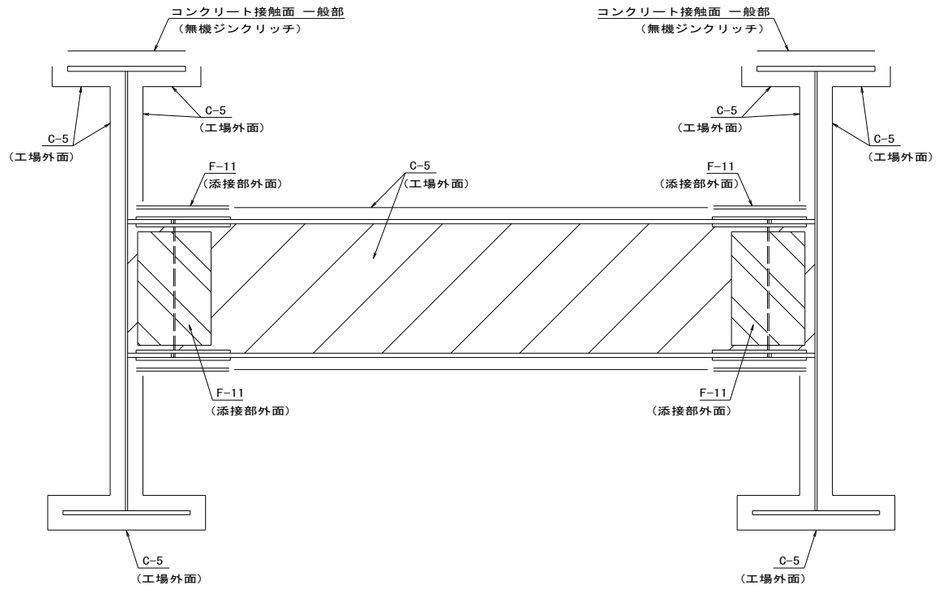
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 下部工検査路(その8) 【参考図】		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	121 / 123

P2～A2 塗装塗り分け図

支点部

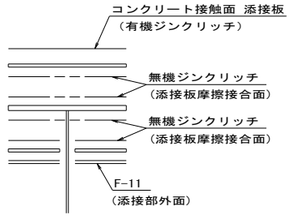


中間部

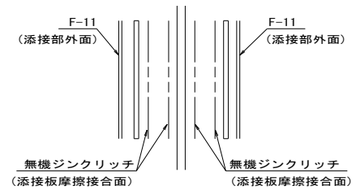


添接板部

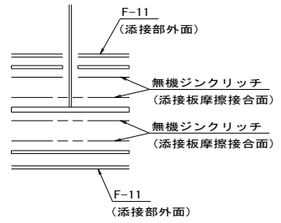
主桁上フランジ



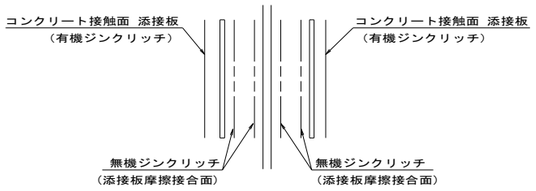
WEB



主桁下フランジ（中間横桁上下フランジ）



巻き立てコンクリート部



C-5 工場外面

D-5 工場内面

F-11 添接部外面

F-11 ボルト外面

無機ジンクリッチ　添接板摩擦接合面（接触面）

コンクリート接触面 一般部 無機ジンクリッチ

コンクリート接触面 添接板 有機ジンクリッチ

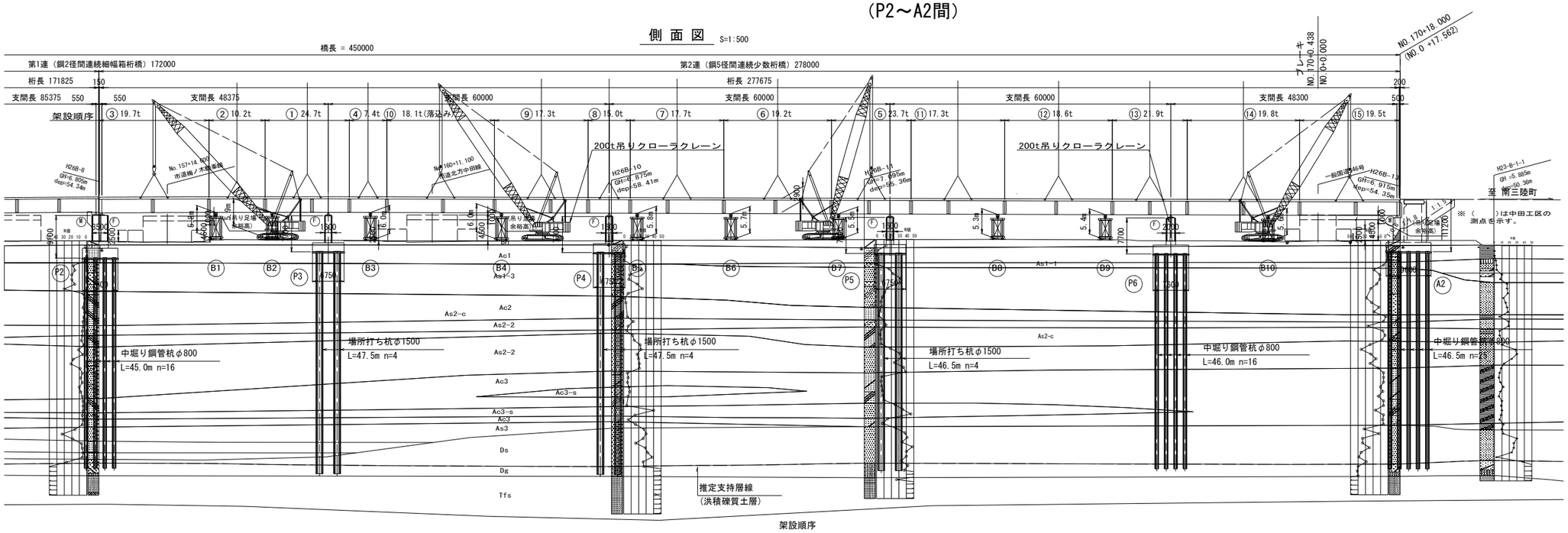
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	P2～A2 塗装塗り分け図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	122 / 123

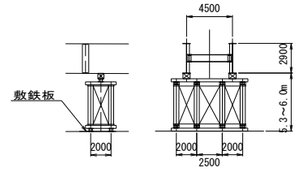
佐沼工区２号橋 架設計画図【参考図】

(P2～A2間)

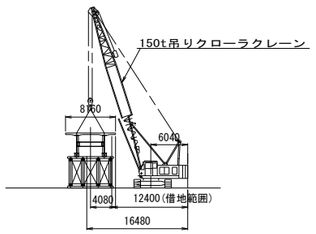
側 面 図 S=1:500



ベント設備図 S=1:300



Pca床版架設 S=1:500



※Pca床版架設時の最大作業半径はR=22.0m、
W=13tとしてクレーンを選定すれば、
150t吊りクローラクレーンが選定される
(カタログより選定)

200t吊りクローラクレーン定格総荷重

作業半径	ブーム長	
(m)	L= 33.5 m	L= 36.6 m
16.0	59.8 t	59.7 t
18.0	50.9 t	50.8 t
20.0	44.2 t	44.1 t
22.0	39.0 t	38.8 t
24.0	34.7 t	34.6 t
26.0	31.2 t	31.1 t
28.0	28.3 t	28.2 t
30.0	25.9 t	25.7 t

＞23.7t+0.9t=24.6t

＞18.1t+0.9t=19.0t

＞19.7t+0.9t=20.6t

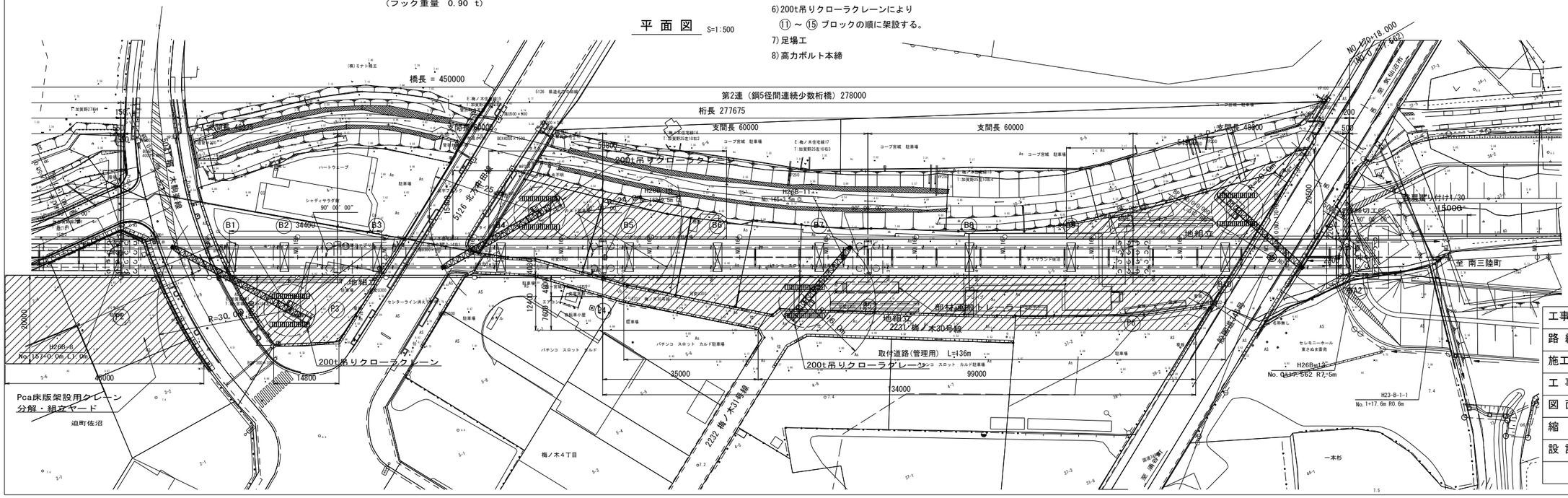
（フック重量 0.90 t）

架設順序

1. 準備工
2. ベント設備設置
3. 沓据付工
4. 架設
   1)桁地組立
   2)200t吊りクローラクレーンにより
   ①～④ブロックの順に架設する。
   3)クレーンを移動し、同クローラクレーン
   により⑤、⑥ブロックの順に架設する。
   4)クレーンを移動し、同クローラクレーン
   により⑦～⑩ ブロックの順に架設する。
   5)クレーン場内小運搬
   6)200t吊りクローラクレーンにより
   ⑪ ～ ⑮ ブロックの順に架設する。
   7)足場工
   8)高力ボルト本締
5. ベント設備解体
6. 沓固定
7. 足場解体
8. 後片付け

※クレーン走行・据付部及びベント設備
設置地盤については地耐力検討を行い、
必要な養生を行うこと。

平 面 図 S=1:500



工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)橋第2-2-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(加賀野高架橋)その2工事		
図面名	架設計画図【参考図】 (P2～A2間 クレーンベント工法)		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	123 / 123

実 施